

**令和2年度
国東市人権意識調査報告書**

令和3年3月

国東市

はじめに

平成28年に公布された「障害者差別解消法」「ヘイトスピーチ解消法」「部落差別解消推進法」では、人権が尊重される社会実現に向けて、国及び地方公共団体の責務が規定され、より一層の推進が求められています。

本市では、平成31年3月に改正した「国東市における部落差別等あらゆる差別をなくし人権を擁護する条例」により、平和で明るい地域社会の実現をめざし、部落差別をはじめあらゆる差別の解消に向けた教育及び啓発活動に関する必要な施策の推進に努めています。

近年、子どもや障がい者、高齢者等に対する暴力・虐待、インターネット上での部落差別や新型コロナウイルスに関する誹謗・中傷の書き込みなど、人権問題は複雑・多様化しています。

こうした中、これまで取り組んできた人権施策の成果と課題を明らかにするため、令和2年7月に「国東市人権意識調査」を実施いたしました。

その調査結果を分析・研究し、今後の人権教育・人権啓発の諸施策に反映・推進してまいりたいと思います。

市民の皆様におかれましては、誰もが安心して暮らせる差別のないまちづくりに向けてご理解、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

最後になりますが、ご協力をいただきました市民の皆様をはじめ、関係者の方々に厚くお礼を申し上げます。

令和3年3月

国東市長 三河明史

- 目次 -

第1章 人権に関する市民意識調査の概要

1. 調査概要

| | |
|-------------------------|---|
| (1) 調査の目的..... | 1 |
| (2) 調査の設計..... | 1 |
| (3) 回収結果..... | 1 |
| (4) 調査集計にあたっての留意事項..... | 1 |

2. 回答者の属性

| | |
|----------------------------|---|
| F1 年齢(令和2年4月1日現在の満年齢)..... | 2 |
| F2 職業..... | 3 |

第2章 人権に関する市民意識調査の結果

< I. 人権全般について >

| | |
|---------------------------------------------------------------|----|
| 問1 あなたは人権問題に関心を持っていますか。..... | 4 |
| 問2 あなたが、国内の人権課題で、特に関心があるのはどの課題ですか。..... | 6 |
| 問3 あなたは、国東市では人権が尊重されていると思いますか。..... | 10 |
| 問4 あなたは、今までに自分が差別されたり、自分の人権が侵害されたと思っことはありますか。..... | 12 |
| 問4-ア 【問4で「①ある」と答えた方にお伺いします。】 それはどのような性質のものでしょうか。..... | 14 |
| 問4-イ 【前問と同様に、問4で「①ある」と答えた方にお伺いします。】 そのときどのように対応しましたか。..... | 17 |
| 問5 あなたは、差別や人権侵害を受けた場合に相談できる機関(場所)があることを知っていますか。...19 | 19 |

< II. 女性の人権について >

| | |
|-------------------------------------------------------|----|
| 問6 あなたは、女性に関することで、現在どのような人権問題があると思いますか。..... | 21 |
| 問7 あなたは、男女平等が実現していると思いますか。..... | 24 |
| 問8 結婚、家庭、出産、子育てについての考え方で、あなたのご意見に最も近いものはどれでしょうか。..... | 30 |

< III. 子どもの人権について >

| | |
|-----------------------------------------------|----|
| 問9 あなたは、子どもに関することで現在どのような人権問題があると思いますか。..... | 47 |
| 問10 あなたは、あなたの周りにいる子どもが幸せに過ごしているように思いますか。..... | 50 |

< IV. 高齢者の人権について >

| | |
|------------------------------------------------|----|
| 問11 あなたは、高齢者に関することで、現在どのような人権問題があると思いますか。..... | 56 |
| 問12 あなたは、高齢者は大切にされていると思いますか。..... | 60 |

< V. 障がい者の人権について >

| | |
|-------------------------------------------------|----|
| 問13 あなたは、障がい者に関することで、現在どのような人権問題があると思いますか。..... | 64 |
| 問14 あなたは、障がい者の人権は保障されていると思いますか。..... | 67 |

<VI. 部落差別の問題(同和問題)について>

| | | |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 問15 | あなたは部落差別の問題(同和問題)を知っていますか。..... | 71 |
| 問16 | あなたは、学校や職場、地域で、部落差別の問題(同和問題)について、学習したことがありますか。..... | 73 |
| 問17 | 部落差別の問題(同和問題)について、あなたがはじめて知ったのはどんなきっかけですか。..... | 75 |
| 問18 | あなたは、部落差別の問題(同和問題)に関する事で、現在どのような人権問題があると思いますか。..... | 79 |
| 問19 | 部落差別意識を持つ人はまだいると思いますか。..... | 82 |
| 問20 | 被差別部落(同和地区)の人に対する差別意識は、近い将来(5~10年後位)になくすることができると思いますか。..... | 84 |
| 問21 | 被差別部落(同和地区)の人に対する差別意識が現れるのはどんな時だと思いますか。..... | 86 |
| 問22 | 現在もなお部落差別の問題(同和問題)がなくなるのは、なぜだと思いますか。..... | 89 |
| 問23 | あなたが被差別部落(同和地区)出身の人と恋愛をし、その人と結婚しようとしたとき、家族や親戚から強い反対を受けたとしたら、あなたはどうされますか(あなたが婚姻しているかどうかに関わらずお答えください)。..... | 92 |
| 問24 | あなたの子ども、あるいは孫が被差別部落(同和地区)出身の人と恋愛をし、その人と結婚したいと言ったらあなたはどうされますか。..... | 94 |
| 問25 | あなたは、部落差別の問題(同和問題)を解消するためには、今後どうすればよいと思いますか。..... | 96 |
| 問26 | 行政や学校・社会などで人権教育・部落差別の解消推進のための教育(同和教育)を進めることをどう思いますか。..... | 99 |

<VII. 外国人の人権について>

| | | |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 問27 | あなたは、日本に居住する外国人に関する事で、現在どのような人権問題があると思いますか。..... | 101 |
| 問28 | あなたが外国人や外国籍の人と恋愛をし、その人と結婚しようとしたとき、家族や親戚から強い反対を受けたとしたら、あなたはどうされますか(あなたが婚姻しているかどうかに関わらずお答えください)。..... | 104 |
| 問29 | あなたの子ども、あるいは孫が、外国人と恋愛をし、その人と結婚したいと言ったら、あなたはどうされますか。..... | 106 |

<VIII. 医療その他の人権について>

| | | |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 問30 | あなたは、HIV(エイズウイルス)に感染した人やエイズ患者、その家族に関する事で、現在どのような人権問題があると思いますか。..... | 108 |
| 問31 | あなたは、ハンセン病元患者やその家族に関する事で、現在どのような人権問題があると思いますか。..... | 111 |
| 問32 | あなたは、犯罪被害者やその家族などに関する事で、現在どのような人権問題があると思いますか。..... | 114 |
| 問33 | あなたは、インターネットに関する事で、現在どのような人権問題があると思いますか。..... | 117 |
| 問34 | あなたは、性的指向(異性愛、同性愛、両性愛など)や性別違和(生物学的な性と心の性が一致しないこと)などに関する事で、現在どのような人権問題があると思いますか。..... | 121 |
| 問35 | あなたは、東日本大震災やそれにもなう福島第一原子力発電所の事故の発生により、現在、被災者にどのような人権問題があると思いますか。..... | 125 |

<IX. 啓発活動について>

- 問36 あなたは市の広報誌(市報くにさき)に掲載されている啓発記事(「こころをつなぐまちづくり」)や、人権についてのチラシや冊子などを読んだことがありますか。.....129
- 問37 人権に関する研修会について、あなたがこれまでに参加したことがあるものを選んでください。.....131
- 問38 人権の大切さを多くの人に知ってもらうには、どんな方法が効果的だと思いますか(または、あなたならどれが良いですか)。.....134
- 問39 あなたは、次にあげる憲法や法律などを、どの程度ご存知ですか。.....137

<X. その他について>

- 問40 あなたや身内の結婚式の日取りは、次のどれによって決めたいと思いますか。.....166
- 問41 もし、あなたやあなたのご家族が亡くなった場合、お葬式の日程はどうしたいと思いますか。.....168
- 問42 結婚・就職についての身元調査をどう考えますか。.....170
- 問43 差別的態度をされたり、見たりしたとき、あなたはどうしますか。.....172

<自由意見集>

- 自由意見.....174

<資料編>

- 調査票.....184

第1章

人権に関する市民意識調査の概要

1. 調査概要

(1) 調査の目的

近年、子どもや障がい者、高齢者等に対する暴力・虐待、インターネット上での部落差別や新型コロナウイルスに関する誹謗・中傷の書き込みなど、人権問題は複雑・多様化しています。

こうした中、これまで取り組んできた人権施策の成果と課題を明らかにするため、差別のない、明るく住みやすい国東市となるよう、さまざまな施策を実施していますが、その一つとして、国東市の人権施策をより効果的なものとするために、5年に1度、人権に関するアンケート調査を実施しています。

2015年の調査から5年が経過したことにより、本年度改めて調査を実施し、その結果をより効果的な人権施策につなげるための基礎データとします。

(2) 調査の設計

| | |
|---------|-------------------------|
| 調査対象者 | 国東市在住の満18歳以上の男女 |
| 対象者数 | 2,000人(住民基本台帳から層化無作為抽出) |
| 配布・回収方法 | 郵送による配布・回収を実施 |
| 調査の期間 | 令和2年7月～令和2年8月 |

(3) 回収結果

本調査の有効回答数・回答率は以下のとおりです。

| | 配布数 (人) | 回収数 (人) | 有効回収数 (人) | 有効回収率 (%) |
|----|------------|------------|--------------|--------------|
| 全体 | 2,000 | 958 | 957 | 47.9 |

(4) 調査集計にあたっての留意事項

○回答結果は小数点第2位を四捨五入しているため、単回答(複数の選択肢からひとつだけを選ぶ形式)の割合の合計が100%にならない場合があります。

複数回答(「MA」2つ以上の回答を選ぶことのできる形式)の項目は、有効標本数全体もしくは各属性の合計に対して各々の割合を示しますので、各選択肢の回答の割合を合計しても100%とはなりません。

○本報告書における「n」「SA」「MA」の意味は次のとおりです。

「n」 : サンプル数

「SA」 : 単回答(Single Answer の略)

「MA」 : 複数回答(Multiple Answer の略)

○本文中、表、グラフにおいて、国東市の2015調査との比較とあるものは、2015(平成27)年度調査との比較です。大分県は、2018(平成30)年度「人権に関する県民意識調査」との比較になります。

○本文中、表、グラフにおいて、設問の選択肢が長い文の場合、簡略化して表示している場合があります。

2. 回答者の属性

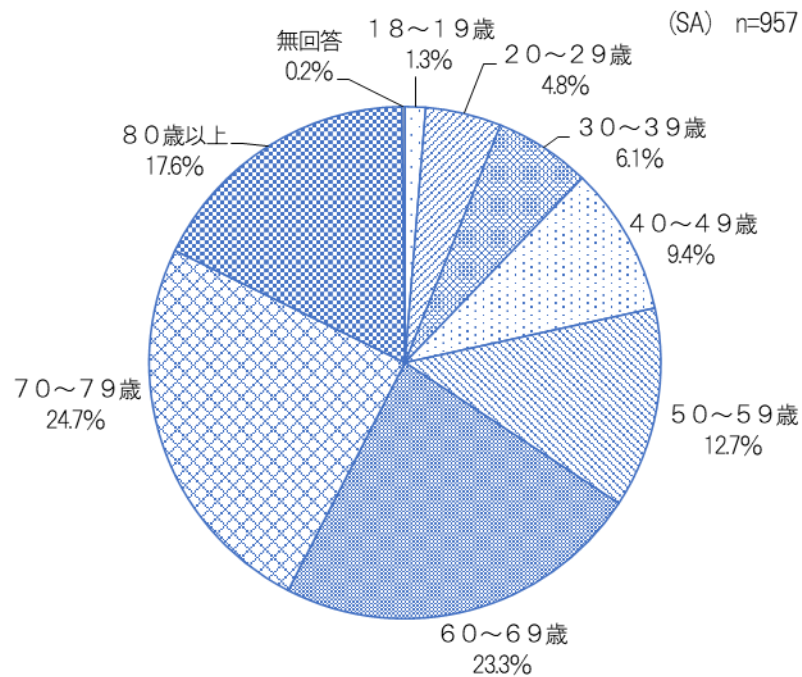
[SA]

F1 あなたの年齢について(令和2年4月1日現在の満年齢)。

SA

上段:人数 下段:割合

| 18～19歳 | 20～29歳 | 30～39歳 | 40～49歳 | 50～59歳 | 60～69歳 | 70～79歳 | 80歳以上 | 無回答 | 合計 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|-----|-----|
| 12 | 46 | 58 | 90 | 122 | 223 | 236 | 168 | 2 | 957 |
| 1.3 | 4.8 | 6.1 | 9.4 | 12.7 | 23.3 | 24.7 | 17.6 | 0.2 | 100 |



■各年代ごとに無作為抽出し回収した結果、市全体では、「70歳～79歳」が24.7%と最も高く、次いで「60歳～69歳」(23.3%)、「80歳以上」(17.6%)となっています。

F2 あなたの職業について。

SA

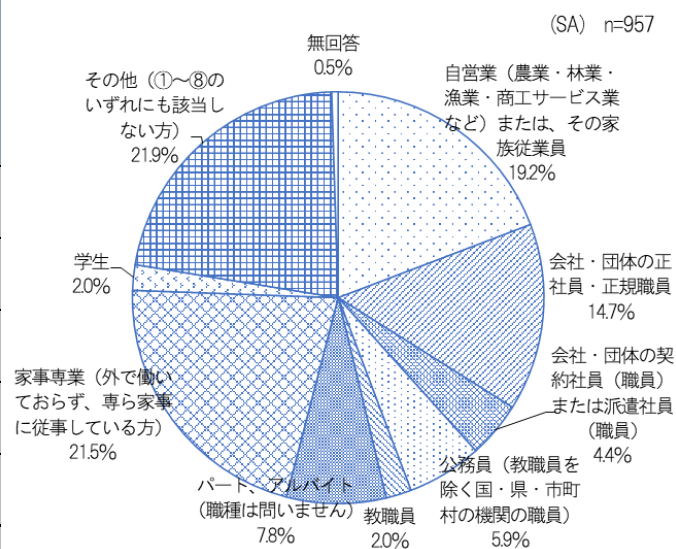
上段:人数 下段:割合

| 2020 調査結果 | 自営業(農 業・林業・漁 業・商工サー ビス業など) または、その 家族従業員 | 会社・団体の 正社員・正規 職員 | 会社・団体の 契約社員(職 員)または派 遣社員(職 員) | 公務員(教職 員を除く国・ 県・市町村の 機関の職員) | 教職員 | パート、アル バイト(職種 は問いませ ん) | 家事専業(外 で働いてお らず、専ら家 事に従事し ている方) |
|--------------|--------------------------------------------------------|------------------------|-------------------------------------------|--------------------------------------|-----------|---------------------------------|---------------------------------------------|
| 18~19歳 | 1 8.3 | 3 25.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| 20~29歳 | 0 0.0 | 13 28.3 | 1 2.2 | 13 28.3 | 1 2.2 | 3 6.5 | 2 4.3 |
| 30~39歳 | 5 8.6 | 28 48.3 | 2 3.4 | 12 20.7 | 1 1.7 | 7 12.1 | 1 1.7 |
| 40~49歳 | 15 16.7 | 34 37.8 | 7 7.8 | 11 12.2 | 2 2.2 | 11 12.2 | 6 6.7 |
| 50~59歳 | 19 15.6 | 38 31.1 | 10 8.2 | 14 11.5 | 12 9.8 | 16 13.1 | 4 3.3 |
| 60~69歳 | 44 19.7 | 18 8.1 | 18 8.1 | 6 2.7 | 2 0.9 | 29 13.0 | 56 25.1 |
| 70~79歳 | 66 28.0 | 3 1.3 | 4 1.7 | 0 0.0 | 1 0.4 | 9 3.8 | 83 35.2 |
| 80歳以上 | 33 19.6 | 3 1.8 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 54 32.1 |
| 無回答 | 1 50.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| 全体 | 184 19.2 | 141 14.7 | 42 4.4 | 56 5.9 | 19 2.0 | 75 7.8 | 206 21.5 |

SA

上段:人数 下段:割合

| 2020 調査結果 | 学生 | その他 (①~⑧のい ずれにも該 当しない方) | 無回答 | 合計 |
|--------------|-----------|----------------------------------|----------|------------|
| 18~19歳 | 8 66.7 | 0 0.0 | 0 0.0 | 12 100 |
| 20~29歳 | 8 17.4 | 4 8.7 | 1 2.2 | 46 100 |
| 30~39歳 | 0 0.0 | 2 3.4 | 0 0.0 | 58 100 |
| 40~49歳 | 1 1.1 | 3 3.3 | 0 0.0 | 90 100 |
| 50~59歳 | 0 0.0 | 9 7.4 | 0 0.0 | 122 100 |
| 60~69歳 | 1 0.4 | 49 22.0 | 0 0.0 | 223 100 |
| 70~79歳 | 0 0.0 | 70 29.7 | 0 0.0 | 236 100 |
| 80歳以上 | 1 0.6 | 73 43.5 | 4 2.4 | 168 100 |
| 無回答 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 100 |
| 全体 | 19 2.0 | 210 21.9 | 5 0.5 | 957 100 |



■市全体では、「その他(いずれにも該当しない方)」が21.9%と最も高く、次いで「家事専業(外で働いておらず、専ら家事に従事している方)」(21.5%)、「自営業(農業・林業・漁業・商工サービス業など)または、その家族従業員」(19.2%)となっています。

第2章

人権に関する市民意識調査の結果

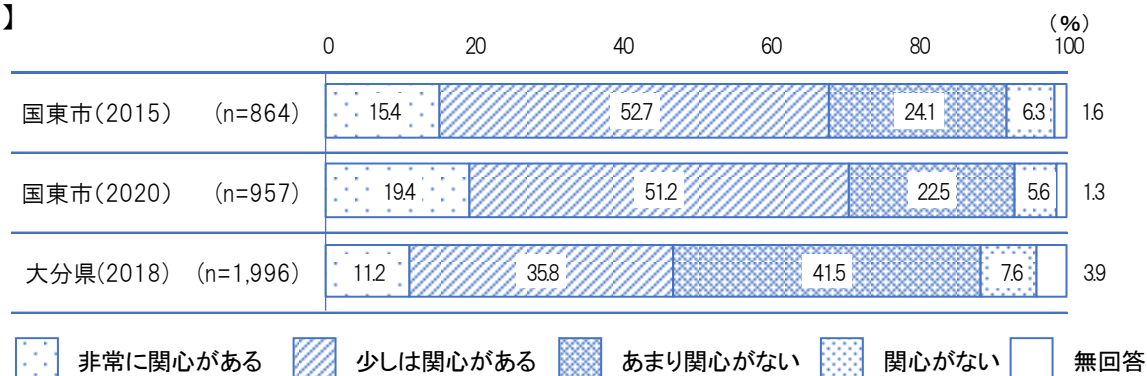
I. 人権全般について(問1～問5)

[SA]

問1 あなたは人権問題に関心を持っていますか。

| 2020 調査結果 | 上段:人数 下段:割合 | | | | | 合計 |
|--------------|--------------|--------------|--------------|-----------|-----------|------------|
| | 非常に 関心がある | 少しは 関心がある | あまり 関心がない | 関心がない | 無回答 | |
| 18～19歳 | 3 25.0 | 5 41.7 | 4 33.3 | 0 0.0 | 0 0.0 | 12 100 |
| 20～29歳 | 9 19.6 | 29 63.0 | 7 15.2 | 1 2.2 | 0 0.0 | 46 100 |
| 30～39歳 | 4 6.9 | 35 60.3 | 13 22.4 | 6 10.3 | 0 0.0 | 58 100 |
| 40～49歳 | 14 15.6 | 47 52.2 | 25 27.8 | 4 4.4 | 0 0.0 | 90 100 |
| 50～59歳 | 23 18.9 | 65 53.3 | 28 23.0 | 5 4.1 | 1 0.8 | 122 100 |
| 60～69歳 | 47 21.1 | 113 50.7 | 49 22.0 | 14 6.3 | 0 0.0 | 223 100 |
| 70～79歳 | 53 22.5 | 122 51.7 | 47 19.9 | 12 5.1 | 2 0.8 | 236 100 |
| 80歳以上 | 33 19.6 | 74 44.0 | 41 24.4 | 12 7.1 | 8 4.8 | 168 100 |
| 無回答 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 2 100 |
| 全体 | 186 19.4 | 490 51.2 | 215 22.5 | 54 5.6 | 12 1.3 | 957 100 |

【全体】

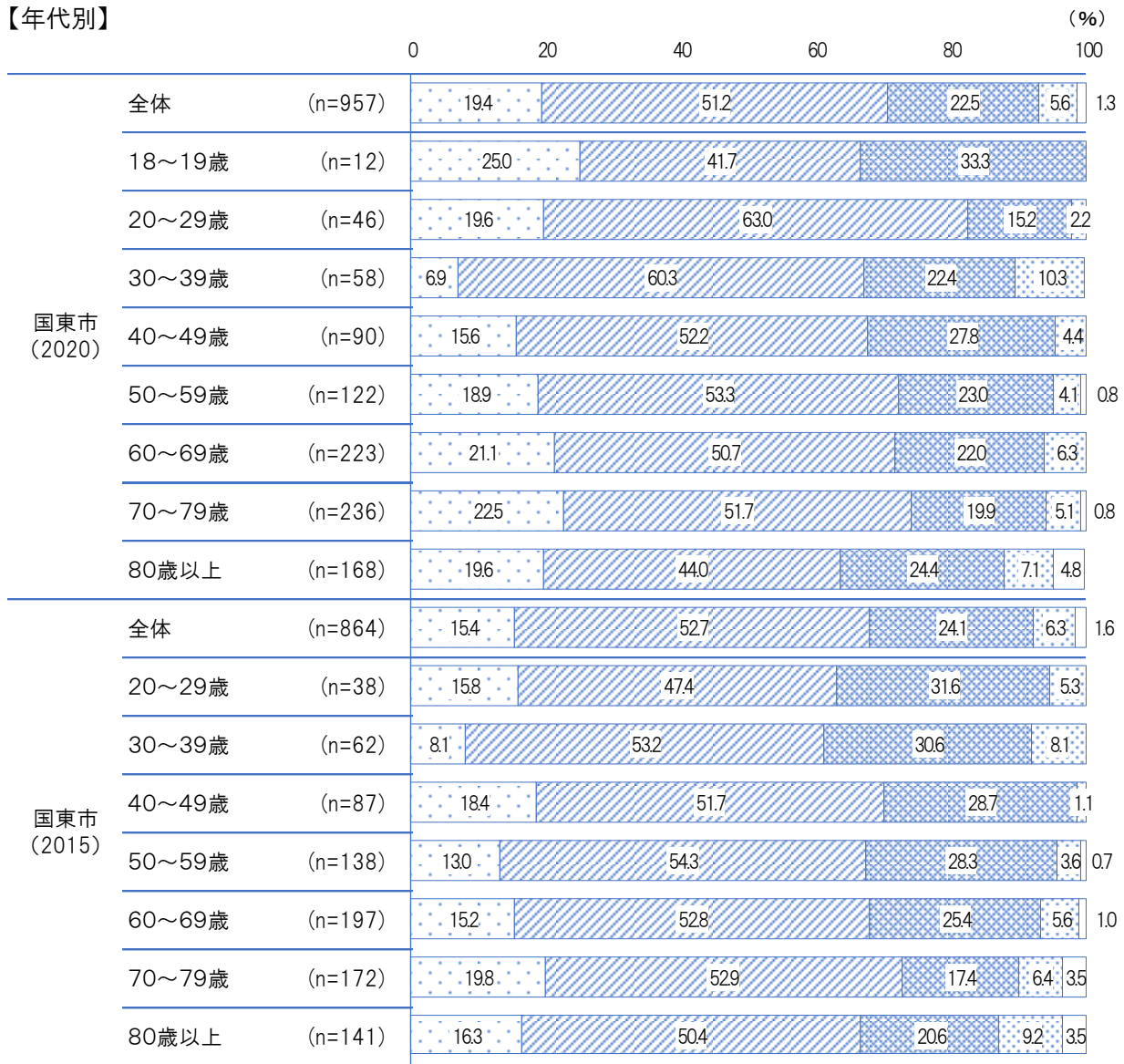


■市全体では、「少しは関心がある」が 51.2%と最も高く、次いで「あまり関心がない」(22.5%)、「非常に関心がある」(19.4%)となっており、約7割の人が関心(非常に関心がある+少しは関心がある)を持っています。

■2015調査と比較すると市全体では、「非常に関心がある」の割合が 4.0 ㊦増加しています。大分県2018調査との比較では、「非常に関心がある」の割合が大分県よりも 8.2 ㊦増加しています。

※2020調査では「少しは関心がある」という回答項目に対して、大分県調査では「かなり関心がある」という回答項目になっているため完全比較にはなっていません。

【年代別】



非常に興味がある
 少しは興味がある
 あまり興味がない
 興味がない
 無回答

- ◆年代別では、「非常に興味がある＋少しは興味がある」の割合が最も高いのは20～29歳で 82.6%、次いで70～79歳(74.2%)、50～59歳(72.2%)となっています。
- ◆2015調査と比較すると年代別では、20～29歳で「非常に興味がある＋少しは興味がある」の割合が 19.4 ㊦増加し、80歳以上では 3.1 ㊦減少しています。

問2 あなたが、国内の人権課題で、特に関心があるのはどの課題ですか。

MA

上段:人数 下段:割合

| 2020 調査結果 | 女性の人権 | 高齢者の 人権 | 子どもの 人権 | 障がい者の 人権 | 部落差別の 問題 | アイヌの人々 など少数民 族の人権 | HIV感染者・ エイズ患者 の人権 | ハンセン病元 患者やその 家族の人権 |
|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------------------|-------------------------|--------------------------|
| 18～19歳 | 5 41.7 | 3 25.0 | 4 33.3 | 6 50.0 | 2 16.7 | 1 8.3 | 2 16.7 | 1 8.3 |
| 20～29歳 | 19 41.3 | 7 15.2 | 14 30.4 | 18 39.1 | 13 28.3 | 1 2.2 | 6 13.0 | 1 2.2 |
| 30～39歳 | 23 39.7 | 8 13.8 | 20 34.5 | 22 37.9 | 17 29.3 | 6 10.3 | 4 6.9 | 5 8.6 |
| 40～49歳 | 30 33.3 | 16 17.8 | 34 37.8 | 42 46.7 | 22 24.4 | 11 12.2 | 9 10.0 | 13 14.4 |
| 50～59歳 | 44 36.1 | 37 30.3 | 43 35.2 | 66 54.1 | 39 32.0 | 8 6.6 | 13 10.7 | 11 9.0 |
| 60～69歳 | 91 40.8 | 78 35.0 | 75 33.6 | 110 49.3 | 73 32.7 | 19 8.5 | 11 4.9 | 25 11.2 |
| 70～79歳 | 70 29.7 | 106 44.9 | 68 28.8 | 119 50.4 | 79 33.5 | 19 8.1 | 21 8.9 | 27 11.4 |
| 80歳以上 | 46 27.4 | 95 56.5 | 42 25.0 | 66 39.3 | 45 26.8 | 9 5.4 | 11 6.5 | 18 10.7 |
| 無回答 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| 全体 | 328 34.3 | 350 36.6 | 300 31.3 | 450 47.0 | 290 30.3 | 74 7.7 | 77 8.0 | 101 10.6 |

MA

上段:人数 下段:割合

| 2020 調査結果 | 外国人・外国 人労働者の 人権 | 在日韓国・朝 鮮人の人権 | 犯罪被害者 やその家族 などの人権 | 刑をおえて出 所した人の 人権 | インターネット などによる 人権侵害 | 北朝鮮当局 によって拉致 された被害 者やその家 族など | ホームレス の人権 | 性的指向 |
|--------------|-----------------------|-----------------|-------------------------|-----------------------|--------------------------|------------------------------------------|--------------|------------|
| 18～19歳 | 3 25.0 | 4 33.3 | 2 16.7 | 0 0.0 | 8 66.7 | 2 16.7 | 0 0.0 | 3 25.0 |
| 20～29歳 | 7 15.2 | 8 17.4 | 10 21.7 | 5 10.9 | 31 67.4 | 6 13.0 | 5 10.9 | 16 34.8 |
| 30～39歳 | 10 17.2 | 5 8.6 | 12 20.7 | 8 13.8 | 40 69.0 | 7 12.1 | 5 8.6 | 12 20.7 |
| 40～49歳 | 18 20.0 | 11 12.2 | 24 26.7 | 12 13.3 | 64 71.1 | 9 10.0 | 11 12.2 | 15 16.7 |
| 50～59歳 | 24 19.7 | 14 11.5 | 34 27.9 | 12 9.8 | 79 64.8 | 25 20.5 | 10 8.2 | 12 9.8 |
| 60～69歳 | 29 13.0 | 18 8.1 | 47 21.1 | 20 9.0 | 113 50.7 | 50 22.4 | 11 4.9 | 17 7.6 |
| 70～79歳 | 26 11.0 | 19 8.1 | 41 17.4 | 24 10.2 | 86 36.4 | 70 29.7 | 21 8.9 | 14 5.9 |
| 80歳以上 | 12 7.1 | 6 3.6 | 10 6.0 | 15 8.9 | 44 26.2 | 44 26.2 | 8 4.8 | 6 3.6 |
| 無回答 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| 全体 | 129 13.5 | 85 8.9 | 180 18.8 | 96 10.0 | 465 48.6 | 213 22.3 | 71 7.4 | 95 9.9 |

| 2020 調査結果 | 性別違和 | 人身取引 | 東日本大震 災にともなう 人権問題 | 上記のような 条件が重 なった人に対 する重層的 差別 | その他 | 特にない | 無回答 | 合計 |
|--------------|------|------|-------------------------|-----------------------------------------|-----|------|------|-----|
| 18～19歳 | 2 | 0 | 1 | 2 | 1 | 0 | 0 | 12 |
| | 16.7 | 0.0 | 8.3 | 16.7 | 8.3 | 0.0 | 0.0 | 100 |
| 20～29歳 | 9 | 6 | 5 | 5 | 1 | 4 | 0 | 46 |
| | 19.6 | 13.0 | 10.9 | 10.9 | 2.2 | 8.7 | 0.0 | 100 |
| 30～39歳 | 11 | 8 | 9 | 7 | 5 | 6 | 0 | 58 |
| | 19.0 | 13.8 | 15.5 | 12.1 | 8.6 | 10.3 | 0.0 | 100 |
| 40～49歳 | 13 | 11 | 12 | 13 | 3 | 4 | 1 | 90 |
| | 14.4 | 12.2 | 13.3 | 14.4 | 3.3 | 4.4 | 1.1 | 100 |
| 50～59歳 | 13 | 10 | 13 | 25 | 6 | 4 | 2 | 122 |
| | 10.7 | 8.2 | 10.7 | 20.5 | 4.9 | 3.3 | 1.6 | 100 |
| 60～69歳 | 17 | 14 | 27 | 24 | 6 | 21 | 3 | 223 |
| | 7.6 | 6.3 | 12.1 | 10.8 | 2.7 | 9.4 | 1.3 | 100 |
| 70～79歳 | 10 | 24 | 26 | 39 | 4 | 22 | 4 | 236 |
| | 4.2 | 10.2 | 11.0 | 16.5 | 1.7 | 9.3 | 1.7 | 100 |
| 80歳以上 | 3 | 6 | 12 | 28 | 2 | 21 | 1 | 168 |
| | 1.8 | 3.6 | 7.1 | 16.7 | 1.2 | 12.5 | 0.6 | 100 |
| 無回答 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 2 |
| | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 100 |
| 全体 | 78 | 79 | 105 | 144 | 28 | 82 | 12 | 957 |
| | 8.2 | 8.3 | 11.0 | 15.0 | 2.9 | 8.6 | 1.3 | 100 |

■市全体で関心がある人権問題は、「インターネットなどによる人権侵害」が 48.6%と最も高く、次いで「障がい者の人権」(47.0%)、「高齢者の人権」(36.6%)となっています。

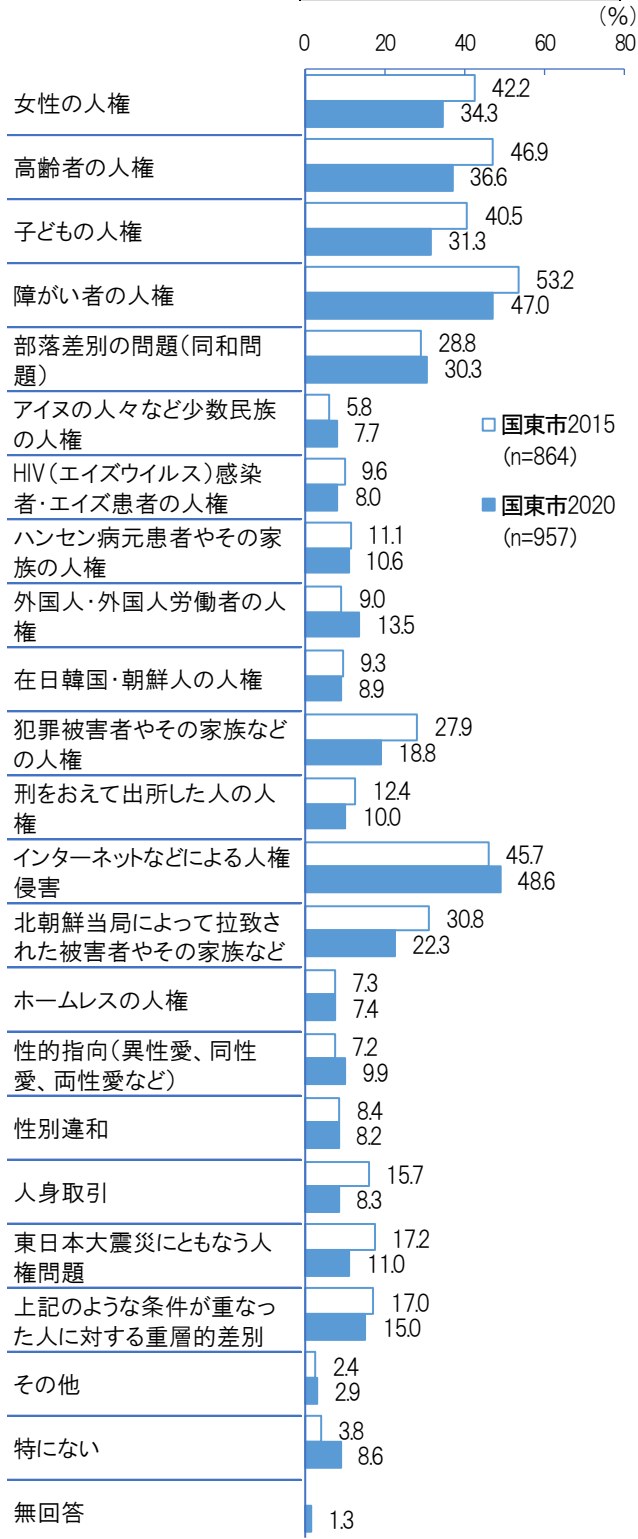
■2015調査と比較すると、市全体では、「外国人・外国人労働者の人権」の割合が 4.5 ㊦、次いで「インターネットなどによる人権侵害」(2.9 ㊦)が増加しています。大分県2018調査との比較では、「インターネットなどによる人権侵害」の割合が 15.0 ㊦、次いで「部落差別の問題(同和問題)」(9.1 ㊦)などが大分県よりも増加しています。

◆年代別では、「インターネットなどによる人権侵害」の割合が最も高いのは40～49歳で 71.1%、次いで30～39歳(69.0%)、20～29歳(67.4%)となっています。

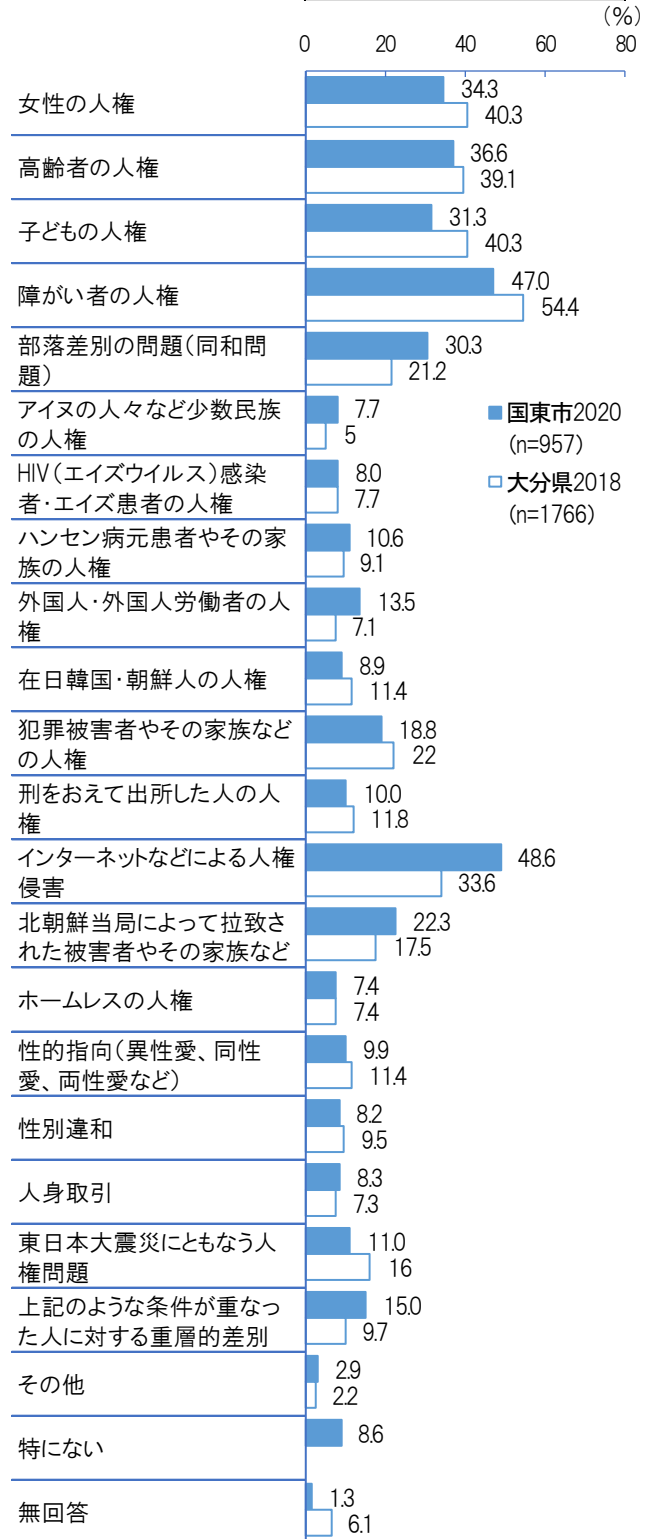
◆2015調査と比較すると年代別では、「インターネットなどによる人権侵害」の割合が最も増加したのは、30～39歳で 27.1 ㊦、次いで40～49歳(9.0 ㊦)、50～59歳(8.3 ㊦)となっています。

【全体】

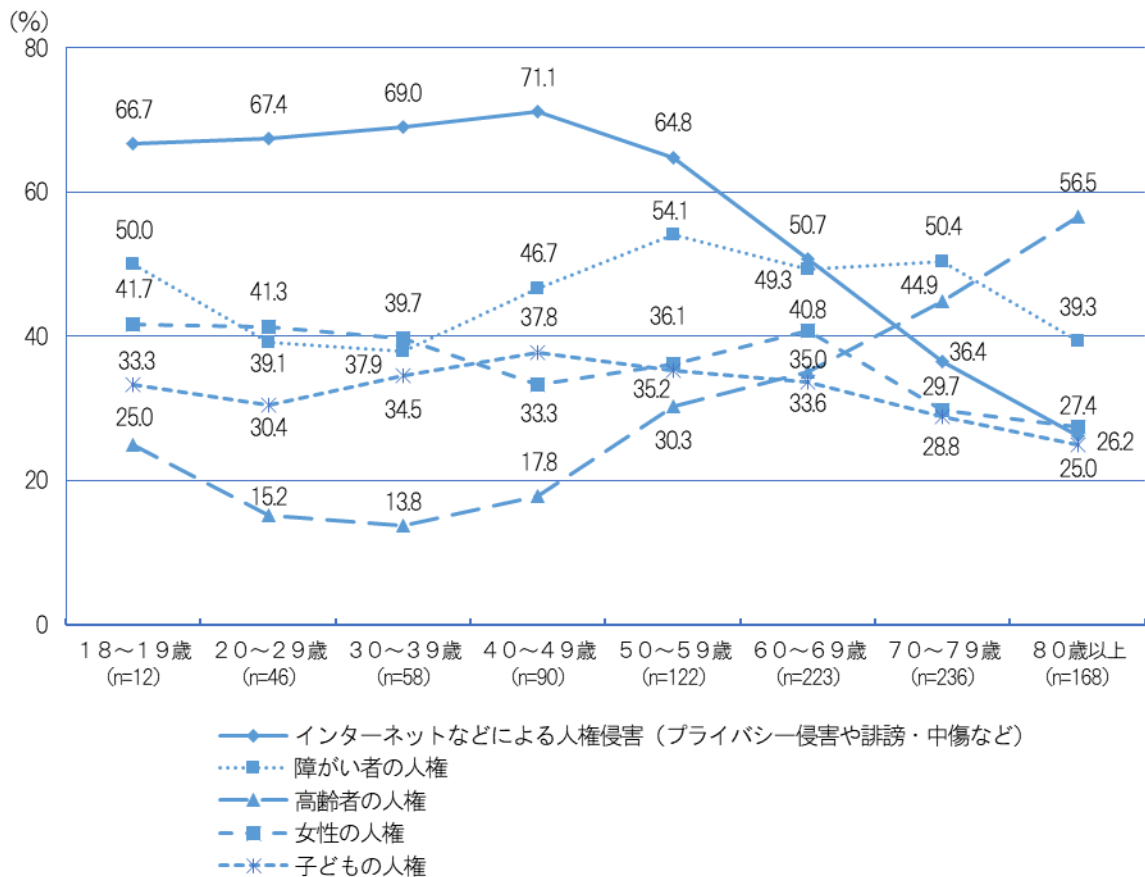
国東市2015との比較



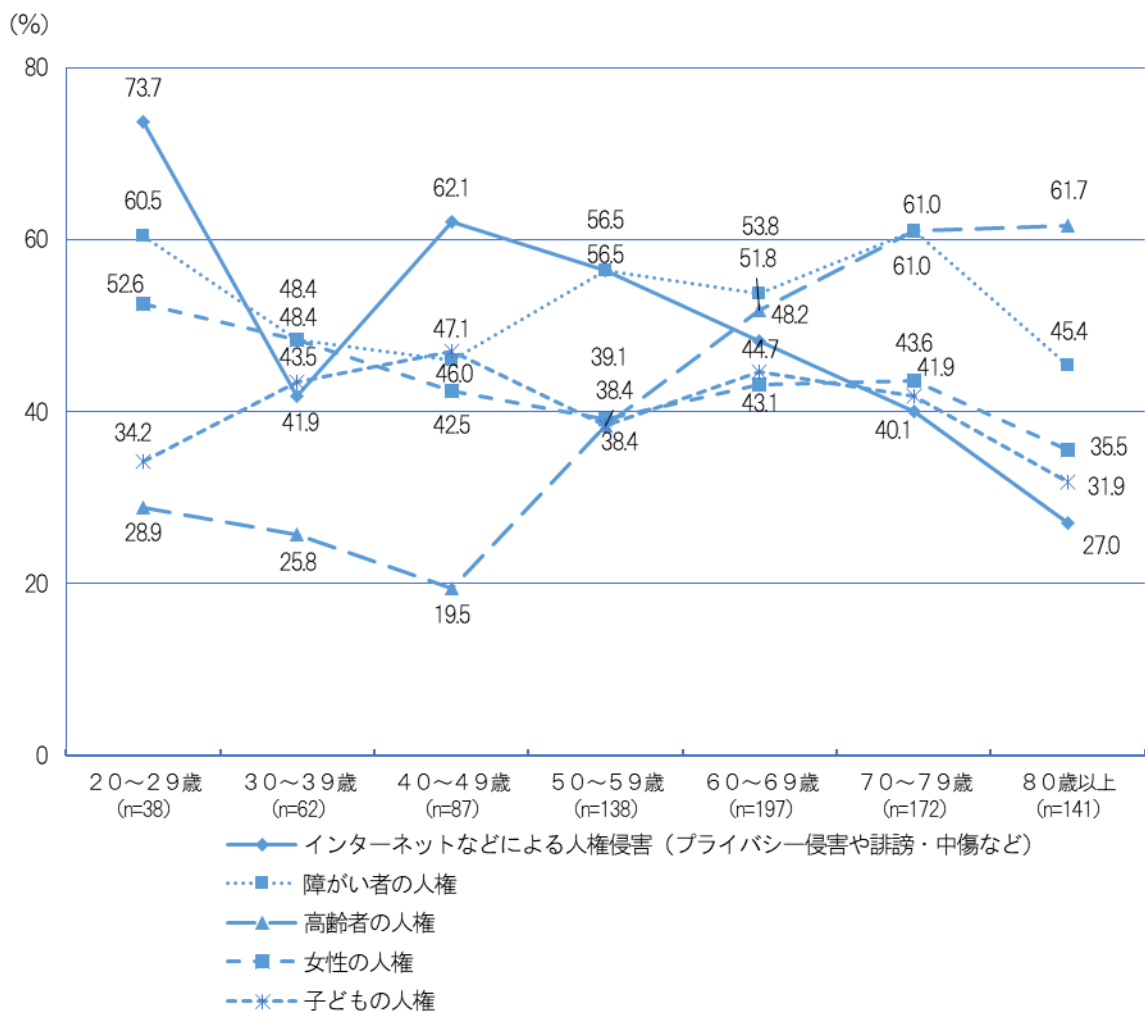
大分県2018との比較



【年代別】<【国東市2020】 国内の人権問題で関心がある上位5項目の年代別状況>



<【国東市2015】 国内の人権問題で関心がある上位5項目の年代別状況>



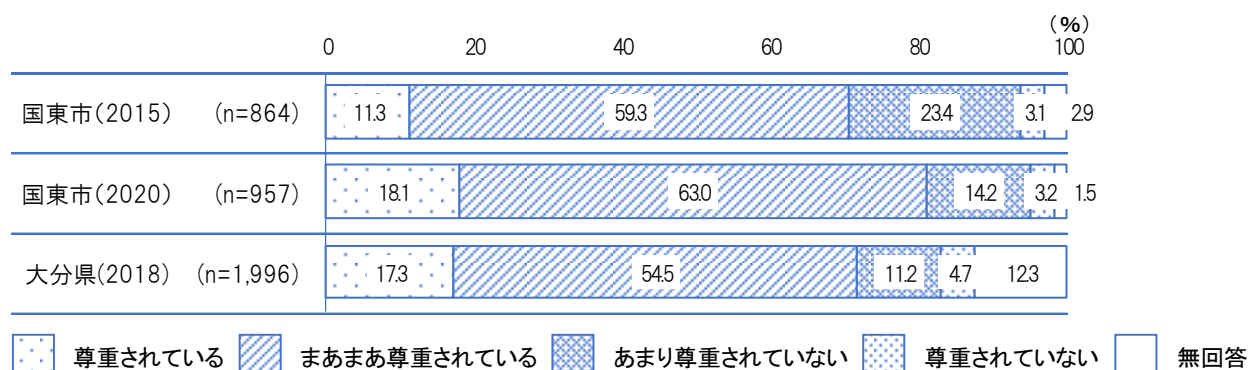
問3 あなたは、国東市では人権が尊重されていると思いますか。

SA

上段:人数 下段:割合

| 2020 調査結果 | 尊重されている | まあまあ 尊重されている | あまり尊重 されていない | 尊重 されていない | 無回答 | 合計 |
|--------------|-------------|-----------------|-----------------|--------------|-----------|------------|
| 18～19歳 | 5 41.7 | 5 41.7 | 2 16.7 | 0 0.0 | 0 0.0 | 12 100 |
| 20～29歳 | 13 28.3 | 25 54.3 | 8 17.4 | 0 0.0 | 0 0.0 | 46 100 |
| 30～39歳 | 8 13.8 | 36 62.1 | 10 17.2 | 4 6.9 | 0 0.0 | 58 100 |
| 40～49歳 | 12 13.3 | 58 64.4 | 17 18.9 | 2 2.2 | 1 1.1 | 90 100 |
| 50～59歳 | 18 14.8 | 82 67.2 | 18 14.8 | 3 2.5 | 1 0.8 | 122 100 |
| 60～69歳 | 36 16.1 | 152 68.2 | 22 9.9 | 11 4.9 | 2 0.9 | 223 100 |
| 70～79歳 | 38 16.1 | 153 64.8 | 34 14.4 | 5 2.1 | 6 2.5 | 236 100 |
| 80歳以上 | 42 25.0 | 91 54.2 | 25 14.9 | 6 3.6 | 4 2.4 | 168 100 |
| 無回答 | 1 50.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 100 |
| 全体 | 173 18.1 | 603 63.0 | 136 14.2 | 31 3.2 | 14 1.5 | 957 100 |

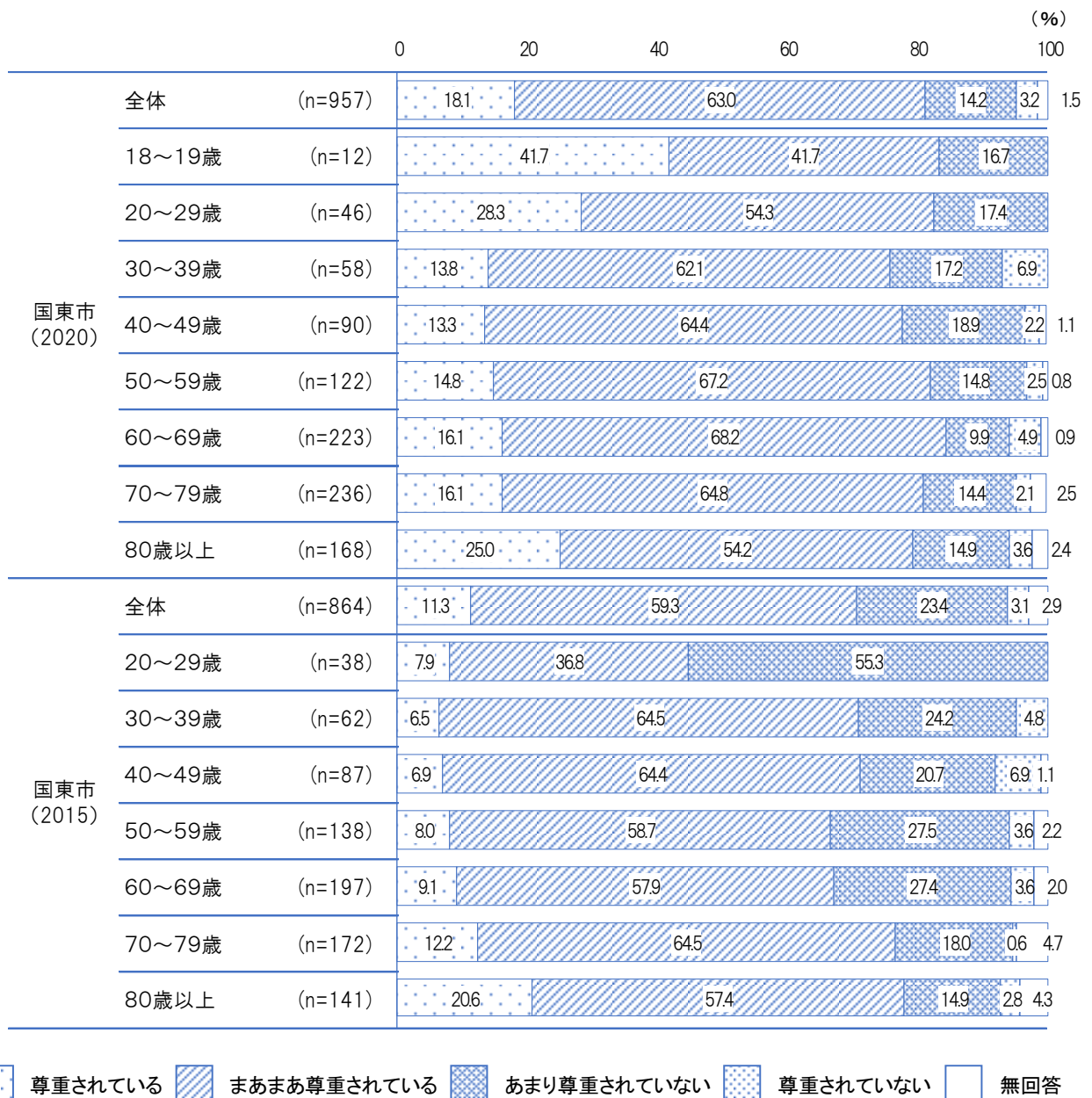
【全体】



■市全体では、「まあまあ尊重されている」が 63.0%と最も高く、次いで「尊重されている」(18.1%)、「あまり尊重されていない」(14.2%)となっており、約8割の人が尊重されている(尊重されている+まあまあ尊重されている)と思っていると答えています。

■2015調査と比較すると市全体では、「あまり尊重されていない」の割合が 9.2 ㊦減少し、「尊重されている+まあまあ尊重されている」の割合は 10.5 ㊦増加しています。大分県2018調査との比較では、「尊重されている+まあまあ尊重されている」の割合は大分県よりも 9.3 ㊦増加しています。

【年代別】

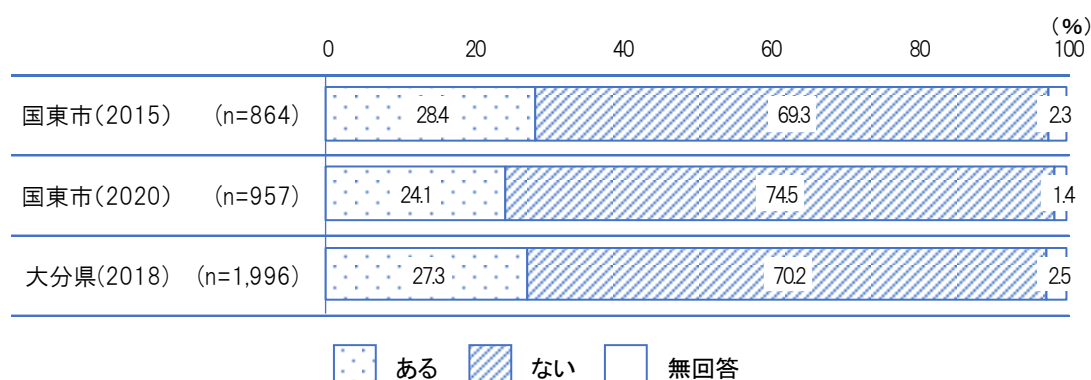


- ◆年代別では、「尊重されている+まあまあ尊重されている」の割合が最も高いのは60～69歳で 84.3%、次いで18～19歳(83.4%)、20～29歳(82.6%)となっています。
- ◆2015調査と比較すると年代別では、「尊重されている+まあまあ尊重されている」の割合が最も増加したのは20～29歳で 37.9 ㊦、次いで60～69歳(17.3 ㊦)、50～59歳(15.3 ㊦)となっています。

問4 あなたは、今までに自分が差別されたり、自己的人権が侵害されたと思ったことはありますか。

| 2020 調査結果 | SA | | | 合計 |
|--------------|-------------|-------------|-----------|------------|
| | ある | ない | 無回答 | |
| 18～19歳 | 1 8.3 | 11 91.7 | 0 0.0 | 12 100 |
| 20～29歳 | 9 19.6 | 37 80.4 | 0 0.0 | 46 100 |
| 30～39歳 | 16 27.6 | 42 72.4 | 0 0.0 | 58 100 |
| 40～49歳 | 30 33.3 | 60 66.7 | 0 0.0 | 90 100 |
| 50～59歳 | 36 29.5 | 86 70.5 | 0 0.0 | 122 100 |
| 60～69歳 | 46 20.6 | 176 78.9 | 1 0.4 | 223 100 |
| 70～79歳 | 59 25.0 | 175 74.2 | 2 0.8 | 236 100 |
| 80歳以上 | 33 19.6 | 125 74.4 | 10 6.0 | 168 100 |
| 無回答 | 1 50.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 2 100 |
| 全体 | 231 24.1 | 713 74.5 | 13 1.4 | 957 100 |

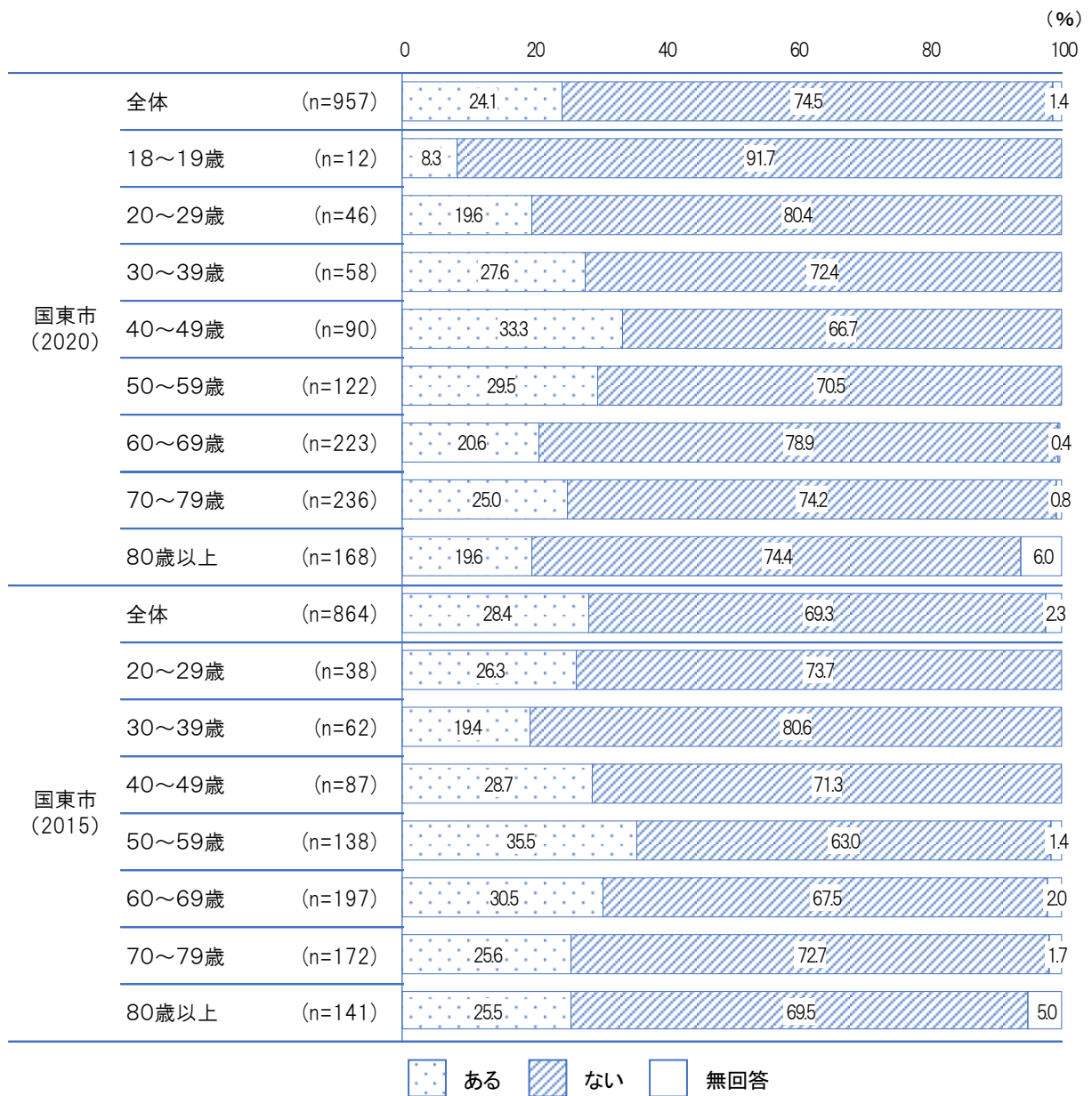
【全体】



■市全体では、「ない」が74.5%と最も高くなっており、約7割の人が今までに自分が差別されたり、人権が侵害されたと思ったことはないと答えています。

■2015調査と比較すると市全体では、「ある」の割合が4.3 ㊦減少し、「ない」の割合は5.2 ㊦増加しています。大分県2018調査との比較では、「ある」の割合が3.2 ㊦減少し、「ない」の割合は大分県よりも4.3 ㊦増加しています。

【年代別】



- ◆年代別では、「ある」の割合が最も高いのは40～49歳で 33.3%、次いで50～59歳(29.5%)、30～39歳(27.6%)となっています。
- ◆2015調査と比較すると年代別では、「ある」の割合が最も増加したのは30～39歳で8.2ポイント、次いで40～49歳(4.6ポイント)となっています。

問4-ア 【問4で「①ある」と答えた方にお伺いします。】それはどのような性質のものですか。

MA

上段:人数 下段:割合

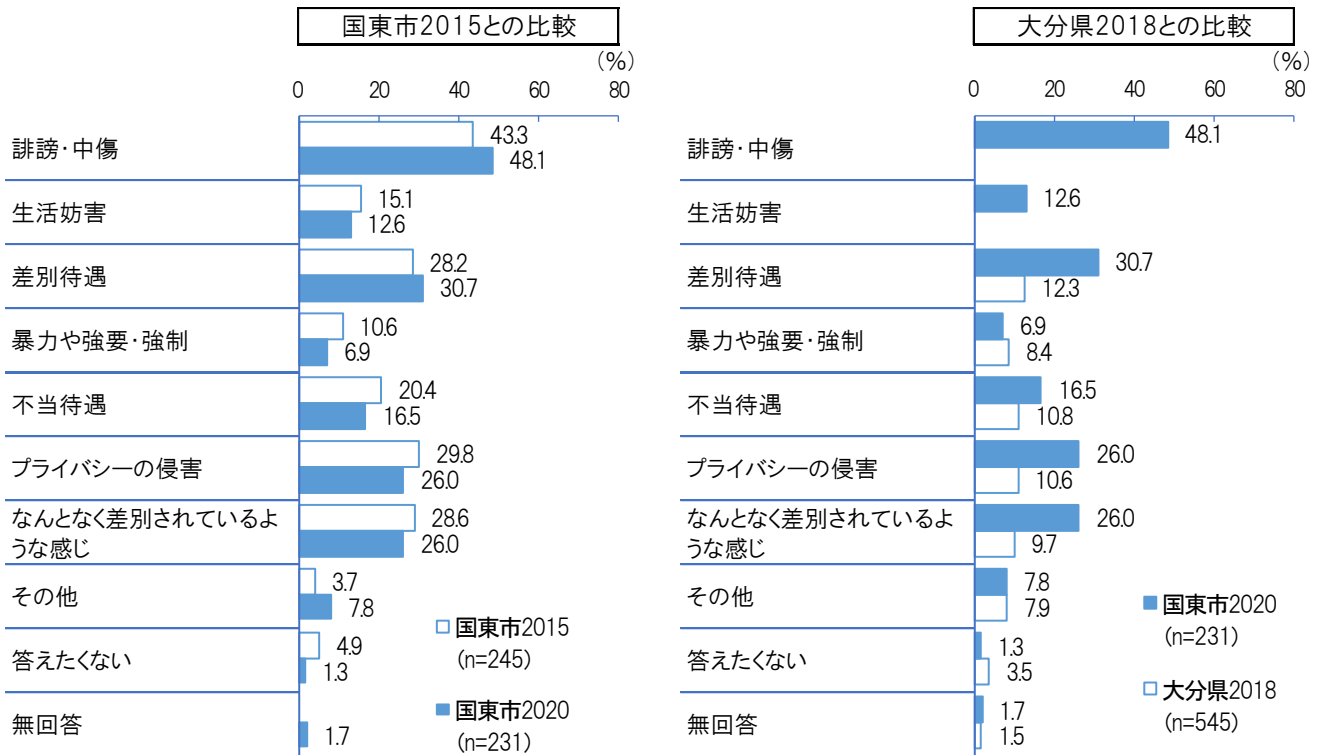
| 2020 調査結果 | 誹謗・中傷 | 生活妨害 | 差別待遇(人種・信条・性別や社会的身分などに不平等または不利益な扱いをされること) | 暴力や強要・強制 | 不当待遇(会社などでの、使用者による時間外労働などの不当な労働強制や賃金格差など) | プライバシーの侵害 | なんとなく差別されているような感じ | その他 |
|--------------|-------------|------------|-------------------------------------------|-----------|-------------------------------------------|------------|-------------------|-----------|
| 18～19歳 | 1 100.0 | 0 0.0 | 1 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| 20～29歳 | 6 66.7 | 0 0.0 | 2 22.2 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 22.2 | 2 22.2 | 0 0.0 |
| 30～39歳 | 6 37.5 | 4 25.0 | 4 25.0 | 4 25.0 | 6 37.5 | 9 56.3 | 6 37.5 | 0 0.0 |
| 40～49歳 | 16 53.3 | 0 0.0 | 8 26.7 | 3 10.0 | 8 26.7 | 4 13.3 | 5 16.7 | 1 3.3 |
| 50～59歳 | 17 47.2 | 4 11.1 | 14 38.9 | 4 11.1 | 12 33.3 | 10 27.8 | 8 22.2 | 1 2.8 |
| 60～69歳 | 25 54.3 | 6 13.0 | 19 41.3 | 3 6.5 | 7 15.2 | 6 13.0 | 14 30.4 | 3 6.5 |
| 70～79歳 | 28 47.5 | 8 13.6 | 19 32.2 | 1 1.7 | 3 5.1 | 19 32.2 | 17 28.8 | 8 13.6 |
| 80歳以上 | 12 36.4 | 6 18.2 | 4 12.1 | 1 3.0 | 2 6.1 | 10 30.3 | 8 24.2 | 5 15.2 |
| 無回答 | 0 0.0 | 1 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| 全体 | 111 48.1 | 29 12.6 | 71 30.7 | 16 6.9 | 38 16.5 | 60 26.0 | 60 26.0 | 18 7.8 |

MA

上段:人数 下段:割合

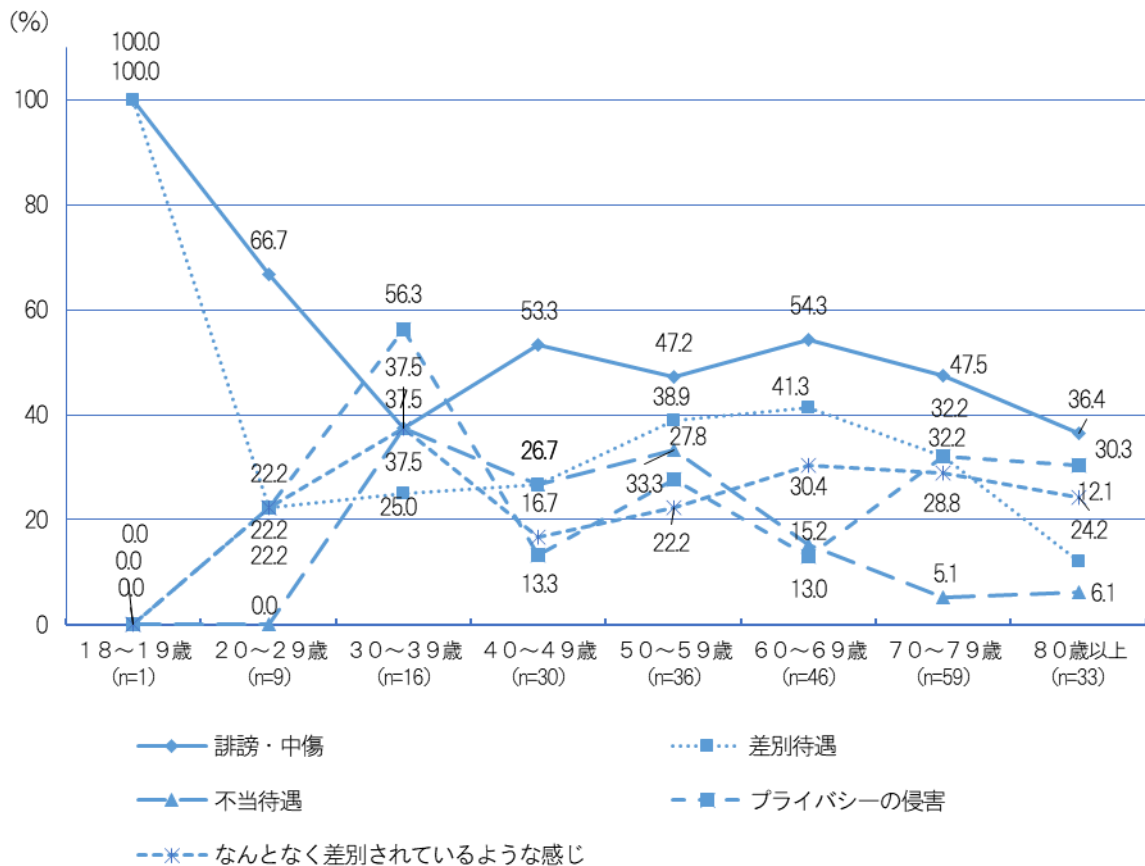
| 2020 調査結果 | 答えたくない | 無回答 | 合計 |
|--------------|----------|----------|------------|
| 18～19歳 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 100 |
| 20～29歳 | 0 0.0 | 0 0.0 | 9 100 |
| 30～39歳 | 0 0.0 | 1 6.3 | 16 100 |
| 40～49歳 | 0 0.0 | 0 0.0 | 30 100 |
| 50～59歳 | 1 2.8 | 0 0.0 | 36 100 |
| 60～69歳 | 1 2.2 | 0 0.0 | 46 100 |
| 70～79歳 | 0 0.0 | 0 0.0 | 59 100 |
| 80歳以上 | 1 3.0 | 3 9.1 | 33 100 |
| 無回答 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 100 |
| 全体 | 3 1.3 | 4 1.7 | 231 100 |

【全体】



※大分県2018との比較は国東市2020調査と回答選択肢が異なるため同じ内容の選択肢のみ記入。

【年代別】<【国東市2020】差別・人権侵害における性質について上位5項目の年代別状況>



※年代別グラフは、国東市2015調査データが不明なため、国東市2020調査結果のみグラフ化。

- 市全体では、今までに自分が差別されたり、自己的人権が侵害されたと思ったことがある人の中でそれほどのような性質かを聞いたところ、「誹謗・中傷」が 48.1%と最も高く、次いで「差別待遇(人種・信条・性別や社会的身分などに不平等または不利益な扱いをされること)」(30.7%)、「プライバシーの侵害」(26.0%)、「なんとなく差別されているような感じ」(26.0%)となっています。
- 2015調査と比較すると、市全体では、「誹謗・中傷」の割合が 4.8 ㊦、次いで「その他」(4.1 ㊦)、「差別待遇(人種・信条・性別や社会的身分などに不平等または不利益な扱いをされること)」(2.5 ㊦)が増加しています。大分県2018調査との比較では、「差別待遇(人種・信条・性別や社会的身分などに不平等または不利益な扱いをされること)」の割合が 18.4 ㊦、次いで「なんとなく差別されているような感じ」(16.3 ㊦)、「プライバシーの侵害」(15.4 ㊦)などが大分県よりも増加しています。
- ◆年代別では、「誹謗・中傷」の割合が最も高いのは20～29歳で 66.7%、次いで60～69歳(54.3%)、40～49歳(53.3%)となっています。(※18～19歳は対象数が1人のため除いています。)
- ◆年代別の2015調査はありません。

問4-イ【前問と同様に、問4で「①ある」と答えた方にお伺いします。】そのときどのように対応しましたか。

SA

上段:人数 下段:割合

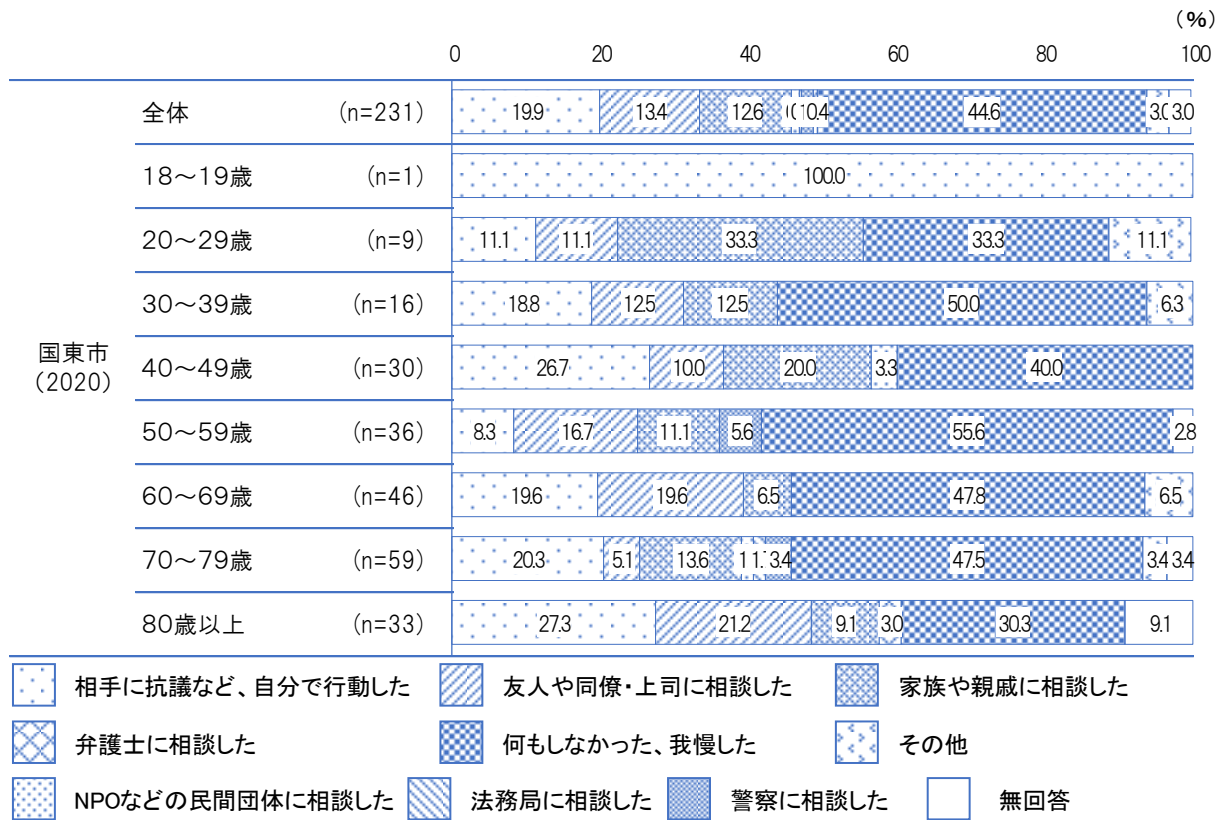
| 2020 調査結果 | 相手に抗議 など、自分で 行動した | 友人や同僚・ 上司に相談 した | 家族や親戚 に相談した | NPOなどの 民間団体に 相談した | 法務局に相 談した | 警察に相談 した | 弁護士に相 談した | 何もしなかつ た、我慢した |
|--------------|-------------------------|-----------------------|----------------|-------------------------|--------------|-------------|--------------|------------------|
| 18～19歳 | 1 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| 20～29歳 | 1 11.1 | 1 11.1 | 3 33.3 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 3 33.3 |
| 30～39歳 | 3 18.8 | 2 12.5 | 2 12.5 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 8 50.0 |
| 40～49歳 | 8 26.7 | 3 10.0 | 6 20.0 | 1 3.3 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 12 40.0 |
| 50～59歳 | 3 8.3 | 6 16.7 | 4 11.1 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 5.6 | 0 0.0 | 20 55.6 |
| 60～69歳 | 9 19.6 | 9 19.6 | 3 6.5 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 22 47.8 |
| 70～79歳 | 12 20.3 | 3 5.1 | 8 13.6 | 1 1.7 | 1 1.7 | 2 3.4 | 0 0.0 | 28 47.5 |
| 80歳以上 | 9 27.3 | 7 21.2 | 3 9.1 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 3.0 | 10 30.3 |
| 無回答 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| 合計 | 46 19.9 | 31 13.4 | 29 12.6 | 2 0.9 | 1 0.4 | 4 1.7 | 1 0.4 | 103 44.6 |

SA

上段:人数 下段:割合

| 2020 調査結果 | その他 | 無回答 | 合計 |
|--------------|-----------|------------|------------|
| 18～19歳 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 100 |
| 20～29歳 | 1 11.1 | 0 0.0 | 9 100 |
| 30～39歳 | 1 6.3 | 0 0.0 | 16 100 |
| 40～49歳 | 0 0.0 | 0 0.0 | 30 100 |
| 50～59歳 | 0 0.0 | 1 2.8 | 36 100 |
| 60～69歳 | 3 6.5 | 0 0.0 | 46 100 |
| 70～79歳 | 2 3.4 | 2 3.4 | 59 100 |
| 80歳以上 | 0 0.0 | 3 9.1 | 33 100 |
| 無回答 | 0 0.0 | 1 100.0 | 1 100 |
| 合計 | 7 3.0 | 7 3.0 | 231 100 |

【全体・年代別】



※国東市2015調査は「複数回答」のため比較不可。

※大分県2018調査と回答選択肢が異なるため比較不可。

■市全体では、「何もなかった、我慢した」が 44.6%と最も高く、次いで「相手に抗議など、自分で行動した」(19.9%)、「友人や同僚・上司に相談した」(13.4%)となっています。

■2015調査はありません。

◆年代別では、「何もなかった、我慢した」の割合が最も高いのは50～59歳で 55.6%、次いで30～39歳(50.0%)、60～69歳(47.8%)となっています。

◆年代別の2015調査はありません。

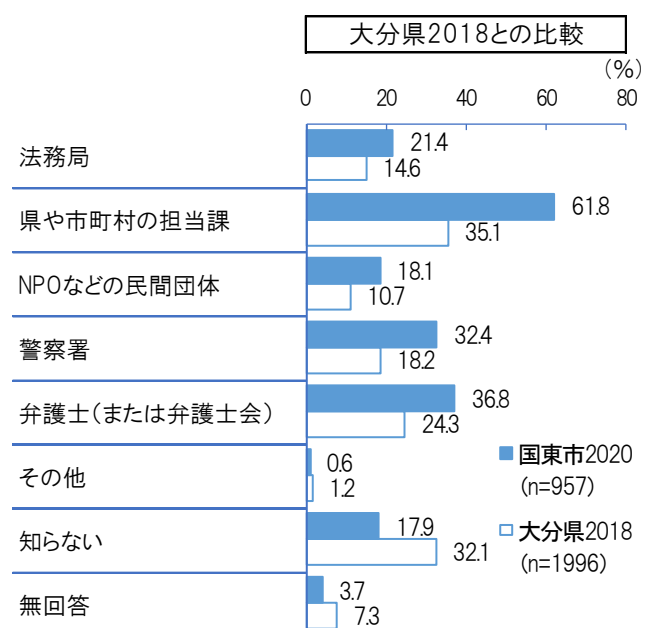
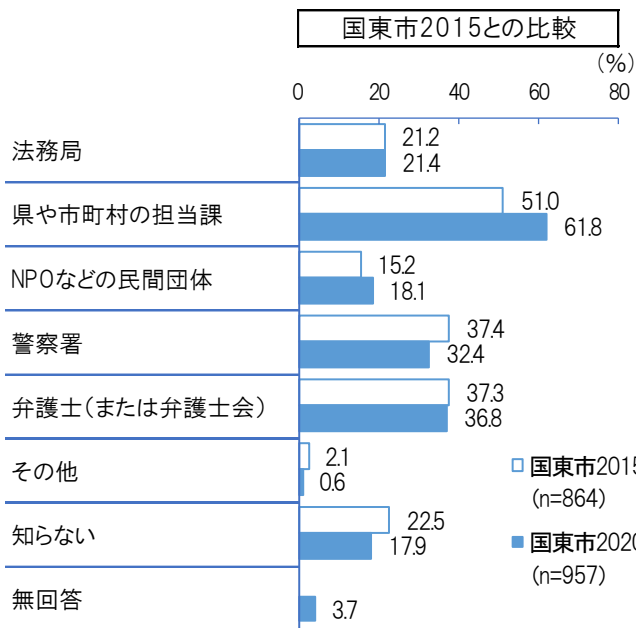
問5 あなたは、差別や人権侵害を受けた場合に相談できる機関(場所)があることを知っていますか。

MA

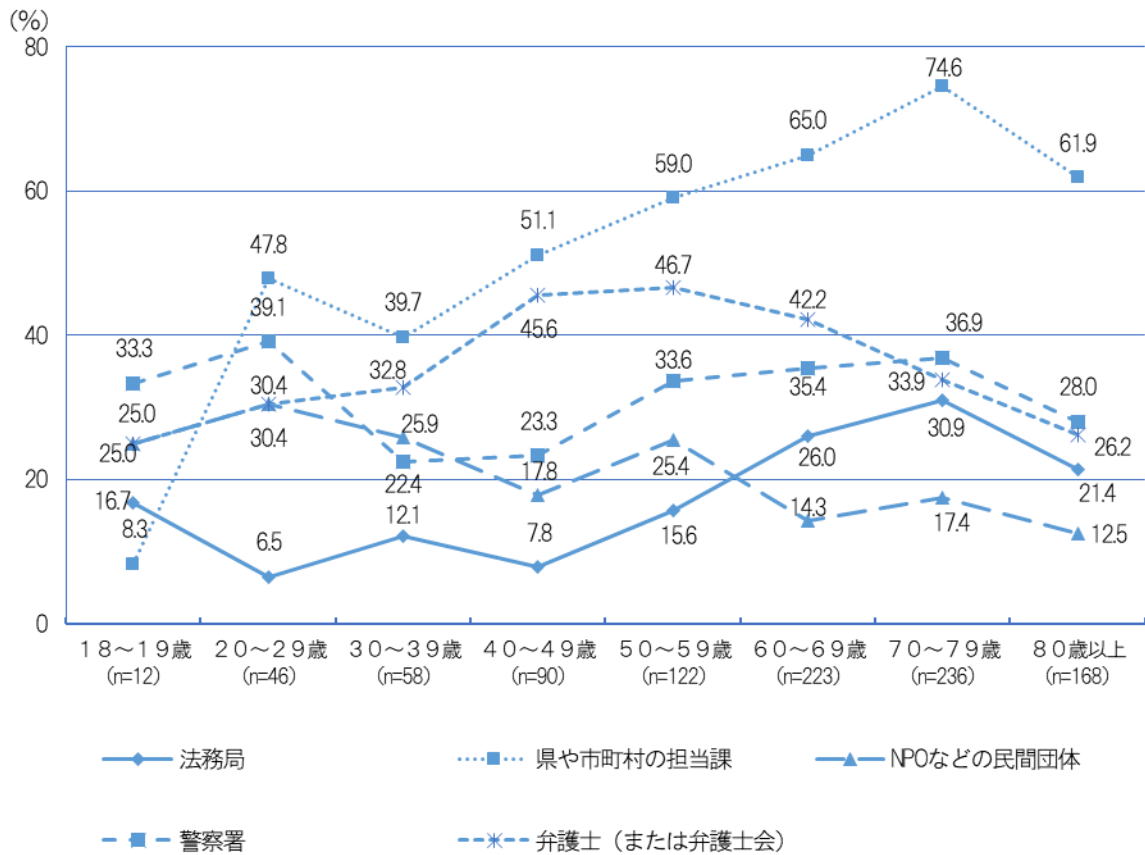
上段:人数 下段:割合

| 2020 調査結果 | 法務局 | 県や市町村 の担当課 | NPOなどの 民間団体 | 警察署 | 弁護士(また は弁護士会) | その他 | 知らない | 無回答 | 合計 |
|--------------|-------------|---------------|----------------|-------------|------------------|----------|-------------|------------|------------|
| 18～19歳 | 2 16.7 | 1 8.3 | 3 25.0 | 4 33.3 | 3 25.0 | 0 0.0 | 3 25.0 | 1 8.3 | 12 100 |
| 20～29歳 | 3 6.5 | 22 47.8 | 14 30.4 | 18 39.1 | 14 30.4 | 0 0.0 | 12 26.1 | 1 2.2 | 46 100 |
| 30～39歳 | 7 12.1 | 23 39.7 | 15 25.9 | 13 22.4 | 19 32.8 | 0 0.0 | 24 41.4 | 1 1.7 | 58 100 |
| 40～49歳 | 7 7.8 | 46 51.1 | 16 17.8 | 21 23.3 | 41 45.6 | 0 0.0 | 21 23.3 | 1 1.1 | 90 100 |
| 50～59歳 | 19 15.6 | 72 59.0 | 31 25.4 | 41 33.6 | 57 46.7 | 0 0.0 | 24 19.7 | 0 0.0 | 122 100 |
| 60～69歳 | 58 26.0 | 145 65.0 | 32 14.3 | 79 35.4 | 94 42.2 | 2 0.9 | 40 17.9 | 4 1.8 | 223 100 |
| 70～79歳 | 73 30.9 | 176 74.6 | 41 17.4 | 87 36.9 | 80 33.9 | 2 0.8 | 19 8.1 | 9 3.8 | 236 100 |
| 80歳以上 | 36 21.4 | 104 61.9 | 21 12.5 | 47 28.0 | 44 26.2 | 2 1.2 | 28 16.7 | 18 10.7 | 168 100 |
| 無回答 | 0 0.0 | 2 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 100 |
| 合計 | 205 21.4 | 591 61.8 | 173 18.1 | 310 32.4 | 352 36.8 | 6 0.6 | 171 17.9 | 35 3.7 | 957 100 |

【全体】



【年代別】<【国東市2020】差別や人権侵害を受けた場合に相談できる機関について上位5項目の年代別状況>



■市全体では、「県や市町村の担当課」が 61.8%と最も高く、次いで「弁護士(または弁護士会)」（36.8%）、「警察署」(32.4%)と、相談先として「県や市町村の担当課」を選ぶ人が約6割となっています。

■2015調査と比較すると、市全体では、「県や市町村の担当課」の割合が 10.8 ㊦、次いで「NPO などの民間団体」(2.9 ㊦)、「法務局」(0.2 ㊦)が増加しています。大分県2018調査との比較では、「県や市町村の担当課」の割合が 26.7 ㊦、次いで「警察署」(14.2 ㊦)、「弁護士(または弁護士会)」(12.5 ㊦)などが大分県よりも増加しています。

◆年代別では、「県や市町村の担当課」の割合が最も高いのは70～79歳で 74.6%、次いで60～69歳 (65.0%)、80歳以上(61.9%)となっています。各年代とも最初の相談先として「県や市町村の担当課」を選ぶ人が多い傾向となっています。

◆年代別の2015調査はありません。

Ⅱ. 女性の人権について(問6～問8)

[MA]

問6 あなたは、女性に関することで、現在どのような人権問題があると思いますか。

MA

上段:人数 下段:割合

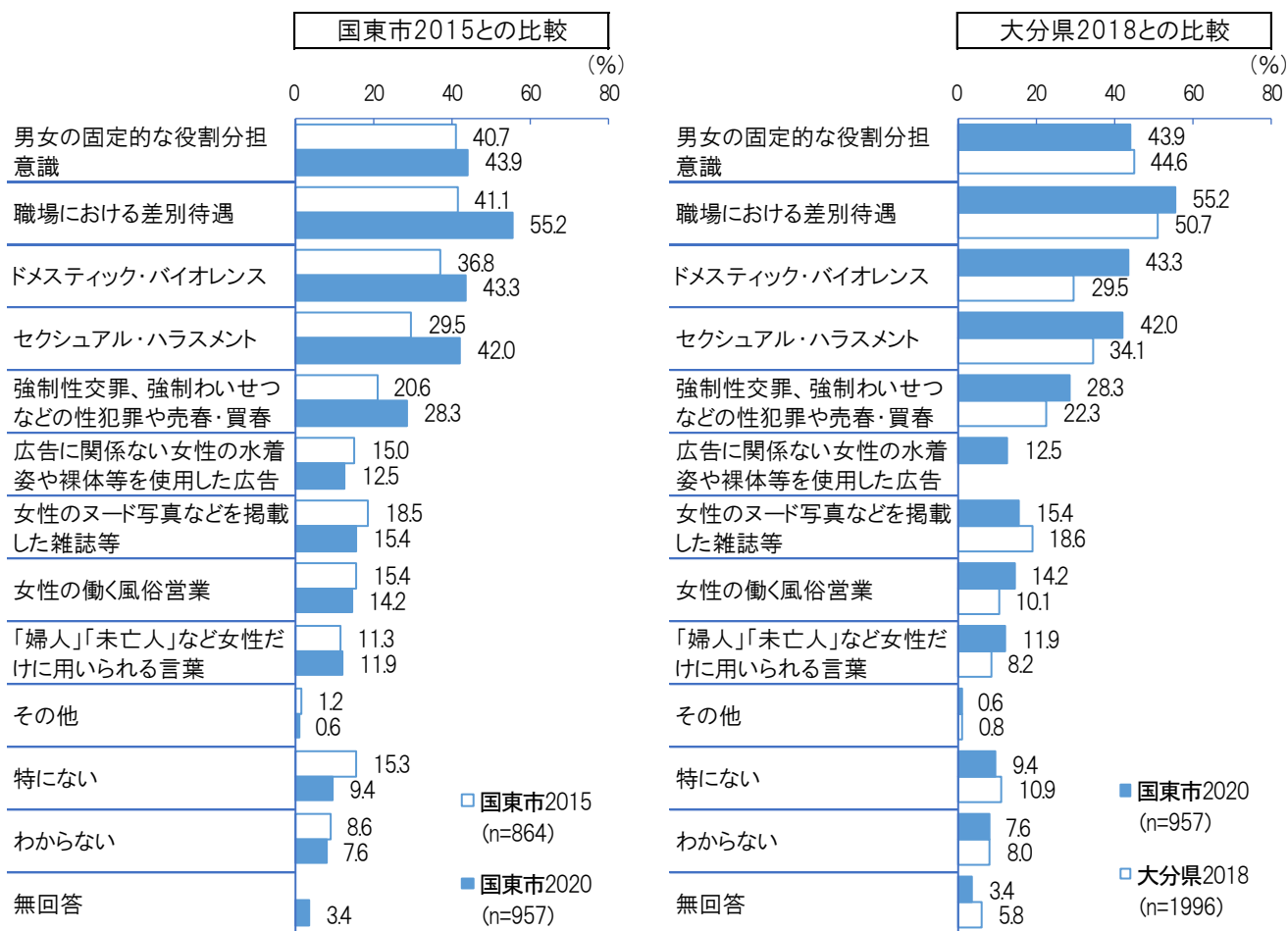
| 2020 調査結果 | 男女の固定的な役割分担意識(「男は仕事、女は家庭」など) | 職場における差別待遇(採用・昇任・賃金などの男女差、マタニティ・ハラスメントなどの妊娠・出産・育児などを理由として不利益な扱いをされることなど) | ドメスティック・バイオレンス(夫や恋人からの暴力) | セクシュアル・ハラスメント(性的いやがらせ) | 強制的性交罪、強制わいせつなどの性犯罪や売春・買春(いわゆる「援助交際」を含む) | 広告の内容に関係ない女性の水着姿、裸体や媚びたポーズなどを使用した広告 | 女性のヌード写真などを掲載した雑誌、新聞やアダルトビデオ、ポルノ雑誌 | 女性の働く風俗営業 |
|--------------|------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|---------------------------|------------------------|------------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|-------------|
| 18～19歳 | 7 58.3 | 6 50.0 | 6 50.0 | 9 75.0 | 5 41.7 | 1 8.3 | 2 16.7 | 0 0.0 |
| 20～29歳 | 24 52.2 | 32 69.6 | 22 47.8 | 26 56.5 | 17 37.0 | 7 15.2 | 5 10.9 | 4 8.7 |
| 30～39歳 | 27 46.6 | 39 67.2 | 22 37.9 | 30 51.7 | 18 31.0 | 4 6.9 | 4 6.9 | 5 8.6 |
| 40～49歳 | 54 60.0 | 64 71.1 | 56 62.2 | 53 58.9 | 36 40.0 | 13 14.4 | 16 17.8 | 16 17.8 |
| 50～59歳 | 61 50.0 | 83 68.0 | 72 59.0 | 78 63.9 | 50 41.0 | 17 13.9 | 16 13.1 | 20 16.4 |
| 60～69歳 | 108 48.4 | 141 63.2 | 111 49.8 | 105 47.1 | 69 30.9 | 32 14.3 | 38 17.0 | 38 17.0 |
| 70～79歳 | 90 38.1 | 112 47.5 | 85 36.0 | 68 28.8 | 54 22.9 | 35 14.8 | 39 16.5 | 36 15.3 |
| 80歳以上 | 49 29.2 | 51 30.4 | 40 23.8 | 33 19.6 | 22 13.1 | 11 6.5 | 27 16.1 | 17 10.1 |
| 無回答 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| 合計 | 420 43.9 | 528 55.2 | 414 43.3 | 402 42.0 | 271 28.3 | 120 12.5 | 147 15.4 | 136 14.2 |

MA

上段:人数 下段:割合

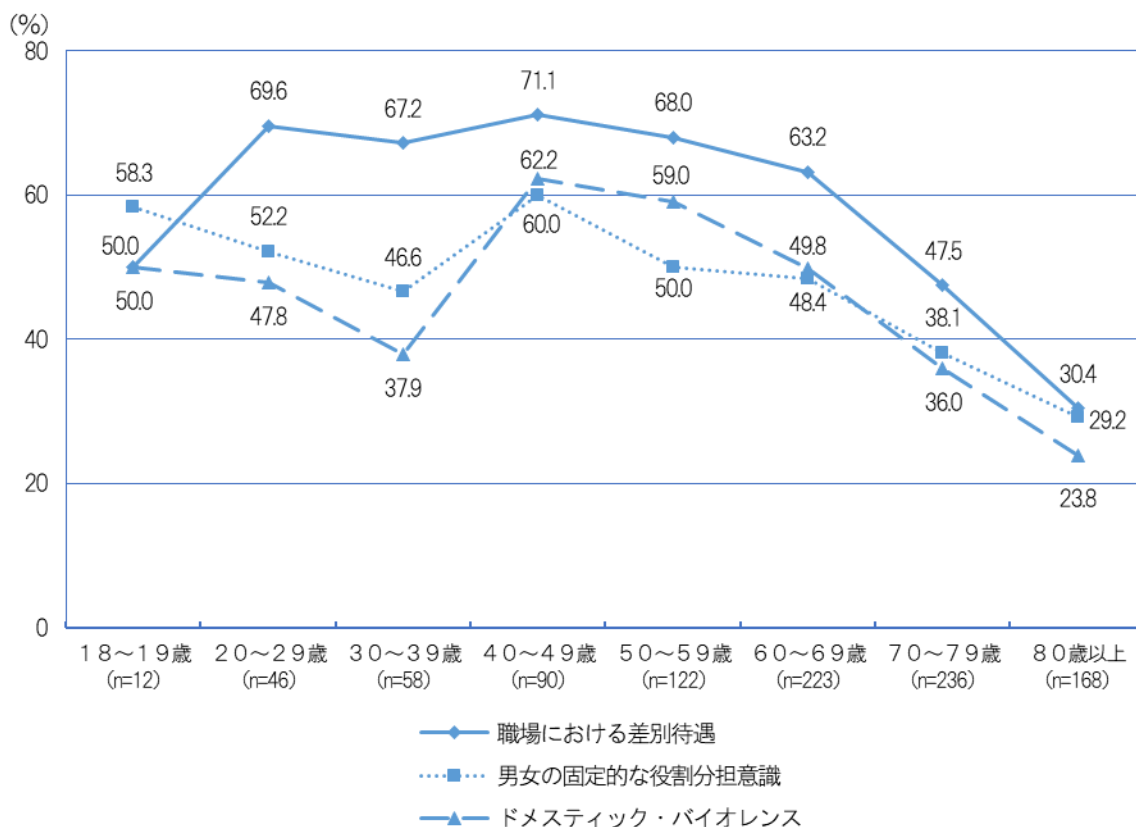
| 2020 調査結果 | 「令夫人」、「婦人」、「未亡人」などのように女性だけに用いられる言葉 | その他 | 特にない | わからない | 無回答 | 合計 |
|--------------|------------------------------------|----------|------------|------------|-----------|------------|
| 18～19歳 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 8.3 | 12 100 |
| 20～29歳 | 3 6.5 | 2 4.3 | 0 0.0 | 5 10.9 | 0 0.0 | 46 100 |
| 30～39歳 | 5 8.6 | 0 0.0 | 1 1.7 | 7 12.1 | 1 1.7 | 58 100 |
| 40～49歳 | 17 18.9 | 0 0.0 | 1 1.1 | 4 4.4 | 0 0.0 | 90 100 |
| 50～59歳 | 18 14.8 | 0 0.0 | 4 3.3 | 5 4.1 | 0 0.0 | 122 100 |
| 60～69歳 | 27 12.1 | 1 0.4 | 22 9.9 | 8 3.6 | 5 2.2 | 223 100 |
| 70～79歳 | 25 10.6 | 2 0.8 | 30 12.7 | 15 6.4 | 10 4.2 | 236 100 |
| 80歳以上 | 19 11.3 | 1 0.6 | 32 19.0 | 27 16.1 | 16 9.5 | 168 100 |
| 無回答 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 100.0 | 0 0.0 | 2 100 |
| 合計 | 114 11.9 | 6 0.6 | 90 9.4 | 73 7.6 | 33 3.4 | 957 100 |

【全体】

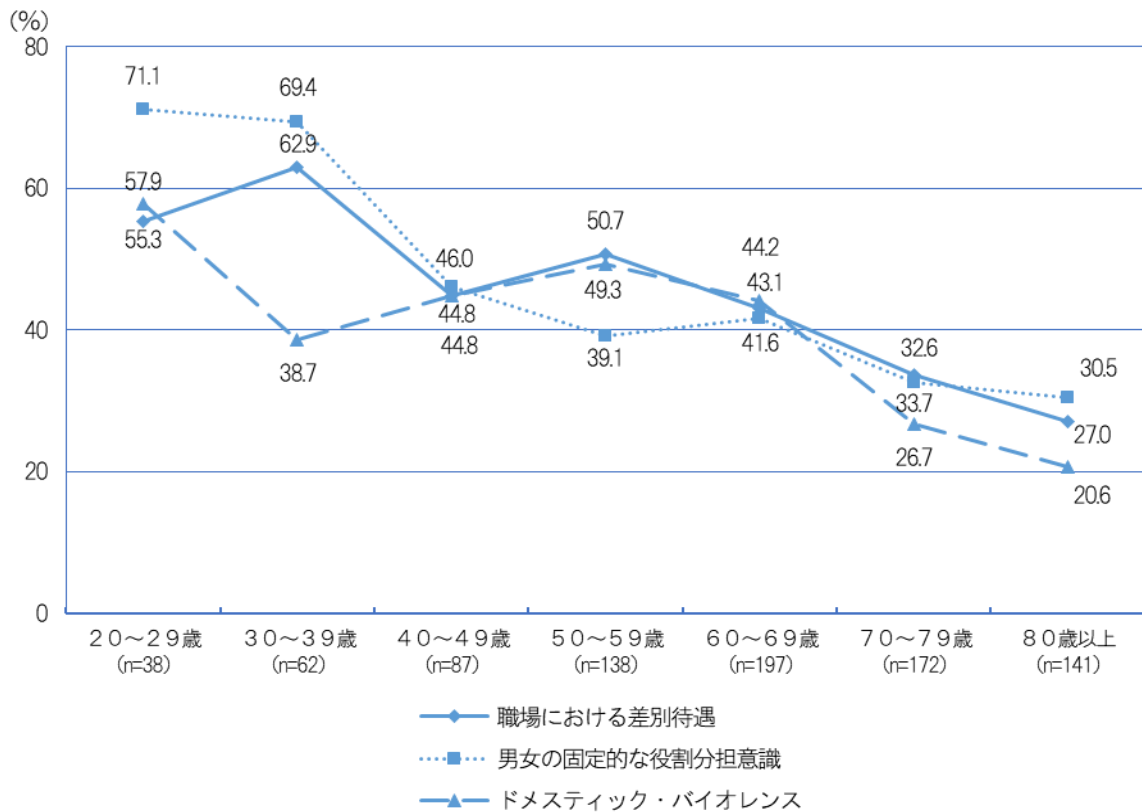


※大分県2018調査では「広告に関係ない女性の水着姿や裸体等を使用した広告」の項目なし。

【年代別】<【国東市2020】女性に関する人権問題について、問題があると感じる上位3項目の年代別状況>



【年代別】<【国東市2015】 女性に関する人権問題について、問題があると感じる上位3項目の年代別状況>



■市全体では、「職場における差別待遇(採用・昇任・賃金などの男女差、マタニティ・ハラスメントなどの妊娠・出産・育児などを理由として不利益な扱いをされることなど)」が 55.2%と最も高く、次いで「男女の固定的な役割分担意識(「男は仕事、女は家庭」など)」(43.9%)、「ドメスティック・バイオレンス(夫や恋人からの暴力)」(43.3%)となっています。

■2015調査と比較すると、市全体では、「職場における差別待遇(採用・昇任・賃金などの男女差、マタニティ・ハラスメントなどの妊娠・出産・育児などを理由として不利益な扱いをされることなど)」の割合が 14.1 ㊦、次いで「セクシュアル・ハラスメント(性的いやがらせ)」(12.5 ㊦)、「強制的性交罪、強制わいせつなどの性犯罪や売春・買春(いわゆる「援助交際」を含む)」(7.7 ㊦)が増加しています。大分県2018調査との比較では、「ドメスティック・バイオレンス(夫や恋人からの暴力)」の割合が 13.8 ㊦、次いで「セクシュアル・ハラスメント(性的いやがらせ)」(7.9 ㊦)、「強制的性交罪、強制わいせつなどの性犯罪や売春・買春(いわゆる「援助交際」を含む)」(6.0 ㊦)などが大分県よりも増加しています。

◆年代別では、「職場における差別待遇(採用・昇任・賃金などの男女差、マタニティ・ハラスメントなどの妊娠・出産・育児などを理由として不利益な扱いをされることなど)」の割合が最も高いのは40~49歳で71.1%、次いで20~29歳(69.6%)、50~59歳(68.0%)となっています。当然ながら働く世代の割合が高くなっています。

◆2015調査と比較すると年代別では、「職場における差別待遇(採用・昇任・賃金などの男女差、マタニティ・ハラスメントなどの妊娠・出産・育児などを理由として不利益な扱いをされることなど)」の割合が最も増加したのは40~49歳で 26.3 ㊦、次いで60~69歳(20.1 ㊦)、50~59歳(17.3 ㊦)となっています。

問7 あなたは、男女平等が実現していると思いますか。

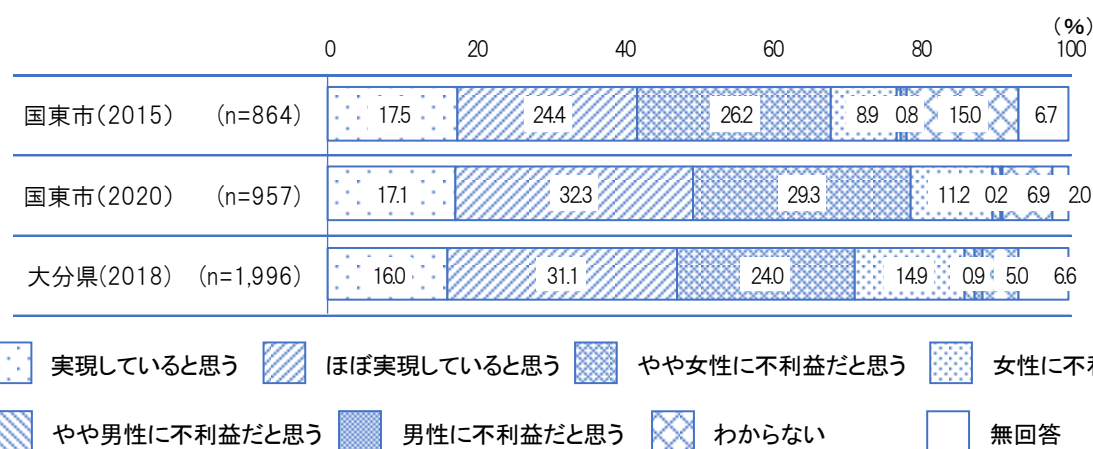
【ア. 家庭で男女平等が実現している度合】

SA

上段:人数 下段:割合

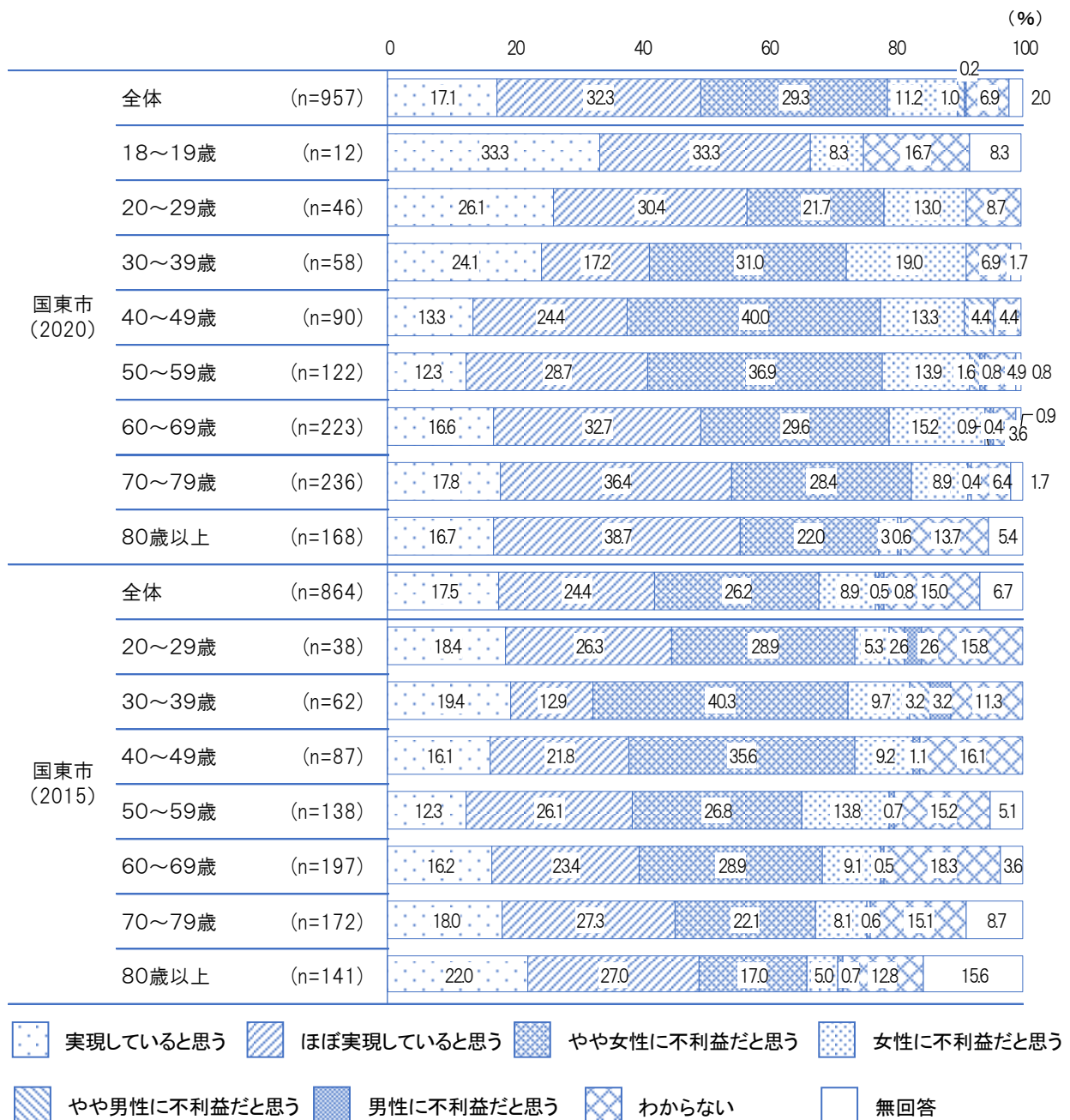
| 2020 調査結果 | 実現している と思う | ほぼ実現し ていると思う | やや女性に 不利益だと思 う | 女性に不利 益だと思 う | やや男性に 不利益だと思 う | 男性に不利 益だと思 う | わからない | 無回答 | 合計 |
|--------------|---------------|-----------------|----------------------|--------------------|----------------------|--------------------|------------|-----------|------------|
| 18～19歳 | 4 33.3 | 4 33.3 | 0 0.0 | 1 8.3 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 16.7 | 1 8.3 | 12 100 |
| 20～29歳 | 12 26.1 | 14 30.4 | 10 21.7 | 6 13.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 4 8.7 | 0 0.0 | 46 100 |
| 30～39歳 | 14 24.1 | 10 17.2 | 18 31.0 | 11 19.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 4 6.9 | 1 1.7 | 58 100 |
| 40～49歳 | 12 13.3 | 22 24.4 | 36 40.0 | 12 13.3 | 4 4.4 | 0 0.0 | 4 4.4 | 0 0.0 | 90 100 |
| 50～59歳 | 15 12.3 | 35 28.7 | 45 36.9 | 17 13.9 | 2 1.6 | 1 0.8 | 6 4.9 | 1 0.8 | 122 100 |
| 60～69歳 | 37 16.6 | 73 32.7 | 66 29.6 | 34 15.2 | 2 0.9 | 1 0.4 | 8 3.6 | 2 0.9 | 223 100 |
| 70～79歳 | 42 17.8 | 86 36.4 | 67 28.4 | 21 8.9 | 1 0.4 | 0 0.0 | 15 6.4 | 4 1.7 | 236 100 |
| 80歳以上 | 28 16.7 | 65 38.7 | 37 22.0 | 5 3.0 | 1 0.6 | 0 0.0 | 23 13.7 | 9 5.4 | 168 100 |
| 無回答 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 2 100 |
| 全体 | 164 17.1 | 309 32.3 | 280 29.3 | 107 11.2 | 10 1.0 | 2 0.2 | 66 6.9 | 19 2.0 | 957 100 |

【全体】



- 市全体では、「家庭」で男女平等が実現している度合について「実現している(実現していると思う+ほぼ実現していると思う)」が49.4%となっており、約5割の人が家庭での男女平等が実現していると答えています。
- 2015調査と比較すると市全体では、「実現している(実現していると思う+ほぼ実現していると思う)」の割合が7.5%増加しています。大分県2018調査との比較では、「実現している(実現していると思う+ほぼ実現していると思う)」の割合が2.3%増加しています。

【年代別】



- ◆年代別では、「実現している(実現していると思う+ほぼ実現していると思う)」の割合が最も高いのは18~19歳で 66.6%、次いで20~29歳(56.5%)、80歳以上(55.4%)となっています。割合が最も低いのは40~49歳で 37.7%、次いで50~59歳(41.0%)となっています。
- ◆2015調査と比較すると年代別では、「実現している(実現していると思う+ほぼ実現していると思う)」の割合が最も増加したのは20~29歳で 11.8 ㊦、次いで60~69歳(9.7 ㊦)となっています。

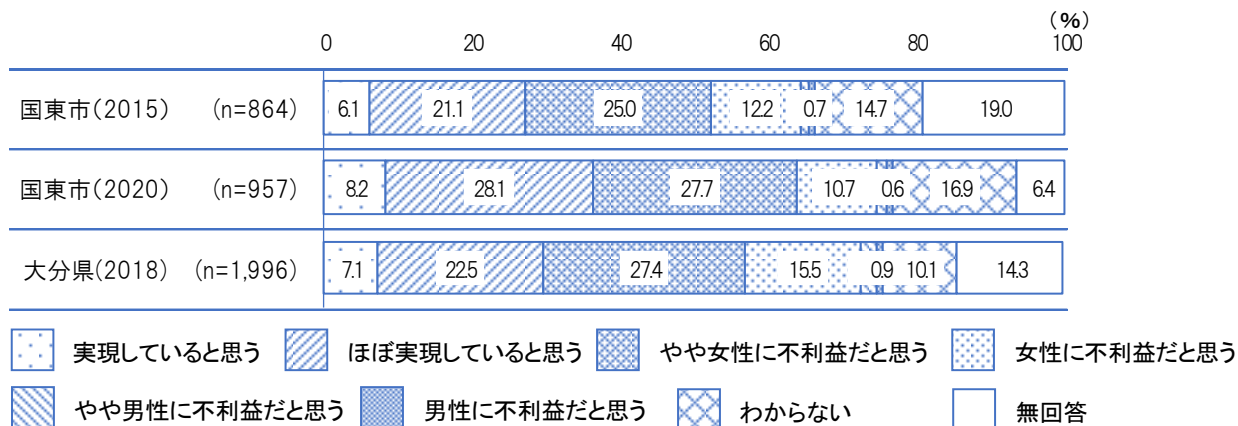
【イ. 職場で男女平等が実現している割合】

SA

上段:人数 下段:割合

| 2020 調査結果 | 実現している と思う | ほぼ実現し ていると思う | やや女性に 不利益だと思 う | 女性に不利 益だと思 う | やや男性に 不利益だと思 う | 男性に不利 益だと思 う | わからない | 無回答 | 合計 |
|--------------|---------------|-----------------|----------------------|--------------------|----------------------|--------------------|-------------|------------|------------|
| 18～19歳 | 2 16.7 | 0 0.0 | 1 8.3 | 4 33.3 | 0 0.0 | 0 0.0 | 4 33.3 | 1 8.3 | 12 100 |
| 20～29歳 | 6 13.0 | 18 39.1 | 15 32.6 | 1 2.2 | 1 2.2 | 0 0.0 | 5 10.9 | 0 0.0 | 46 100 |
| 30～39歳 | 6 10.3 | 12 20.7 | 23 39.7 | 6 10.3 | 2 3.4 | 3 5.2 | 5 8.6 | 1 1.7 | 58 100 |
| 40～49歳 | 4 4.4 | 28 31.1 | 29 32.2 | 17 18.9 | 3 3.3 | 1 1.1 | 8 8.9 | 0 0.0 | 90 100 |
| 50～59歳 | 12 9.8 | 52 42.6 | 32 26.2 | 10 8.2 | 2 1.6 | 0 0.0 | 12 9.8 | 2 1.6 | 122 100 |
| 60～69歳 | 20 9.0 | 57 25.6 | 64 28.7 | 38 17.0 | 3 1.3 | 1 0.4 | 33 14.8 | 7 3.1 | 223 100 |
| 70～79歳 | 21 8.9 | 57 24.2 | 65 27.5 | 18 7.6 | 2 0.8 | 0 0.0 | 46 19.5 | 27 11.4 | 236 100 |
| 80歳以上 | 7 4.2 | 44 26.2 | 36 21.4 | 8 4.8 | 1 0.6 | 1 0.6 | 48 28.6 | 23 13.7 | 168 100 |
| 無回答 | 0 0.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 2 100 |
| 全体 | 78 8.2 | 269 28.1 | 265 27.7 | 102 10.7 | 14 1.5 | 6 0.6 | 162 16.9 | 61 6.4 | 957 100 |

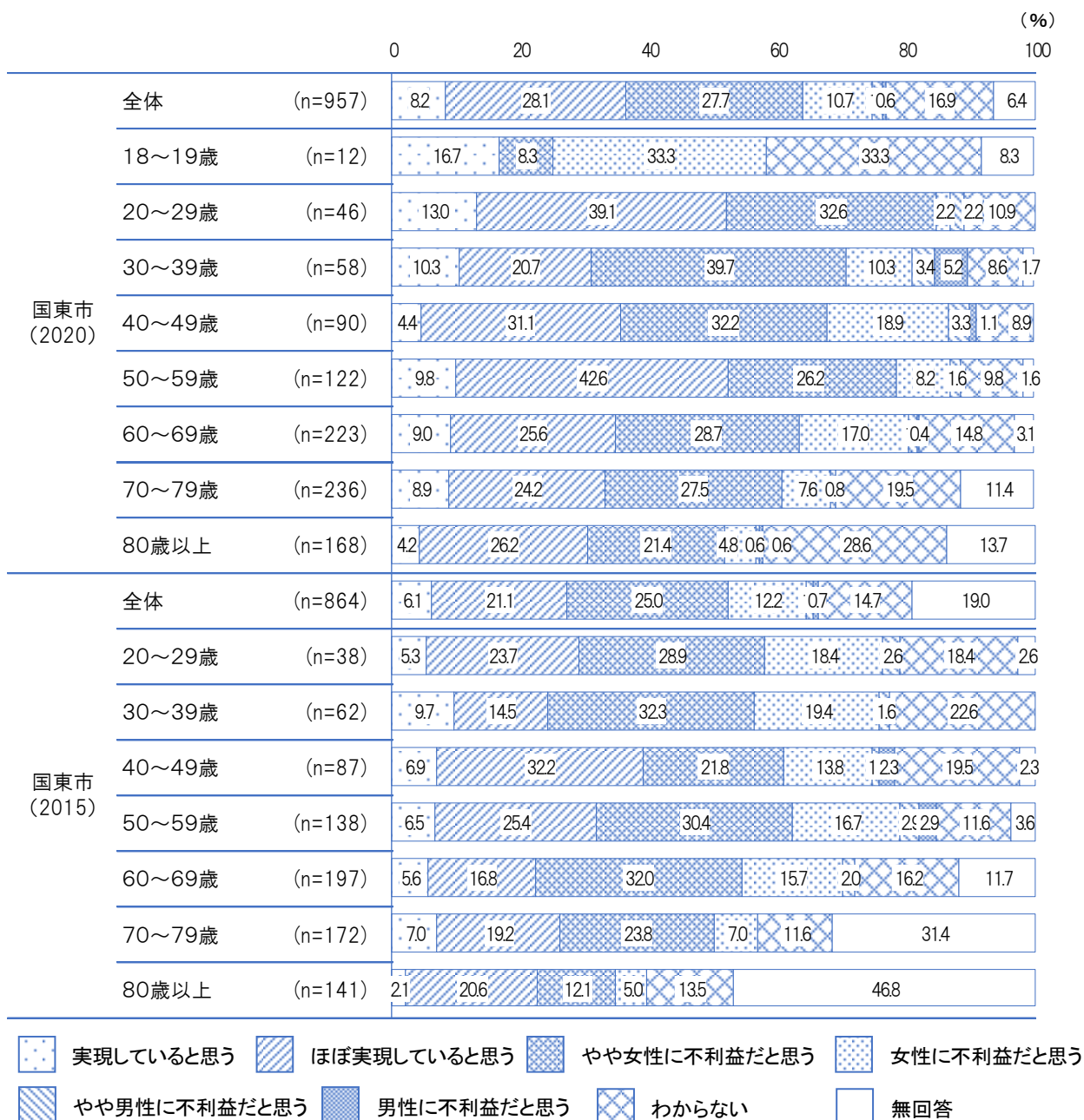
【全体】



■市全体では、「職場」で男女平等が実現している割合について「実現している(実現していると思う+ほぼ実現していると思う)」が36.3%、「女性に不利益(やや女性に不利益だと思+女性に不利益だと思)」は38.4%となっており、「職場」では女性に不利益の割合の方が高くなっています。

■2015調査と比較すると市全体では、「実現している(実現していると思う+ほぼ実現していると思う)」の割合が9.1%増加しています。大分県2018調査との比較では、「実現している(実現していると思う+ほぼ実現していると思う)」の割合が大分県よりも6.7%増加しています。

【年代別】



◆年代別では、「実現している(実現していると思う+ほぼ実現していると思う)」の割合が最も高いのは50～59歳で 52.4%、次いで20～29歳(52.1%)、40～49歳(35.5%)となっています。割合が最も低いのは18～19歳で 16.7%、次いで80歳以上(30.4%)となっています。

◆2015調査と比較すると年代別では、「実現している(実現していると思う+ほぼ実現していると思う)」の割合が最も増加したのは20～29歳で 23.1 ㊦、次いで50～59歳(20.5 ㊦)となっています。

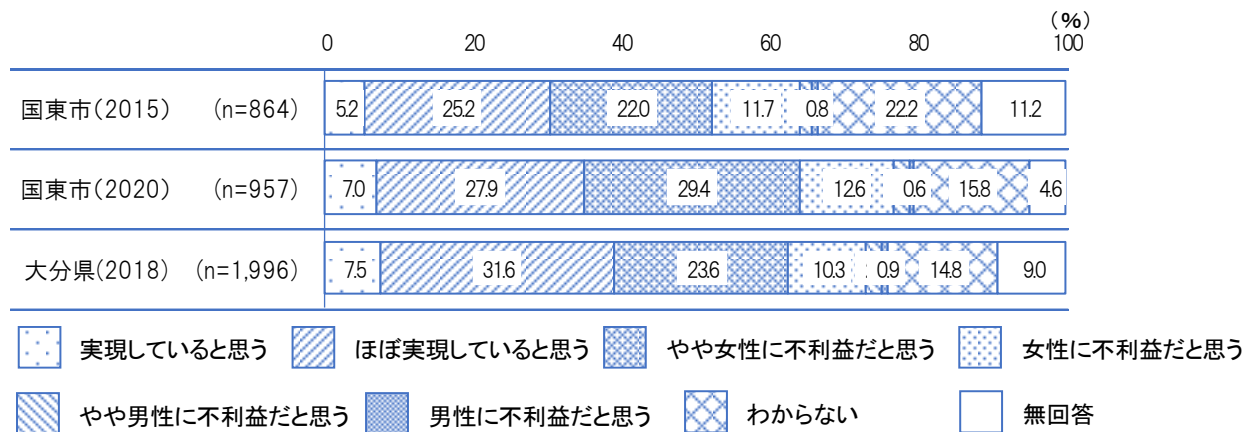
【ウ. 地域生活で男女平等が実現している度合】

SA

上段:人数 下段:割合

| 2020 調査結果 | 実現している と思う | ほぼ実現し ていると思う | やや女性に 不利益だと思 う | 女性に不利 益だと思 う | やや男性に 不利益だと思 う | 男性に不利 益だと思 う | わからない | 無回答 | 合計 |
|--------------|---------------|-----------------|----------------------|--------------------|----------------------|--------------------|-------------|------------|------------|
| 18～19歳 | 2 16.7 | 2 16.7 | 2 16.7 | 1 8.3 | 0 0.0 | 0 0.0 | 4 33.3 | 1 8.3 | 12 100 |
| 20～29歳 | 6 13.0 | 15 32.6 | 14 30.4 | 1 2.2 | 0 0.0 | 0 0.0 | 10 21.7 | 0 0.0 | 46 100 |
| 30～39歳 | 5 8.6 | 6 10.3 | 18 31.0 | 8 13.8 | 2 3.4 | 1 1.7 | 17 29.3 | 1 1.7 | 58 100 |
| 40～49歳 | 4 4.4 | 19 21.1 | 27 30.0 | 13 14.4 | 5 5.6 | 1 1.1 | 21 23.3 | 0 0.0 | 90 100 |
| 50～59歳 | 6 4.9 | 33 27.0 | 43 35.2 | 19 15.6 | 2 1.6 | 1 0.8 | 17 13.9 | 1 0.8 | 122 100 |
| 60～69歳 | 13 5.8 | 54 24.2 | 80 35.9 | 38 17.0 | 5 2.2 | 1 0.4 | 29 13.0 | 3 1.3 | 223 100 |
| 70～79歳 | 14 5.9 | 79 33.5 | 67 28.4 | 29 12.3 | 5 2.1 | 0 0.0 | 27 11.4 | 15 6.4 | 236 100 |
| 80歳以上 | 17 10.1 | 58 34.5 | 30 17.9 | 12 7.1 | 1 0.6 | 2 1.2 | 26 15.5 | 22 13.1 | 168 100 |
| 無回答 | 0 0.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 2 100 |
| 全体 | 67 7.0 | 267 27.9 | 281 29.4 | 121 12.6 | 20 2.1 | 6 0.6 | 151 15.8 | 44 4.6 | 957 100 |

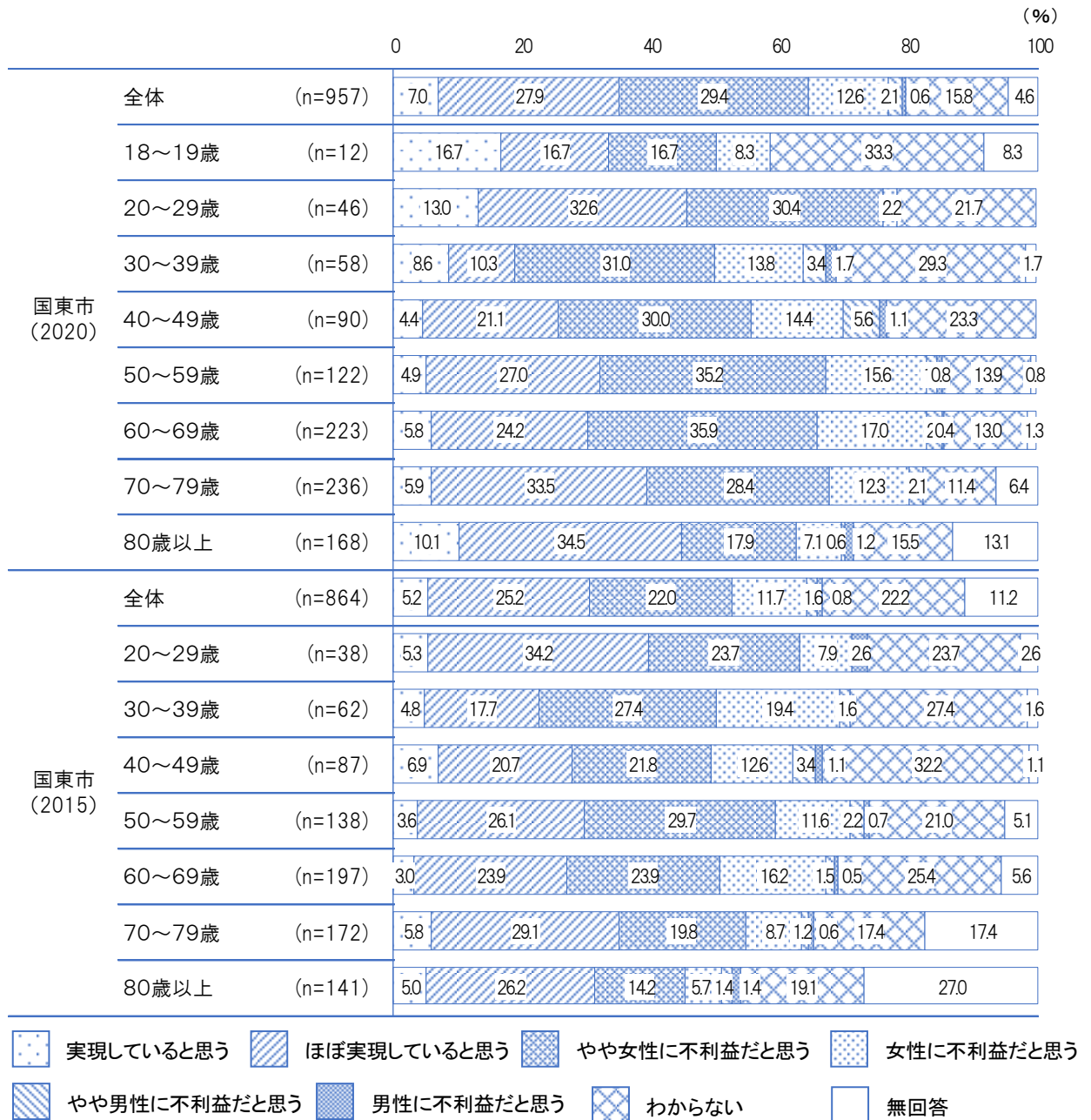
【全体】



■市全体では、「地域生活」で男女平等が実現している度合について「実現している(実現していると思う+ほぼ実現していると思う)」が 34.9%、「女性に不利益(やや女性に不利益だと思+女性に不利益だと思)」は 42.0%となっており、「地域生活」では女性に不利益の割合の方が高くなっています。

■2015調査と比較すると市全体では、「実現している(実現していると思う+ほぼ実現していると思う)」の割合が 4.5 ㊦増加しています。大分県2018調査との比較では、「実現している(実現していると思う+ほぼ実現していると思う)」の割合が 4.2 ㊦減少しており、「地域生活」で男女平等が実現している度合について「実現している(実現していると思う+ほぼ実現していると思う)」の割合は大分県よりも低くなっています。

【年代別】

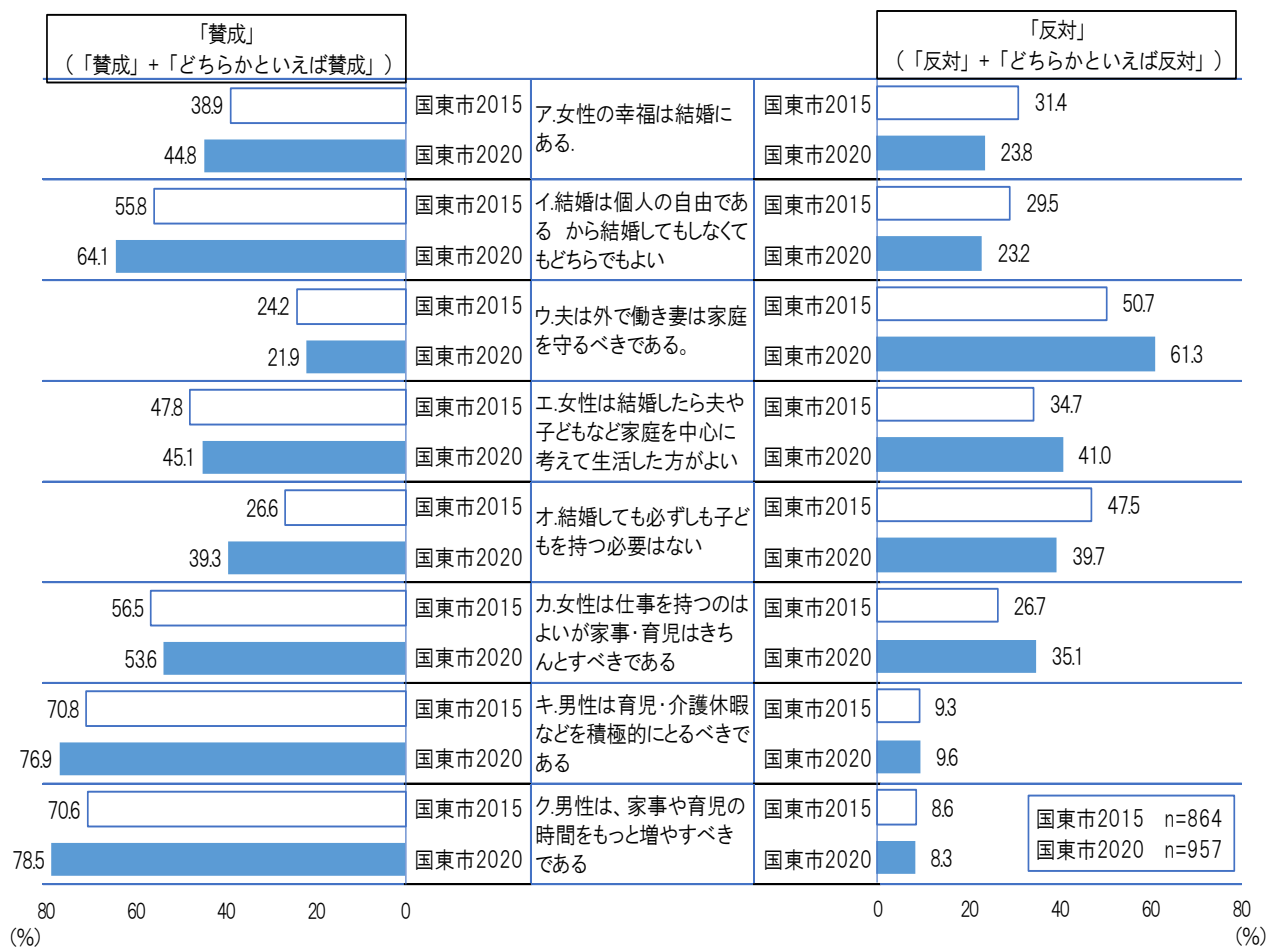


◆年代別では、「実現している(実現していると思う+ほぼ実現していると思う)」の割合が最も高いのは20~29歳で45.6%、次いで80歳以上(44.6%)、70~79歳(39.4%)となっています。割合が最も低いのは30~39歳で18.9%、次いで40~49歳(25.5%)となっています。

◆2015調査と比較すると年代別では、「実現している(実現していると思う+ほぼ実現していると思う)」の割合が最も増加したのは80歳以上で13.4ポイント、次いで20~29歳(6.1ポイント)となっています。

問8 結婚、家庭、出産、子育てについての考え方で、あなたのご意見に最も近いものはどれでしょうか。

【結婚・家庭・出産・子育てに関する考え方 全体まとめ】



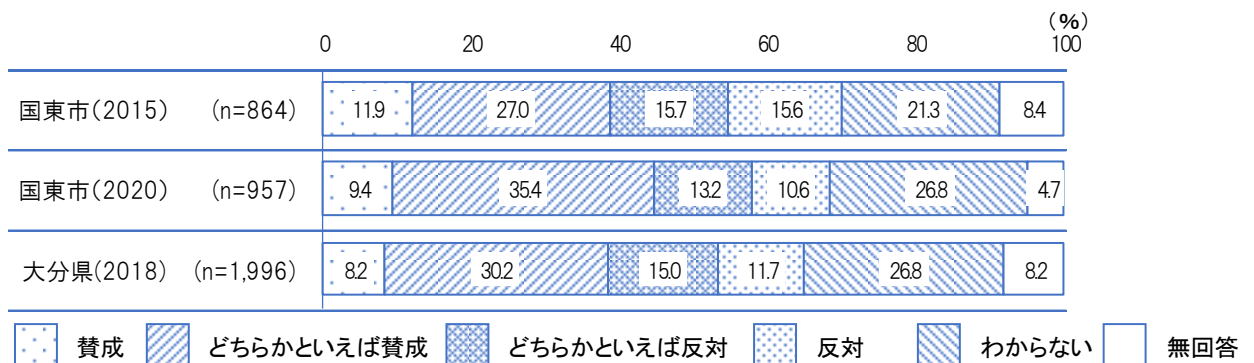
【問8 ア. 女性の幸福は結婚にあるについての考え方】

SA

上段:人数 下段:割合

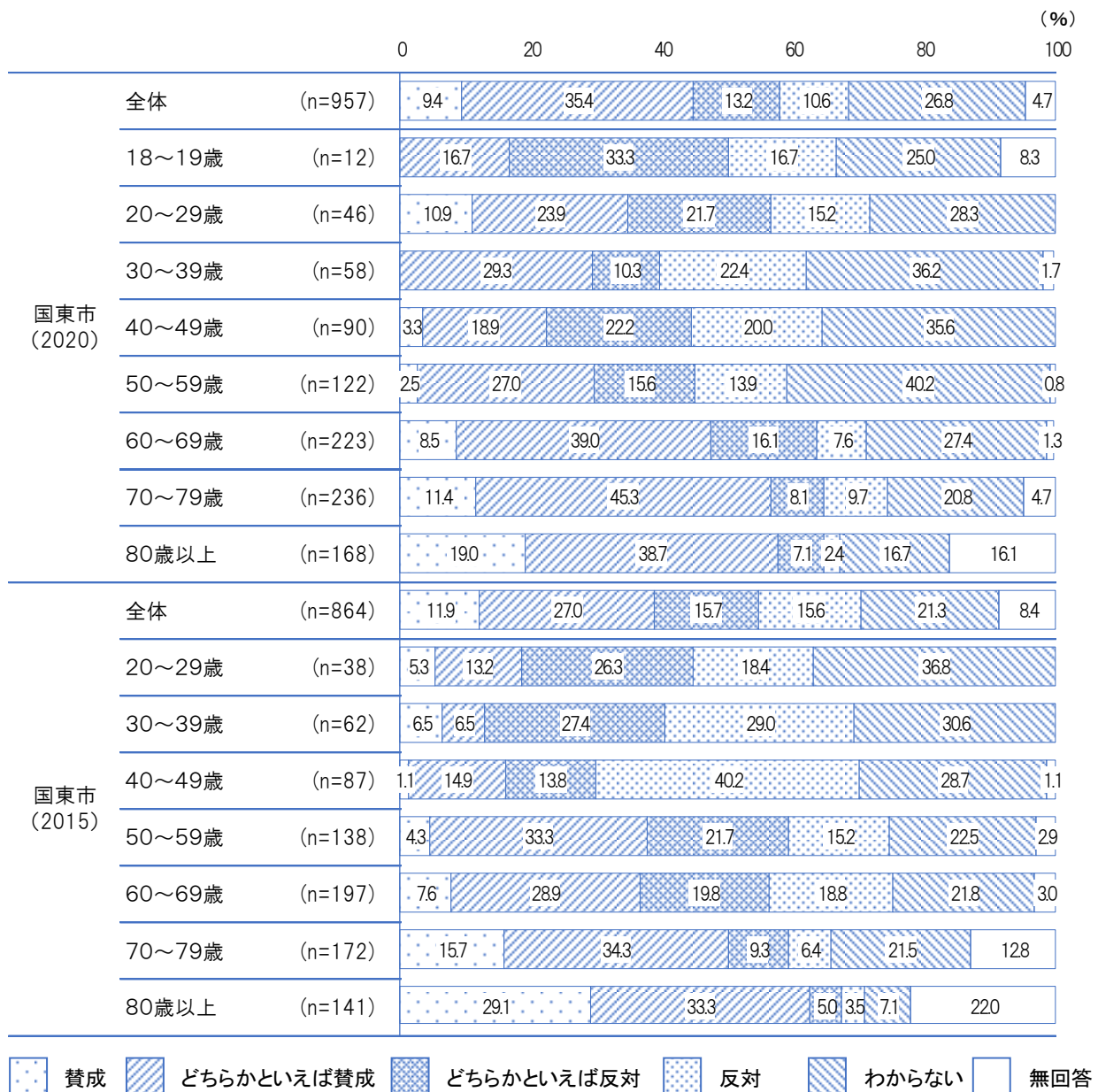
| 2020 調査結果 | 賛成 | どちらかとい えば賛成 | どちらかとい えば反対 | 反対 | わからない | 無回答 | 合計 |
|--------------|------------|----------------|----------------|-------------|-------------|------------|------------|
| 18～19歳 | 0 0.0 | 2 16.7 | 4 33.3 | 2 16.7 | 3 25.0 | 1 8.3 | 12 100 |
| 20～29歳 | 5 10.9 | 11 23.9 | 10 21.7 | 7 15.2 | 13 28.3 | 0 0.0 | 46 100 |
| 30～39歳 | 0 0.0 | 17 29.3 | 6 10.3 | 13 22.4 | 21 36.2 | 1 1.7 | 58 100 |
| 40～49歳 | 3 3.3 | 17 18.9 | 20 22.2 | 18 20.0 | 32 35.6 | 0 0.0 | 90 100 |
| 50～59歳 | 3 2.5 | 33 27.0 | 19 15.6 | 17 13.9 | 49 40.2 | 1 0.8 | 122 100 |
| 60～69歳 | 19 8.5 | 87 39.0 | 36 16.1 | 17 7.6 | 61 27.4 | 3 1.3 | 223 100 |
| 70～79歳 | 27 11.4 | 107 45.3 | 19 8.1 | 23 9.7 | 49 20.8 | 11 4.7 | 236 100 |
| 80歳以上 | 32 19.0 | 65 38.7 | 12 7.1 | 4 2.4 | 28 16.7 | 27 16.1 | 168 100 |
| 無回答 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 2 100 |
| 全体 | 90 9.4 | 339 35.4 | 126 13.2 | 101 10.6 | 256 26.8 | 45 4.7 | 957 100 |

【全体】



- 市全体では、女性の幸福は結婚にあるについての考え方では、「賛成(賛成+どちらかといえば賛成)」が44.8%、「反対(反対+どちらかといえば反対)」は23.8%となっており、「賛成」が「反対」を上回っています。
- 2015調査と比較すると市全体では、「賛成(賛成+どちらかといえば賛成)」の割合が5.9%増加し、「反対(反対+どちらかといえば反対)」は7.5%減少しています。大分県2018調査との比較では、「賛成(賛成+どちらかといえば賛成)」の割合が6.4%増加し、「反対(反対+どちらかといえば反対)」は大分県よりも2.9%減少しています。

【年代別】



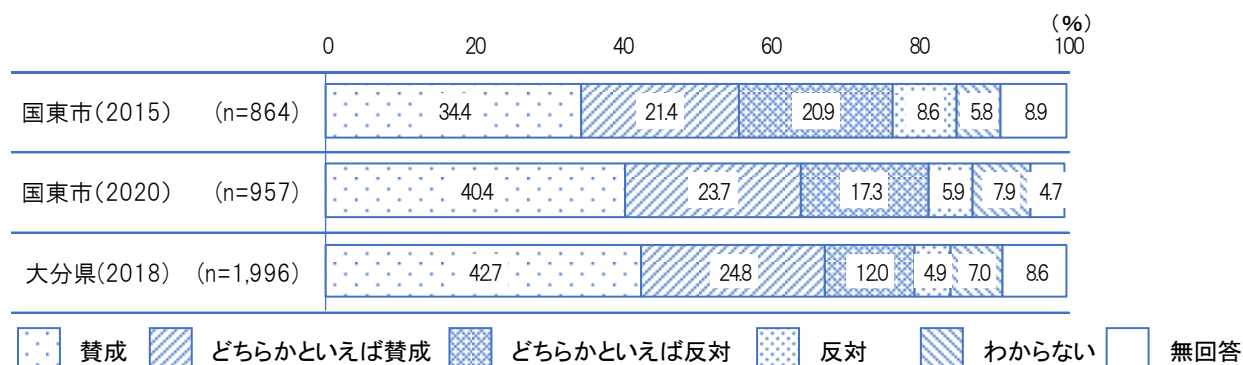
- ◆年代別では、「賛成(賛成+どちらかといえば賛成)」の割合が最も高いのは80歳以上で 57.7%、次いで70～79歳(56.7%)、60～69歳(47.5%)となっています。「反対(反対+どちらかといえば反対)」の割合が最も高いのは18～19歳で50.0%、次いで40～49歳(42.2%)となっています。
- ◆2015調査と比較すると年代別では、「賛成(賛成+どちらかといえば賛成)」の割合が最も増加したのは30～39歳で16.3ポイント、次いで20～29歳(16.3ポイント)となっています。

【問8 イ. 結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよいについての考え方】

SA 上段:人数 下段:割合

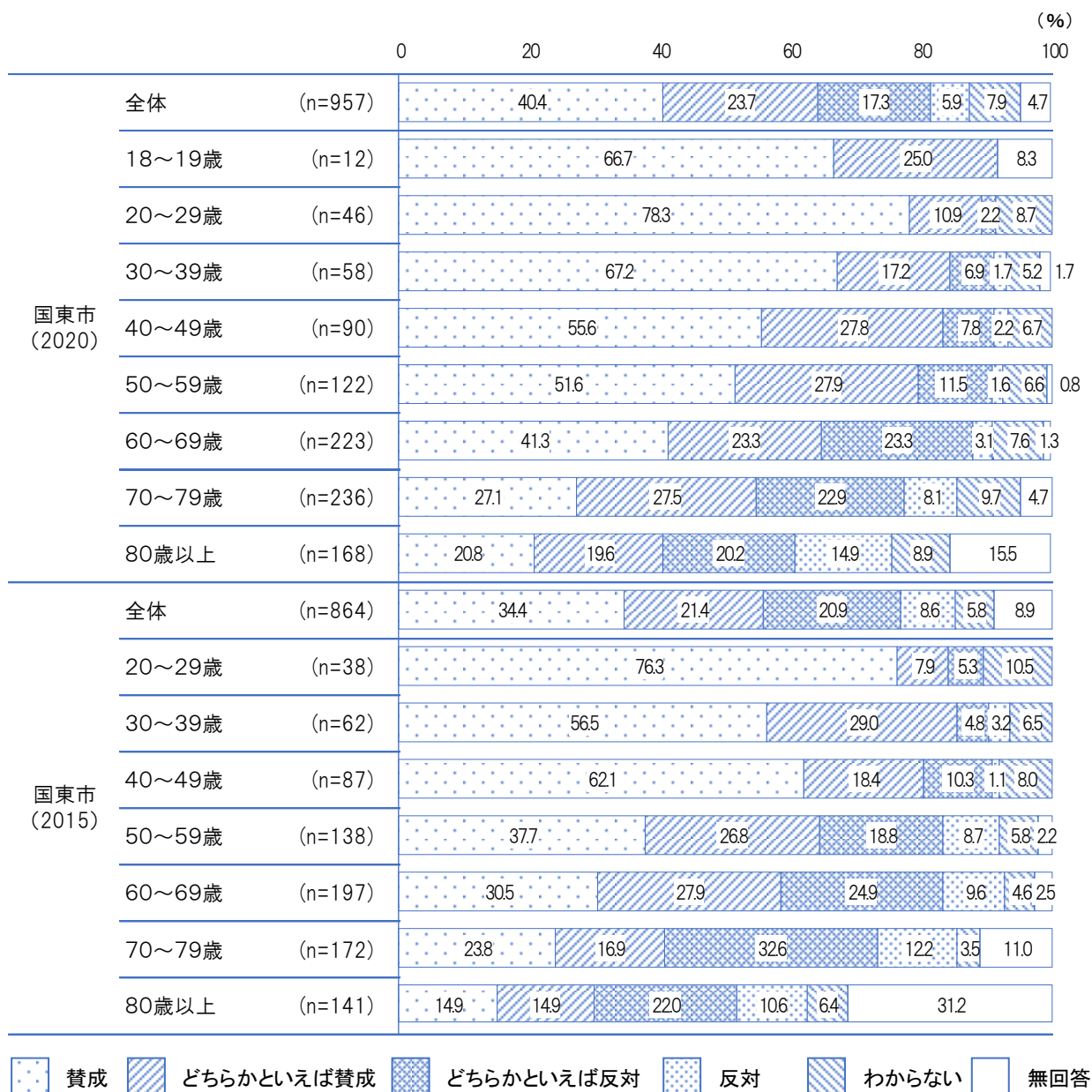
| 2020 調査結果 | 賛成 | どちらかとい えば賛成 | どちらかとい えば反対 | 反対 | わからない | 無回答 | 合計 |
|--------------|-------------|----------------|----------------|------------|-----------|------------|------------|
| 18～19歳 | 8 66.7 | 3 25.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 8.3 | 12 100 |
| 20～29歳 | 36 78.3 | 5 10.9 | 1 2.2 | 0 0.0 | 4 8.7 | 0 0.0 | 46 100 |
| 30～39歳 | 39 67.2 | 10 17.2 | 4 6.9 | 1 1.7 | 3 5.2 | 1 1.7 | 58 100 |
| 40～49歳 | 50 55.6 | 25 27.8 | 7 7.8 | 2 2.2 | 6 6.7 | 0 0.0 | 90 100 |
| 50～59歳 | 63 51.6 | 34 27.9 | 14 11.5 | 2 1.6 | 8 6.6 | 1 0.8 | 122 100 |
| 60～69歳 | 92 41.3 | 52 23.3 | 52 23.3 | 7 3.1 | 17 7.6 | 3 1.3 | 223 100 |
| 70～79歳 | 64 27.1 | 65 27.5 | 54 22.9 | 19 8.1 | 23 9.7 | 11 4.7 | 236 100 |
| 80歳以上 | 35 20.8 | 33 19.6 | 34 20.2 | 25 14.9 | 15 8.9 | 26 15.5 | 168 100 |
| 無回答 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 100.0 | 2 100 |
| 全体 | 387 40.4 | 227 23.7 | 166 17.3 | 56 5.9 | 76 7.9 | 45 4.7 | 957 100 |

【全体】



- 市全体では、結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよいについての考え方では、「賛成（賛成＋どちらかといえば賛成）」が 64.1%、「反対（反対＋どちらかといえば反対）」は 23.2%となっており、「賛成」が「反対」を上回っています。
- 2015調査と比較すると市全体では、「賛成（賛成＋どちらかといえば賛成）」の割合が 8.3 ㊦増加し、「反対（反対＋どちらかといえば反対）」は 6.3 ㊦減少しています。大分県2018調査との比較では、「賛成（賛成＋どちらかといえば賛成）」の割合が 3.4 ㊦減少し、「反対（反対＋どちらかといえば反対）」は大分県よりも 6.3 ㊦増加しています。

【年代別】



- ◆年代別では、「賛成(賛成+どちらかといえば賛成)」の割合が最も高いのは18～19歳で 91.7%、次いで20～29歳(89.2%)、30～39歳(84.4%)となっています。「反対(反対+どちらかといえば反対)」の割合が最も高いのは80歳以上で 35.1%、次いで70～79歳(31.0%)となっています。
- ◆2015調査と比較すると年代別では、「賛成(賛成+どちらかといえば賛成)」の割合が最も増加したのは50～59歳で 15.0 ㊦、次いで70～79歳(13.9 ㊦)となっています。

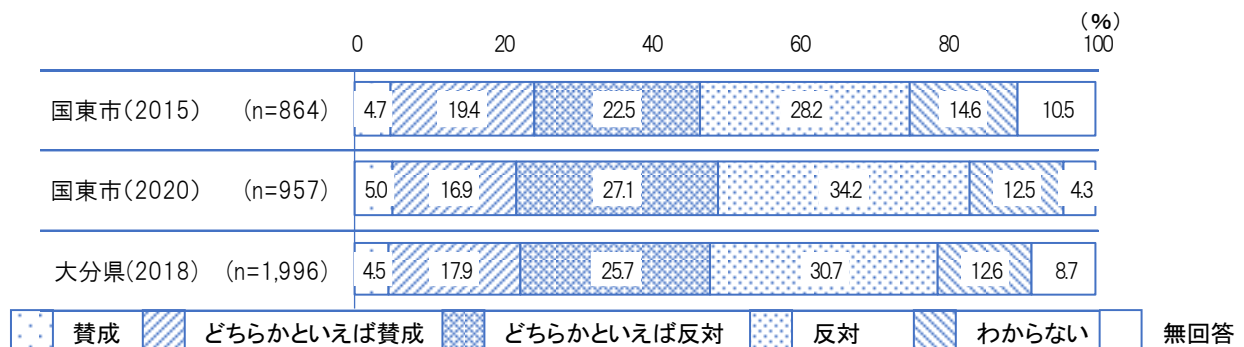
【問8 ウ. 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきであるについての考え方】

SA

上段:人数 下段:割合

| 2020 調査結果 | 賛成 | どちらかとい えば賛成 | どちらかとい えば反対 | 反対 | わからない | 無回答 | 合計 |
|--------------|------------|----------------|----------------|-------------|-------------|------------|------------|
| 18～19歳 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 16.7 | 8 66.7 | 1 8.3 | 1 8.3 | 12 100 |
| 20～29歳 | 2 4.3 | 3 6.5 | 11 23.9 | 24 52.2 | 6 13.0 | 0 0.0 | 46 100 |
| 30～39歳 | 0 0.0 | 2 3.4 | 14 24.1 | 29 50.0 | 12 20.7 | 1 1.7 | 58 100 |
| 40～49歳 | 2 2.2 | 8 8.9 | 28 31.1 | 38 42.2 | 14 15.6 | 0 0.0 | 90 100 |
| 50～59歳 | 1 0.8 | 9 7.4 | 37 30.3 | 55 45.1 | 20 16.4 | 0 0.0 | 122 100 |
| 60～69歳 | 6 2.7 | 36 16.1 | 64 28.7 | 86 38.6 | 28 12.6 | 3 1.3 | 223 100 |
| 70～79歳 | 15 6.4 | 59 25.0 | 67 28.4 | 62 26.3 | 24 10.2 | 9 3.8 | 236 100 |
| 80歳以上 | 22 13.1 | 45 26.8 | 35 20.8 | 25 14.9 | 15 8.9 | 26 15.5 | 168 100 |
| 無回答 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 2 100 |
| 全体 | 48 5.0 | 162 16.9 | 259 27.1 | 327 34.2 | 120 12.5 | 41 4.3 | 957 100 |

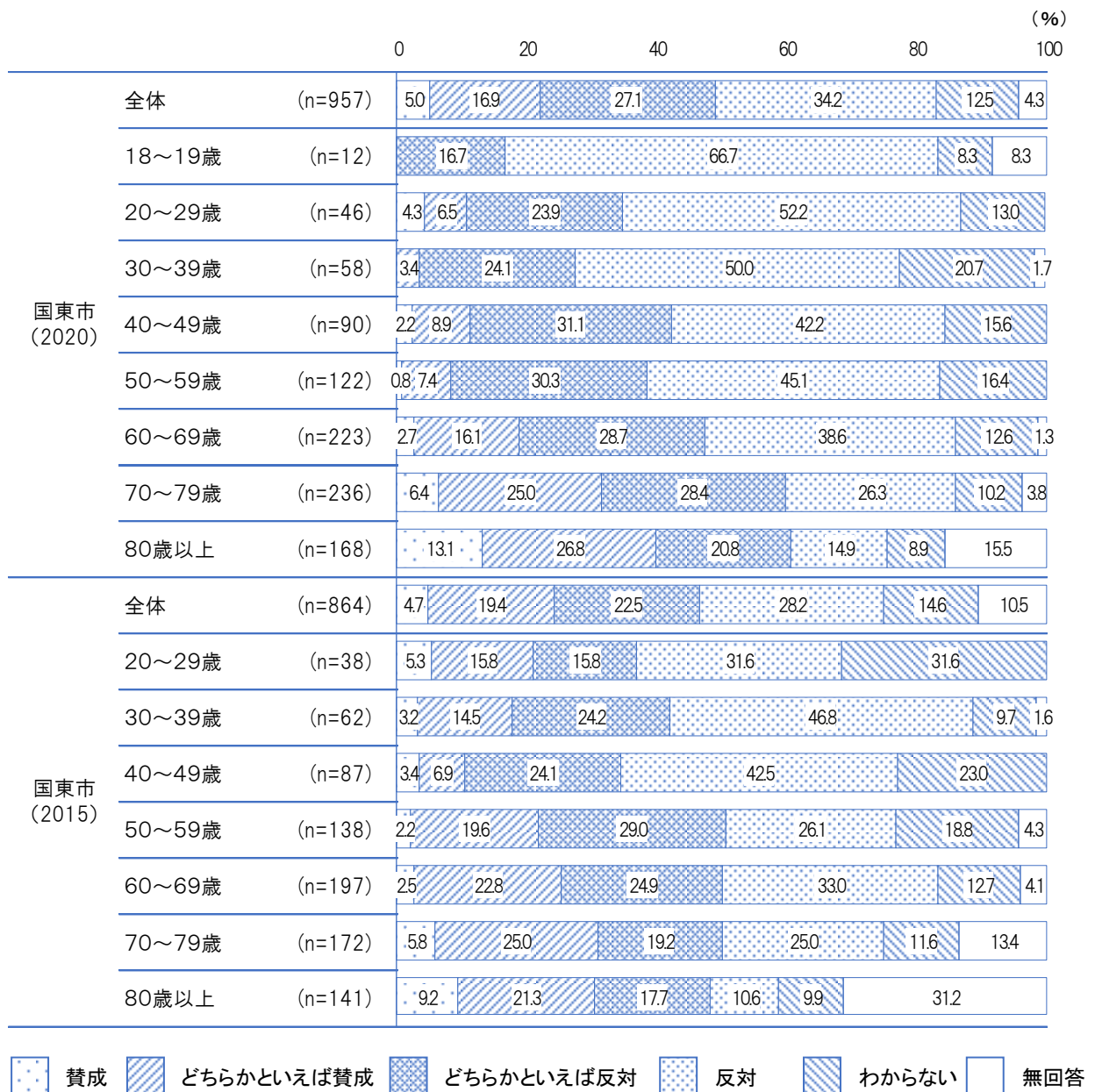
【全体】



■市全体では、夫は外で働き、妻は家庭を守るべきであるについての考え方では、「賛成(賛成+どちらかといえ
ば賛成)」が 21.9%、「反対(反対+どちらかといえば反対)」は 61.3%となっており、「反対」が「賛成」を上回
っています。

■2015調査と比較すると市全体では、「賛成(賛成+どちらかといえば賛成)」の割合が 2.2 ㊦減少し、「反対
(反対+どちらかといえば反対)」は 10.6 ㊦増加しています。大分県2018調査との比較では、「賛成(賛成+
どちらかといえば賛成)」の割合が 0.5 ㊦減少し、「反対(反対+どちらかといえば反対)」は大分県よりも 4.9 ㊦
増加しています。

【年代別】



- ◆年代別では、「賛成(賛成+どちらかといえば賛成)」の割合が最も高いのは80歳以上で 39.9%、次いで70~79歳(31.4%)、60~69歳(18.8%)となっています。「反対(反対+どちらかといえば反対)」の割合が最も高いのは18~19歳で83.4%、次いで20~29歳(76.1%)となっています。
- ◆2015調査と比較すると年代別では、「賛成(賛成+どちらかといえば賛成)」の割合が最も増加したのは80歳以上で9.4%、次いで40~49歳(0.8%)となっています。

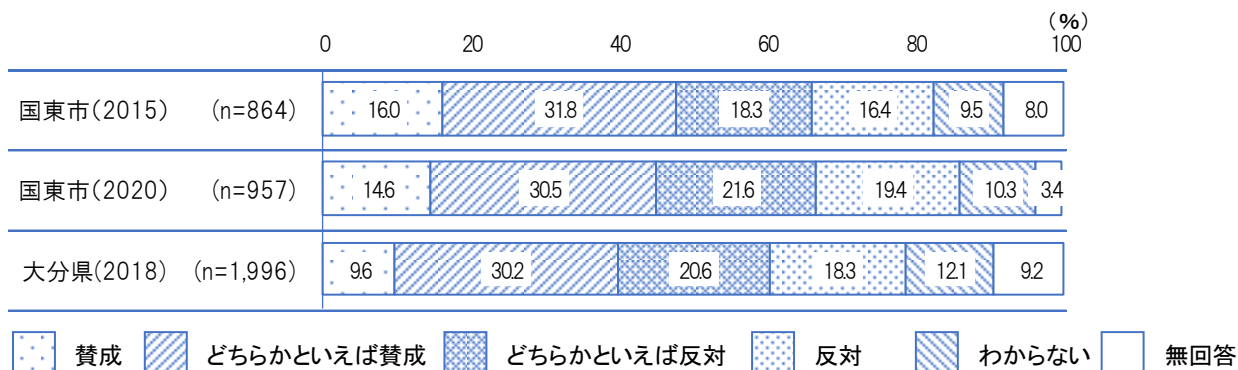
【問8 エ. 女性は結婚したら、夫や子どもなど家庭を中心に考えて生活した方がよいについての考え方】

SA

上段:人数 下段:割合

| 2020 調査結果 | 賛成 | どちらかとい えば賛成 | どちらかとい えば反対 | 反対 | わからない | 無回答 | 合計 |
|--------------|-------------|----------------|----------------|-------------|------------|------------|------------|
| 18～19歳 | 0 0.0 | 2 16.7 | 2 16.7 | 4 33.3 | 3 25.0 | 1 8.3 | 12 100 |
| 20～29歳 | 6 13.0 | 10 21.7 | 9 19.6 | 14 30.4 | 7 15.2 | 0 0.0 | 46 100 |
| 30～39歳 | 6 10.3 | 16 27.6 | 14 24.1 | 13 22.4 | 8 13.8 | 1 1.7 | 58 100 |
| 40～49歳 | 7 7.8 | 23 25.6 | 19 21.1 | 28 31.1 | 12 13.3 | 1 1.1 | 90 100 |
| 50～59歳 | 9 7.4 | 35 28.7 | 35 28.7 | 27 22.1 | 15 12.3 | 1 0.8 | 122 100 |
| 60～69歳 | 25 11.2 | 64 28.7 | 51 22.9 | 50 22.4 | 29 13.0 | 4 1.8 | 223 100 |
| 70～79歳 | 43 18.2 | 80 33.9 | 58 24.6 | 36 15.3 | 13 5.5 | 6 2.5 | 236 100 |
| 80歳以上 | 42 25.0 | 62 36.9 | 19 11.3 | 14 8.3 | 12 7.1 | 19 11.3 | 168 100 |
| 無回答 | 2 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 100 |
| 全体 | 140 14.6 | 292 30.5 | 207 21.6 | 186 19.4 | 99 10.3 | 33 3.4 | 957 100 |

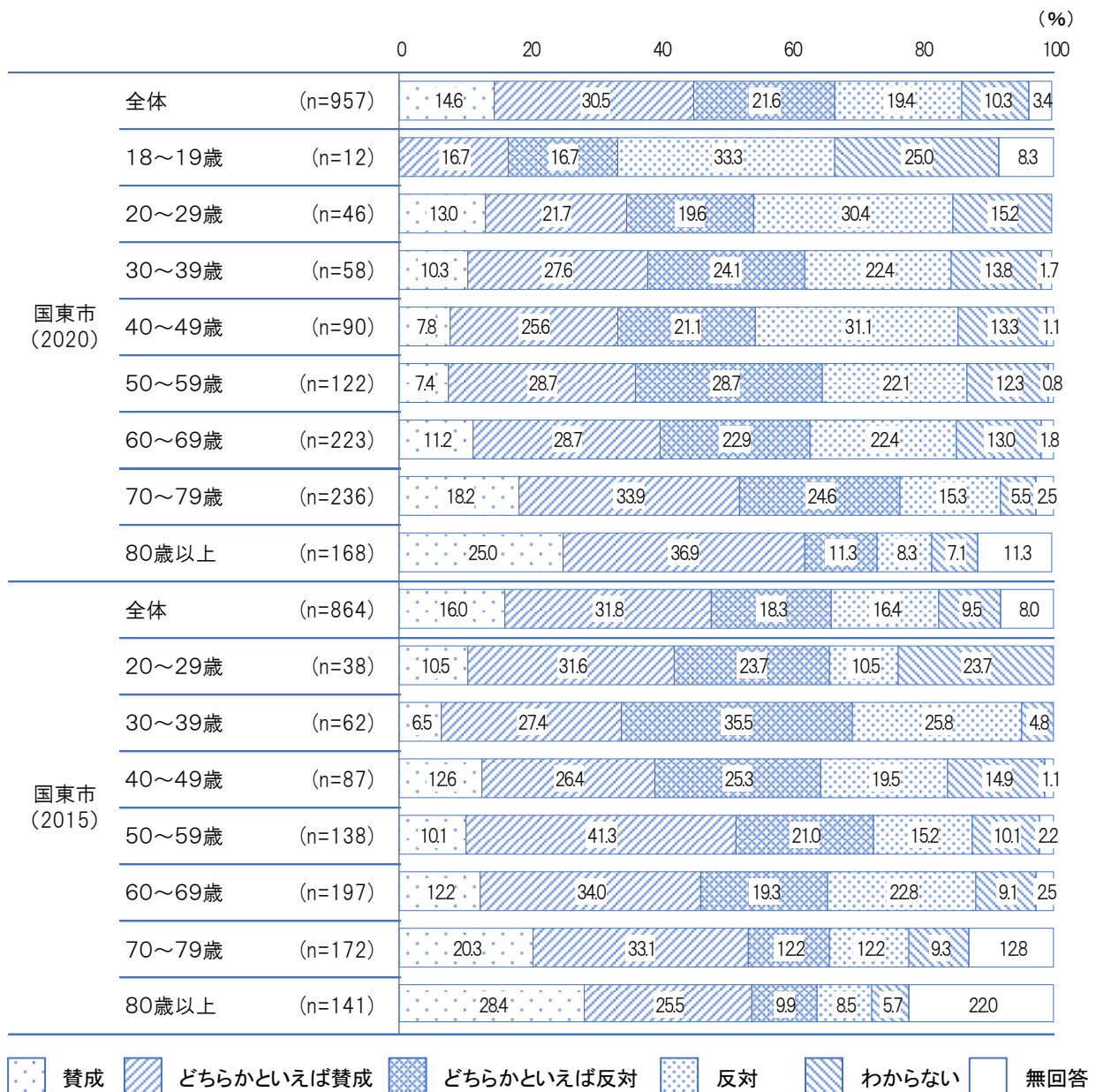
【全体】



■市全体では、女性は結婚したら、夫や子どもなど家庭を中心に考えて生活した方がよいについての考え方では、「賛成(賛成+どちらかといえば賛成)」が45.1%、「反対(反対+どちらかといえば反対)」は41.0%となっており、「賛成」が「反対」を上回っています。

■2015調査と比較すると市全体では、「賛成(賛成+どちらかといえば賛成)」の割合が2.7%減少し、「反対(反対+どちらかといえば反対)」は6.3%増加しています。大分県2018調査との比較では、「賛成(賛成+どちらかといえば賛成)」の割合が5.3%増加し、「反対(反対+どちらかといえば反対)」は大分県よりも2.1%増加しています。

【年代別】



- ◆年代別では、「賛成(賛成+どちらかといえば賛成)」の割合が最も高いのは80歳以上で 61.9%、次いで70～79歳(52.1%)、60～69歳(39.9%)となっています。「反対(反対+どちらかといえば反対)」の割合が最も高いのは40～49歳で 52.2%、次いで50～59歳(50.8%)となっています。
- ◆2015調査と比較すると年代別では、「賛成(賛成+どちらかといえば賛成)」の割合が最も増加したのは80歳以上で 8.0 ㊦、次いで30～39歳(4.0 ㊦)となっています。

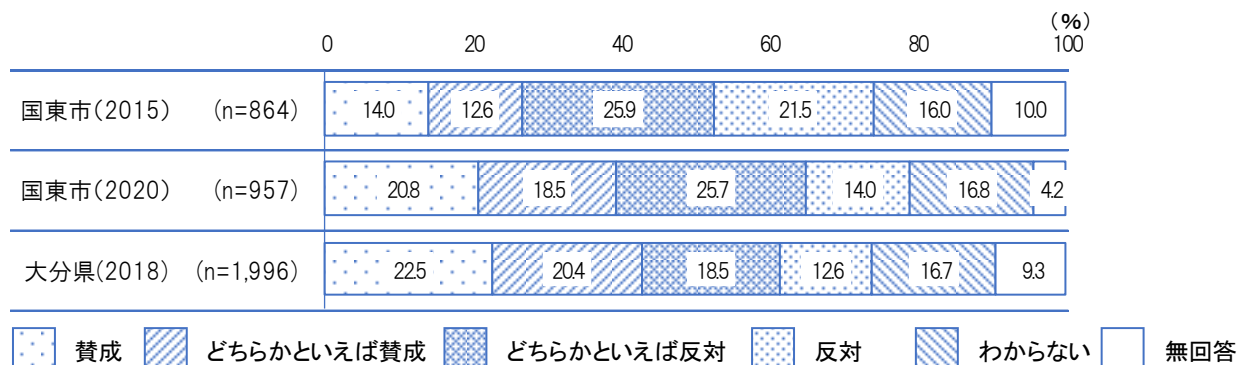
【問8 オ. 結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はないについての考え方】

SA

上段:人数 下段:割合

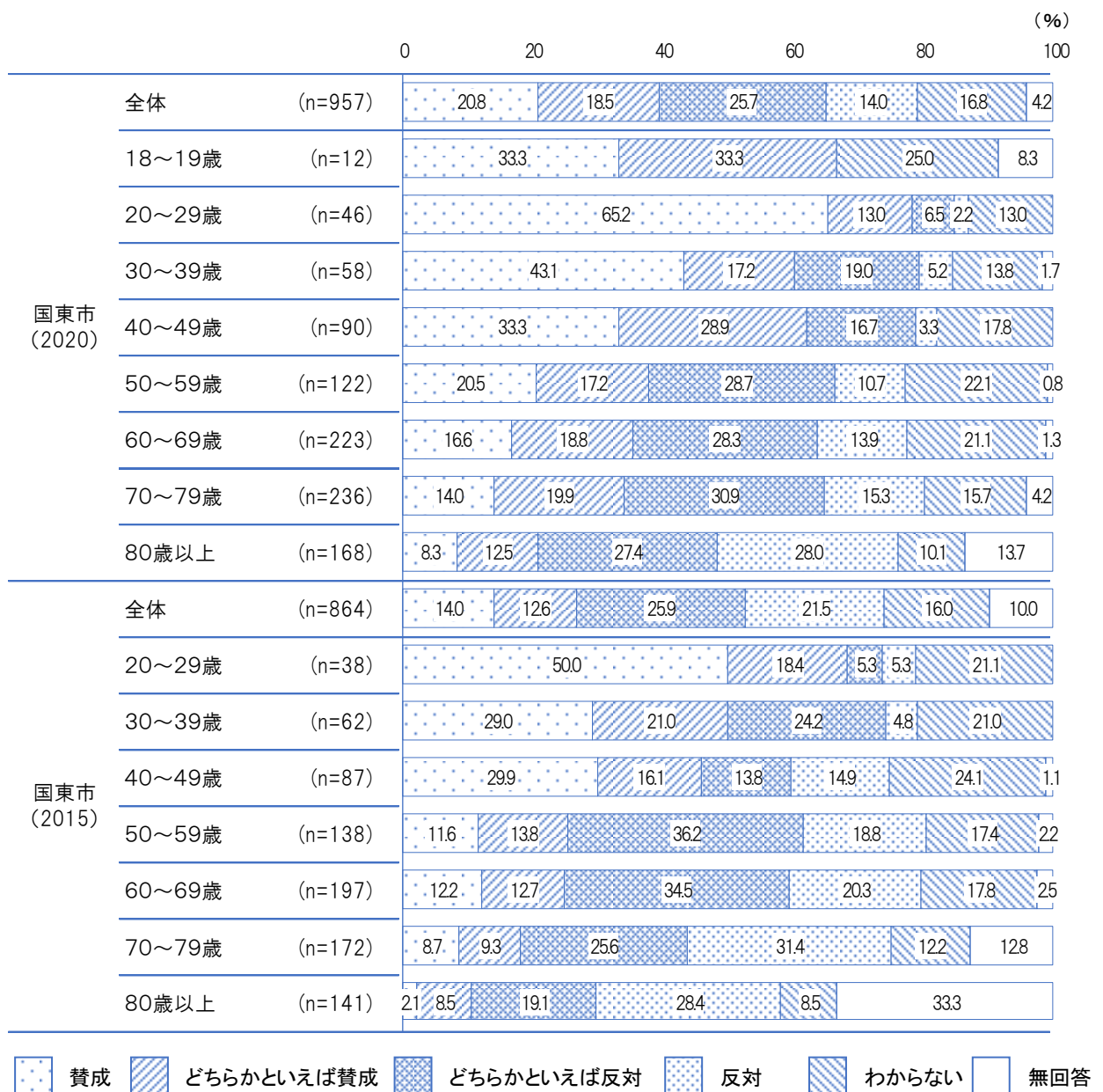
| 2020 調査結果 | 賛成 | どちらかとい えば賛成 | どちらかとい えば反対 | 反対 | わからない | 無回答 | 合計 |
|--------------|-------------|----------------|----------------|-------------|-------------|------------|------------|
| 18～19歳 | 4 33.3 | 4 33.3 | 0 0.0 | 0 0.0 | 3 25.0 | 1 8.3 | 12 100 |
| 20～29歳 | 30 65.2 | 6 13.0 | 3 6.5 | 1 2.2 | 6 13.0 | 0 0.0 | 46 100 |
| 30～39歳 | 25 43.1 | 10 17.2 | 11 19.0 | 3 5.2 | 8 13.8 | 1 1.7 | 58 100 |
| 40～49歳 | 30 33.3 | 26 28.9 | 15 16.7 | 3 3.3 | 16 17.8 | 0 0.0 | 90 100 |
| 50～59歳 | 25 20.5 | 21 17.2 | 35 28.7 | 13 10.7 | 27 22.1 | 1 0.8 | 122 100 |
| 60～69歳 | 37 16.6 | 42 18.8 | 63 28.3 | 31 13.9 | 47 21.1 | 3 1.3 | 223 100 |
| 70～79歳 | 33 14.0 | 47 19.9 | 73 30.9 | 36 15.3 | 37 15.7 | 10 4.2 | 236 100 |
| 80歳以上 | 14 8.3 | 21 12.5 | 46 27.4 | 47 28.0 | 17 10.1 | 23 13.7 | 168 100 |
| 無回答 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 2 100 |
| 全体 | 199 20.8 | 177 18.5 | 246 25.7 | 134 14.0 | 161 16.8 | 40 4.2 | 957 100 |

【全体】



- 市全体では、結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はないについての考え方では、「賛成(賛成+どちらかとい
えば賛成)」が 39.3%、「反対(反対+どちらかといえば反対)」は 39.7%となっており、「反対」が「賛成」を上
回っています。
- 2015調査と比較すると市全体では、「賛成(賛成+どちらかといえば賛成)」の割合が 12.7 ㊦増加し、「反対
(反対+どちらかといえば反対)」は 7.7 ㊦減少しています。大分県2018調査との比較では、「賛成(賛成+ど
ちらかといえば賛成)」の割合が 3.6 ㊦減少し、「反対(反対+どちらかといえば反対)」は大分県よりも 8.6 ㊦
増加しています。

【年代別】



- ◆年代別では、「賛成(賛成+どちらかといえば賛成)」の割合が最も高いのは20～29歳で78.2%、次いで18～19歳(66.6%)、40～49歳(62.2%)となっています。「反対(反対+どちらかといえば反対)」の割合が最も高いのは80歳以上で55.4%、次いで70～79歳(46.2%)となっています。
- ◆2015調査と比較すると年代別では、「賛成(賛成+どちらかといえば賛成)」の割合が最も増加したのは40～49歳で16.2ポイント、次いで70～79歳(15.9ポイント)となっています。

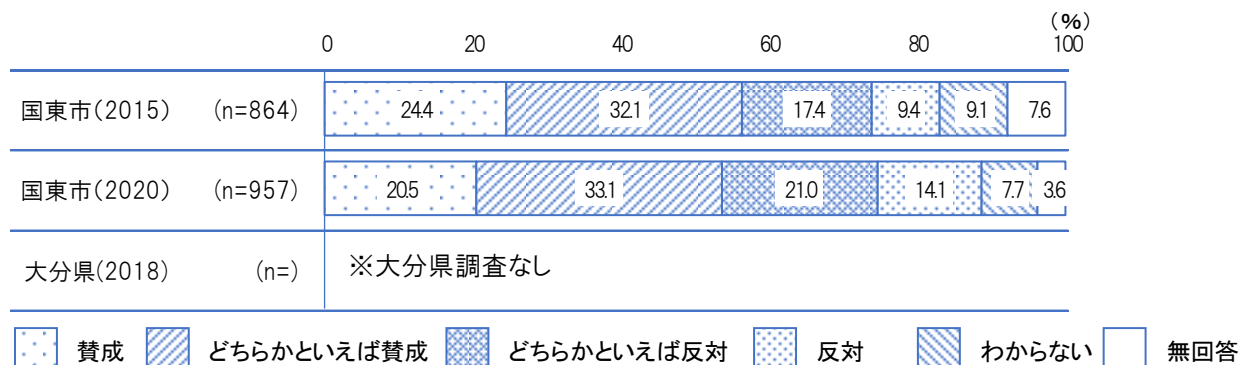
【問8 カ. 女性は仕事を持つのはよいが、家事・育児はきちんとすべきであるについての考え方】

SA

上段:人数 下段:割合

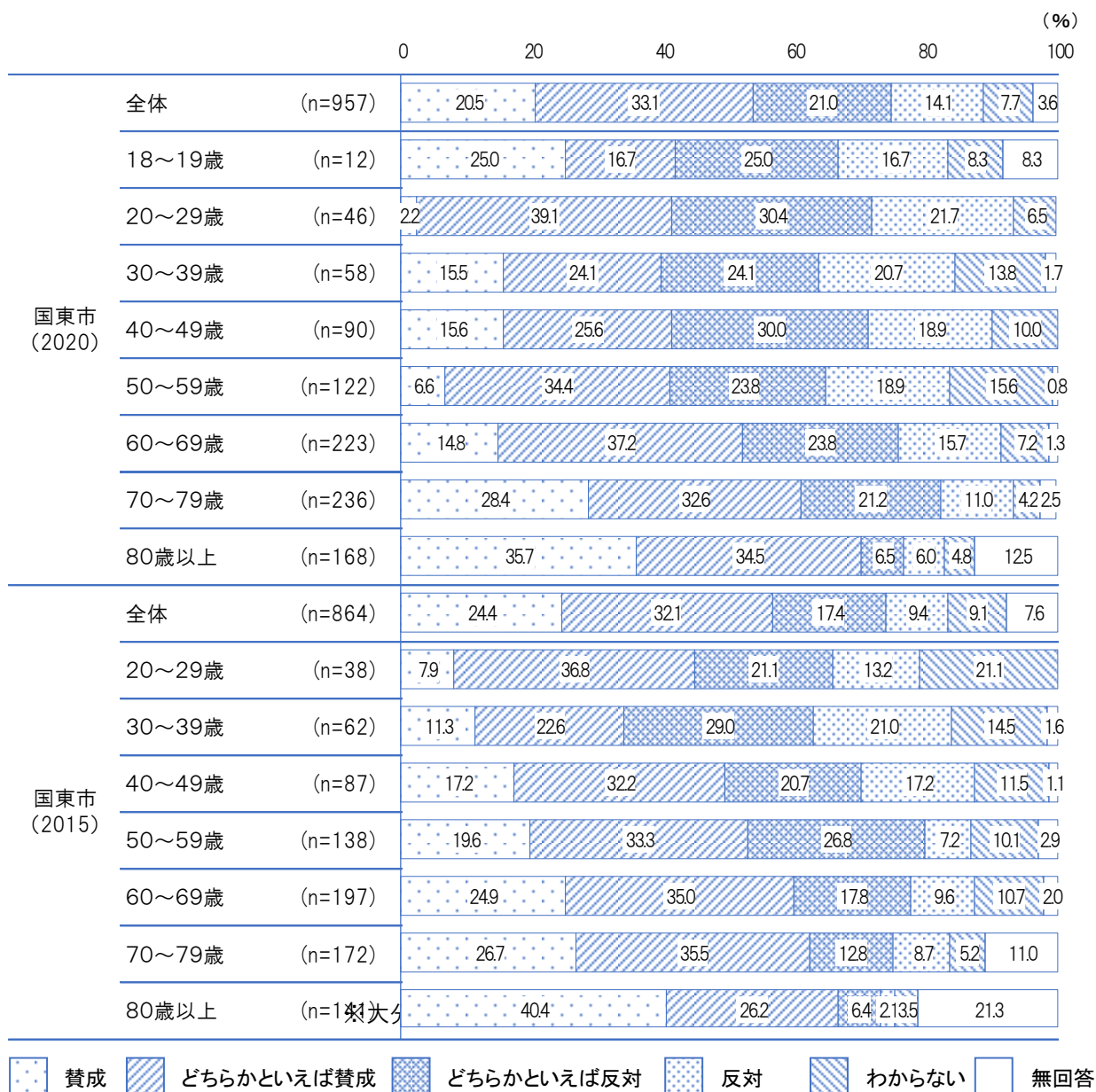
| 2020 調査結果 | 賛成 | どちらかとい えば賛成 | どちらかとい えば反対 | 反対 | わからない | 無回答 | 合計 |
|--------------|-------------|----------------|----------------|-------------|------------|------------|------------|
| 18～19歳 | 3 25.0 | 2 16.7 | 3 25.0 | 2 16.7 | 1 8.3 | 1 8.3 | 12 100 |
| 20～29歳 | 1 2.2 | 18 39.1 | 14 30.4 | 10 21.7 | 3 6.5 | 0 0.0 | 46 100 |
| 30～39歳 | 9 15.5 | 14 24.1 | 14 24.1 | 12 20.7 | 8 13.8 | 1 1.7 | 58 100 |
| 40～49歳 | 14 15.6 | 23 25.6 | 27 30.0 | 17 18.9 | 9 10.0 | 0 0.0 | 90 100 |
| 50～59歳 | 8 6.6 | 42 34.4 | 29 23.8 | 23 18.9 | 19 15.6 | 1 0.8 | 122 100 |
| 60～69歳 | 33 14.8 | 83 37.2 | 53 23.8 | 35 15.7 | 16 7.2 | 3 1.3 | 223 100 |
| 70～79歳 | 67 28.4 | 77 32.6 | 50 21.2 | 26 11.0 | 10 4.2 | 6 2.5 | 236 100 |
| 80歳以上 | 60 35.7 | 58 34.5 | 11 6.5 | 10 6.0 | 8 4.8 | 21 12.5 | 168 100 |
| 無回答 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 2 100 |
| 全体 | 196 20.5 | 317 33.1 | 201 21.0 | 135 14.1 | 74 7.7 | 34 3.6 | 957 100 |

【全体】



- 市全体では、女性は仕事を持つのはよいが、家事・育児はきちんとすべきであるについての考え方では、「賛成(賛成+どちらかといえ
ば賛成)」が 53.6%、「反対(反対+どちらかといえ
ば反対)」は 35.1%となっており、「賛成」が「反対」を上回っています。
- 2015調査と比較すると市全体では、「賛成(賛成+どちらかといえ
ば賛成)」の割合が 2.9 ㊦減少し、「反対
(反対+どちらかといえ
ば反対)」は 8.3 ㊦増加しています。

【年代別】



- ◆年代別では、「賛成(賛成+どちらかといえば賛成)」の割合が最も高いのは80歳以上で 70.2%、次いで70～79歳(61.0%)、60～69歳(52.0%)となっています。「反対(反対+どちらかといえば反対)」の割合が最も高いのは20～29歳で 52.1%、次いで40～49歳(48.9%)となっています。
- ◆2015調査と比較すると年代別では、「賛成(賛成+どちらかといえば賛成)」の割合が最も増加したのは30～39歳で 5.7 ㊦、次いで80歳以上(3.6 ㊦)となっています。

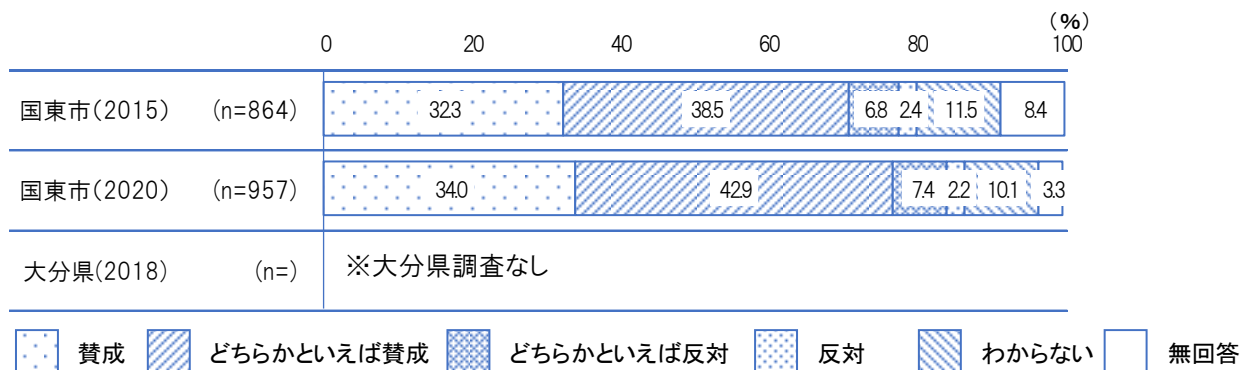
【問8 キ. 男性は育児・介護休暇などを積極的にとるべきであるについての考え方】

SA

上段:人数 下段:割合

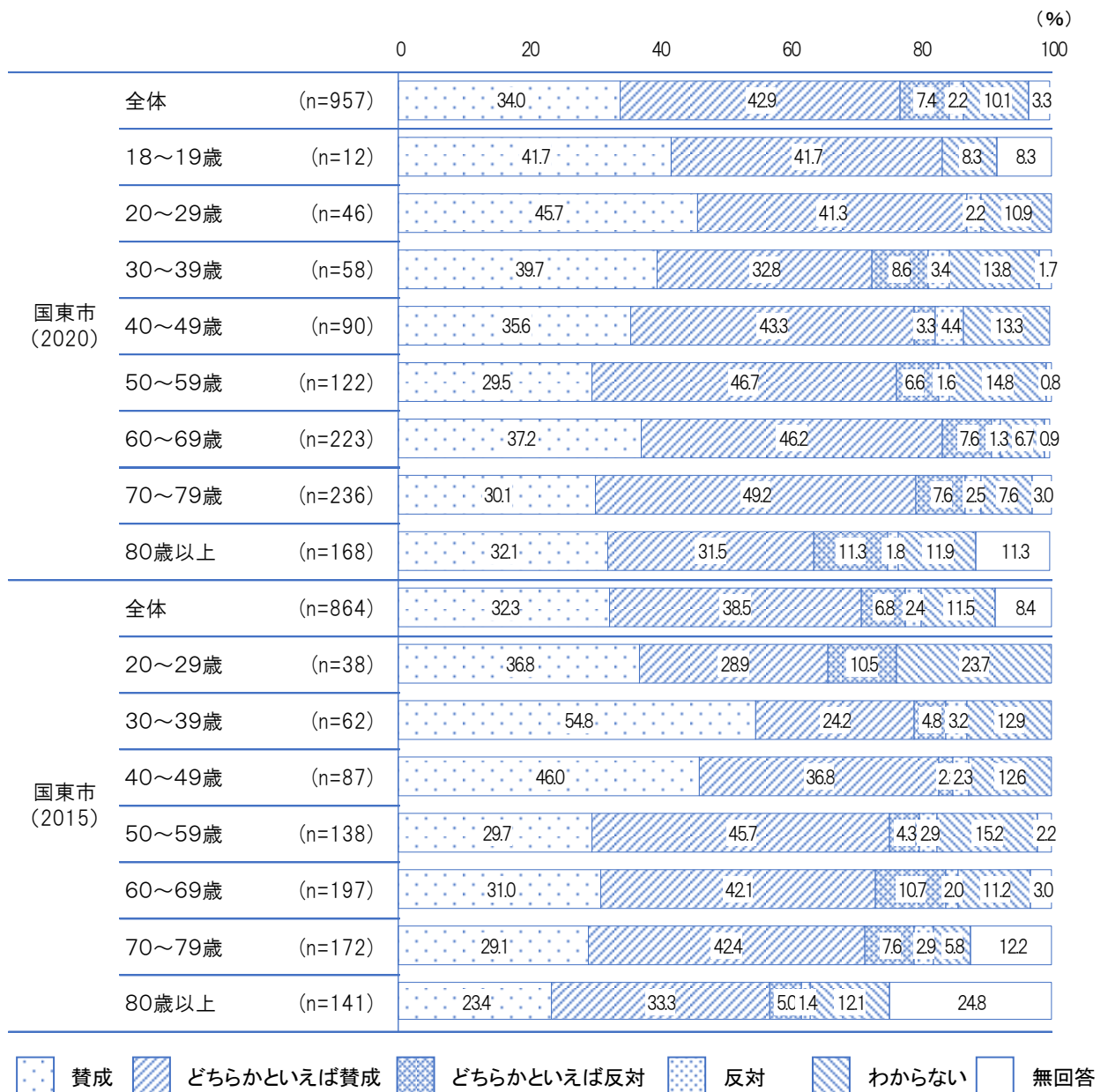
| 2020 調査結果 | 賛成 | どちらかとい えば賛成 | どちらかとい えば反対 | 反対 | わからない | 無回答 | 合計 |
|--------------|-------------|----------------|----------------|-----------|------------|------------|------------|
| 18～19歳 | 5 41.7 | 5 41.7 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 8.3 | 1 8.3 | 12 100 |
| 20～29歳 | 21 45.7 | 19 41.3 | 0 0.0 | 1 2.2 | 5 10.9 | 0 0.0 | 46 100 |
| 30～39歳 | 23 39.7 | 19 32.8 | 5 8.6 | 2 3.4 | 8 13.8 | 1 1.7 | 58 100 |
| 40～49歳 | 32 35.6 | 39 43.3 | 3 3.3 | 4 4.4 | 12 13.3 | 0 0.0 | 90 100 |
| 50～59歳 | 36 29.5 | 57 46.7 | 8 6.6 | 2 1.6 | 18 14.8 | 1 0.8 | 122 100 |
| 60～69歳 | 83 37.2 | 103 46.2 | 17 7.6 | 3 1.3 | 15 6.7 | 2 0.9 | 223 100 |
| 70～79歳 | 71 30.1 | 116 49.2 | 18 7.6 | 6 2.5 | 18 7.6 | 7 3.0 | 236 100 |
| 80歳以上 | 54 32.1 | 53 31.5 | 19 11.3 | 3 1.8 | 20 11.9 | 19 11.3 | 168 100 |
| 無回答 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 2 100 |
| 全体 | 325 34.0 | 411 42.9 | 71 7.4 | 21 2.2 | 97 10.1 | 32 3.3 | 957 100 |

【全体】



- 市全体では、男性は育児・介護休暇などを積極的にとるべきであるについての考え方では、「賛成(賛成+どちらかといえば賛成)」が 76.9%、「反対(反対+どちらかといえば反対)」は 9.6%となっており、「賛成」が「反対」を上回っています。
- 2015調査と比較すると市全体では、「賛成(賛成+どちらかといえば賛成)」の割合が 6.1 ㊦増加し、「反対(反対+どちらかといえば反対)」も 0.4 ㊦増加しています。

【年代別】

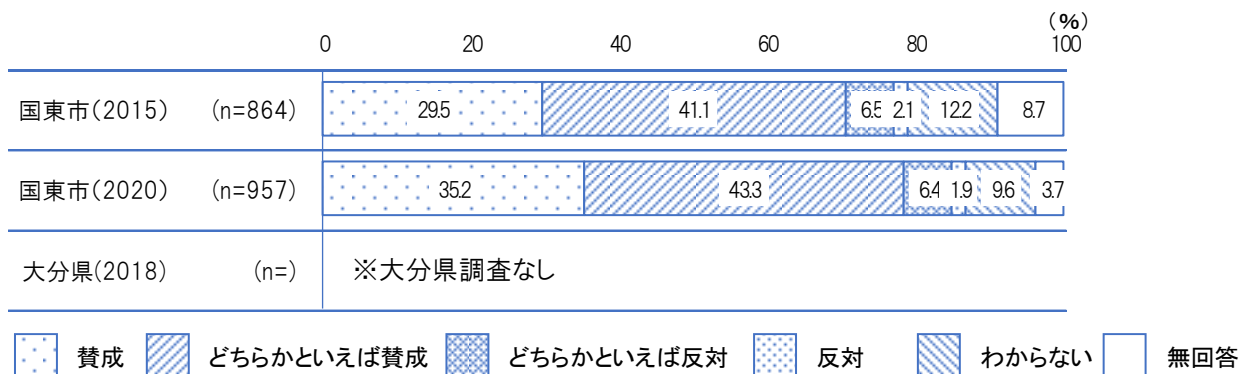


- ◆年代別では、「賛成(賛成+どちらかといえば賛成)」の割合が最も高いのは20～29歳で 87.0%、次いで18～19歳(83.4%)、60～69歳(83.4%)となっています。「反対(反対+どちらかといえば反対)」の割合が最も高いのは80歳以上で 13.1%、次いで30～39歳(12.0%)となっています。
- ◆2015調査と比較すると年代別では、「賛成(賛成+どちらかといえば賛成)」の割合が最も増加したのは20～29歳で 21.3 ㊦、次いで60～69歳(10.3 ㊦)となっています。

【問8 ク. 男性は、家事や育児の時間をもっと増やすべきであるについての考え方】

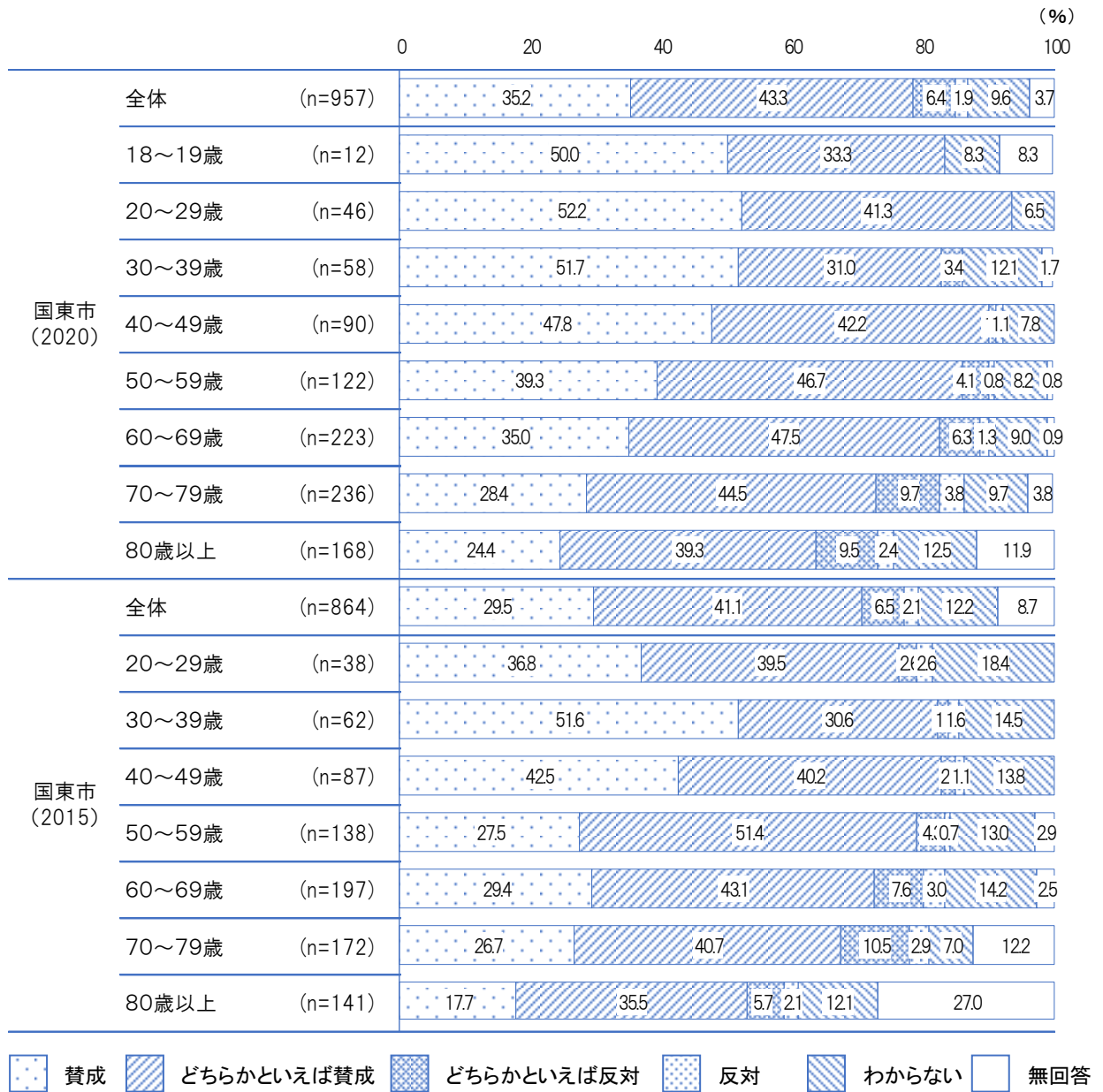
| SA | | 上段:人数 下段:割合 | | | | | |
|--------------|-------------|----------------|----------------|-----------|------------|------------|------------|
| 2020 調査結果 | 賛成 | どちらかとい えば賛成 | どちらかとい えば反対 | 反対 | わからない | 無回答 | 合計 |
| 18～19歳 | 6 50.0 | 4 33.3 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 8.3 | 1 8.3 | 12 100 |
| 20～29歳 | 24 52.2 | 19 41.3 | 0 0.0 | 0 0.0 | 3 6.5 | 0 0.0 | 46 100 |
| 30～39歳 | 30 51.7 | 18 31.0 | 2 3.4 | 0 0.0 | 7 12.1 | 1 1.7 | 58 100 |
| 40～49歳 | 43 47.8 | 38 42.2 | 1 1.1 | 1 1.1 | 7 7.8 | 0 0.0 | 90 100 |
| 50～59歳 | 48 39.3 | 57 46.7 | 5 4.1 | 1 0.8 | 10 8.2 | 1 0.8 | 122 100 |
| 60～69歳 | 78 35.0 | 106 47.5 | 14 6.3 | 3 1.3 | 20 9.0 | 2 0.9 | 223 100 |
| 70～79歳 | 67 28.4 | 105 44.5 | 23 9.7 | 9 3.8 | 23 9.7 | 9 3.8 | 236 100 |
| 80歳以上 | 41 24.4 | 66 39.3 | 16 9.5 | 4 2.4 | 21 12.5 | 20 11.9 | 168 100 |
| 無回答 | 0 0.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 2 100 |
| 全体 | 337 35.2 | 414 43.3 | 61 6.4 | 18 1.9 | 92 9.6 | 35 3.7 | 957 100 |

【全体】



- 市全体では、男性は、家事や育児の時間をもっと増やすべきであるについての考え方では、「賛成(賛成+どちらかといえば賛成)」が 78.5%、「反対(反対+どちらかといえば反対)」は 8.3%となっており、「賛成」が「反対」を上回っています。
- 2015調査と比較すると市全体では、「賛成(賛成+どちらかといえば賛成)」の割合が 7.9 ㊦増加し、「反対(反対+どちらかといえば反対)」は 0.3 ㊦減少しています。

【年代別】



- ◆年代別では、「賛成(賛成+どちらかといえば賛成)」の割合が最も高いのは20～29歳で 93.5%、次いで40～49歳(90.0%)、50～59歳(86.0%)となっています。「反対(反対+どちらかといえば反対)」の割合が最も高いのは70～79歳で 13.5%、次いで80歳以上(11.9%)となっています。
- ◆2015調査と比較すると年代別では、「賛成(賛成+どちらかといえば賛成)」の割合が最も増加したのは20～29歳で 17.2 ポイント、次いで80歳以上(10.5 ポイント)となっています。

Ⅲ. 子どもの人権について(問9～問10)

[MA]

問9 あなたは、子どもに関することで現在どのような人権問題があると思いますか。

MA

上段:人数 下段:割合

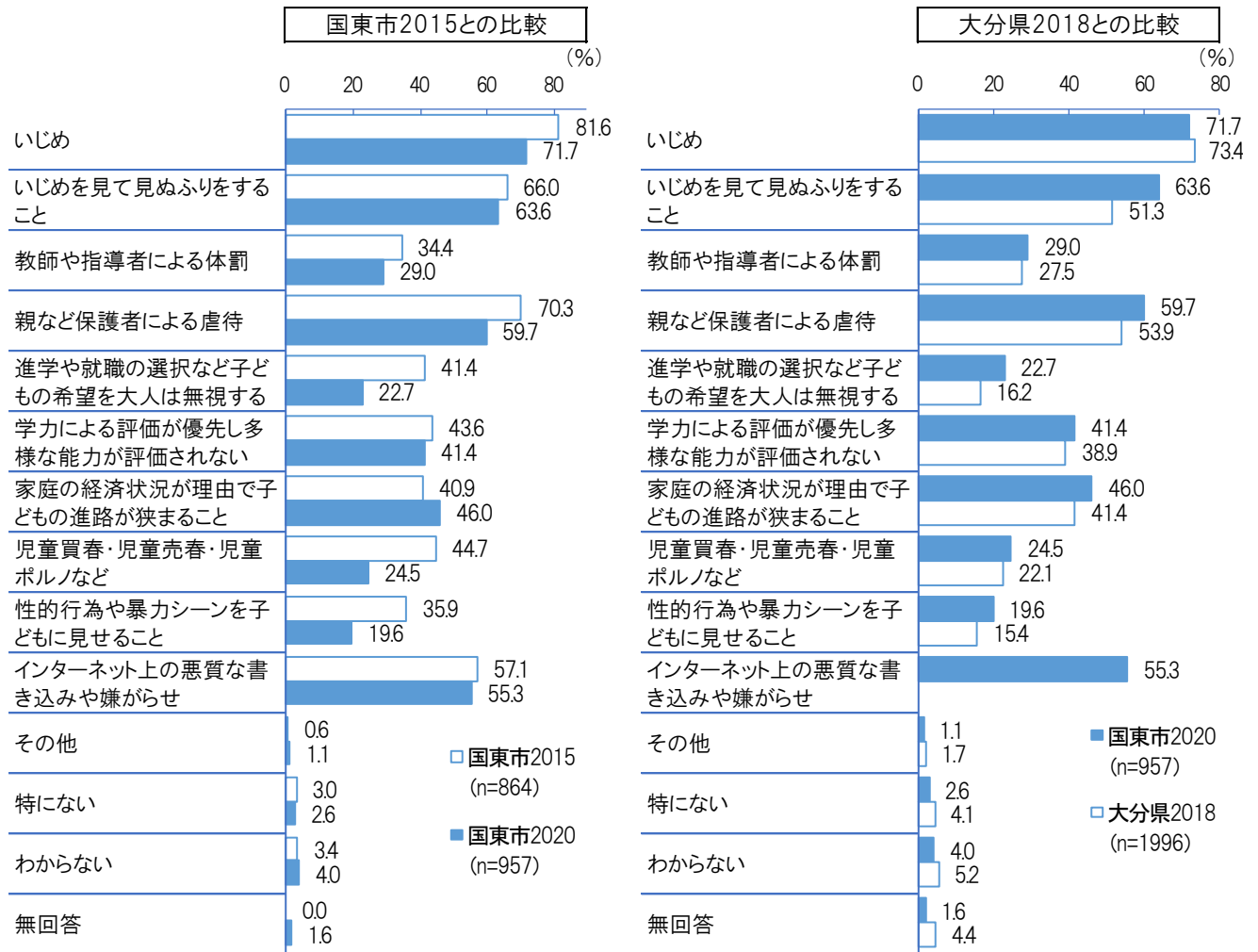
| 2020 調査結果 | いじめ | いじめを見て 見ぬふりをす ること | 教師や指導 者による体罰 | 親など保護 者による虐待 (子どもへの 暴言・暴行や わいせつ行 為、育児放 棄など) | 進学先や就 職先の選択 など、子ども 本人の希望 (意見)を大 人は無視す ること | 学力による評 価が優先し、 多様な能力 が評価され ないこと | 家庭の経済 状況が理由 で、子どもの 進路が狭ま ること | 児童買春・児 童売春・児童 ポルノなど |
|--------------|-------------|-------------------------|-----------------|---------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|------------------------------------------|---------------------------|
| 18～19歳 | 11 91.7 | 9 75.0 | 3 25.0 | 9 75.0 | 3 25.0 | 3 25.0 | 6 50.0 | 4 33.3 |
| 20～29歳 | 43 93.5 | 39 84.8 | 21 45.7 | 34 73.9 | 14 30.4 | 21 45.7 | 23 50.0 | 13 28.3 |
| 30～39歳 | 44 75.9 | 36 62.1 | 22 37.9 | 42 72.4 | 15 25.9 | 21 36.2 | 27 46.6 | 13 22.4 |
| 40～49歳 | 77 85.6 | 64 71.1 | 30 33.3 | 63 70.0 | 28 31.1 | 37 41.1 | 45 50.0 | 26 28.9 |
| 50～59歳 | 102 83.6 | 91 74.6 | 40 32.8 | 87 71.3 | 33 27.0 | 51 41.8 | 72 59.0 | 33 27.0 |
| 60～69歳 | 171 76.7 | 149 66.8 | 76 34.1 | 139 62.3 | 52 23.3 | 112 50.2 | 105 47.1 | 58 26.0 |
| 70～79歳 | 147 62.3 | 142 60.2 | 49 20.8 | 122 51.7 | 45 19.1 | 102 43.2 | 103 43.6 | 49 20.8 |
| 80歳以上 | 90 53.6 | 78 46.4 | 37 22.0 | 75 44.6 | 27 16.1 | 49 29.2 | 58 34.5 | 38 22.6 |
| 無回答 | 1 50.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 0 0.0 |
| 全体 | 686 71.7 | 609 63.6 | 278 29.0 | 571 59.7 | 217 22.7 | 396 41.4 | 440 46.0 | 234 24.5 |

MA

上段:人数 下段:割合

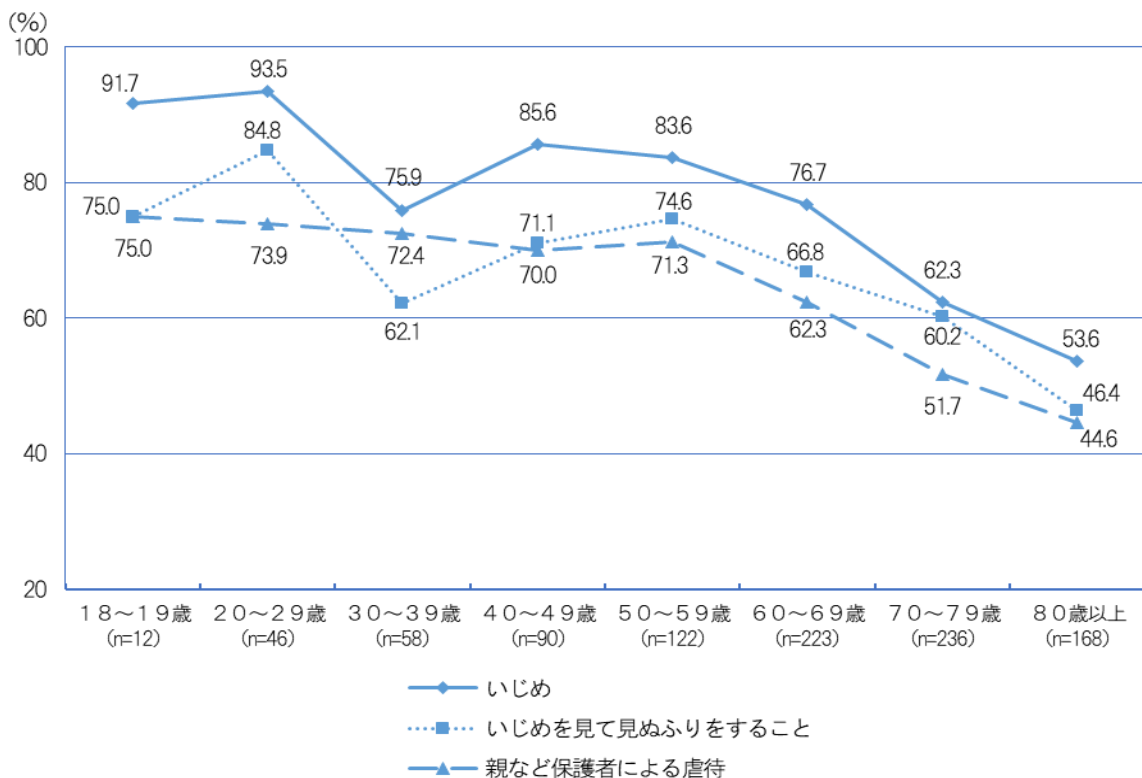
| 2020 調査結果 | 性的行為や 暴力シーンを 子どもに見 せること | インターネット 上の掲示板 や電子メー ルでの悪質 な書き込み や嫌がらせ | その他 | 特にな い | わから ない | 無回答 | 合計 |
|--------------|----------------------------------|------------------------------------------------------|-----------|-----------|------------|-----------|------------|
| 18～19歳 | 2 16.7 | 6 50.0 | 1 8.3 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 12 100 |
| 20～29歳 | 8 17.4 | 30 65.2 | 1 2.2 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 46 100 |
| 30～39歳 | 8 13.8 | 36 62.1 | 2 3.4 | 0 0.0 | 3 5.2 | 1 1.7 | 58 100 |
| 40～49歳 | 24 26.7 | 65 72.2 | 2 2.2 | 1 1.1 | 2 2.2 | 0 0.0 | 90 100 |
| 50～59歳 | 23 18.9 | 97 79.5 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 0.8 | 0 0.0 | 122 100 |
| 60～69歳 | 46 20.6 | 130 58.3 | 1 0.4 | 3 1.3 | 6 2.7 | 1 0.4 | 223 100 |
| 70～79歳 | 49 20.8 | 105 44.5 | 3 1.3 | 9 3.8 | 9 3.8 | 8 3.4 | 236 100 |
| 80歳以上 | 28 16.7 | 60 35.7 | 1 0.6 | 11 6.5 | 17 10.1 | 5 3.0 | 168 100 |
| 無回答 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 100 |
| 全体 | 188 19.6 | 529 55.3 | 11 1.1 | 25 2.6 | 38 4.0 | 15 1.6 | 957 100 |

【全体】

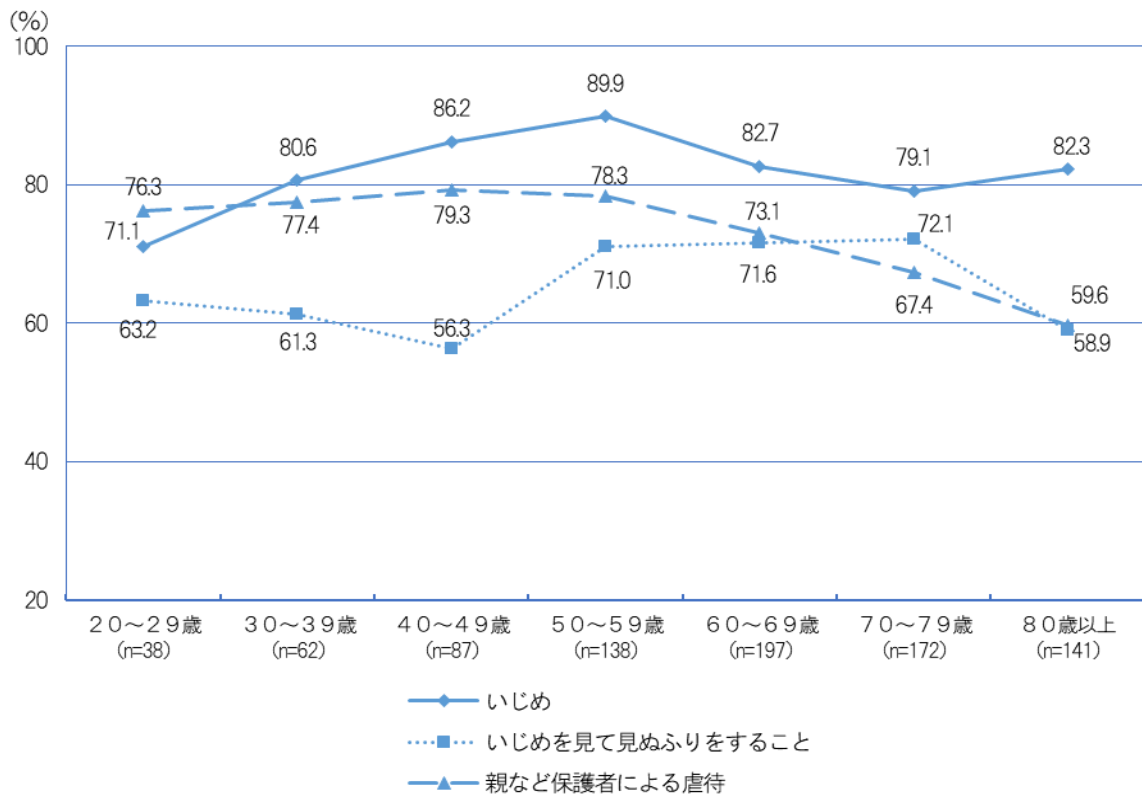


※大分県2018調査では「インターネット上の掲示板や電子メールでの悪質な書き込みや嫌がらせ」の項目なし。

【年代別】<【国東市2020】子どもの人権上、問題と思われる上位3項目の年代別状況>



【年代別】<【国東市2015】子どもの人権上、問題と思われる上位3項目の年代別状況>



■市全体では、子どもに関することで現在どのような人権問題があるかでは、「いじめ」の割合が 71.7%と最も高く、次いで「いじめを見て見ぬふりをする事」(63.6%)、「親など保護者による虐待(子どもへの暴言・暴行やわいせつ行為、育児放棄など)」(59.7%)となっています。

■2015調査と比較すると、市全体では、「いじめ」の割合が 9.9 ㊦、次いで「いじめを見て見ぬふりをする事」(2.4 ㊦)、「親など保護者による虐待(子どもへの暴言・暴行やわいせつ行為、育児放棄など)」(10.6 ㊦)がそれぞれ減少しています。大分県2018調査との比較では、「いじめ」の割合は大分県よりも 1.7 ㊦減少していますが、他の項目は大分県の割合よりも増加しており、人権問題に対する意識が高くなっています。

◆年代別では、問題と思われる上位3項目について50歳代以降から減少傾向となっています。

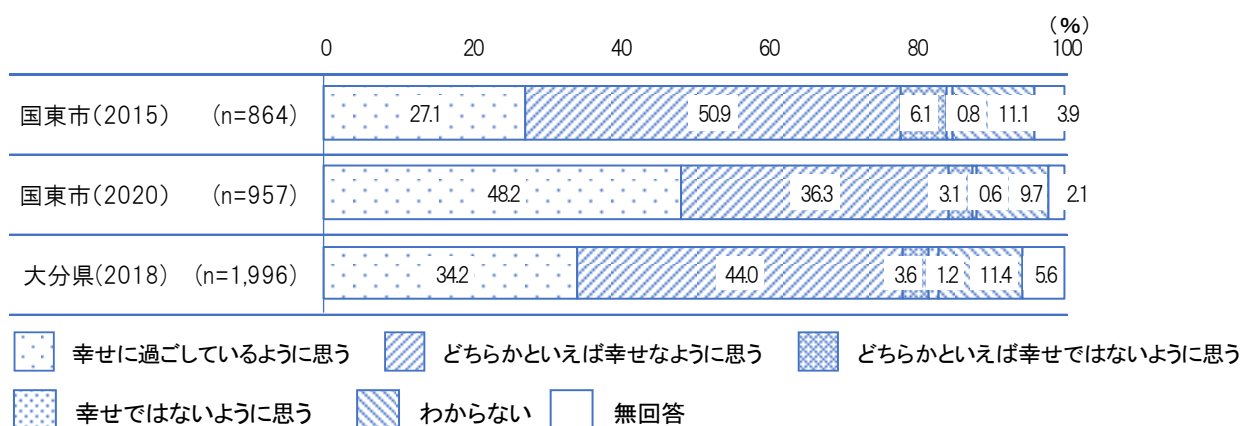
◆2015調査と比較すると上位3項目について、20~29歳では「いじめ」「いじめを見て見ぬふりをする事」、30~39歳では「いじめを見て見ぬふりをする事」、40~49歳では「いじめを見て見ぬふりをする事」、50~59歳では「いじめを見て見ぬふりをする事」の割合がそれぞれ2015調査よりも増加しています。

問10 あなたは、あなたの周りにいる子どもが幸せに過ごしているように思いますか。

【ア. 家庭では子どもが幸せに過ごしているように思うかの割合】

| 2020 調査結果 | 上段:人数 下段:割合 | | | | | | 合計 |
|--------------|----------------|------------------|---------------------|-------------|------------|-----------|------------|
| | 幸せに過ごしているように思う | どちらかといえば幸せなように思う | どちらかといえば幸せではないように思う | 幸せではないように思う | わからない | 無回答 | |
| 18～19歳 | 4 33.3 | 4 33.3 | 1 8.3 | 0 0.0 | 3 25.0 | 0 0.0 | 12 100 |
| 20～29歳 | 20 43.5 | 15 32.6 | 1 2.2 | 0 0.0 | 10 21.7 | 0 0.0 | 46 100 |
| 30～39歳 | 18 31.0 | 29 50.0 | 2 3.4 | 0 0.0 | 8 13.8 | 1 1.7 | 58 100 |
| 40～49歳 | 35 38.9 | 43 47.8 | 2 2.2 | 1 1.1 | 9 10.0 | 0 0.0 | 90 100 |
| 50～59歳 | 46 37.7 | 51 41.8 | 8 6.6 | 1 0.8 | 16 13.1 | 0 0.0 | 122 100 |
| 60～69歳 | 110 49.3 | 84 37.7 | 11 4.9 | 1 0.4 | 14 6.3 | 3 1.3 | 223 100 |
| 70～79歳 | 136 57.6 | 70 29.7 | 3 1.3 | 1 0.4 | 21 8.9 | 5 2.1 | 236 100 |
| 80歳以上 | 91 54.2 | 51 30.4 | 2 1.2 | 2 1.2 | 12 7.1 | 10 6.0 | 168 100 |
| 無回答 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 2 100 |
| 全体 | 461 48.2 | 347 36.3 | 30 3.1 | 6 0.6 | 93 9.7 | 20 2.1 | 957 100 |

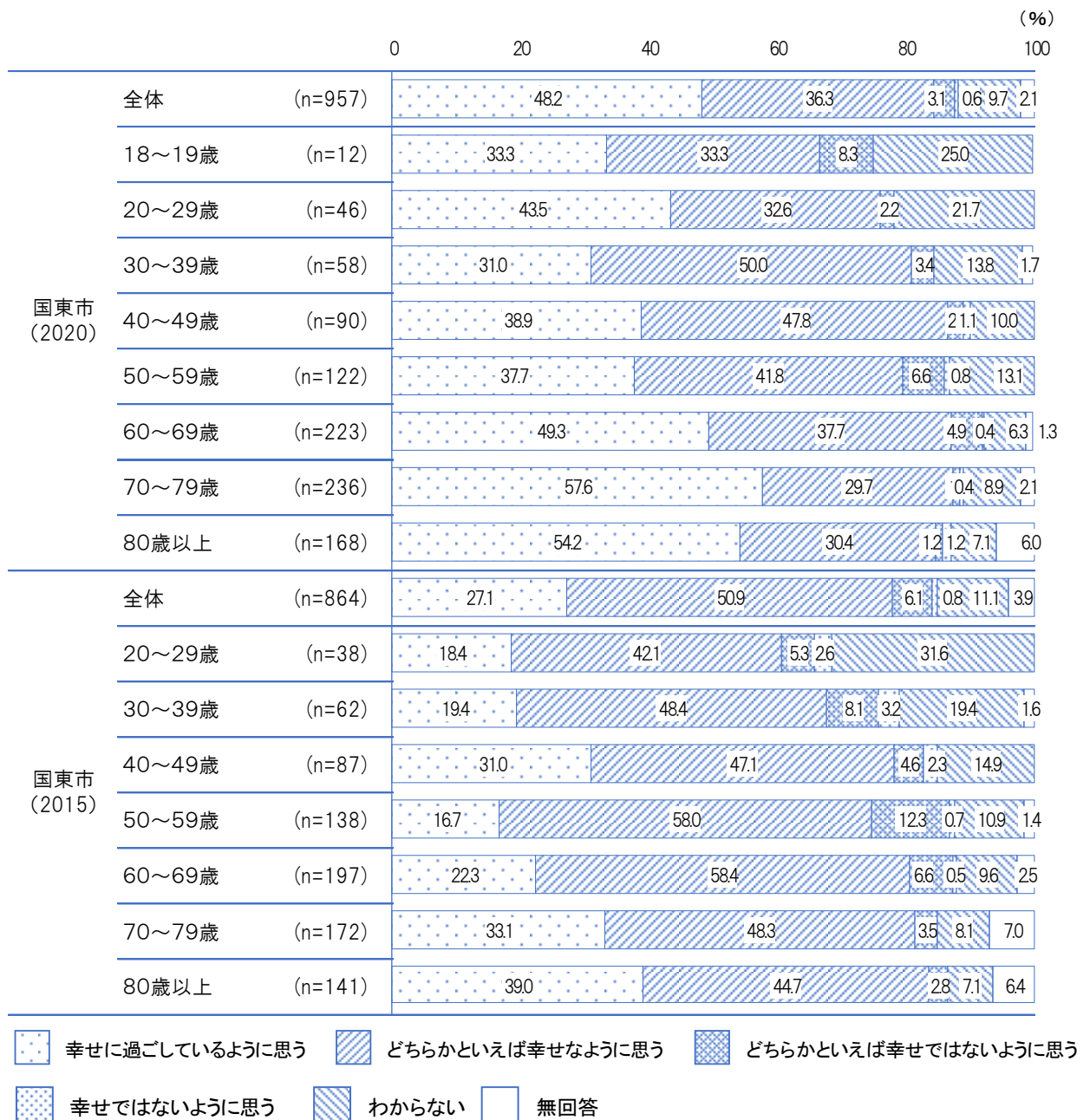
【全体】



■市全体では、家庭では子どもが幸せに過ごしているように思うかの割合については、「幸せ(幸せに過ごしているように思う+どちらかといえば幸せなように思う)」の割合が 84.5%となっており、約8割の人が家庭では子どもが幸せに過ごしているように思うと答えています。

■2015調査と比較すると市全体では、「幸せ(幸せに過ごしているように思う+どちらかといえば幸せなように思う)」の割合が 6.5 ㊦増加しています。大分県2018調査との比較では、「幸せ(幸せに過ごしているように思う+どちらかといえば幸せなように思う)」の割合が大分県よりも 6.3 ㊦増加しています。

【年代別】

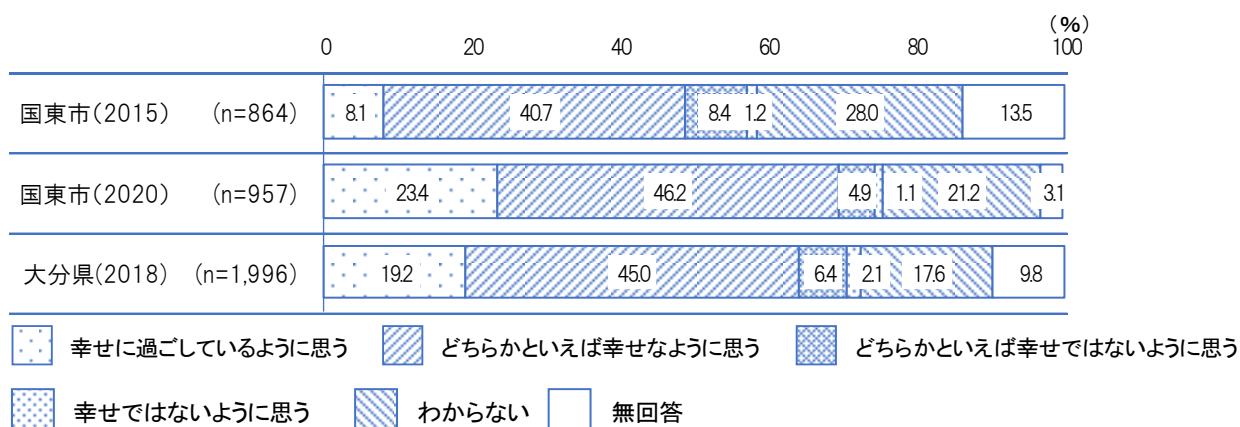


- ◆年代別では、家庭では子どもが幸せに過ごしているように思うかの割合については、「幸せ(幸せに過ごしているように思う+どちらかといえば幸せなように思う)」の割合が最も高いのは70～79歳で 87.3%、次いで60～69歳(87.0%)、40歳～49歳(86.7%)となっています。割合が最も低いのは18～19歳で 66.6%、次いで20～29歳(76.1%)となっています。
- ◆2015調査と比較すると年代別では、「幸せ(幸せに過ごしているように思う+どちらかといえば幸せなように思う)」の割合が最も増加したのは20～29歳で 15.6 ㊦、次いで30～39歳(13.2 ㊦)となっています。

【イ. 学校では子どもが幸せに過ごしているように思うかの割合】

| 2020 調査結果 | 上段:人数 下段:割合 | | | | | | 合計 |
|--------------|----------------|------------------|---------------------|-------------|-------------|------------|------------|
| | 幸せに過ごしているように思う | どちらかといえば幸せなように思う | どちらかといえば幸せではないように思う | 幸せではないように思う | わからない | 無回答 | |
| 18～19歳 | 5 41.7 | 3 25.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 4 33.3 | 0 0.0 | 12 100 |
| 20～29歳 | 12 26.1 | 20 43.5 | 2 4.3 | 0 0.0 | 12 26.1 | 0 0.0 | 46 100 |
| 30～39歳 | 9 15.5 | 35 60.3 | 3 5.2 | 0 0.0 | 10 17.2 | 1 1.7 | 58 100 |
| 40～49歳 | 27 30.0 | 44 48.9 | 9 10.0 | 0 0.0 | 10 11.1 | 0 0.0 | 90 100 |
| 50～59歳 | 22 18.0 | 64 52.5 | 5 4.1 | 4 3.3 | 26 21.3 | 1 0.8 | 122 100 |
| 60～69歳 | 49 22.0 | 119 53.4 | 12 5.4 | 2 0.9 | 39 17.5 | 2 0.9 | 223 100 |
| 70～79歳 | 65 27.5 | 93 39.4 | 11 4.7 | 4 1.7 | 58 24.6 | 5 2.1 | 236 100 |
| 80歳以上 | 35 20.8 | 64 38.1 | 5 3.0 | 1 0.6 | 43 25.6 | 20 11.9 | 168 100 |
| 無回答 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 1 50.0 | 2 100 |
| 全体 | 224 23.4 | 442 46.2 | 47 4.9 | 11 1.1 | 203 21.2 | 30 3.1 | 957 100 |

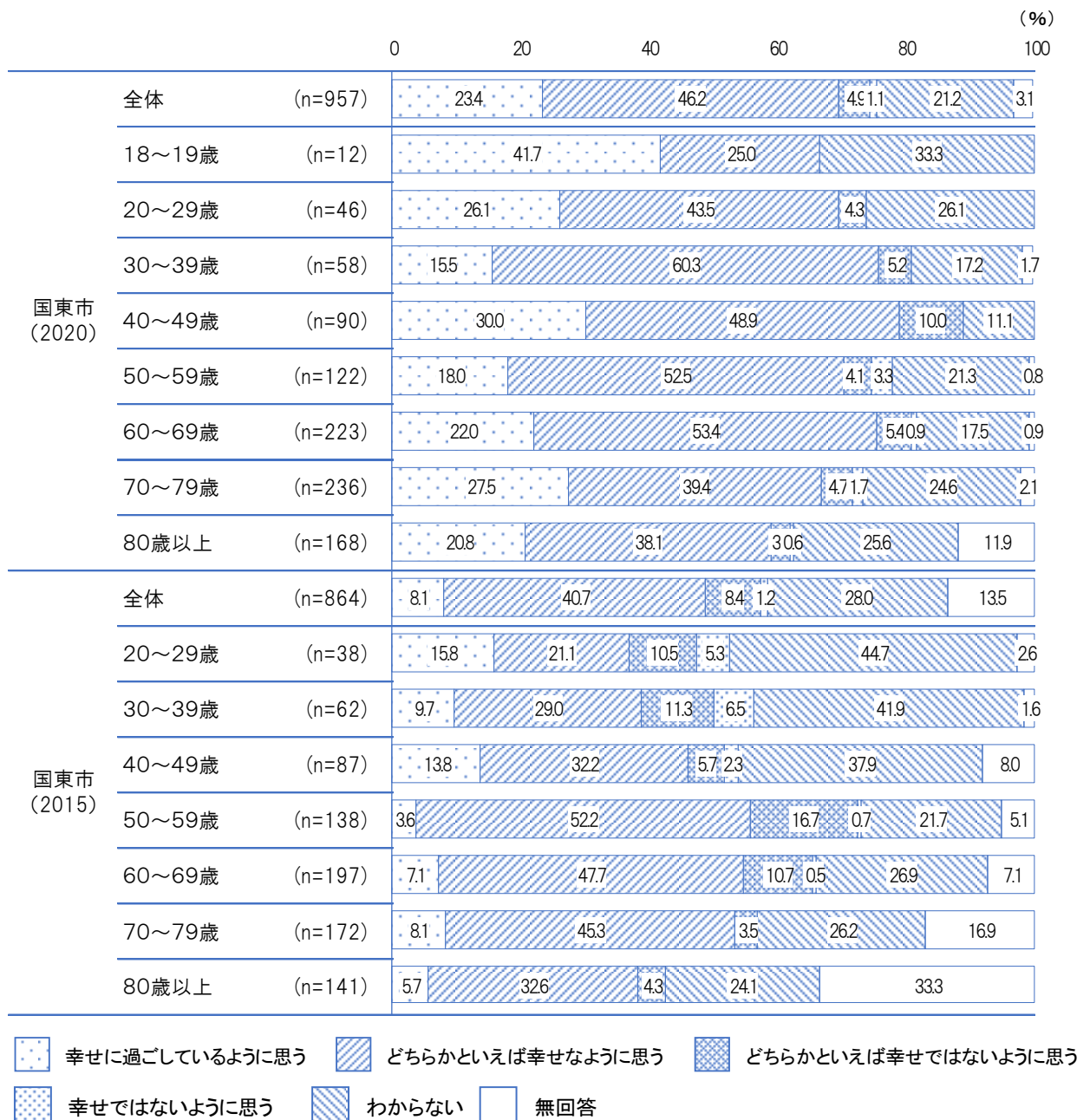
【全体】



■市全体では、学校では子どもが幸せに過ごしているように思うかの割合については、「幸せ(幸せに過ごしているように思う+どちらかといえば幸せなように思う)」の割合が 69.6%となっており、約7割の人が学校では子どもが幸せに過ごしているように思うと答えています。

■2015調査と比較すると市全体では、「幸せ(幸せに過ごしているように思う+どちらかといえば幸せなように思う)」の割合が 20.8 ㊦増加しています。大分県2018調査との比較では、「幸せ(幸せに過ごしているように思う+どちらかといえば幸せなように思う)」の割合が大分県よりも 5.4 ㊦増加しています。

【年代別】



◆年代別では、学校では子どもが幸せに過ごしているように思うかの割合については、「幸せ(幸せに過ごしているように思う+どちらかといえば幸せなように思う)」の割合が最も高いのは40～49歳で 78.9%、次いで30～39歳(75.8%)、60歳～69歳(75.4%)となっています。割合が最も低いのは80歳以上で 58.9%、次いで18～19歳(66.7%)となっています。

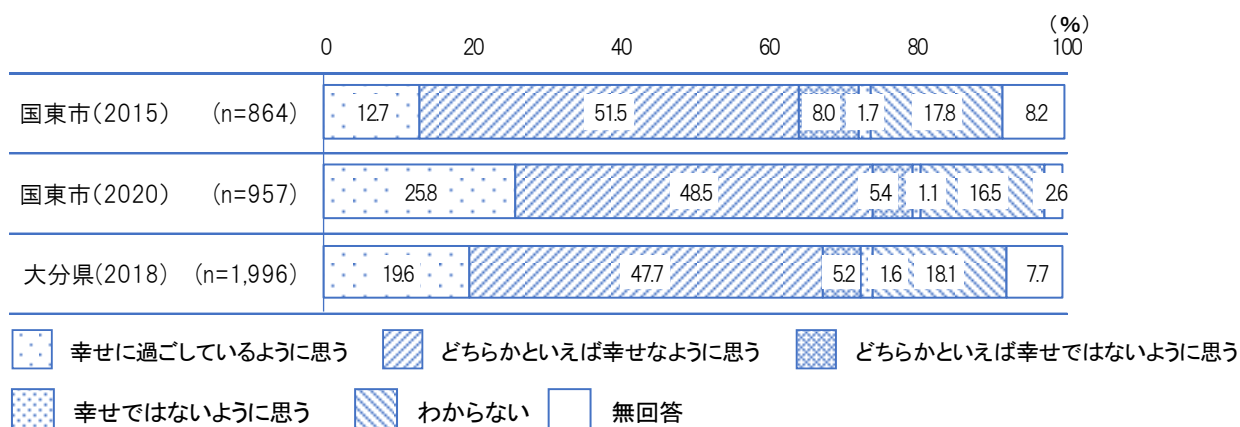
◆2015調査と比較すると年代別では、「幸せ(幸せに過ごしているように思う+どちらかといえば幸せなように思う)」の割合が最も増加したのは30～39歳で 37.1 ㊦、次いで40～49歳(32.9 ㊦)となっています。

【ウ. 地域(家庭や学校以外)では子どもが幸せに過ごしているように思うかの度合】

SA 上段:人数 下段:割合

| 2020 調査結果 | 幸せに過ご しているよう に思う | どちらかとい えば幸せな ように思う | どちらかとい えば幸せで はないよう に思う | 幸せではな いように思 う | わからない | 無回答 | 合計 |
|--------------|------------------------|--------------------------|---------------------------------|---------------------|-------------|------------|------------|
| 18～19歳 | 4 33.3 | 3 25.0 | 1 8.3 | 1 8.3 | 3 25.0 | 0 0.0 | 12 100 |
| 20～29歳 | 14 30.4 | 20 43.5 | 1 2.2 | 0 0.0 | 11 23.9 | 0 0.0 | 46 100 |
| 30～39歳 | 7 12.1 | 33 56.9 | 5 8.6 | 1 1.7 | 11 19.0 | 1 1.7 | 58 100 |
| 40～49歳 | 24 26.7 | 51 56.7 | 6 6.7 | 1 1.1 | 8 8.9 | 0 0.0 | 90 100 |
| 50～59歳 | 25 20.5 | 64 52.5 | 10 8.2 | 2 1.6 | 20 16.4 | 1 0.8 | 122 100 |
| 60～69歳 | 55 24.7 | 122 54.7 | 11 4.9 | 2 0.9 | 31 13.9 | 2 0.9 | 223 100 |
| 70～79歳 | 79 33.5 | 95 40.3 | 13 5.5 | 3 1.3 | 43 18.2 | 3 1.3 | 236 100 |
| 80歳以上 | 39 23.2 | 75 44.6 | 5 3.0 | 1 0.6 | 30 17.9 | 18 10.7 | 168 100 |
| 無回答 | 0 0.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 2 100 |
| 全体 | 247 25.8 | 464 48.5 | 52 5.4 | 11 1.1 | 158 16.5 | 25 2.6 | 957 100 |

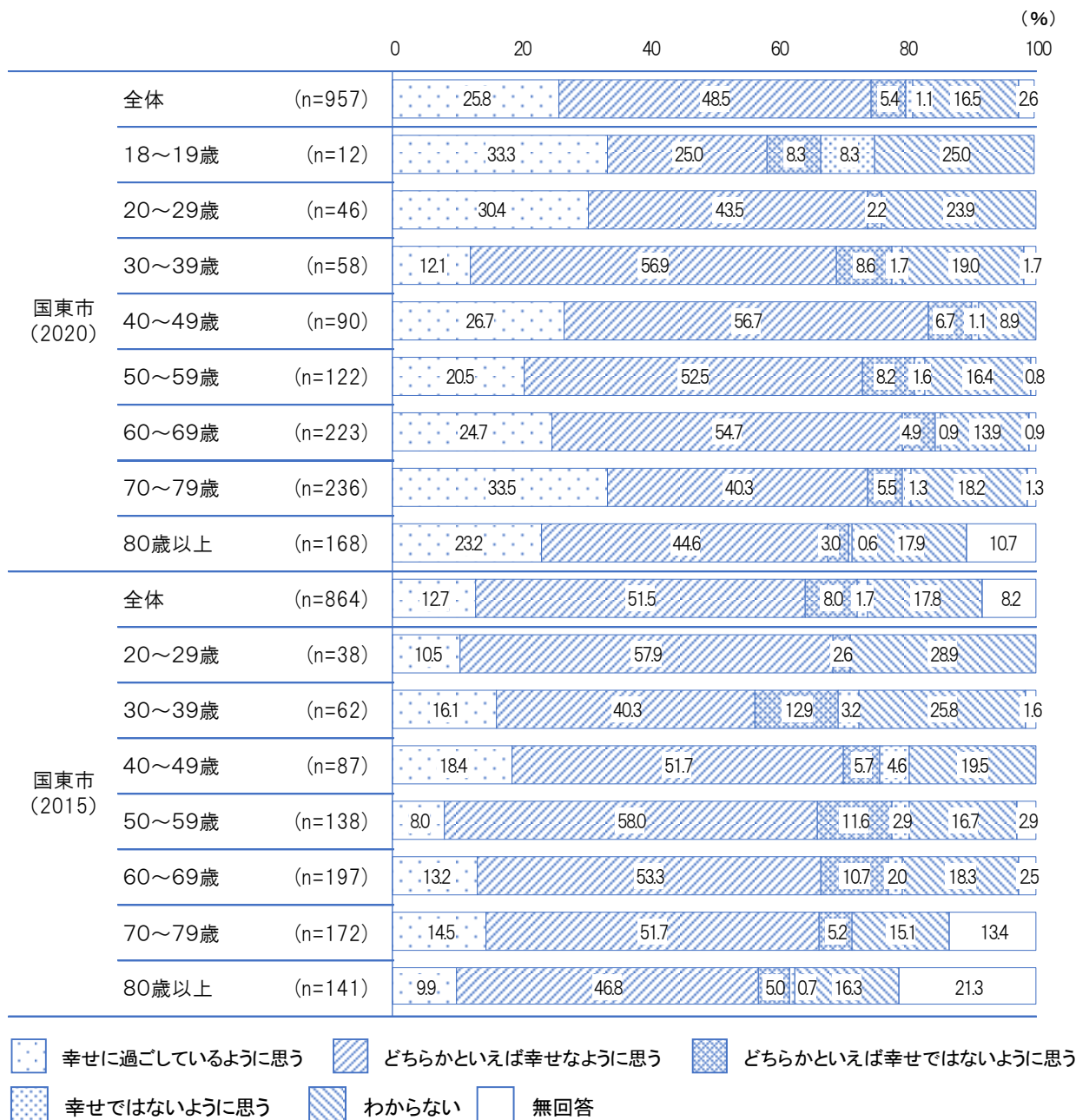
【全体】



■市全体では、地域では子どもが幸せに過ごしているように思うかの度合については、「幸せ(幸せて過ごしているように思う+どちらかといえば幸せなように思う)」の割合が 74.3%となっており、約7割の人が地域では子どもが幸せに過ごしているように思うと答えています。

■2015調査と比較すると市全体では、「幸せ(幸せて過ごしているように思う+どちらかといえば幸せなように思う)」の割合が 10.1 ㊦増加しています。大分県2018調査との比較では、「幸せ(幸せて過ごしているように思う+どちらかといえば幸せなように思う)」の割合が大分県よりも 7.0 ㊦増加しています。

【年代別】



◆年代別では、地域では子どもが幸せに過ごしているように思うかの割合については、「幸せ(幸せに過ごしているように思う+どちらかといえば幸せなように思う)」の割合が最も高いのは40～49歳で 83.4%、次いで60～69歳(79.4%)、20歳～29歳(73.9%)となっています。割合が最も低いのは18～19歳で 58.3%、次いで80歳以上(67.8%)となっています。

◆2015調査と比較すると年代別では、「幸せ(幸せに過ごしているように思う+どちらかといえば幸せなように思う)」の割合が最も増加したのは40～49歳で 13.3 ㊦、次いで60～69歳(12.9 ㊦)となっています。

IV. 高齢者の人権について(問11～問12)

[MA]

問11 あなたは、高齢者に関することで、現在どのような人権問題があると思いますか。

MA

上段:人数 下段:割合

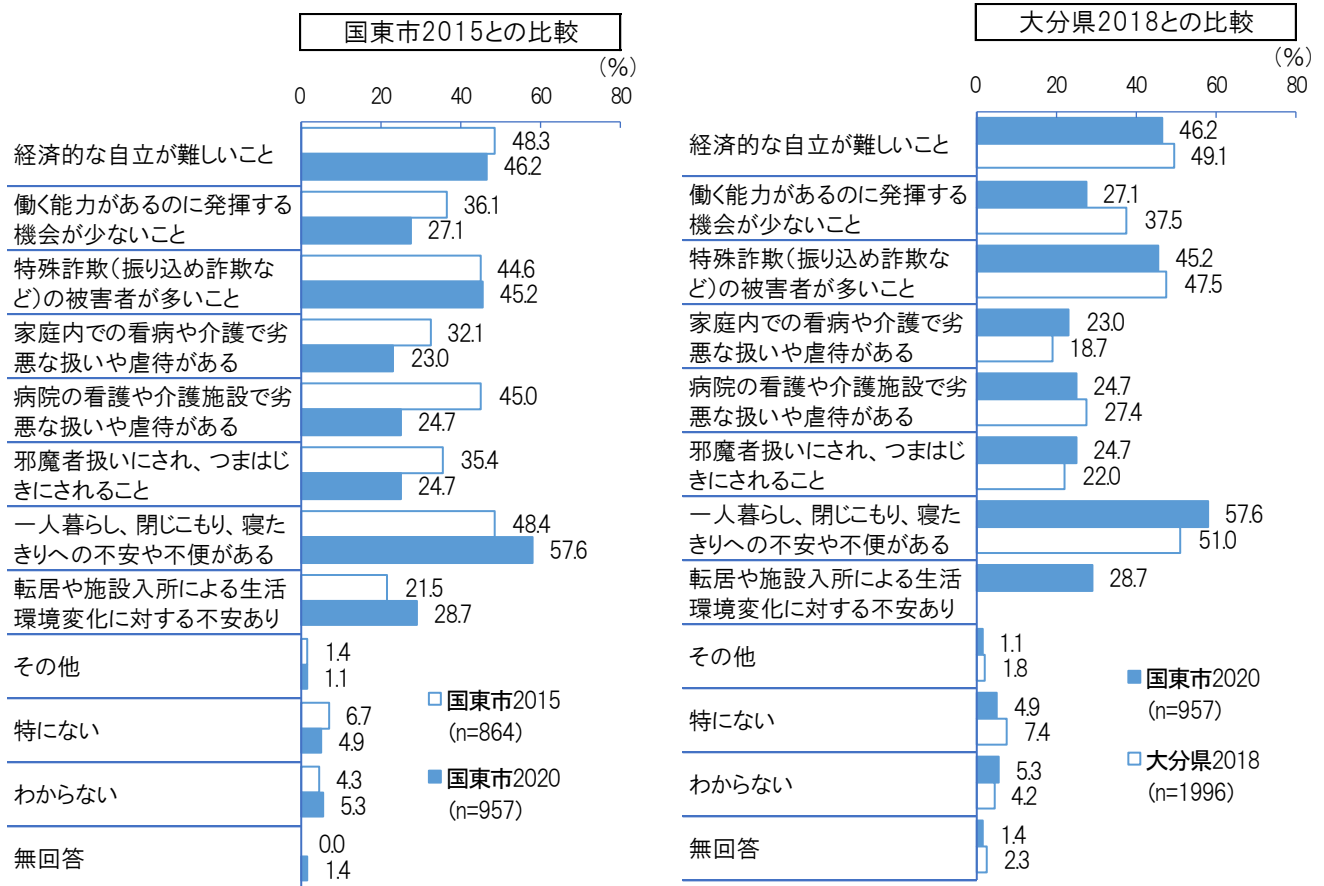
| 2020 調査結果 | 経済的な自立が難しいこと | 働く能力があるのに発揮する機会が少ないこと | 特殊詐欺(振り込め詐欺など)の被害者が多いこと | 家庭内での看病や介護において、劣悪な扱いや虐待があること | 病院での看護や介護施設において、劣悪な扱いや虐待があること | 邪魔者扱いにされ、つまはじきにされること | 一人暮らし、閉じこもり、寝たきりなどへの不安やそれらによる不便があること | 転居や施設入所などによる生活環境の変化に対する不安があること |
|--------------|--------------|-----------------------|-------------------------|------------------------------|-------------------------------|----------------------|--------------------------------------|--------------------------------|
| 18～19歳 | 6 50.0 | 8 66.7 | 9 75.0 | 4 33.3 | 6 50.0 | 5 41.7 | 6 50.0 | 5 41.7 |
| 20～29歳 | 16 34.8 | 18 39.1 | 26 56.5 | 21 45.7 | 21 45.7 | 21 45.7 | 23 50.0 | 13 28.3 |
| 30～39歳 | 21 36.2 | 17 29.3 | 21 36.2 | 21 36.2 | 22 37.9 | 17 29.3 | 27 46.6 | 19 32.8 |
| 40～49歳 | 41 45.6 | 39 43.3 | 49 54.4 | 31 34.4 | 25 27.8 | 36 40.0 | 61 67.8 | 24 26.7 |
| 50～59歳 | 59 48.4 | 35 28.7 | 67 54.9 | 37 30.3 | 33 27.0 | 41 33.6 | 84 68.9 | 30 24.6 |
| 60～69歳 | 114 51.1 | 70 31.4 | 93 41.7 | 44 19.7 | 58 26.0 | 53 23.8 | 138 61.9 | 63 28.3 |
| 70～79歳 | 116 49.2 | 49 20.8 | 95 40.3 | 43 18.2 | 47 19.9 | 40 16.9 | 125 53.0 | 73 30.9 |
| 80歳以上 | 69 41.1 | 23 13.7 | 72 42.9 | 19 11.3 | 23 13.7 | 23 13.7 | 85 50.6 | 48 28.6 |
| 無回答 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 2 100.0 | 0 0.0 |
| 全体 | 442 46.2 | 259 27.1 | 433 45.2 | 220 23.0 | 236 24.7 | 236 24.7 | 551 57.6 | 275 28.7 |

MA

上段:人数 下段:割合

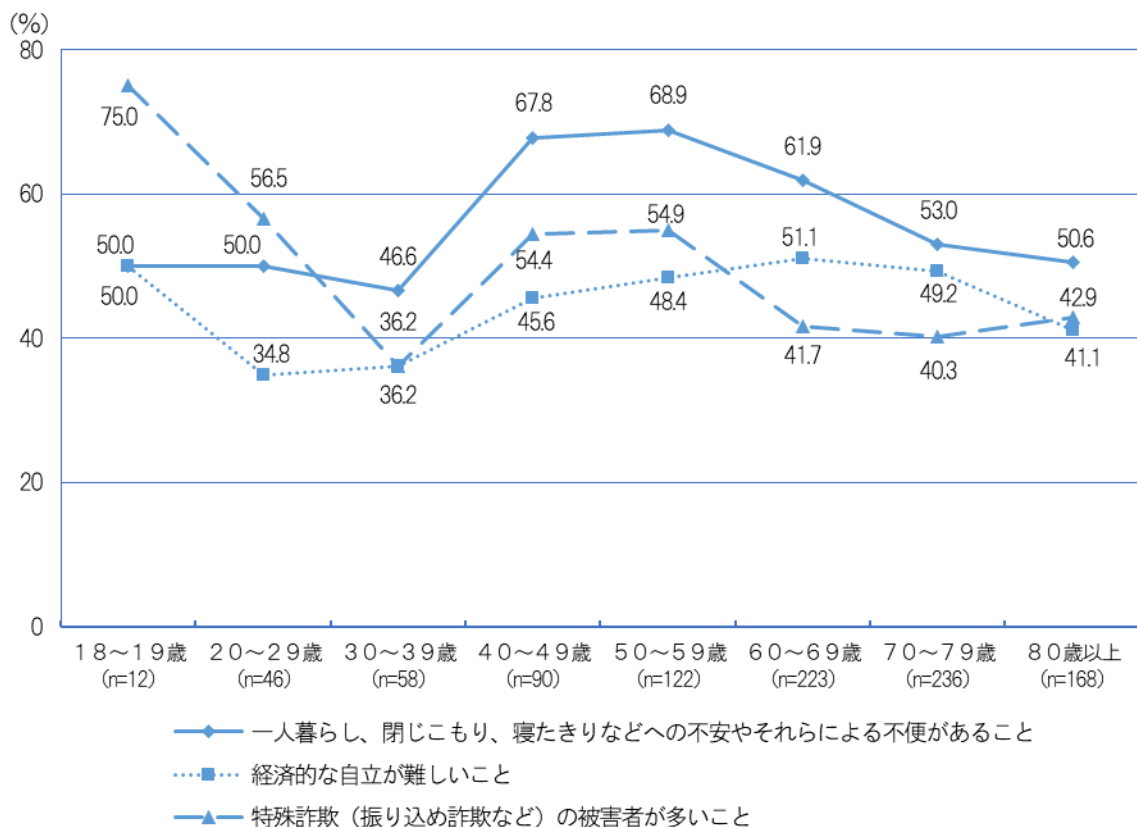
| 2020 調査結果 | その他 | 特にない | わからない | 無回答 | 合計 |
|--------------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|
| 18～19歳 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 12 100 |
| 20～29歳 | 0 0.0 | 1 2.2 | 1 2.2 | 0 0.0 | 46 100 |
| 30～39歳 | 1 1.7 | 5 8.6 | 6 10.3 | 1 1.7 | 58 100 |
| 40～49歳 | 2 2.2 | 2 2.2 | 7 7.8 | 0 0.0 | 90 100 |
| 50～59歳 | 2 1.6 | 2 1.6 | 3 2.5 | 0 0.0 | 122 100 |
| 60～69歳 | 1 0.4 | 6 2.7 | 13 5.8 | 0 0.0 | 223 100 |
| 70～79歳 | 4 1.7 | 15 6.4 | 9 3.8 | 8 3.4 | 236 100 |
| 80歳以上 | 1 0.6 | 16 9.5 | 12 7.1 | 4 2.4 | 168 100 |
| 無回答 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 100 |
| 全体 | 11 1.1 | 47 4.9 | 51 5.3 | 13 1.4 | 957 100 |

【全体】

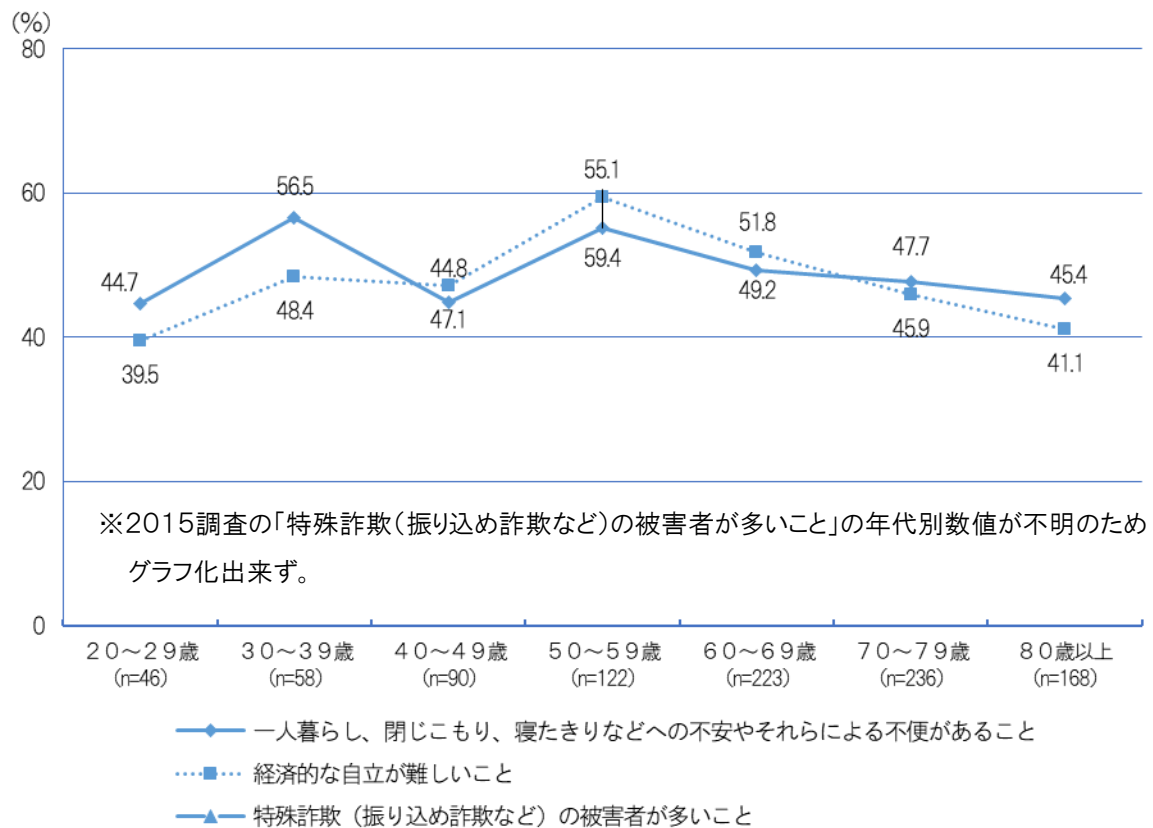


※大分県2018調査では「転居や施設入所などによる生活環境の変化に対する不安がある」の項目なし。

【年代別】<【国東市2020】高齢者に関する人権上、問題と思われる上位3項目の年代別状況>



【年代別】<【国東市2015】 高齢者に関する人権上、問題と思われる上位3項目の年代別状況 >



※「特殊詐欺(振り込め詐欺など)の被害者が多いこと」については2015調査の年代別数値が不明のため比較不可。

■市全体では、高齢者に関することで、現在どのような人権問題があるかでは、「一人暮らし、閉じこもり、寝たきりなどへの不安やそれらによる不便があること」の割合が 57.6%と最も高く、次いで「経済的な自立が難しいこと」(46.2%)、「特殊詐欺(振り込め詐欺など)の被害者が多いこと」(45.2%)となっています。

■2015調査と比較すると、市全体では、「一人暮らし、閉じこもり、寝たきりへの不安や不便がある」の割合が 9.2 ㊦、次いで「転居や施設入所などによる生活環境の変化に対する不安があること」(7.2 ㊦)、「特殊詐欺(振り込め詐欺など)の被害者が多いこと」(0.6 ㊦)がそれぞれ増加しています。大分県2018調査との比較では、「一人暮らし、閉じこもり、寝たきりなどへの不安やそれらによる不便があること」の割合が 6.6 ㊦、次いで「家庭内での看病や介護において、劣悪な扱いや虐待があること」(4.3 ㊦)、「邪魔者扱いにされ、つまはじきにされること」(2.7 ㊦)がそれぞれ増加しています。

◆年代別では、高齢者に関することで問題と思われる上位3項目について、「一人暮らし、閉じこもり、寝たきりへの不安や不便がある」で最も割合が高い年代は50~59歳(68.9%)、「経済的な自立が難しいこと」で最も割合が高い年代は60~69歳(51.1%)、「特殊詐欺(振り込め詐欺など)の被害者が多いこと」で最も割合が高い年代は18~19歳(75.0%)となっています。

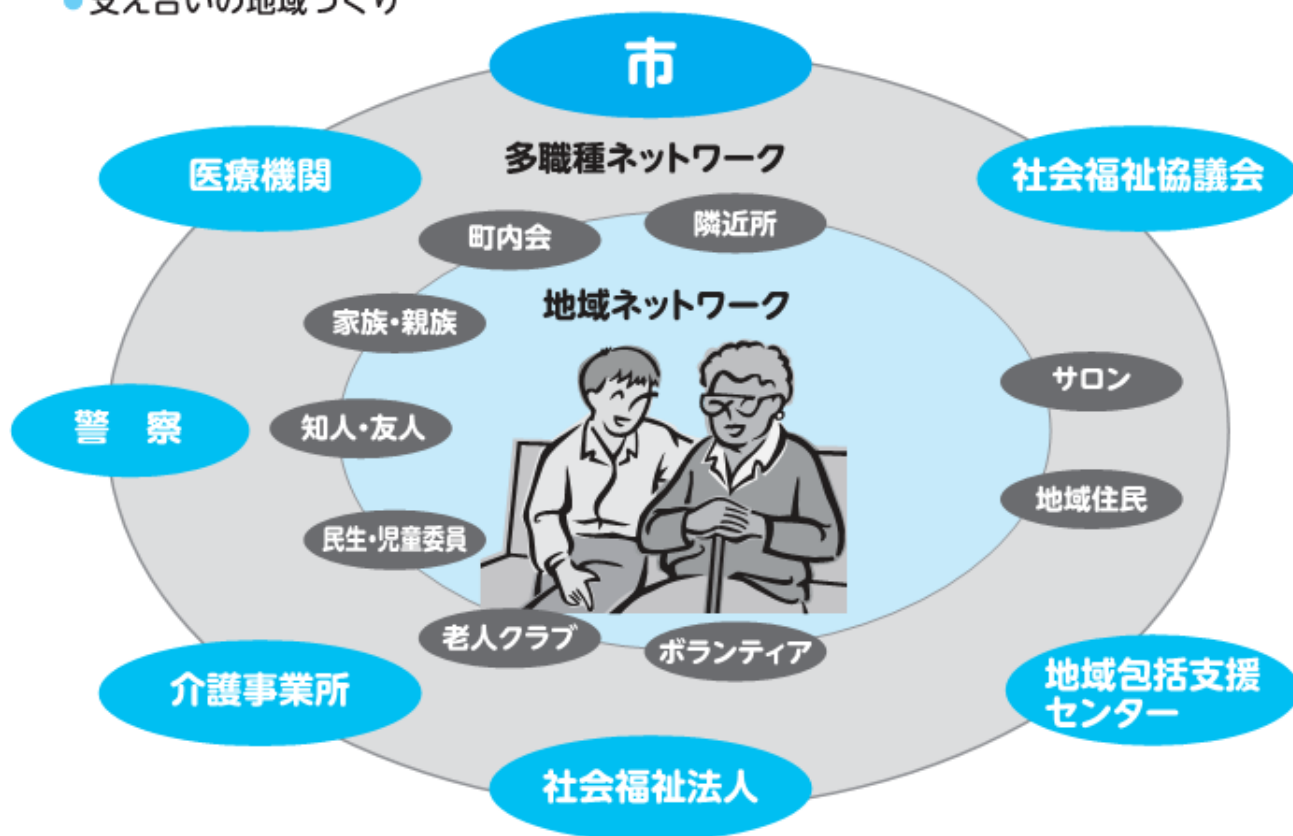
◆2015調査と上位3項目について比較すると、「一人暮らし、閉じこもり、寝たきりへの不安や不便がある」では、30~39歳(9.9 ㊦)で割合が減少し、他の年代はすべて増加しています。「経済的な自立が難しいこと」では、70~79歳(3.3 ㊦)で割合が増加し、他の年代はすべて減少しています。

◎考察

市全体では、57.6%の人が、「一人暮らし、閉じこもり、寝たきりなどへの不安やそれらによる不便があること」と答えており、2015調査に引き続き高い割合となっています。地域にお住いの人と関係機関などが連携して高齢者の暮らしを支える地域包括ケアシステムの仕組みづくり又はさらなる連携が必要です。

(イメージ)

● 支え合いの地域づくり



問12 あなたは、高齢者は大切にされていると思いますか。

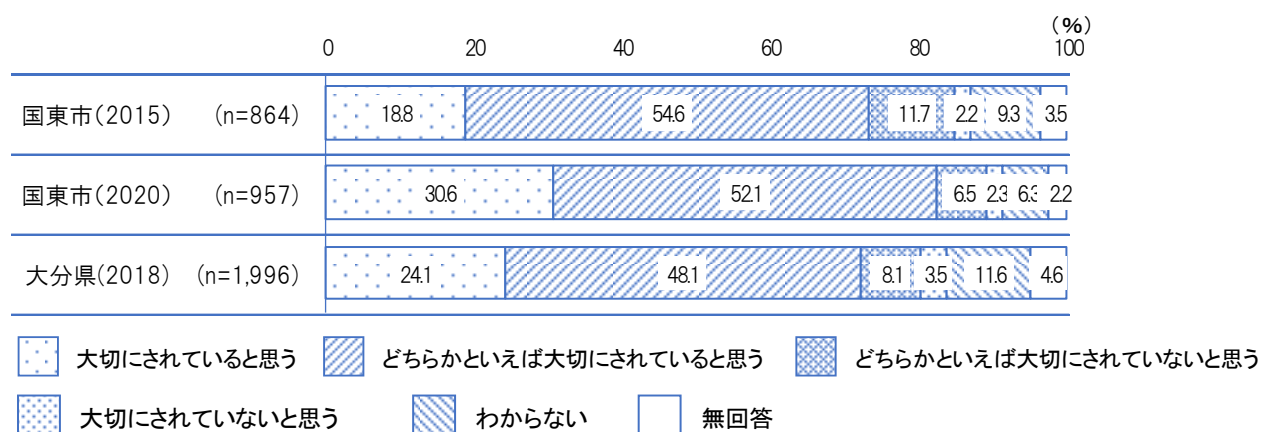
【ア. 家庭の中で高齢者は大切にされていると思うかの割合】

SA

上段:人数 下段:割合

| 2020 調査結果 | 大切にされて いると思う | どちらかとい えば大切にさ れていると思う | どちらかとい えば大切にさ れていないと 思う | 大切にされて いないと思う | わからない | 無回答 | 合計 |
|--------------|-----------------|-----------------------------|----------------------------------|------------------|-----------|-----------|------------|
| 18～19歳 | 7 58.3 | 3 25.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 16.7 | 0 0.0 | 12 100 |
| 20～29歳 | 17 37.0 | 26 56.5 | 2 4.3 | 0 0.0 | 1 2.2 | 0 0.0 | 46 100 |
| 30～39歳 | 13 22.4 | 29 50.0 | 5 8.6 | 3 5.2 | 7 12.1 | 1 1.7 | 58 100 |
| 40～49歳 | 19 21.1 | 54 60.0 | 8 8.9 | 6 6.7 | 3 3.3 | 0 0.0 | 90 100 |
| 50～59歳 | 22 18.0 | 75 61.5 | 11 9.0 | 3 2.5 | 10 8.2 | 1 0.8 | 122 100 |
| 60～69歳 | 66 29.6 | 121 54.3 | 12 5.4 | 7 3.1 | 14 6.3 | 3 1.3 | 223 100 |
| 70～79歳 | 86 36.4 | 111 47.0 | 16 6.8 | 2 0.8 | 17 7.2 | 4 1.7 | 236 100 |
| 80歳以上 | 62 36.9 | 80 47.6 | 8 4.8 | 1 0.6 | 6 3.6 | 11 6.5 | 168 100 |
| 無回答 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 2 100 |
| 全体 | 293 30.6 | 499 52.1 | 62 6.5 | 22 2.3 | 60 6.3 | 21 2.2 | 957 100 |

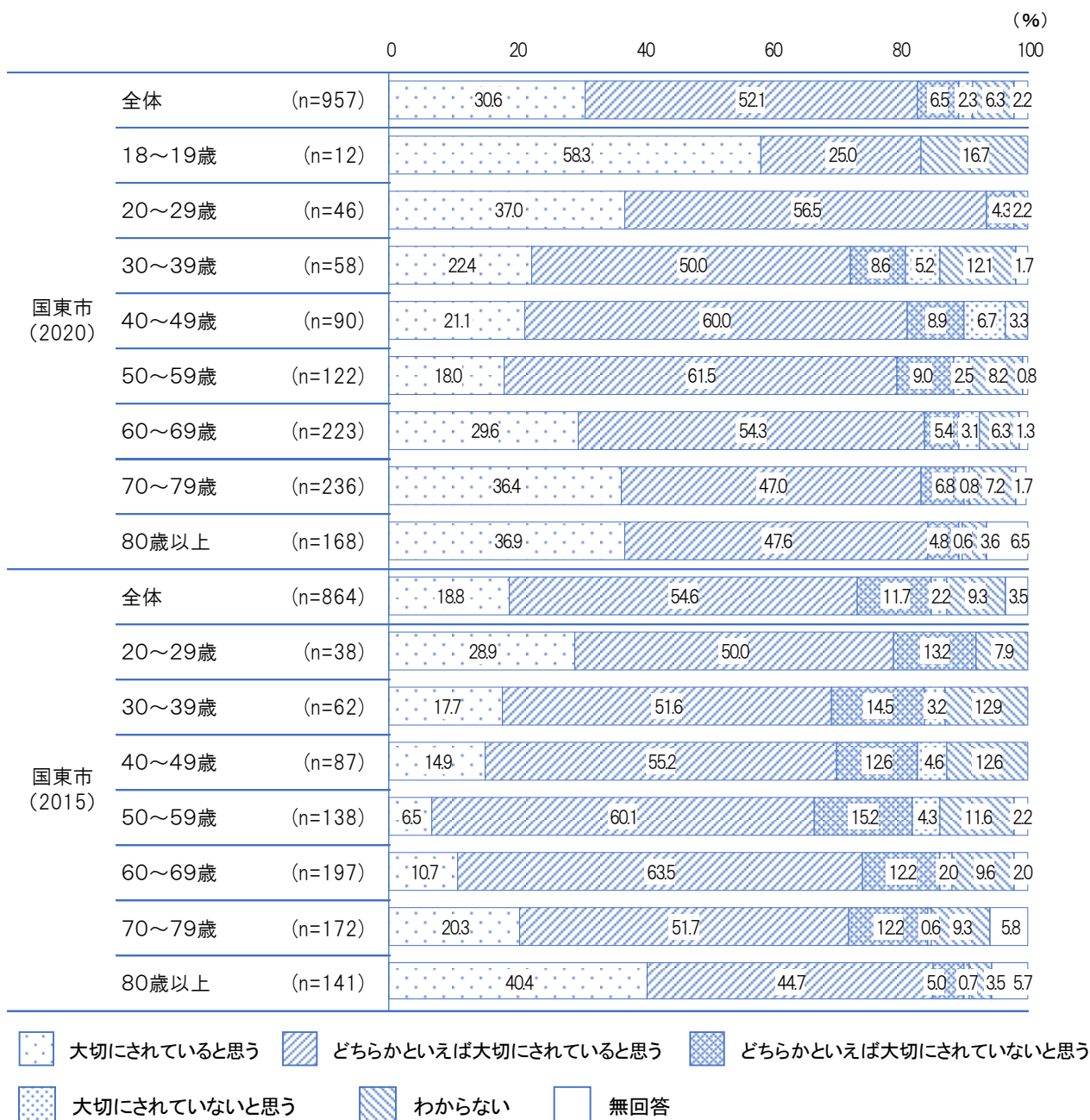
【全体】



■市全体では、家庭の中で高齢者は大切にされていると思うかの割合について「大切にされている(大切にされていると思う+どちらかといえば大切にされていると思う)」が 82.7%となっており、約8割の人が家庭の中で高齢者は大切にされていると思うと答えています。

■2015調査と比較すると市全体では、「大切にされている(大切にされていると思う+どちらかといえば大切にされていると思う)」の割合が 9.3 ㊦増加しています。大分県2018調査との比較では、「大切にされている(大切にされていると思う+どちらかといえば大切にされていると思う)」の割合が大分県よりも 10.5 ㊦増加しています。

【年代別】



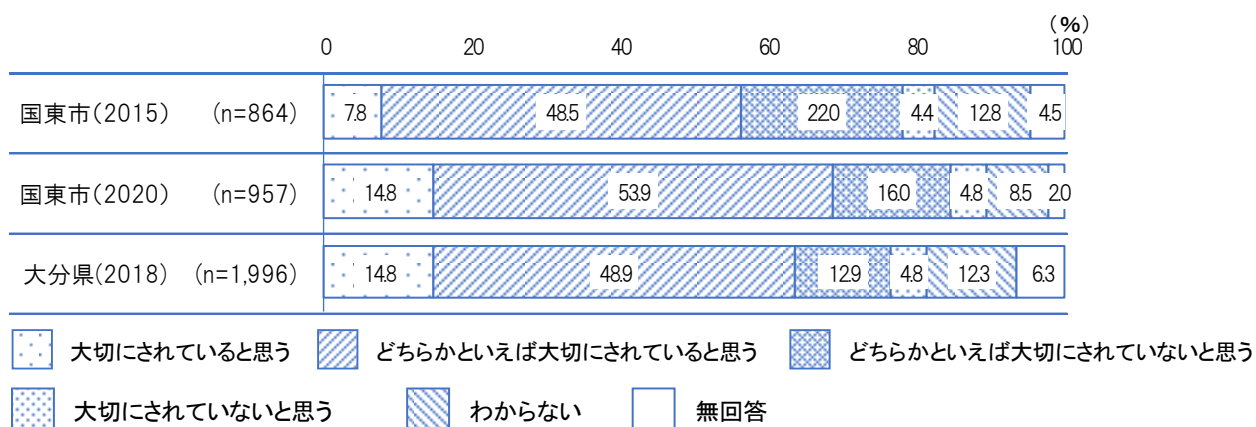
- ◆年代別では、「家庭」の中で高齢者は大切にされていると思うかの割合について「大切にされている(大切にされていると思う+どちらかといえば大切にされていると思う)」の割合が最も高いのは20~29歳で 93.5%、次いで80歳以上(84.5%)、60~69歳(83.9%)となっています。
- ◆2015調査と比較すると年代別では、「大切にされている(大切にされていると思う+どちらかといえば大切にされていると思う)」の割合が最も増加したのは20~29歳で 14.6 ㊦、次いで50~59歳(12.9 ㊦)となっています。

【イ. 社会全体の中で高齢者は大切にされていると思うかの割合】

SA 上段:人数 下段:割合

| 2020 調査結果 | 大切にされて いると思う | どちらかとい えば大切にされ ていると思う | どちらかとい えば大切にされ ていないと思 う | 大切にされて いないと思う | わからない | 無回答 | 合計 |
|--------------|-----------------|-----------------------------|----------------------------------|------------------|------------|-----------|------------|
| 18～19歳 | 3 25.0 | 4 33.3 | 1 8.3 | 1 8.3 | 3 25.0 | 0 0.0 | 12 100 |
| 20～29歳 | 8 17.4 | 23 50.0 | 10 21.7 | 0 0.0 | 5 10.9 | 0 0.0 | 46 100 |
| 30～39歳 | 7 12.1 | 26 44.8 | 14 24.1 | 4 6.9 | 6 10.3 | 1 1.7 | 58 100 |
| 40～49歳 | 6 6.7 | 53 58.9 | 20 22.2 | 8 8.9 | 3 3.3 | 0 0.0 | 90 100 |
| 50～59歳 | 13 10.7 | 67 54.9 | 23 18.9 | 7 5.7 | 11 9.0 | 1 0.8 | 122 100 |
| 60～69歳 | 35 15.7 | 122 54.7 | 31 13.9 | 11 4.9 | 23 10.3 | 1 0.4 | 223 100 |
| 70～79歳 | 37 15.7 | 133 56.4 | 34 14.4 | 9 3.8 | 19 8.1 | 4 1.7 | 236 100 |
| 80歳以上 | 32 19.0 | 87 51.8 | 20 11.9 | 6 3.6 | 11 6.5 | 12 7.1 | 168 100 |
| 無回答 | 1 50.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 100 |
| 全体 | 142 14.8 | 516 53.9 | 153 16.0 | 46 4.8 | 81 8.5 | 19 2.0 | 957 100 |

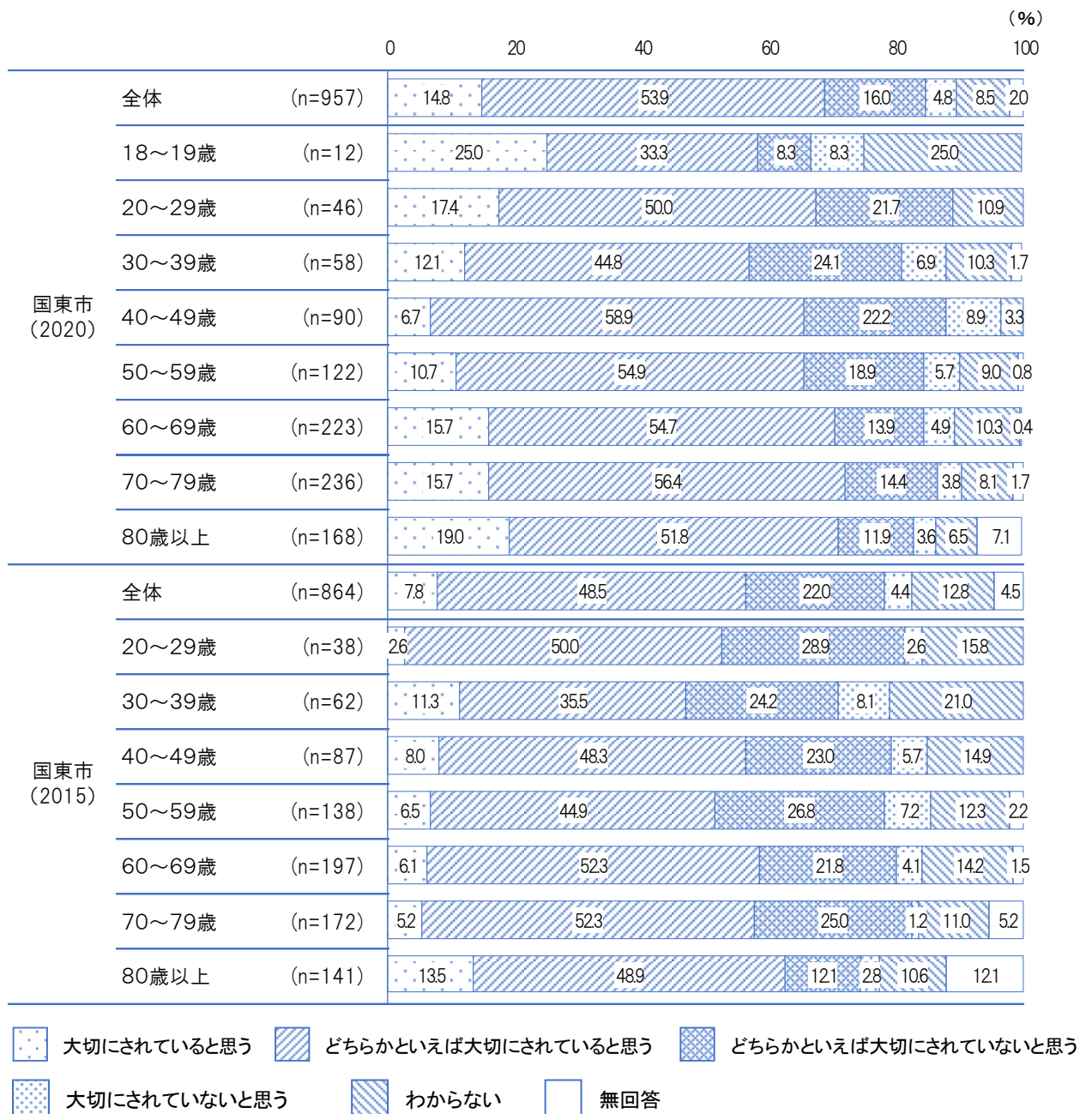
【全体】



■市全体では、社会全体の中で高齢者は大切にされていると思うかの割合について「大切にされている(大切にされていると思う+どちらかといえば大切にされていると思う)」が 68.7%となっており、約7割の人が社会全体の中で高齢者は大切にされていると思うと答えています。

■2015調査と比較すると市全体では、「大切にされている(大切にされていると思う+どちらかといえば大切にされていると思う)」の割合が 12.4 ㊦増加しています。大分県2018調査との比較では、「大切にされている(大切にされていると思う+どちらかといえば大切にされていると思う)」の割合が大分県よりも 5.0 ㊦増加しています。

【年代別】



◆年代別では、社会全体の中で高齢者は大切にされていると思うかの割合について「大切にされている(大切にされていると思う+どちらかといえば大切にされていると思う)」の割合が最も高いのは70～79歳で72.1%、次いで80歳以上(70.8%)、60～69歳(70.4%)となっています。

◆2015調査と比較すると年代別では、「大切にされている(大切にされていると思う+どちらかといえば大切にされていると思う)」の割合が最も増加したのは20～29歳で14.8ポイント、次いで70～79歳(14.6ポイント)となっています。

V. 障がい者の人権について(問13～問14)

[MA]

問13 あなたは、障がい者に関することで、現在どのような人権問題があると思いますか。

MA

上段:人数 下段:割合

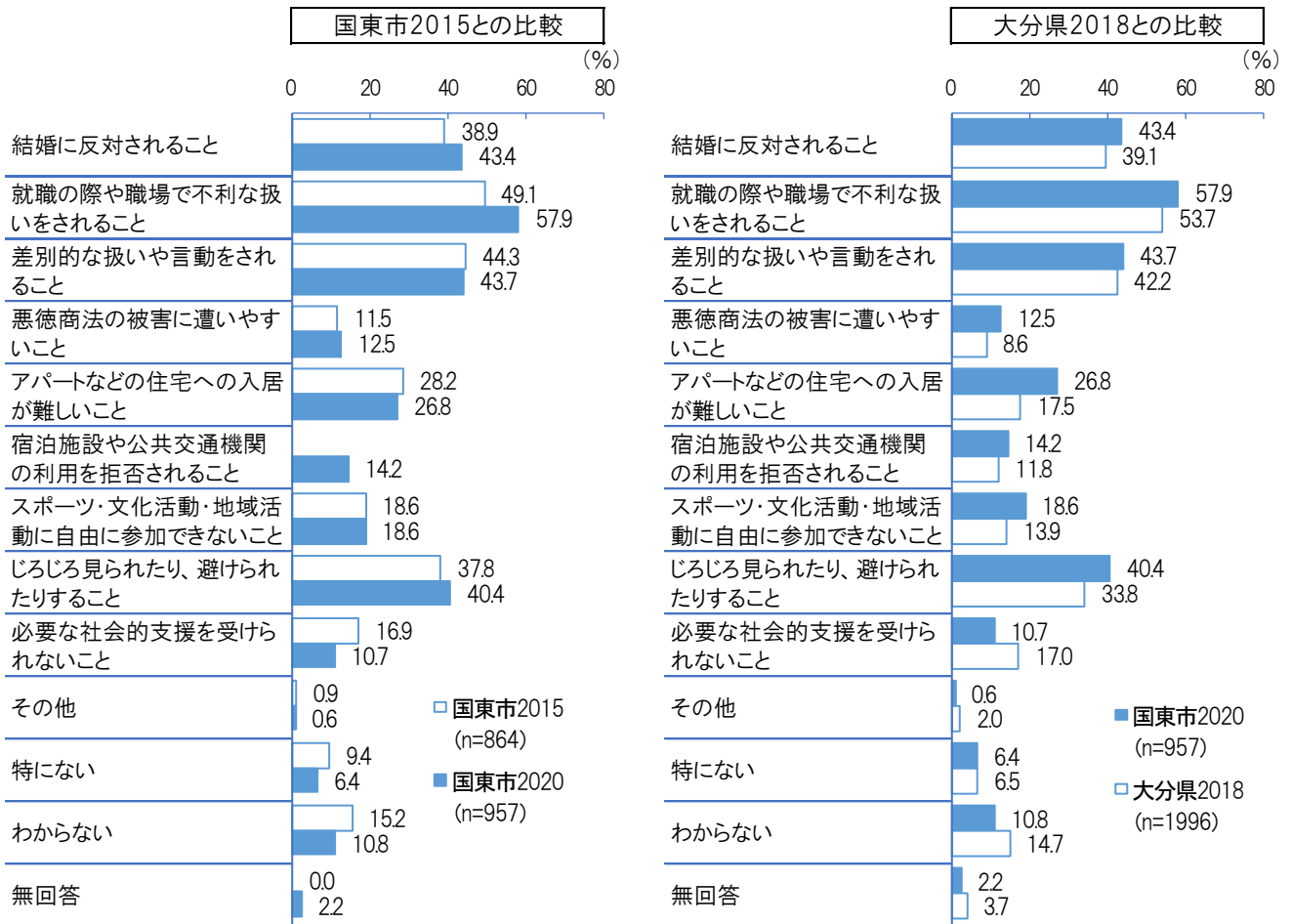
| 2020 調査結果 | 結婚に反対 されること | 就職の際や職 場で不利な扱 いをされること (就職の機会が ない、職場での 合理的配慮に 欠けるなど) | 差別的な扱 いや言動をさ れること | 悪徳商法の 被害に遭い やすいこと | アパートなど の住宅への 入居が難し いこと | 宿泊施設や 公共交通機 関の利用、 店舗などへ の入店を拒 否されること | スポーツ・文 化活動・地域 活動に自由 に参加できな いこと | じろじろ見ら れたり、避け られたりする こと |
|--------------|----------------|-----------------------------------------------------------------------|-------------------------|-------------------------|---------------------------------|-----------------------------------------------------|--------------------------------------------|----------------------------------|
| 18～19歳 | 5 41.7 | 9 75.0 | 9 75.0 | 2 16.7 | 3 25.0 | 0 0.0 | 1 8.3 | 9 75.0 |
| 20～29歳 | 19 41.3 | 30 65.2 | 30 65.2 | 7 15.2 | 7 15.2 | 9 19.6 | 12 26.1 | 28 60.9 |
| 30～39歳 | 30 51.7 | 35 60.3 | 33 56.9 | 7 12.1 | 18 31.0 | 9 15.5 | 8 13.8 | 35 60.3 |
| 40～49歳 | 40 44.4 | 56 62.2 | 55 61.1 | 14 15.6 | 24 26.7 | 20 22.2 | 15 16.7 | 50 55.6 |
| 50～59歳 | 56 45.9 | 84 68.9 | 68 55.7 | 11 9.0 | 41 33.6 | 21 17.2 | 20 16.4 | 66 54.1 |
| 60～69歳 | 118 52.9 | 152 68.2 | 107 48.0 | 24 10.8 | 73 32.7 | 34 15.2 | 50 22.4 | 98 43.9 |
| 70～79歳 | 95 40.3 | 119 50.4 | 75 31.8 | 33 14.0 | 54 22.9 | 24 10.2 | 45 19.1 | 70 29.7 |
| 80歳以上 | 50 29.8 | 69 41.1 | 41 24.4 | 22 13.1 | 36 21.4 | 19 11.3 | 27 16.1 | 31 18.5 |
| 無回答 | 2 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| 全体 | 415 43.4 | 554 57.9 | 418 43.7 | 120 12.5 | 256 26.8 | 136 14.2 | 178 18.6 | 387 40.4 |

MA

上段:人数 下段:割合

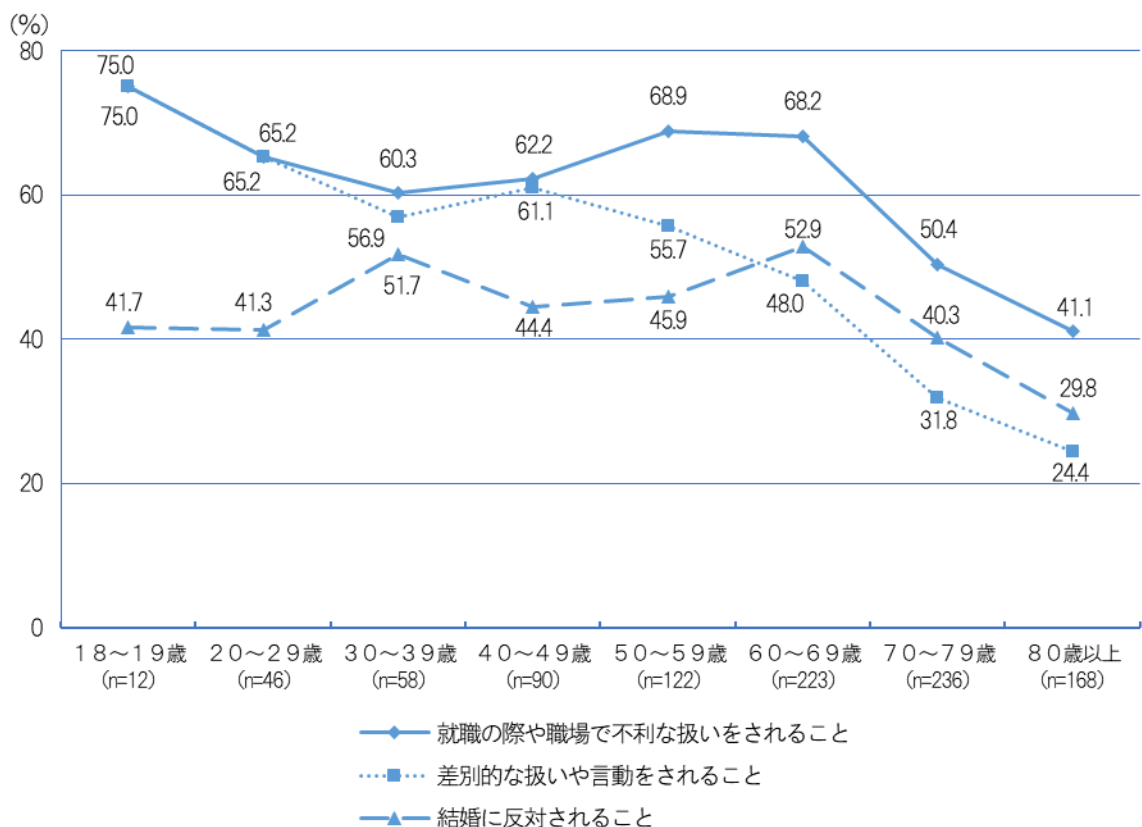
| 2020 調査結果 | 必要な社会的 支援(医療 など)を受け られないこと | その他 | 特にない | わからない | 無回答 | 合計 |
|--------------|-------------------------------------|----------|------------|-------------|-----------|------------|
| 18～19歳 | 1 8.3 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 12 100 |
| 20～29歳 | 11 23.9 | 0 0.0 | 0 0.0 | 3 6.5 | 1 2.2 | 46 100 |
| 30～39歳 | 5 8.6 | 0 0.0 | 0 0.0 | 10 17.2 | 1 1.7 | 58 100 |
| 40～49歳 | 12 13.3 | 1 1.1 | 4 4.4 | 6 6.7 | 0 0.0 | 90 100 |
| 50～59歳 | 16 13.1 | 1 0.8 | 3 2.5 | 9 7.4 | 0 0.0 | 122 100 |
| 60～69歳 | 26 11.7 | 0 0.0 | 12 5.4 | 14 6.3 | 0 0.0 | 223 100 |
| 70～79歳 | 18 7.6 | 3 1.3 | 19 8.1 | 28 11.9 | 8 3.4 | 236 100 |
| 80歳以上 | 13 7.7 | 1 0.6 | 23 13.7 | 33 19.6 | 11 6.5 | 168 100 |
| 無回答 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 100 |
| 全体 | 102 10.7 | 6 0.6 | 61 6.4 | 103 10.8 | 21 2.2 | 957 100 |

【全体】

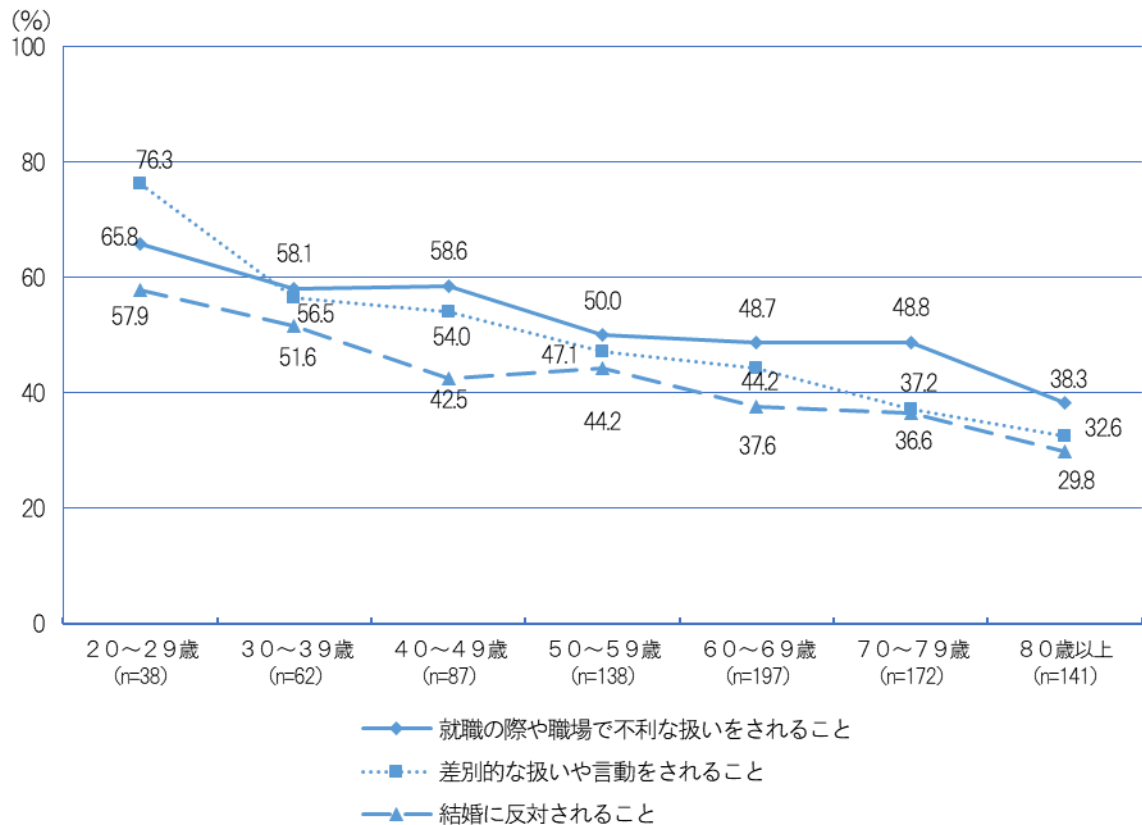


※国東市の2015調査では「宿泊施設や公共交通機関の利用、店舗などへの入店を拒否されること」の項目なし。

【年代別】<【国東市2020】 障がい者に関する人権上、問題と思われる上位3項目の年代別状況>



【年代別】<【国東市2015】 障がい者に関する人権上、問題と思われる上位3項目の年代別状況>



■市全体では、障がい者に関することで、現在どのような人権問題があるかでは「就職の際や職場で不利な扱いをされること(就職の機会がない、職場での合理的配慮に欠けるなど)」の割合が 57.9%と最も高く、次いで「差別的な扱いや言動をされること」(43.7%)、「結婚に反対されること」(43.4%)となっています。

■2015調査と比較すると、市全体では「就職の際や職場で不利な扱いをされること(就職の機会がない、職場での合理的配慮に欠けるなど)」の割合が 8.8 ㊦、次いで「結婚に反対されること」(4.5 ㊦)、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」(2.6 ㊦)が増加しています。大分県2018調査との比較では、「アパートなどの住宅への入居が難しいこと」の割合が 9.3 ㊦と最も増加し、次いで「じろじろ見られたり、避けられたりすること」(6.6 ㊦)、「スポーツ・文化活動・地域活動に自由に参加できないこと」(4.7 ㊦)となっています。

◆年代別では、上位3項目について「就職の際や職場で不利な扱いをされること(就職の機会がない、職場での合理的配慮に欠けるなど)」で最も割合が高い年代は18～19歳(75.0%)、「差別的な扱いや言動をされること」で最も割合が高い年代は18～19歳(75.0%)、「結婚に反対されること」で最も割合が高いの年代は60～69歳(52.9%)となっています。

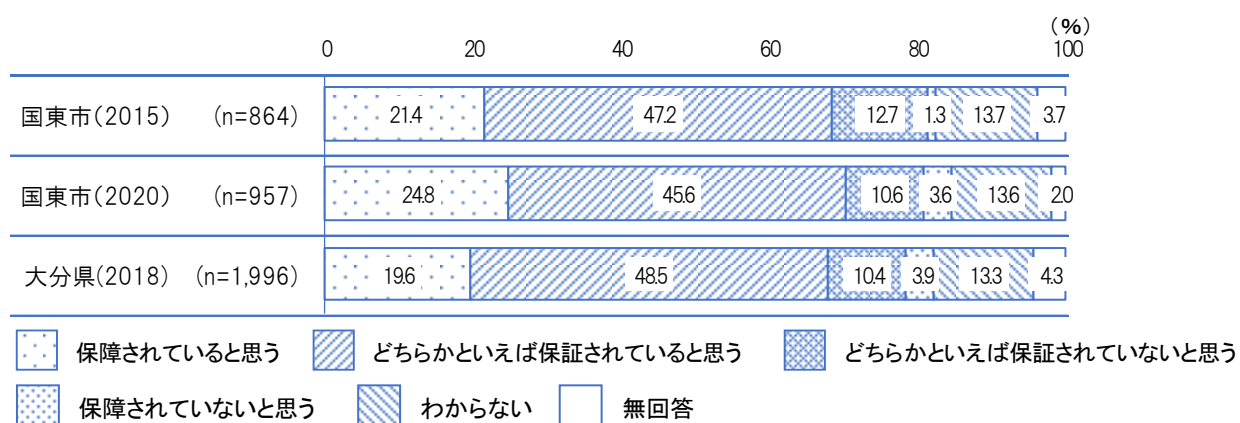
◆2015調査と比較すると、「就職の際や職場で不利な扱いをされること(就職の機会がない、職場での合理的配慮に欠けるなど)」では20～29歳(0.6 ㊦)で割合が減少し、他の年代はすべて増加しています。「差別的な扱いや言動をされること」では20～29歳(11.1 ㊦)、80歳以上(8.2 ㊦)、70～79歳(5.4 ㊦)で割合が減少し、他の年代はすべて増加しています。「結婚に反対されること」では20～29歳(16.6 ㊦)で割合が減少し、他の年代はすべて増加しています。

問14 あなたは、障がい者の人権は保障されていると思いますか。

【ア. 法律や制度の上で、障がい者の人権は保障されていると思うかの割合】

| 2020 調査結果 | 上段:人数 下段:割合 | | | | | | 合計 |
|--------------|-------------|--------------------|---------------------|-------------|-------------|-----------|------------|
| | 保障されていると思う | どちらかといえば保証されていると思う | どちらかといえば保証されていないと思う | 保障されていないと思う | わからない | 無回答 | |
| 18～19歳 | 3 25.0 | 7 58.3 | 0 0.0 | 1 8.3 | 1 8.3 | 0 0.0 | 12 100 |
| 20～29歳 | 12 26.1 | 18 39.1 | 8 17.4 | 2 4.3 | 6 13.0 | 0 0.0 | 46 100 |
| 30～39歳 | 6 10.3 | 26 44.8 | 7 12.1 | 3 5.2 | 15 25.9 | 1 1.7 | 58 100 |
| 40～49歳 | 12 13.3 | 47 52.2 | 15 16.7 | 3 3.3 | 13 14.4 | 0 0.0 | 90 100 |
| 50～59歳 | 21 17.2 | 61 50.0 | 16 13.1 | 3 2.5 | 21 17.2 | 0 0.0 | 122 100 |
| 60～69歳 | 55 24.7 | 105 47.1 | 27 12.1 | 11 4.9 | 24 10.8 | 1 0.4 | 223 100 |
| 70～79歳 | 73 30.9 | 107 45.3 | 20 8.5 | 7 3.0 | 25 10.6 | 4 1.7 | 236 100 |
| 80歳以上 | 53 31.5 | 65 38.7 | 8 4.8 | 4 2.4 | 25 14.9 | 13 7.7 | 168 100 |
| 無回答 | 2 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 100 |
| 全体 | 237 24.8 | 436 45.6 | 101 10.6 | 34 3.6 | 130 13.6 | 19 2.0 | 957 100 |

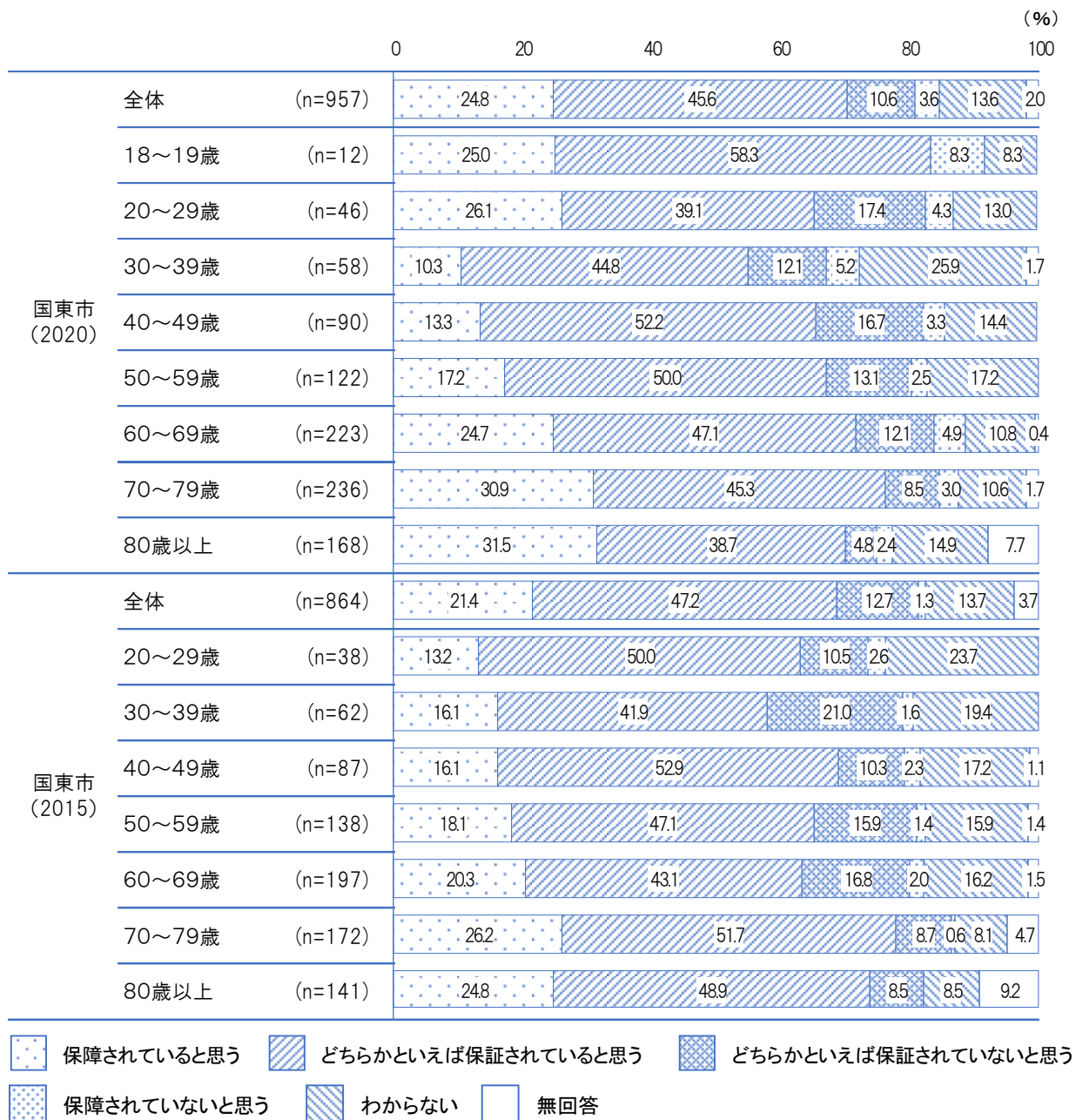
【全体】



■市全体では、法律や制度の上で、障がい者の人権は保障されていると思うかの割合について「保障されている(保障されていると思う+どちらかといえば保証されていると思う)」が70.4%となっており、約7割の人が保証されていると答えています。

■2015調査と比較すると市全体では、「保障されている(保障されていると思う+どちらかといえば保証されていると思う)」の割合が1.8%増加しています。大分県2018調査との比較では、「保障されている(保障されていると思う+どちらかといえば保証されていると思う)」の割合が大分県よりも2.3%増加しています。

【年代別】



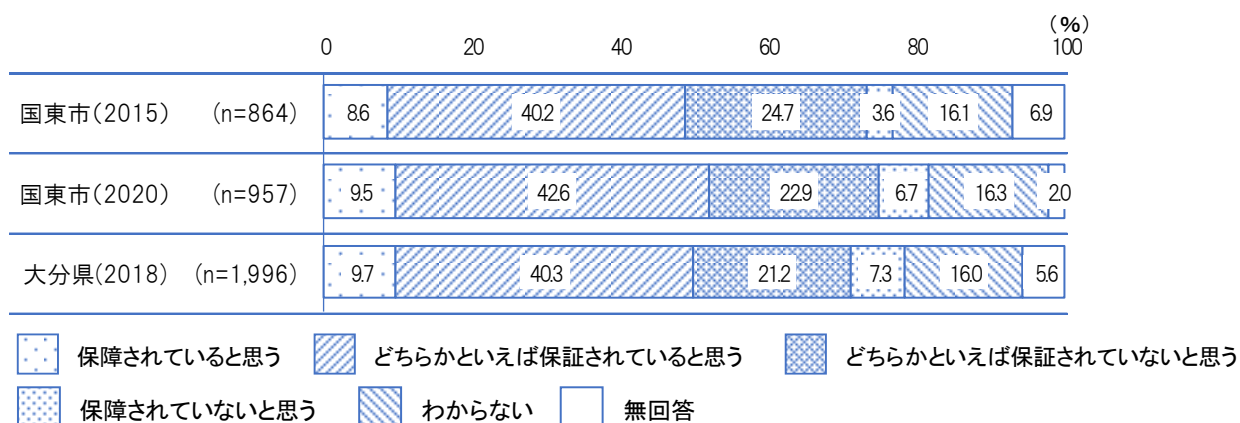
- ◆年代別では、「保障されている(保障されていると思う+どちらかといえば保証されていると思う)」の割合が最も高いのは18～19歳で83.3%、次いで70～79歳(76.2%)、60～69歳(71.8%)となっています。
- ◆2015調査と比較すると年代別では、「保障されている(保障されていると思う+どちらかといえば保証されていると思う)」の割合が最も増加したのは60～69歳で8.4ポイント、次いで20～29歳(2.0ポイント)、50～59歳(2.0ポイント)となっています。

【イ. 日常生活で、障がい者の人権は保障されていると思うかの割合】

SA 上段:人数 下段:割合

| 2020 調査結果 | 保障されている と思う | どちらかとい えれば保証さ れていると思 う | どちらかとい えれば保証さ れていないと 思う | 保障されてい ないと思う | わからない | 無回答 | 合計 |
|--------------|----------------|---------------------------------|----------------------------------|-----------------|-------------|-----------|------------|
| 18～19歳 | 1 8.3 | 6 50.0 | 2 16.7 | 2 16.7 | 1 8.3 | 0 0.0 | 12 100 |
| 20～29歳 | 4 8.7 | 15 32.6 | 18 39.1 | 3 6.5 | 6 13.0 | 0 0.0 | 46 100 |
| 30～39歳 | 1 1.7 | 19 32.8 | 17 29.3 | 5 8.6 | 15 25.9 | 1 1.7 | 58 100 |
| 40～49歳 | 5 5.6 | 33 36.7 | 26 28.9 | 11 12.2 | 15 16.7 | 0 0.0 | 90 100 |
| 50～59歳 | 5 4.1 | 40 32.8 | 43 35.2 | 11 9.0 | 22 18.0 | 1 0.8 | 122 100 |
| 60～69歳 | 21 9.4 | 95 42.6 | 62 27.8 | 18 8.1 | 27 12.1 | 0 0.0 | 223 100 |
| 70～79歳 | 31 13.1 | 122 51.7 | 37 15.7 | 9 3.8 | 34 14.4 | 3 1.3 | 236 100 |
| 80歳以上 | 23 13.7 | 77 45.8 | 14 8.3 | 5 3.0 | 36 21.4 | 13 7.7 | 168 100 |
| 無回答 | 0 0.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 2 100 |
| 全体 | 91 9.5 | 408 42.6 | 219 22.9 | 64 6.7 | 156 16.3 | 19 2.0 | 957 100 |

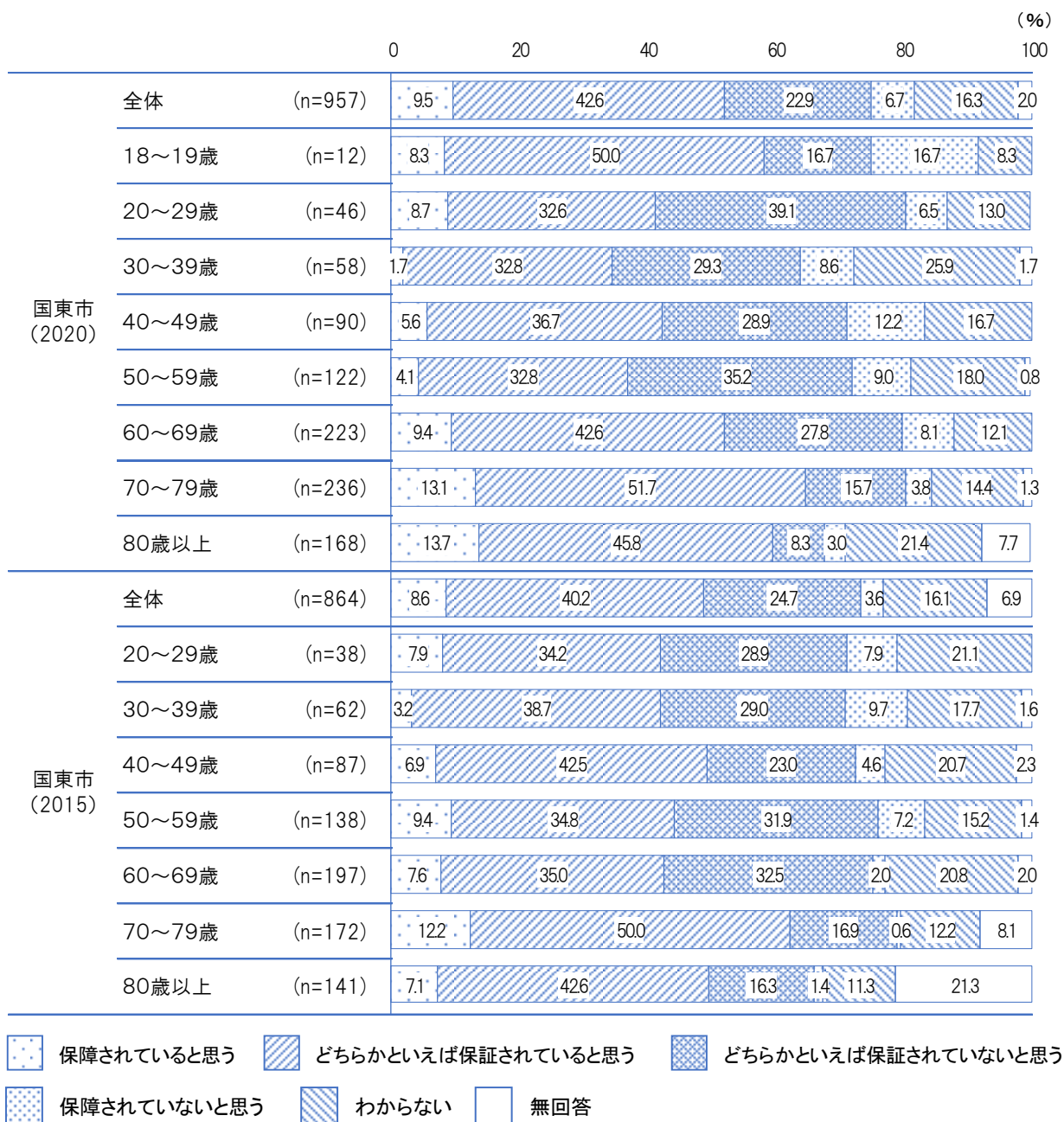
【全体】



■市全体では、日常生活で、障がい者の人権は保障されていると思うかの割合について「保障されている(保障されていると思う+どちらかといえば保証されていると思う)」が 52.1%となっており、約5割の人が保証されていると答えています。

■2015調査と比較すると市全体では、「保障されている(保障されていると思う+どちらかといえば保証されていると思う)」の割合が3.3 ㊦増加しています。大分県2018調査との比較では、「保障されている(保障されていると思う+どちらかといえば保証されていると思う)」の割合が大分県よりも2.1 ㊦増加しています。

【年代別】



- ◆年代別では、「保障されている(保障されていると思う+どちらかといえば保証されていると思う)」の割合が最も高いのは70～79歳で64.8%、次いで80歳以上(59.5%)、18～19歳(58.3%)となっています。
- ◆2015調査と比較すると年代別では、「保障されている(保障されていると思う+どちらかといえば保証されていると思う)」の割合が最も増加したのは80歳以上で9.8ポイント、次いで60～69歳(9.4ポイント)、70～79歳(2.6ポイント)となっています。

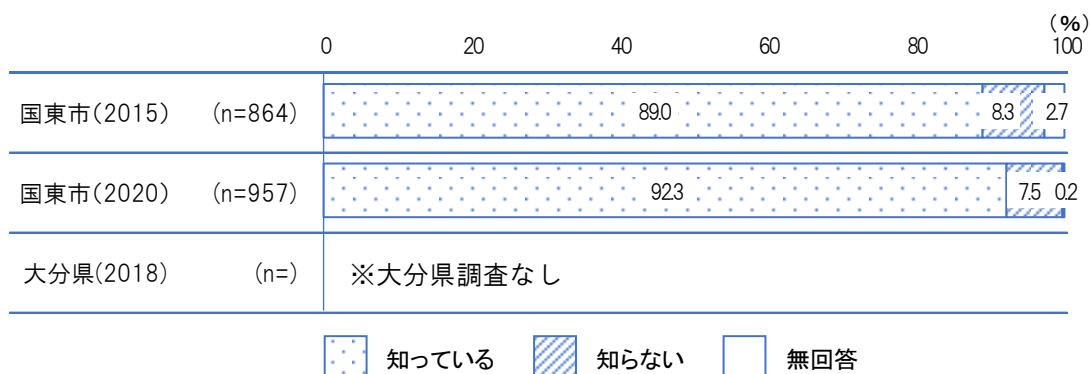
VI. 部落差別の問題(同和問題)について(問15～問26)

[SA]

問15 あなたは部落差別の問題(同和問題)を知っていますか。

| 2020 調査結果 | 上段:人数 下段:割合 | | | 合計 |
|--------------|-------------|-----------|----------|------------|
| | 知っている | 知らない | 無回答 | |
| 18～19歳 | 10 83.3 | 2 16.7 | 0 0.0 | 12 100 |
| 20～29歳 | 44 95.7 | 2 4.3 | 0 0.0 | 46 100 |
| 30～39歳 | 51 87.9 | 6 10.3 | 1 1.7 | 58 100 |
| 40～49歳 | 82 91.1 | 8 8.9 | 0 0.0 | 90 100 |
| 50～59歳 | 118 96.7 | 4 3.3 | 0 0.0 | 122 100 |
| 60～69歳 | 206 92.4 | 17 7.6 | 0 0.0 | 223 100 |
| 70～79歳 | 218 92.4 | 18 7.6 | 0 0.0 | 236 100 |
| 80歳以上 | 152 90.5 | 15 8.9 | 1 0.6 | 168 100 |
| 無回答 | 2 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 100 |
| 全体 | 883 92.3 | 72 7.5 | 2 0.2 | 957 100 |

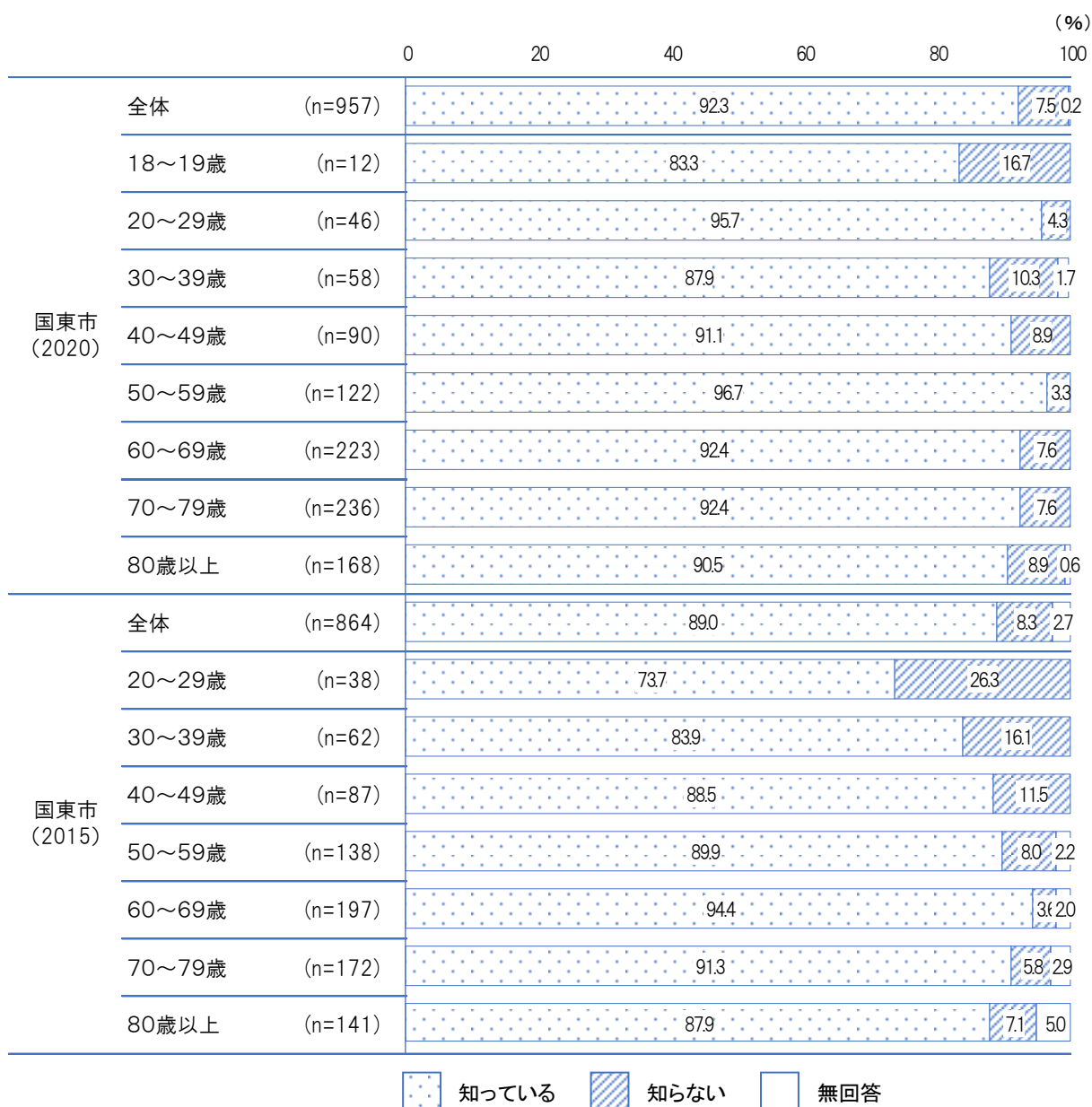
【全体】



■市全体では、部落差別の問題(同和問題)について「知っている」の割合が 92.3%と約9割の人が知っている
と答えています。

■2015調査と比較すると市全体では、「知っている」の割合が 3.3 ㊦増加しています。

【年代別】



- ◆年代別では、「知っている」の割合が最も高いのは50～59歳で 96.7%、次いで20～29歳(95.7%)、60～69歳(92.4%)、70～79歳(92.4%)となっています。
- ◆2015調査と比較すると年代別では、「知っている」の割合が最も増加したのは20～29歳で 22.0 ポイント、次いで50～59歳(6.8 ポイント)となっています。

問16 あなたは、学校や職場、地域で、部落差別の問題(同和問題)について、学習したことがありますか。

MA

上段:人数 下段:割合

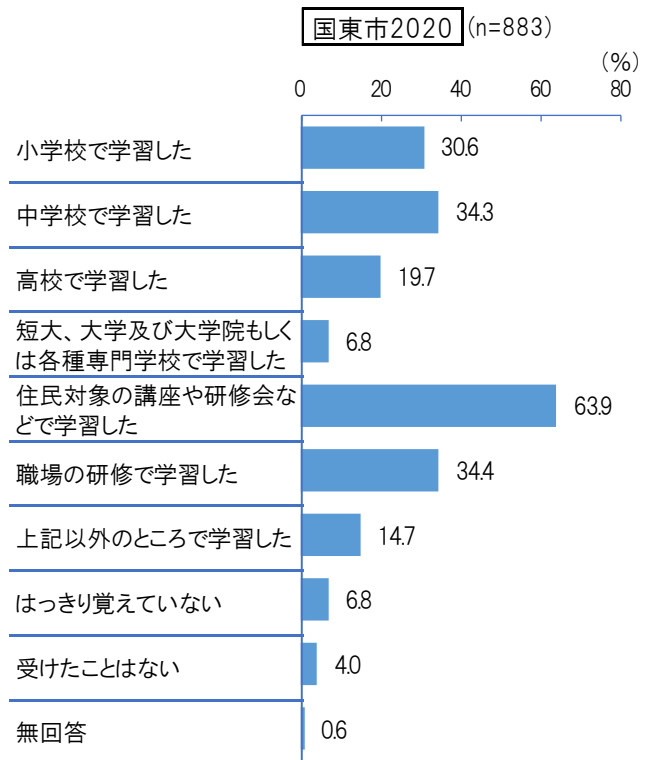
| 2020 調査結果 | 小学校で学 習した | 中学校で学 習した | 高校で学習 した | 短大、大学 及び大学院 もしくは各種 専門学校な どで学習した | 住民対象の 講座や研修 会などで学 習した | 職場の研修 で学習した | 上記以外の ところで学習 した | はっきり覚え ていない |
|--------------|--------------|--------------|-------------|---------------------------------------------|--------------------------------|----------------|-----------------------|----------------|
| 18～19歳 | 3 30.0 | 8 80.0 | 7 70.0 | 1 10.0 | 1 10.0 | 0 0.0 | 1 10.0 | 1 10.0 |
| 20～29歳 | 30 68.2 | 29 65.9 | 20 45.5 | 3 6.8 | 9 20.5 | 12 27.3 | 2 4.5 | 5 11.4 |
| 30～39歳 | 37 72.5 | 36 70.6 | 20 39.2 | 8 15.7 | 16 31.4 | 17 33.3 | 5 9.8 | 6 11.8 |
| 40～49歳 | 69 84.1 | 64 78.0 | 29 35.4 | 6 7.3 | 34 41.5 | 31 37.8 | 16 19.5 | 4 4.9 |
| 50～59歳 | 72 61.0 | 72 61.0 | 34 28.8 | 12 10.2 | 74 62.7 | 52 44.1 | 15 12.7 | 4 3.4 |
| 60～69歳 | 30 14.6 | 32 15.5 | 25 12.1 | 16 7.8 | 151 73.3 | 89 43.2 | 28 13.6 | 11 5.3 |
| 70～79歳 | 14 6.4 | 40 18.3 | 24 11.0 | 8 3.7 | 171 78.4 | 73 33.5 | 32 14.7 | 15 6.9 |
| 80歳以上 | 14 9.2 | 22 14.5 | 15 9.9 | 6 3.9 | 108 71.1 | 30 19.7 | 31 20.4 | 14 9.2 |
| 無回答 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| 全体 | 270 30.6 | 303 34.3 | 174 19.7 | 60 6.8 | 564 63.9 | 304 34.4 | 130 14.7 | 60 6.8 |

MA

上段:人数 下段:割合

| 2020 調査結果 | 受けたことは ない | 無回答 | 合計 |
|--------------|--------------|----------|------------|
| 18～19歳 | 0 0.0 | 0 0.0 | 10 100 |
| 20～29歳 | 0 0.0 | 0 0.0 | 44 100 |
| 30～39歳 | 1 2.0 | 0 0.0 | 51 100 |
| 40～49歳 | 0 0.0 | 0 0.0 | 82 100 |
| 50～59歳 | 0 0.0 | 1 0.8 | 118 100 |
| 60～69歳 | 11 5.3 | 0 0.0 | 206 100 |
| 70～79歳 | 10 4.6 | 1 0.5 | 218 100 |
| 80歳以上 | 12 7.9 | 3 2.0 | 152 100 |
| 無回答 | 1 50.0 | 0 0.0 | 2 100 |
| 全体 | 35 4.0 | 5 0.6 | 883 100 |

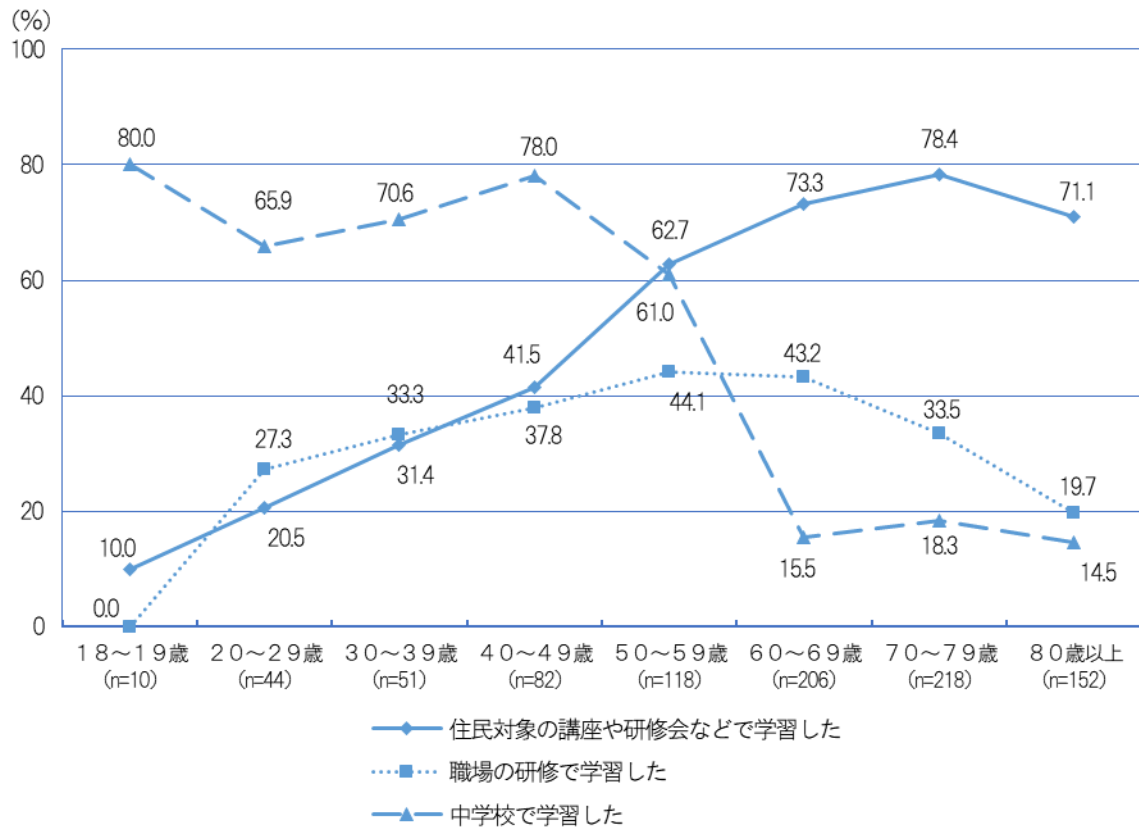
【全体】



※国東市2015調査なし。

※大分県2018調査なし。

【年代別】<【国東市2020】部落差別の問題について、学習したことがあるかについて上位3項目の年代別状況>



■市全体では、学校や職場、地域で、部落差別の問題(同和問題)について、学習したことがあるかでは、「住民対象の講座や研修会などで学習した」の割合が63.9%と最も高く、次いで「職場の研修で学習した」(34.4%)、「中学校で学習した」(34.3%)となっています。

■2015調査はありません。

◆年代別では、18～19歳は「中学校で学習した」、20歳代～40歳代では「小学校で学習した」、50歳代～80歳以上では「住民対象の講座や研修会などで学習した」の割合が最も高くなっています。

◆年代別の2015調査はありません。

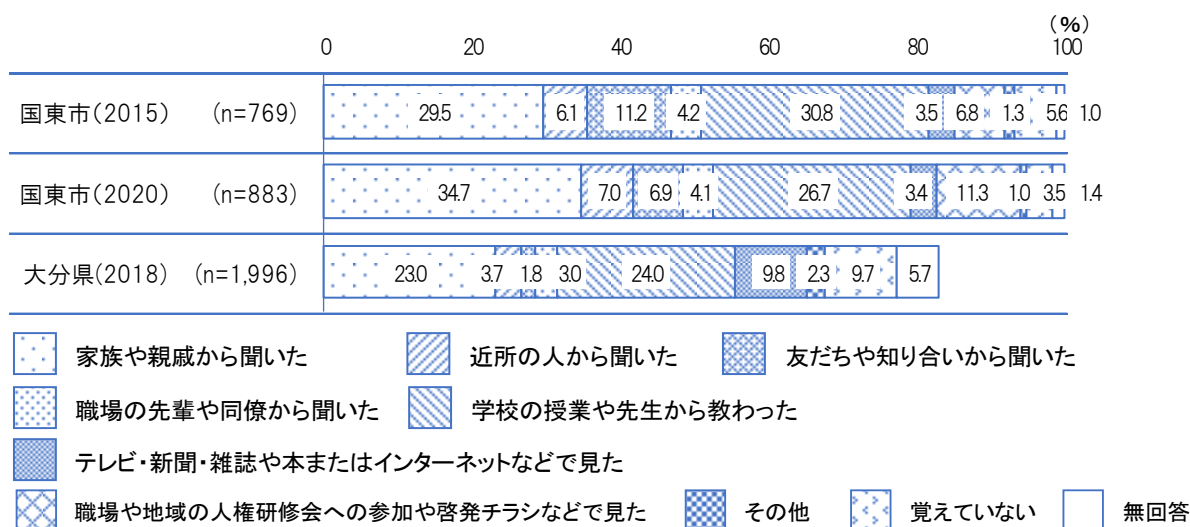
問17 部落差別の問題(同和問題)について、あなたがはじめて知ったのはどんなきっかけですか。

SA

上段:人数 下段:割合

| 2020 調査結果 | 家族や親戚 から聞いた | 近所の人か ら聞いた | 友だちや知り 合いから聞 いた | 職場の先輩 や同僚から 聞いた | 学校の授業 や先生から 教わった | テレビ・新聞・ 雑誌や本ま たはインター ネットなどで 見た | 職場や地域 の人権研修 会への参加 や啓発チラ シなどで見た | その他 | 覚えてい ない | 無回答 | 合計 |
|--------------|----------------|---------------|-----------------------|-----------------------|------------------------|--------------------------------------------|--------------------------------------------|-----|------------|-----|-----|
| 18～19歳 | 1 | 1 | 0 | 0 | 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 10 |
| | 10.0 | 10.0 | 0.0 | 0.0 | 80.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100 |
| 20～29歳 | 5 | 0 | 0 | 0 | 34 | 3 | 2 | 0 | 0 | 0 | 44 |
| | 11.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 77.3 | 6.8 | 4.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100 |
| 30～39歳 | 8 | 0 | 2 | 0 | 35 | 1 | 2 | 0 | 3 | 0 | 51 |
| | 15.7 | 0.0 | 3.9 | 0.0 | 68.6 | 2.0 | 3.9 | 0.0 | 5.9 | 0.0 | 100 |
| 40～49歳 | 12 | 1 | 2 | 0 | 63 | 1 | 3 | 0 | 0 | 0 | 82 |
| | 14.6 | 1.2 | 2.4 | 0.0 | 76.8 | 1.2 | 3.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100 |
| 50～59歳 | 47 | 4 | 1 | 4 | 51 | 3 | 6 | 0 | 2 | 0 | 118 |
| | 39.8 | 3.4 | 0.8 | 3.4 | 43.2 | 2.5 | 5.1 | 0.0 | 1.7 | 0.0 | 100 |
| 60～69歳 | 95 | 12 | 24 | 11 | 22 | 5 | 22 | 4 | 9 | 2 | 206 |
| | 46.1 | 5.8 | 11.7 | 5.3 | 10.7 | 2.4 | 10.7 | 1.9 | 4.4 | 1.0 | 100 |
| 70～79歳 | 79 | 24 | 21 | 16 | 12 | 13 | 42 | 2 | 5 | 4 | 218 |
| | 36.2 | 11.0 | 9.6 | 7.3 | 5.5 | 6.0 | 19.3 | 0.9 | 2.3 | 1.8 | 100 |
| 80歳以上 | 58 | 19 | 11 | 5 | 11 | 4 | 23 | 3 | 12 | 6 | 152 |
| | 38.2 | 12.5 | 7.2 | 3.3 | 7.2 | 2.6 | 15.1 | 2.0 | 7.9 | 3.9 | 100 |
| 無回答 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| | 50.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100 |
| 全体 | 306 | 62 | 61 | 36 | 236 | 30 | 100 | 9 | 31 | 12 | 883 |
| | 34.7 | 7.0 | 6.9 | 4.1 | 26.7 | 3.4 | 11.3 | 1.0 | 3.5 | 1.4 | 100 |

【全体】



※国東市2020調査と大分県2018調査では、回答対象者が異なる。

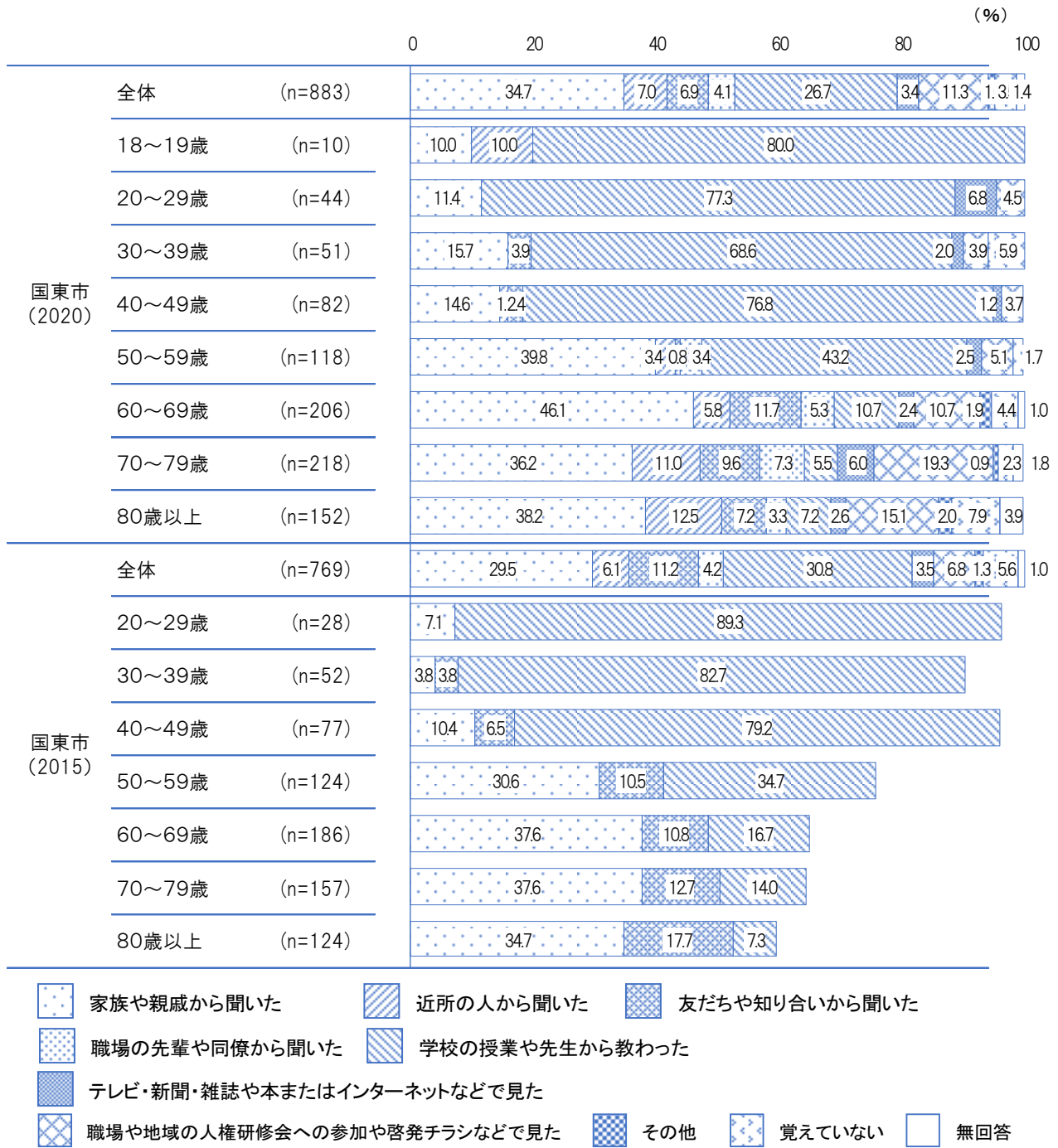
国東市2020調査:問15で「1.知っている」と答えた方のみ。

大分県2018調査:全員が対象。

※国東市2020調査では「家族や親戚から聞いた」という回答選択肢に対して、大分県2018調査は「家族」と「親戚」を足した割合となっている。

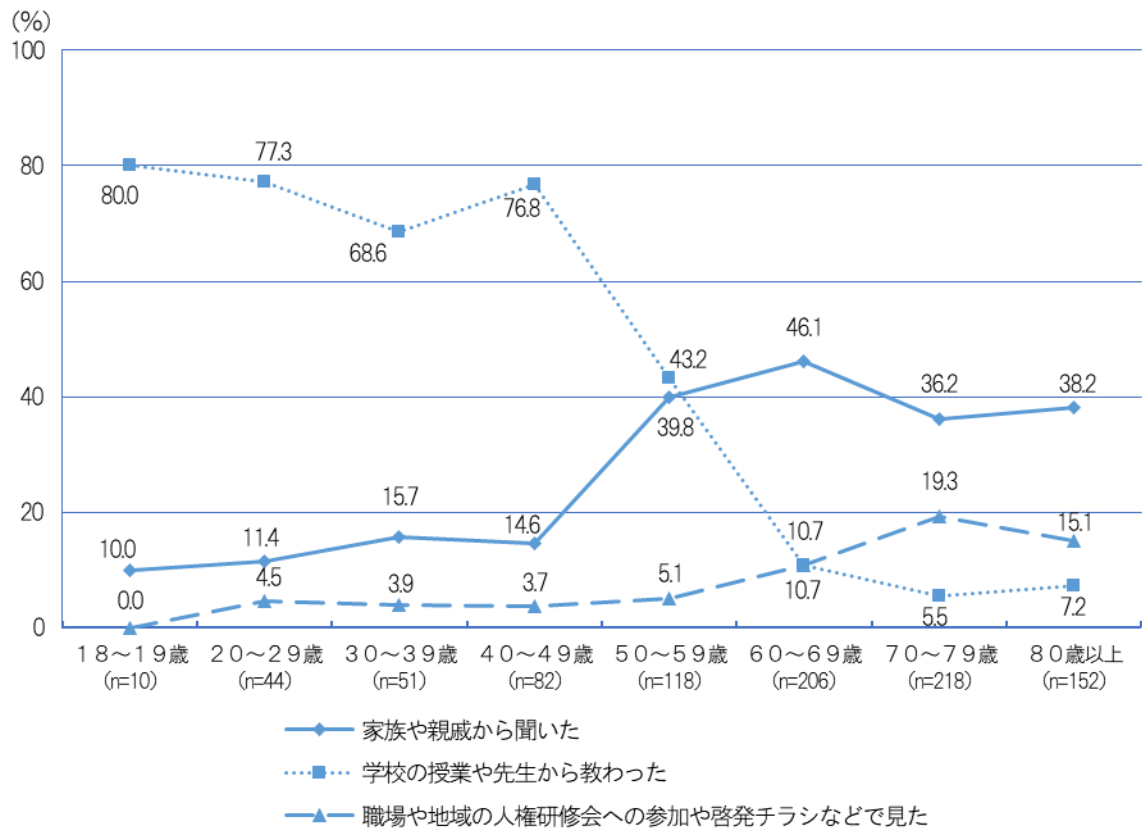
※国東市2020調査では「テレビ・新聞・雑誌や本またはインターネットなどで見た」という回答選択肢に対して、大分県2018調査は「テレビ・ラジオ～」と「インターネット」の選択肢を足した割合となっている。

【年代別】

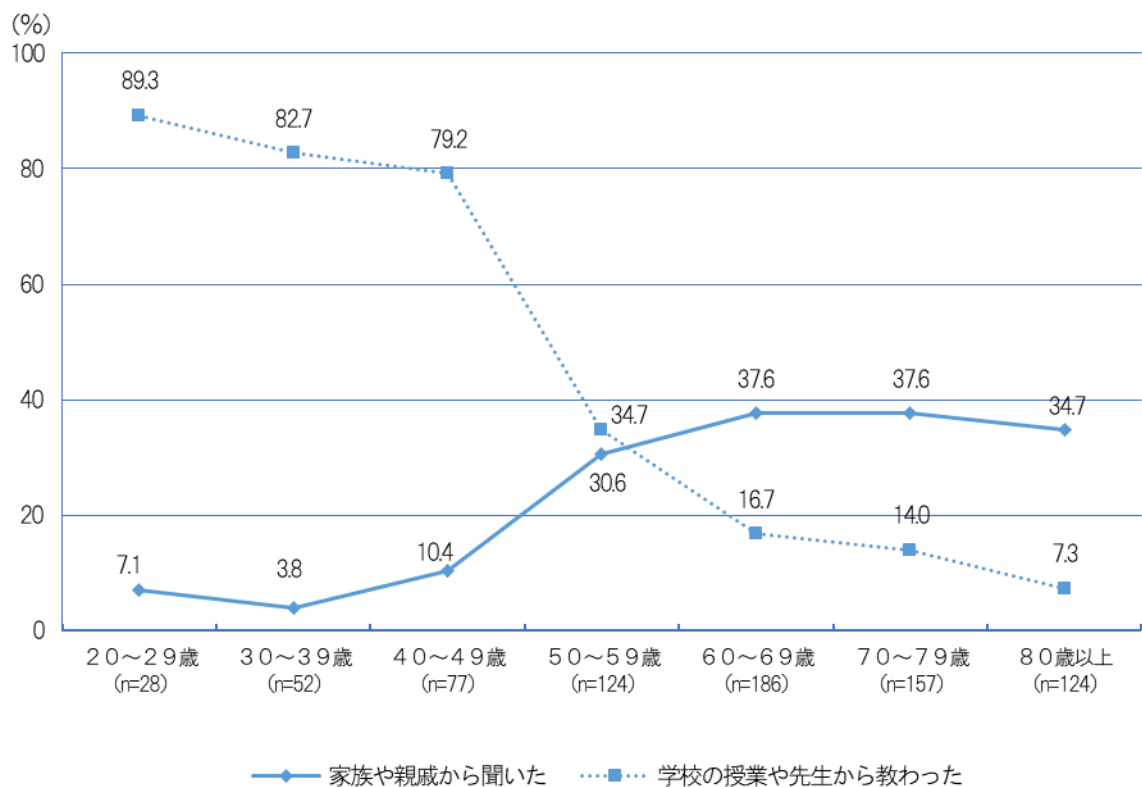


※国東市2015調査の年齢別割合は上位3項目のみのため、3項目以外の年齢別割合は不明。

【年代別】<【国東市2020】部落差別の問題(同和問題)について、はじめて知ったきっかけの上位3項目の年代別状況>



【年代別】<【国東市2015】部落差別の問題(同和問題)について、はじめて知ったきっかけの上位3項目の年代別状況>



※国東市2015調査の上位3項目に入っていた「友達や知り合いから」は、国東市2020調査では上位に入っていないため比較不可。

- 市全体では、部落差別の問題(同和問題)について、あなたがはじめて知ったきっかけについて「家族や親戚から聞いた」の割合が 34.7%と最も高く、次いで「学校の授業や先生から教わった」(26.7%)、「職場や地域の人権研修会への参加や啓発チラシなどで見た」(11.3%)となっています。
- 2015調査と比較すると、市全体では、「家族や親戚から聞いた」の割合が 5.2 ㊦、次いで「職場や地域の人権研修会への参加や啓発チラシなどで見た」(4.5 ㊦)、「近所の人から聞いた」(0.9 ㊦)がそれぞれ増加しています。大分県2018調査との比較では、「家族や親戚から聞いた」の割合が 11.7 ㊦、次いで「友だちや知り合いから聞いた」(5.1 ㊦)、「近所の人から聞いた」(3.3 ㊦)がそれぞれ大分県よりも増加しています。
- ◆年代別では、上位3項目について「家族や親戚から聞いた」で最も割合が高い年代は60～69歳(46.1%)、「学校の授業や先生から教わった」で最も割合が高い年代は18～19歳(80.0%)、「職場や地域の人権研修会への参加や啓発チラシなどで見た」で最も割合が高い年代は70～79歳(19.3%)となっています。
- ◆2015調査と比較すると、「家族や親戚から聞いた」では70～79歳(1.4 ㊦)で割合が減少し、他の年代はすべて増加しています。「学校の授業や先生から教わった」では50～59歳(8.5 ㊦)で割合が増加し、他の年代はすべて増加しています。

問18 あなたは、部落差別の問題(同和問題)に関することで、現在どのような人権問題があると思いますか。

MA

上段:人数 下段:割合

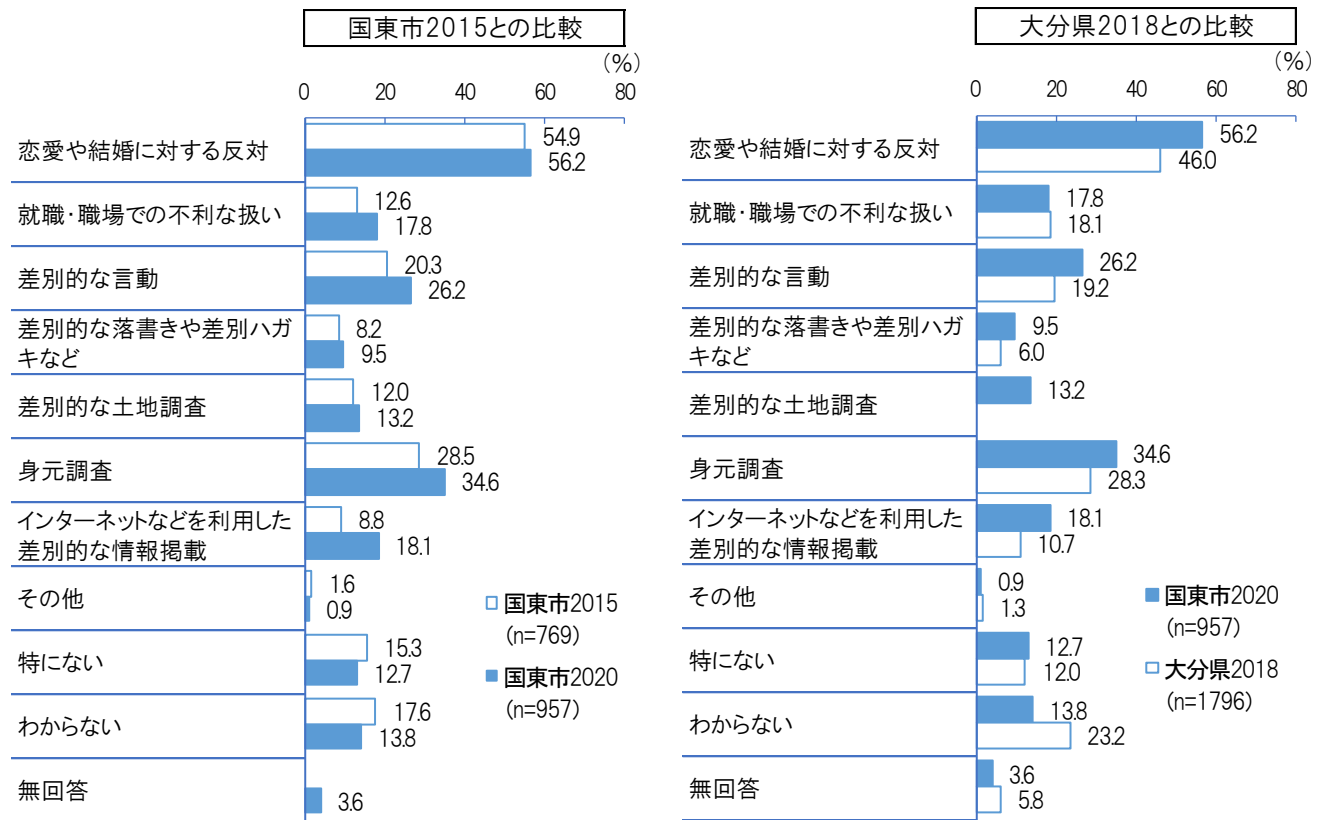
| 2020 調査結果 | 恋愛や結婚に 対する反対 | 就職・職場で の不利な扱い | 差別的な言動 | 差別的な落 書きや差別 ハガキなど | 差別的な土 地調査 | 身元調査 | インターネッ トなどを利用 した差別的な 情報掲載 | その他 |
|--------------|-----------------|------------------|-------------|-------------------------|--------------|-------------|------------------------------------|----------|
| 18～19歳 | 10 83.3 | 7 58.3 | 4 33.3 | 1 8.3 | 2 16.7 | 3 25.0 | 2 16.7 | 0 0.0 |
| 20～29歳 | 30 65.2 | 20 43.5 | 18 39.1 | 9 19.6 | 8 17.4 | 20 43.5 | 14 30.4 | 0 0.0 |
| 30～39歳 | 34 58.6 | 16 27.6 | 19 32.8 | 10 17.2 | 14 24.1 | 21 36.2 | 17 29.3 | 0 0.0 |
| 40～49歳 | 49 54.4 | 26 28.9 | 33 36.7 | 8 8.9 | 19 21.1 | 39 43.3 | 21 23.3 | 0 0.0 |
| 50～59歳 | 70 57.4 | 22 18.0 | 40 32.8 | 16 13.1 | 19 15.6 | 51 41.8 | 34 27.9 | 1 0.8 |
| 60～69歳 | 136 61.0 | 37 16.6 | 57 25.6 | 29 13.0 | 32 14.3 | 85 38.1 | 47 21.1 | 2 0.9 |
| 70～79歳 | 126 53.4 | 24 10.2 | 48 20.3 | 12 5.1 | 23 9.7 | 69 29.2 | 24 10.2 | 5 2.1 |
| 80歳以上 | 82 48.8 | 18 10.7 | 32 19.0 | 6 3.6 | 9 5.4 | 42 25.0 | 14 8.3 | 1 0.6 |
| 無回答 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| 全体 | 538 56.2 | 170 17.8 | 251 26.2 | 91 9.5 | 126 13.2 | 331 34.6 | 173 18.1 | 9 0.9 |

MA

上段:人数 下段:割合

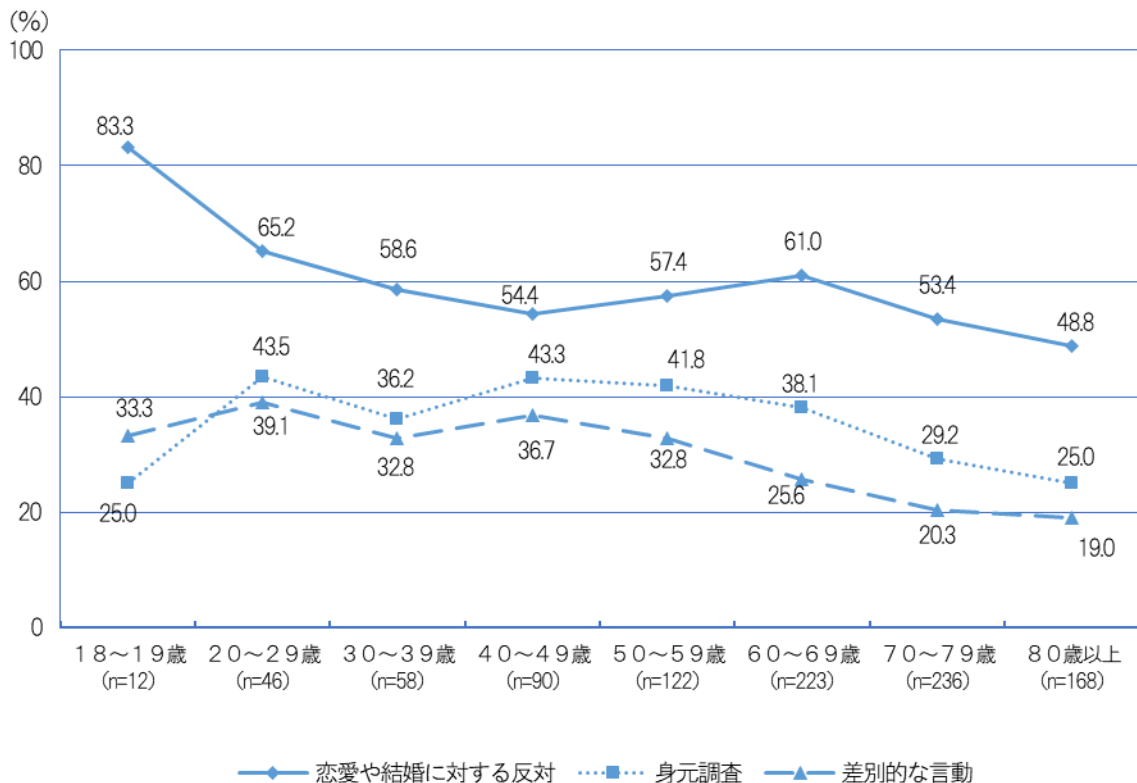
| 2020 調査結果 | 特にない | わからない | 無回答 | 合計 |
|--------------|-------------|-------------|-----------|------------|
| 18～19歳 | 0 0.0 | 1 8.3 | 0 0.0 | 12 100 |
| 20～29歳 | 2 4.3 | 6 13.0 | 1 2.2 | 46 100 |
| 30～39歳 | 5 8.6 | 12 20.7 | 3 5.2 | 58 100 |
| 40～49歳 | 7 7.8 | 13 14.4 | 1 1.1 | 90 100 |
| 50～59歳 | 13 10.7 | 13 10.7 | 4 3.3 | 122 100 |
| 60～69歳 | 27 12.1 | 26 11.7 | 4 1.8 | 223 100 |
| 70～79歳 | 37 15.7 | 34 14.4 | 9 3.8 | 236 100 |
| 80歳以上 | 30 17.9 | 27 16.1 | 12 7.1 | 168 100 |
| 無回答 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 100 |
| 全体 | 122 12.7 | 132 13.8 | 34 3.6 | 957 100 |

【全体】



※大分県2018調査では「差別的な土地調査」の項目なし。

【年代別】<【国東市2020】部落差別の問題(同和問題)についてどのような人権問題があるか上位3項目の年代別状況>



■市全体では、部落差別の問題(同和問題)に関する事で、現在どのような人権問題があるかについて「恋愛や結婚に対する反対」の割合が 56.2%と最も高く、次いで「身元調査」(34.6%)、「差別的な言動」(26.2%)となっています。

■2015調査と比較すると、市全体では「インターネットなどを利用した差別的な情報掲載」の割合が 9.3 ㊦、次いで「身元調査」(6.1 ㊦)、「差別的な言動」(5.9 ㊦)が増加しています。大分県2018調査との比較では、「恋愛や結婚に対する反対」の割合が 10.2 ㊦と最も増加し、次いで「インターネットなどを利用した差別的な情報掲載」(7.4 ㊦)、「差別的な言動」(7.0 ㊦)となっています。

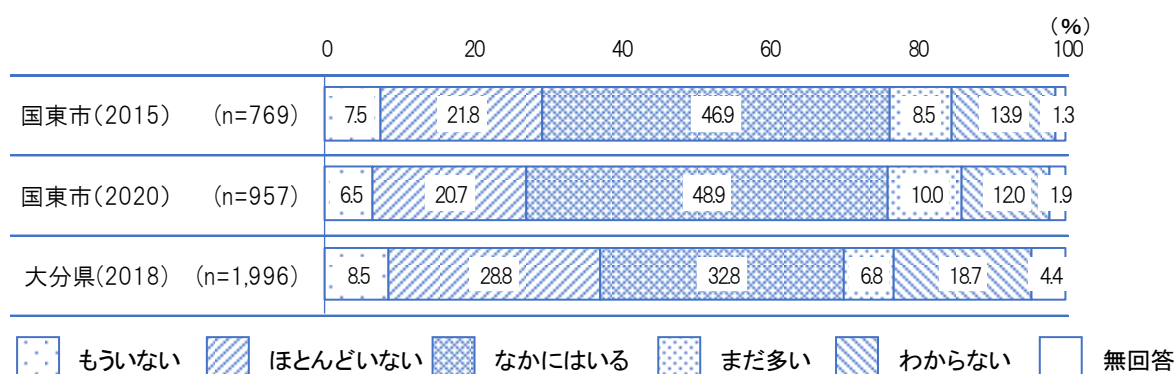
◆年代別では、各年代ともに「恋愛や結婚に対する反対」の割合が最も高くなっています。

◆年代別の2015調査はありません。

問19 部落差別意識を持つ人はまだいると思いますか。

| 2020 調査結果 | 上段:人数 下段:割合 | | | | | | 合計 |
|--------------|-------------|-------------|-------------|------------|-------------|-----------|------------|
| | もういない | ほとんどいない | なかにはいる | まだ多い | わからない | 無回答 | |
| 18～19歳 | 0 0.0 | 2 16.7 | 9 75.0 | 0 0.0 | 1 8.3 | 0 0.0 | 12 100 |
| 20～29歳 | 0 0.0 | 16 34.8 | 21 45.7 | 4 8.7 | 5 10.9 | 0 0.0 | 46 100 |
| 30～39歳 | 1 1.7 | 6 10.3 | 28 48.3 | 12 20.7 | 10 17.2 | 1 1.7 | 58 100 |
| 40～49歳 | 2 2.2 | 20 22.2 | 47 52.2 | 5 5.6 | 16 17.8 | 0 0.0 | 90 100 |
| 50～59歳 | 3 2.5 | 18 14.8 | 66 54.1 | 20 16.4 | 14 11.5 | 1 0.8 | 122 100 |
| 60～69歳 | 17 7.6 | 38 17.0 | 127 57.0 | 23 10.3 | 17 7.6 | 1 0.4 | 223 100 |
| 70～79歳 | 25 10.6 | 57 24.2 | 103 43.6 | 22 9.3 | 26 11.0 | 3 1.3 | 236 100 |
| 80歳以上 | 13 7.7 | 41 24.4 | 67 39.9 | 10 6.0 | 26 15.5 | 11 6.5 | 168 100 |
| 無回答 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 2 100 |
| 全体 | 62 6.5 | 198 20.7 | 468 48.9 | 96 10.0 | 115 12.0 | 18 1.9 | 957 100 |

【全体】



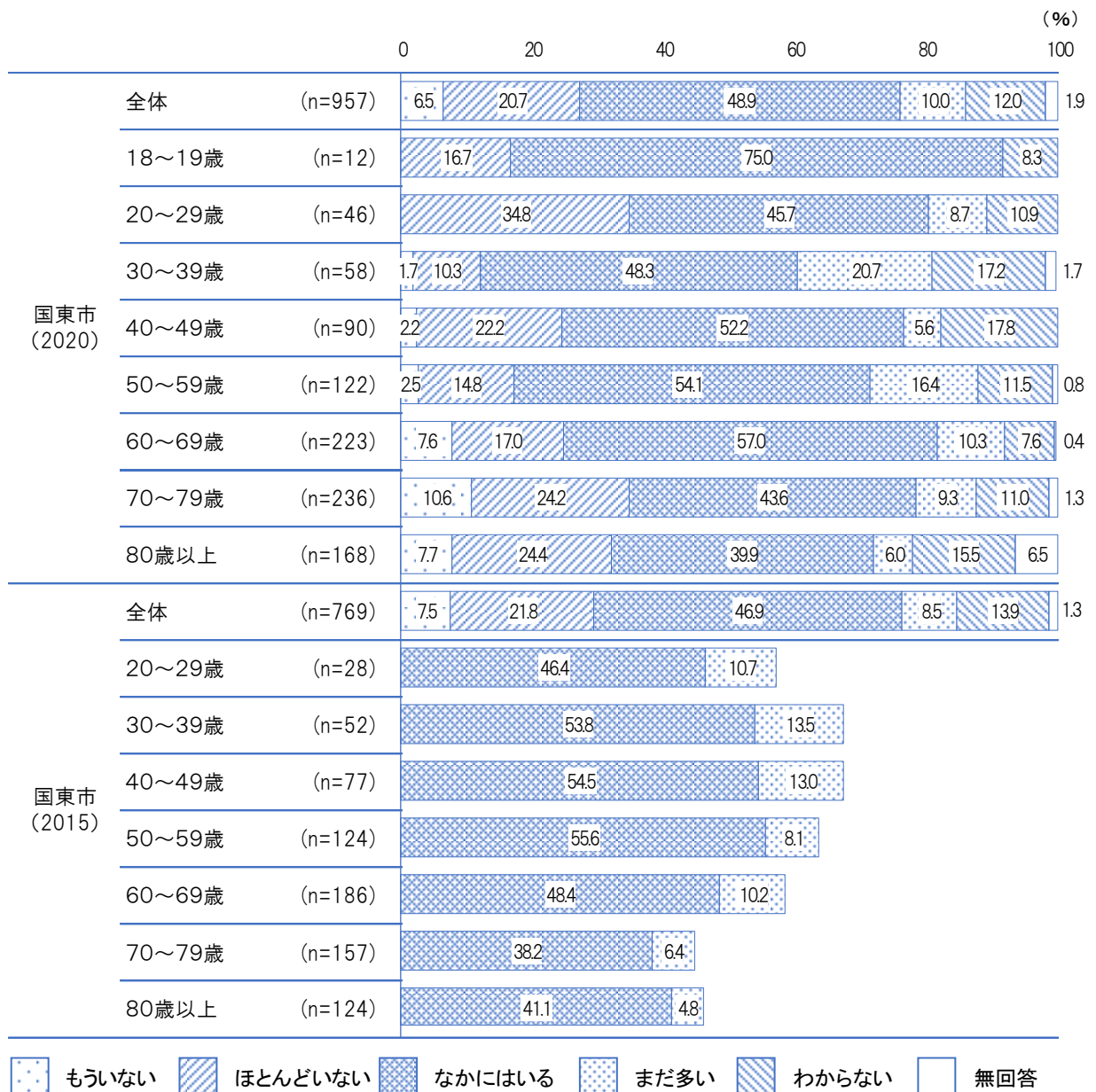
※国東市2015調査と国東市2020調査では回答対象者が異なる。

国東市2015調査:問15で「1.知っている」と答えた方のみ。

国東市2020調査:全員が調査対象。

- 市全体では、部落差別意識を持つ人はまだいると思うかについて「なかにはいる」の割合が48.9%と最も高く、次いで「ほとんどいない」(20.7%)、「わからない」(12.0%)となっています。
- 2015調査と比較すると市全体では、「なかにはまだいる」の割合が2.0ポイント、「まだ多い」(1.5ポイント)が増加しています。大分県2018調査との比較では、「なかにはまだいる」の割合が大分県よりも16.1ポイント増加しています。

【年代別】



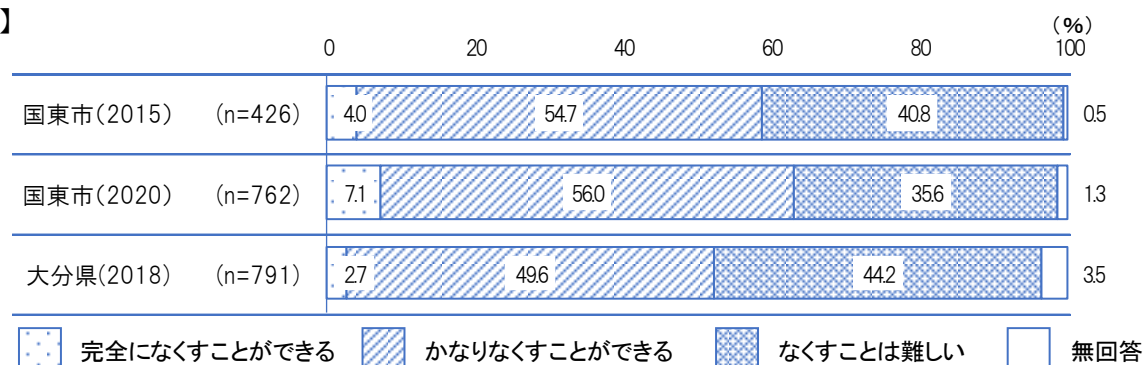
※国東市2015調査の年齢別割合は「なかにはいる」「まだ多い」のみ。

- ◆年代別では、「なかにはいる+まだ多い」の割合が最も高いのは18～19歳で 75.0%、次いで50～59歳 (70.5%)、30～39歳(69.0%)となっています。
- ◆2015調査と比較すると年代別では、「なかにはいる+まだ多い」の割合が最も増加したのは60～69歳で 8.7 ㊦、次いで70～79歳(8.3 ㊦)となっています。

問20 被差別部落(同和地区)の人に対する差別意識は、近い将来(5～10年後位に)なくすことができると思いますか。

| 2020 調査結果 | 上段:人数 下段:割合 | | | | 合計 |
|--------------|------------------|------------------|---------------|-----------|------------|
| | 完全になくす ことができる | かなりなくす ことができる | なくすことは 難しい | 無回答 | |
| 18～19歳 | 1 9.1 | 4 36.4 | 6 54.5 | 0 0.0 | 11 100 |
| 20～29歳 | 3 7.3 | 24 58.5 | 14 34.1 | 0 0.0 | 41 100 |
| 30～39歳 | 2 4.3 | 18 39.1 | 26 56.5 | 0 0.0 | 46 100 |
| 40～49歳 | 7 9.7 | 38 52.8 | 27 37.5 | 0 0.0 | 72 100 |
| 50～59歳 | 9 8.7 | 51 49.0 | 44 42.3 | 0 0.0 | 104 100 |
| 60～69歳 | 11 5.9 | 111 59.0 | 66 35.1 | 0 0.0 | 188 100 |
| 70～79歳 | 12 6.6 | 112 61.5 | 51 28.0 | 7 3.8 | 182 100 |
| 80歳以上 | 9 7.6 | 69 58.5 | 37 31.4 | 3 2.5 | 118 100 |
| 無回答 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 100 |
| 全体 | 54 7.1 | 427 56.0 | 271 35.6 | 10 1.3 | 762 100 |

【全体】



※国東市2015調査と2020調査では回答対象者が異なる。

国東市2015調査:問19で「3.なかにはいる」「4.まだ多い」と答えた方のみ。

国東市2020調査:問19で「2.ほとんどいない」「3.なかにはいる」「4.まだ多い」と答えた方のみ。

※国東市2020と大分県2018では回答対象者が異なる。

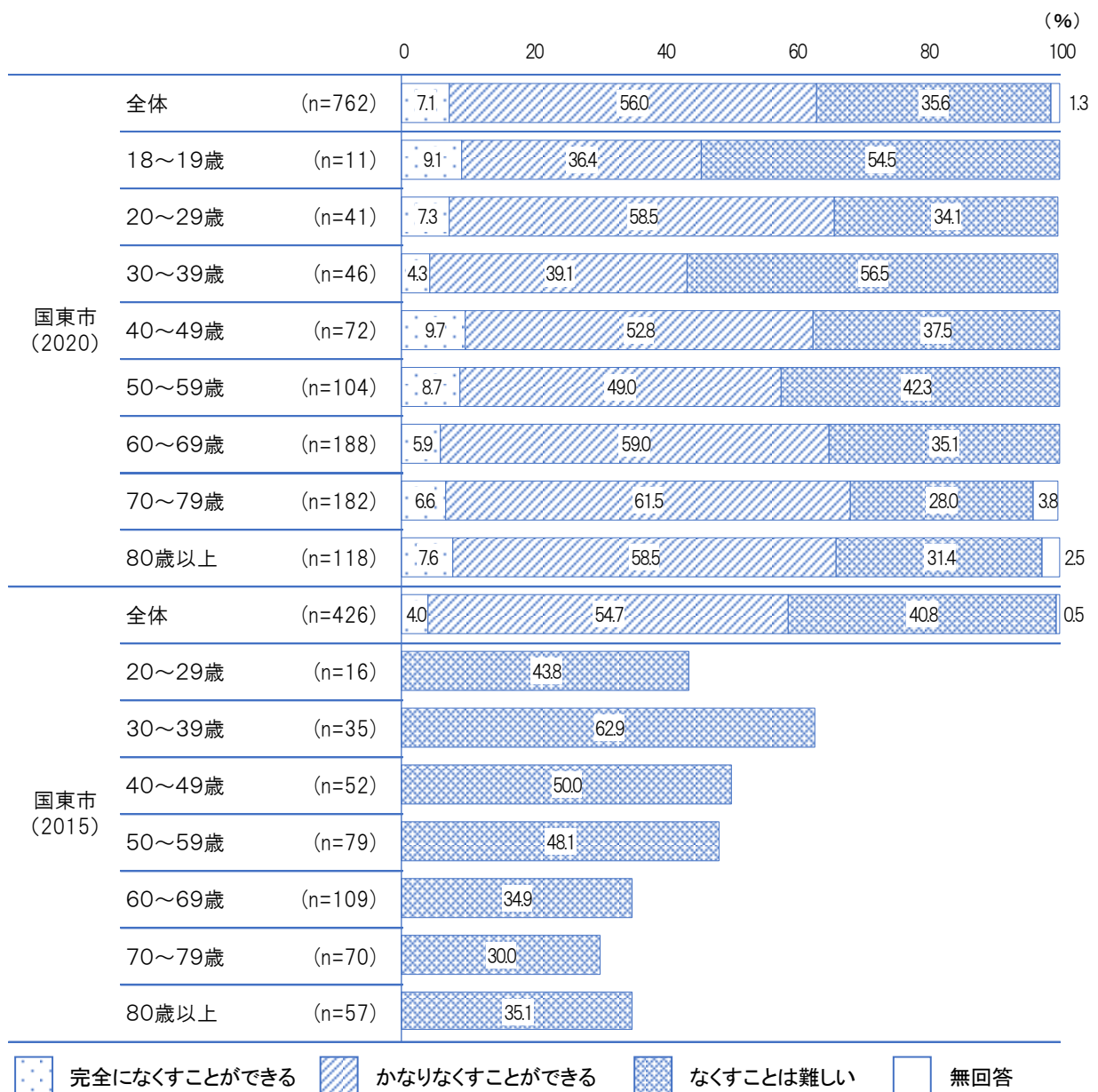
国東市2020調査:問19で「ほとんどいない」「なかにはいる」「まだ多い」と答えた方のみ。

大分県2018調査:問19で「なかにはいる」「まだ多い」と答えた方のみ。

■市全体では、被差別部落(同和地区)の人に対する差別意識は、近い将来(5～10年後位に)なくすことができると思うかについて「かなりなくすことができる」の割合が 56.0%と最も高く、次いで「なくすことは難しい」(35.6%)、「完全になくすことができる」(7.1%)となっています。

■2015調査と比較すると市全体では、「なくすことは難しい」の割合が 5.2 ㊦減少し、「完全になくすことができる」の割合が 3.1 ㊦増加しています。大分県2018調査との比較では、「なくすことは難しい」の割合が大分県よりも 8.6 ㊦減少しています。

【年代別】



※国東市2015調査の年齢別割合は「なくすことは難しい」のみ。

- ◆年代別では、「なくすことは難しい」の割合が最も高いのは30～39歳で 56.5%、次いで18～19歳(54.5%)、50～59歳(42.3%)となっています。
- ◆2015調査と比較すると年代別では、「なくすことは難しい」の割合が最も増加したのは60～69歳で 0.2 ポイントとなっています。他の年代はすべて、「なくすことは難しい」の割合が減少しています。

問21 被差別部落(同和地区)の人に対する差別意識が現れるのはどんな時だと思いますか。

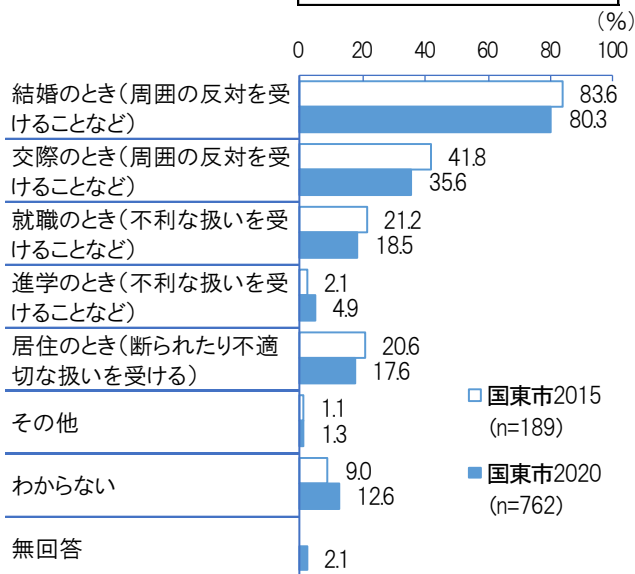
MA

上段:人数 下段:割合

| 2020 調査結果 | 結婚のとき (周囲の反対 を受けること など) | 交際のとき (周囲の反対 を受けること など) | 就職のとき (不利な扱い を受けること など) | 進学のと き(不利な扱 いを受けるこ となど) | 居住のとき (断られたり、不適切な 扱いを受ける ことなど) | その他 | わから ない | 無回答 | 合計 |
|--------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------------|-----|-----------|-----|-----|
| 18～19歳 | 9 | 7 | 5 | 2 | 4 | 0 | 1 | 0 | 11 |
| | 81.8 | 63.6 | 45.5 | 18.2 | 36.4 | 0.0 | 9.1 | 0.0 | 100 |
| 20～29歳 | 33 | 16 | 15 | 5 | 8 | 0 | 7 | 0 | 41 |
| | 80.5 | 39.0 | 36.6 | 12.2 | 19.5 | 0.0 | 17.1 | 0.0 | 100 |
| 30～39歳 | 36 | 17 | 17 | 6 | 13 | 2 | 6 | 1 | 46 |
| | 78.3 | 37.0 | 37.0 | 13.0 | 28.3 | 4.3 | 13.0 | 2.2 | 100 |
| 40～49歳 | 53 | 24 | 21 | 9 | 22 | 2 | 14 | 0 | 72 |
| | 73.6 | 33.3 | 29.2 | 12.5 | 30.6 | 2.8 | 19.4 | 0.0 | 100 |
| 50～59歳 | 89 | 40 | 15 | 2 | 15 | 1 | 7 | 3 | 104 |
| | 85.6 | 38.5 | 14.4 | 1.9 | 14.4 | 1.0 | 6.7 | 2.9 | 100 |
| 60～69歳 | 158 | 69 | 33 | 5 | 33 | 3 | 23 | 0 | 188 |
| | 84.0 | 36.7 | 17.6 | 2.7 | 17.6 | 1.6 | 12.2 | 0.0 | 100 |
| 70～79歳 | 138 | 63 | 23 | 4 | 28 | 1 | 22 | 10 | 182 |
| | 75.8 | 34.6 | 12.6 | 2.2 | 15.4 | 0.5 | 12.1 | 5.5 | 100 |
| 80歳以上 | 96 | 35 | 12 | 4 | 11 | 1 | 16 | 2 | 118 |
| | 81.4 | 29.7 | 10.2 | 3.4 | 9.3 | 0.8 | 13.6 | 1.7 | 100 |
| 無回答 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 100 |
| 全体 | 612 | 271 | 141 | 37 | 134 | 10 | 96 | 16 | 762 |
| | 80.3 | 35.6 | 18.5 | 4.9 | 17.6 | 1.3 | 12.6 | 2.1 | 100 |

【全体】

国東市2015との比較



※国東市2015調査と2020調査では回答対象者が異なる。

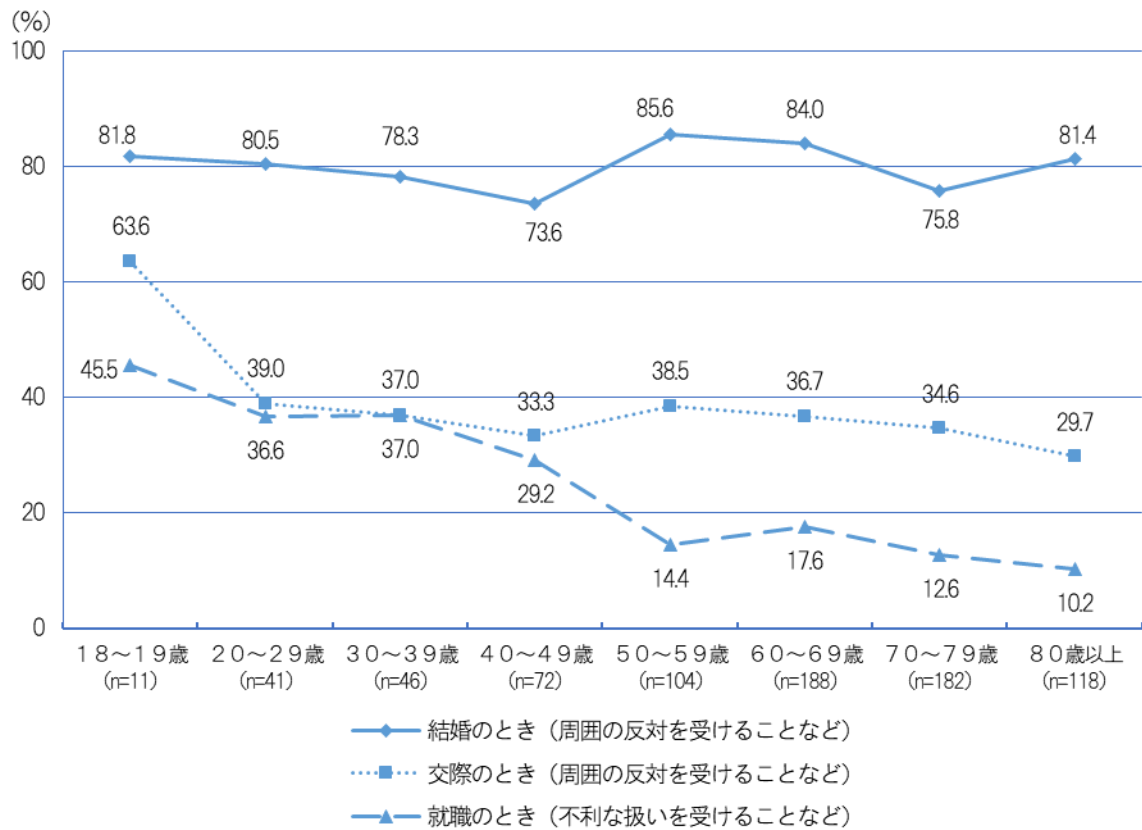
国東市2015調査:差別意識を持つ人は「2.ほとんどいない」「3.なかにはいる」「4.まだ多い」と答えた方かつ差別意識を「3.なくすことは難しい」と答えた方のみ。

国東市2020調査:問19で「2.ほとんどいない」「3.なかにはいる」「4.まだ多い」と答えた方のみ。

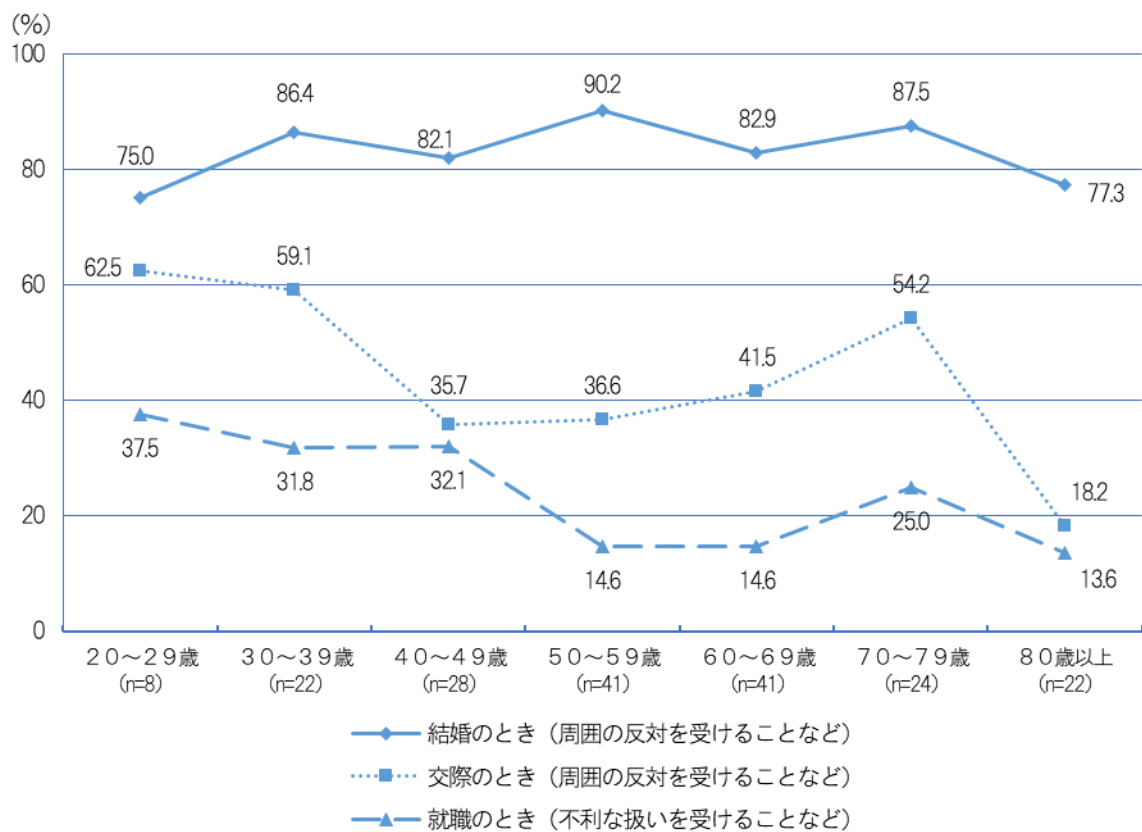
■市全体では、被差別部落(同和地区)の人に対する差別意識が現れるのはどんな時だと思うかについて「結婚のとき(周囲の反対を受けることなど)」の割合が80.3%と最も高く、次いで「交際のとき(周囲の反対を受けることなど)」(35.6%)、「就職のとき(不利な扱いを受けることなど)」(18.5%)となっています。

■2015調査と比較すると市全体では、「進学のと き(不利な扱いを受けることなど)」の割合が2.8ポイント増加し、「その他」と「わからない」を除く項目ではすべての割合が減少しています。

【年代別】<【国東市2020】差別意識が現れるのはどんな時について上位3項目の年代別状況>



【年代別】<【国東市2015】差別意識が現れるのはどんな時について上位3項目の年代別状況>



- ◆年代別では、上位3項目について「結婚のとき(周囲の反対を受けることなど)」で最も割合が高い年代は50～59歳(85.6%)、「交際のとき(周囲の反対を受けることなど)」で最も割合が高い年代は18～19歳(63.6%)、「就職のとき(不利な扱いを受けることなど)」で最も割合が高いの年代は18～19歳(45.5%)とな

っ

ています。

- ◆2015調査と比較すると、「結婚のとき(周囲の反対を受けることなど)」で最も割合が増加しているのは、20～29歳の 5.5 ㊦、次いで80歳以上(4.1 ㊦)。「交際のとき(周囲の反対を受けることなど)」で最も割合が増加しているのは、80歳以上の 11.5 ㊦、次いで50～59歳(1.9 ㊦)。「就職のとき(不利な扱いを受けることなど)」で最も割合が増加しているのは、30～39歳の 5.2 ㊦、次いで60～69歳(3.0 ㊦)となっています。

問22 現在もなお部落差別の問題(同和問題)がなくなるのは、なぜだと思いますか。

MA

上段:人数 下段:割合

| 2020 調査結果 | 部落差別の 問題(同和問 題)の知識が なかったり、 無関心だっ たりする人が いるから | 差別的な落 書きやイン ターネット上 などで差別 意識を助長 する人がいる から | これまでの 教育や啓発 が十分でな かったから | 行政や学校・ 社会などで 教育や啓発 を進めるから | 昔からある偏 見や差別意 識をそのまま 受け入れてし まう人がいる から | 地域社会や 家庭におい て話題となる から | 被差別部落 (同和地区)の 住民が行政か ら優遇されて いると思う人 がいるから |
|--------------|----------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------------------------|--------------------------------|---------------------------------------------------------|
| 18～19歳 | 7 63.6 | 3 27.3 | 3 27.3 | 1 9.1 | 9 81.8 | 0 0.0 | 1 9.1 |
| 20～29歳 | 16 39.0 | 15 36.6 | 4 9.8 | 4 9.8 | 36 87.8 | 4 9.8 | 3 7.3 |
| 30～39歳 | 17 37.0 | 17 37.0 | 10 21.7 | 12 26.1 | 33 71.7 | 10 21.7 | 6 13.0 |
| 40～49歳 | 28 38.9 | 25 34.7 | 9 12.5 | 18 25.0 | 53 73.6 | 7 9.7 | 12 16.7 |
| 50～59歳 | 42 40.4 | 27 26.0 | 17 16.3 | 14 13.5 | 76 73.1 | 20 19.2 | 24 23.1 |
| 60～69歳 | 94 50.0 | 49 26.1 | 33 17.6 | 29 15.4 | 135 71.8 | 23 12.2 | 45 23.9 |
| 70～79歳 | 86 47.3 | 29 15.9 | 36 19.8 | 33 18.1 | 112 61.5 | 27 14.8 | 48 26.4 |
| 80歳以上 | 56 47.5 | 18 15.3 | 23 19.5 | 16 13.6 | 67 56.8 | 13 11.0 | 17 14.4 |
| 無回答 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 0 |
| 全体 | 346 45.4 | 183 24.0 | 135 17.7 | 127 16.7 | 521 68.4 | 104 13.6 | 156 20.5 |

MA

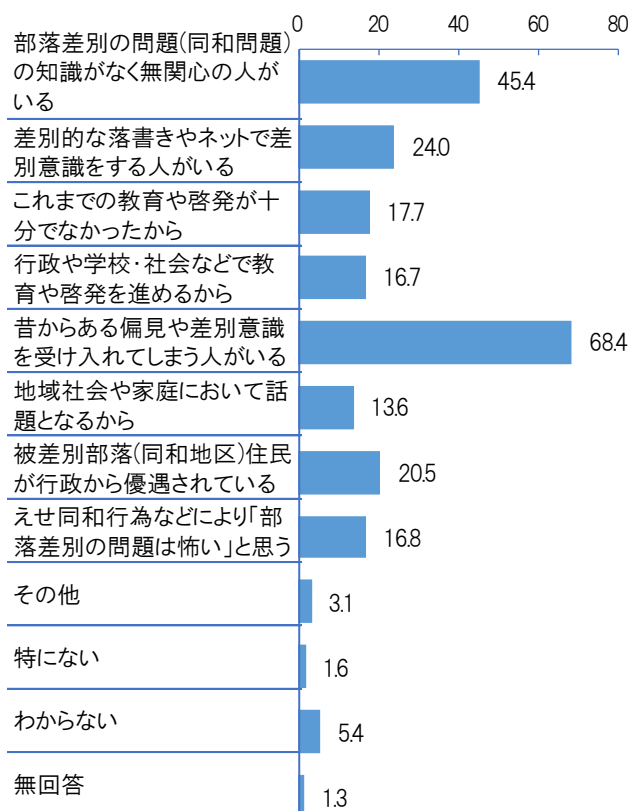
上段:人数 下段:割合

| 2020 調査結果 | えせ同和行為 などにより、 「部落差別の 問題(同和問 題)は怖い」と 思うから | その他 | 特にない | わからない | 無回答 | 合計 |
|--------------|---------------------------------------------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|
| 18～19歳 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 11 100 |
| 20～29歳 | 4 9.8 | 1 2.4 | 0 0.0 | 2 4.9 | 0 0.0 | 41 100 |
| 30～39歳 | 6 13.0 | 3 6.5 | 1 2.2 | 2 4.3 | 1 2.2 | 46 100 |
| 40～49歳 | 18 25.0 | 1 1.4 | 1 1.4 | 2 2.8 | 0 0.0 | 72 100 |
| 50～59歳 | 16 15.4 | 7 6.7 | 0 0.0 | 4 3.8 | 1 1.0 | 104 100 |
| 60～69歳 | 36 19.1 | 5 2.7 | 1 0.5 | 5 2.7 | 0 0.0 | 188 100 |
| 70～79歳 | 33 18.1 | 5 2.7 | 2 1.1 | 15 8.2 | 6 3.3 | 182 100 |
| 80歳以上 | 15 12.7 | 2 1.7 | 7 5.9 | 11 9.3 | 2 1.7 | 118 100 |
| 無回答 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 100 |
| 全体 | 128 16.8 | 24 3.1 | 12 1.6 | 41 5.4 | 10 1.3 | 762 100 |

【全体】

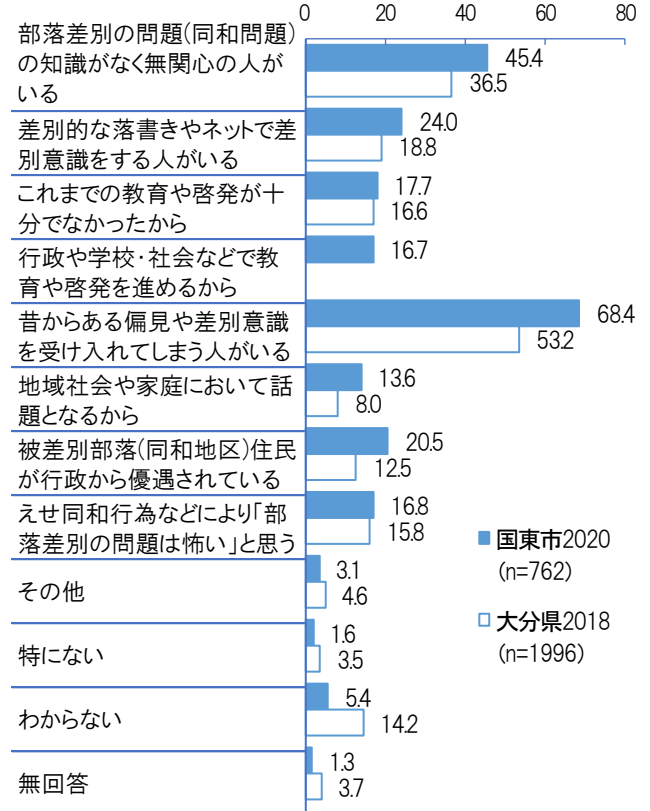
国東市2020 (n=762)

(%)



大分県2018との比較

(%)



※国東市2015調査なし。

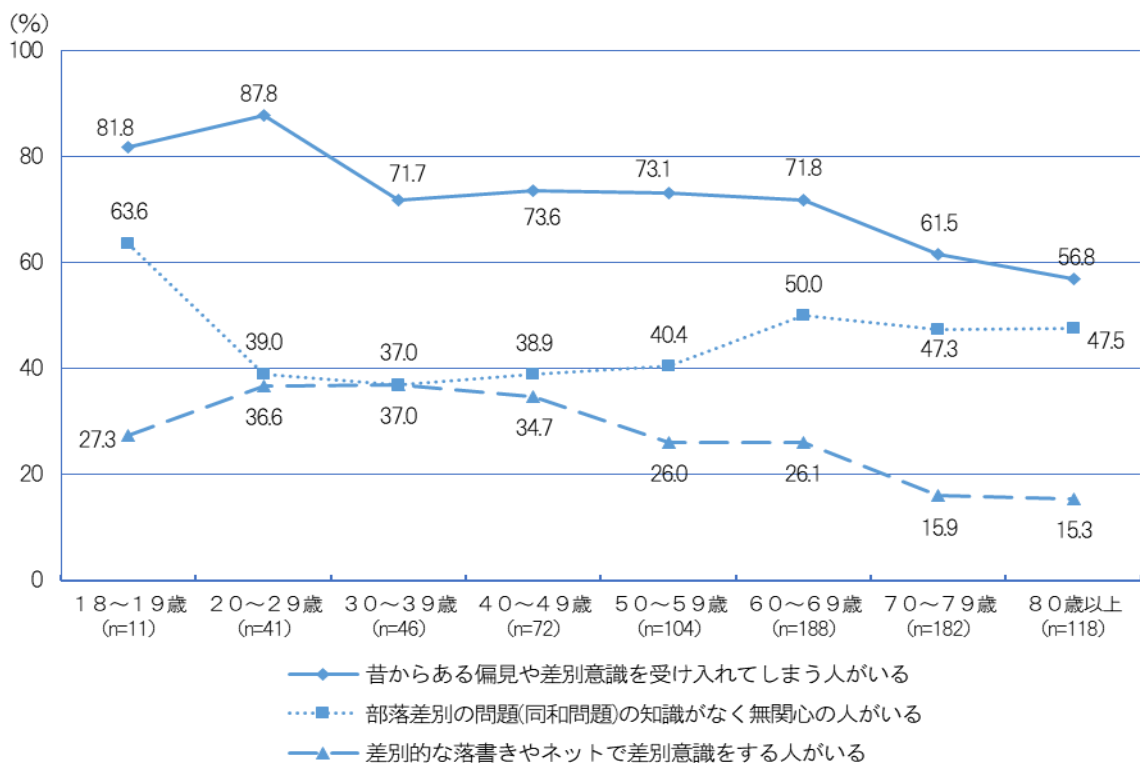
※大分県2018調査と回答対象者が異なる。

国東市2020調査:問19で差別意識を持つ人は「いる」と答えた方のみ。

大分県2018調査:全員対象。

※大分県2018調査には「行政や学校・社会などで教育や啓発を進めるから」の項目なし。

【年代別】<【国東市2020】部落差別の問題(同和問題)がなくなる理由について上位3項目の年代別状況>

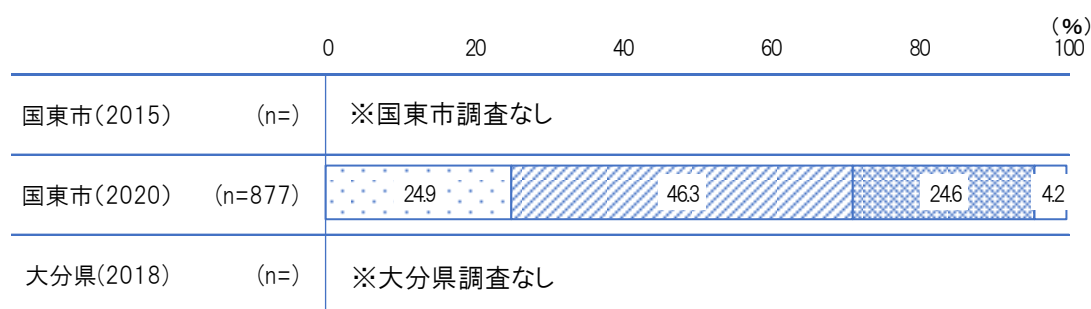






- 市全体では、現在もお部落差別の問題(同和問題)がなくなるのは、なぜだと思いますかについて「昔からある偏見や差別意識をそのまま受け入れてしまう人がいるから」の割合が68.4%と最も高く、次いで「部落差別の問題(同和問題)の知識がなかったり、無関心だったりする人がいるから」(45.4%)、「差別的な落書きやインターネット上などで差別意識を助長する人がいるから」(24.0%)となっています。
- 2015調査はありません。大分県2018調査との比較では、最も割合が増加したのは「昔からある偏見や差別意識を受け入れてしまう人がいる」(15.2%)となっています。「その他」「特にない」「わからない」「無回答」以外のすべての項目については割合が大分県よりも増加しています。
- ◆年代別では、部落差別の問題(同和問題)がなくなる理由の上位3項目について、「昔からある偏見や差別意識をそのまま受け入れてしまう人がいるから」で最も割合が高い年代は20～29歳(87.8%)、「部落差別の問題(同和問題)の知識がなかったり、無関心だったりする人がいるから」で最も割合が高い年代は18～19歳(63.6%)、「差別的な落書きやインターネット上などで差別意識を助長する人がいるから」で最も割合が高い年代は30～39歳(37.0%)となっています。
- ◆年代別の2015調査はありません。

問23 あなたが被差別部落(同和地区)出身の人と恋愛をし、その人と結婚しようとしたとき、家族や親戚から強い反対を受けたとしたら、あなたはどうされますか(あなたが婚姻しているかどうかに関わらずお答えください)。

| 2020 調査結果 | 自分の意志 を貫いて結 婚する | 家族や親戚 を全力で説 得したのち、 例え理解を 得られなく ても、自分の 意志を貫いて 結婚する | 家族や親戚 の反対があ るので、結婚 しない | 上段:人数 下段:割合 | |
|--------------|-----------------------|------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|-------------|------------|
| | | | | 無回答 | 合計 |
| 18~19歳 | 4 33.3 | 6 50.0 | 2 16.7 | 0 0.0 | 12 100 |
| 20~29歳 | 17 37.0 | 25 54.3 | 4 8.7 | 0 0.0 | 46 100 |
| 30~39歳 | 12 21.4 | 30 53.6 | 11 19.6 | 3 5.4 | 56 100 |
| 40~49歳 | 28 31.8 | 46 52.3 | 12 13.6 | 2 2.3 | 88 100 |
| 50~59歳 | 20 16.9 | 61 51.7 | 28 23.7 | 9 7.6 | 118 100 |
| 60~69歳 | 50 24.4 | 91 44.4 | 61 29.8 | 3 1.5 | 205 100 |
| 70~79歳 | 51 24.5 | 97 46.6 | 49 23.6 | 11 5.3 | 208 100 |
| 80歳以上 | 36 25.0 | 50 34.7 | 49 34.0 | 9 6.3 | 144 100 |
| 無回答 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 100 |
| 全体 | 218 24.9 | 406 46.3 | 216 24.6 | 37 4.2 | 877 100 |

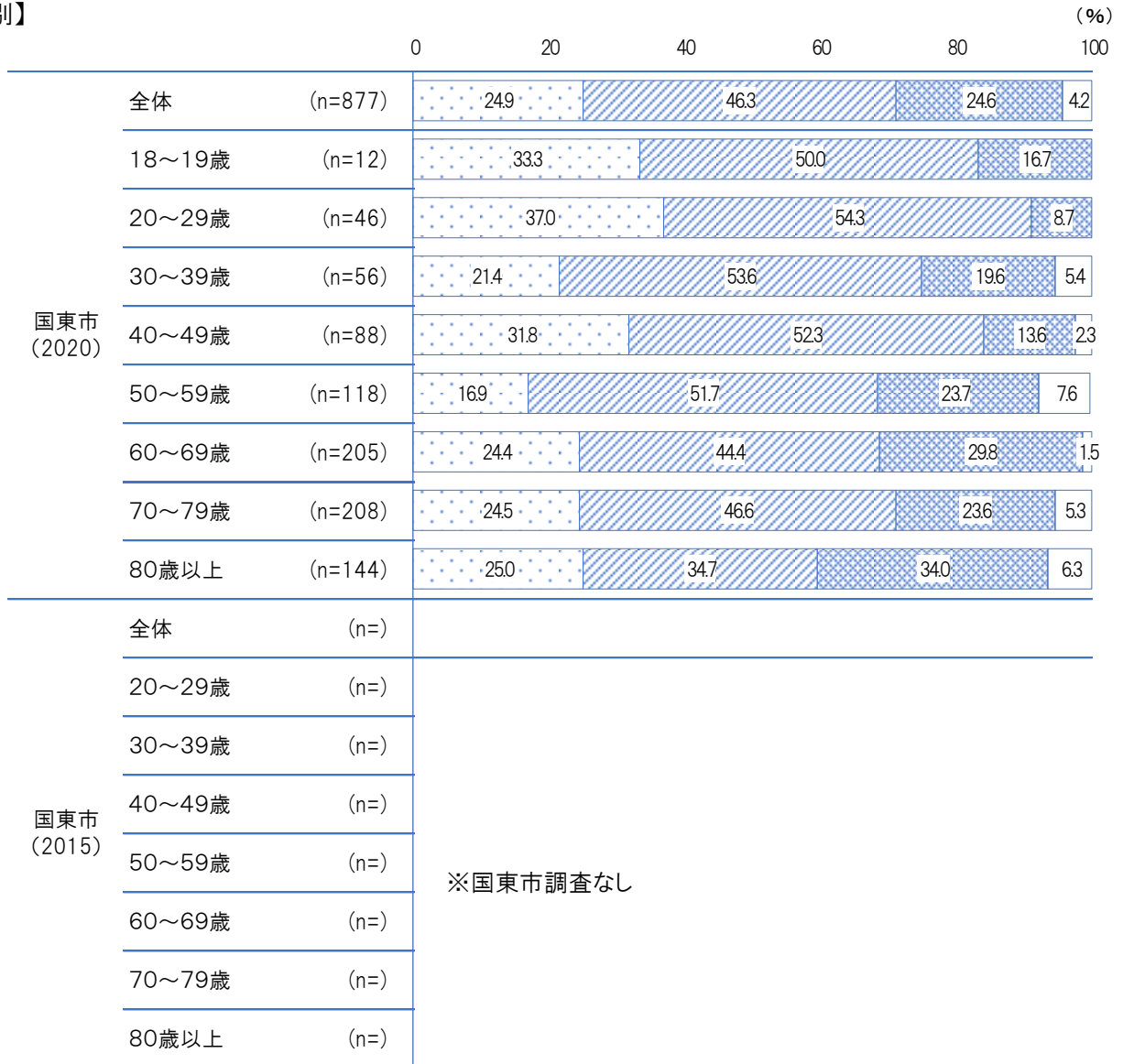
【全体】







-  自分の意志を貫いて結婚する
-  家族や親戚を全力で説得したのち、例え理解を得られなくても、自分の意志を貫いて結婚する
-  家族や親戚の反対があるので、結婚しない
-  無回答

■市全体では、被差別部落(同和地区)出身の人と恋愛をし、その人と結婚しようとしたとき、家族や親戚から強い反対を受けたとしたら、どうするかについて「家族や親戚を全力で説得したのち、例え理解を得られなくても、自分の意志を貫いて結婚する」の割合が46.3%と最も高く、次いで「自分の意志を貫いて結婚する」(24.9%)、「家族や親戚の反対があるので、結婚しない」(24.6%)となっています。2015調査はありません。

【年代別】



-  自分の意志を貫いて結婚する
-  家族や親戚を全力で説得したのち、例え理解を得られなくても、自分の意志を貫いて結婚する
-  家族や親戚の反対があるので、結婚しない
-  無回答

◆年代別では、被差別部落(同和地区)出身の人と恋愛をし、その人と結婚しようとしたとき、家族や親戚から強い反対を受けたとしたら、どうするかについて「家族や親戚を全力で説得したのち、例え理解を得られなくても、自分の意志を貫いて結婚する」の割合が最も高いのは20～29歳で 54.3%、次いで30～39歳(53.6%)、40～49歳(52.3%)となっています。2015調査はありません。

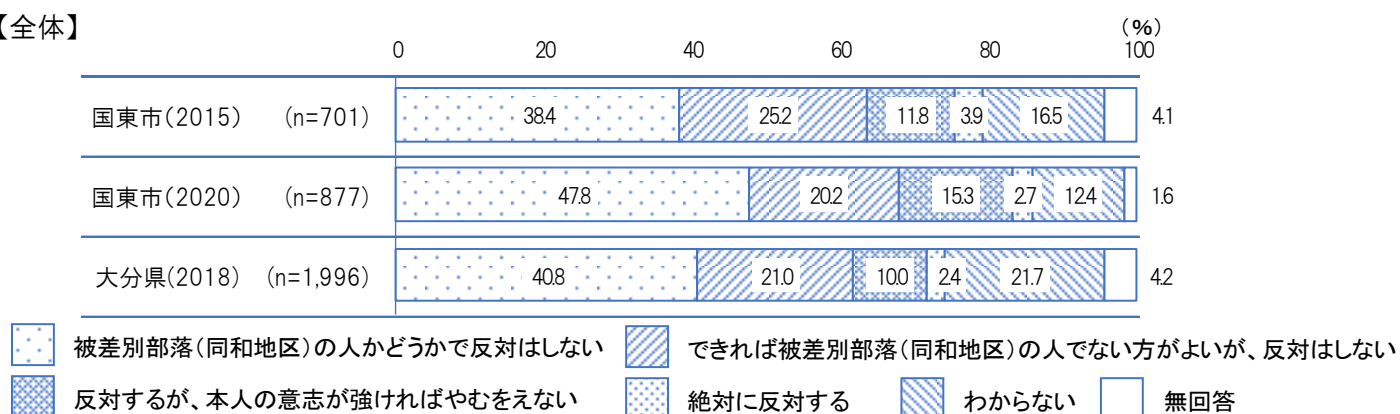
問24 あなたの子ども、あるいは孫が被差別部落(同和地区)出身の人と恋愛をし、その人と結婚したいと言ったらあなたはどうされますか。

SA

上段:人数 下段:割合

| 2020 調査結果 | 被差別部落 (同和地区)の 人かどうかで 反対はしない | できれば被 差別部落(同 和地区)の人 でない方がよ い、反対は しない | 反対するが、 本人の意志 が強ければ やむをえない | 絶対に反対 する | わからない | 無回答 | 合計 |
|--------------|--------------------------------------|-----------------------------------------------------|------------------------------------|-------------|-------------|-----------|------------|
| 18～19歳 | 9 75.0 | 2 16.7 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 8.3 | 0 0.0 | 12 100 |
| 20～29歳 | 34 73.9 | 4 8.7 | 5 10.9 | 0 0.0 | 3 6.5 | 0 0.0 | 46 100 |
| 30～39歳 | 32 57.1 | 4 7.1 | 7 12.5 | 1 1.8 | 9 16.1 | 3 5.4 | 56 100 |
| 40～49歳 | 60 68.2 | 7 8.0 | 10 11.4 | 1 1.1 | 9 10.2 | 1 1.1 | 88 100 |
| 50～59歳 | 57 48.3 | 27 22.9 | 13 11.0 | 5 4.2 | 14 11.9 | 2 1.7 | 118 100 |
| 60～69歳 | 93 45.4 | 39 19.0 | 39 19.0 | 5 2.4 | 28 13.7 | 1 0.5 | 205 100 |
| 70～79歳 | 96 46.2 | 48 23.1 | 34 16.3 | 3 1.4 | 24 11.5 | 3 1.4 | 208 100 |
| 80歳以上 | 38 26.4 | 46 31.9 | 26 18.1 | 9 6.3 | 21 14.6 | 4 2.8 | 144 100 |
| 無回答 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 100 |
| 全体 | 419 47.8 | 177 20.2 | 134 15.3 | 24 2.7 | 109 12.4 | 14 1.6 | 877 100 |

【全体】



※国東市2015調査と国東市2020調査では回答対象者が異なります。

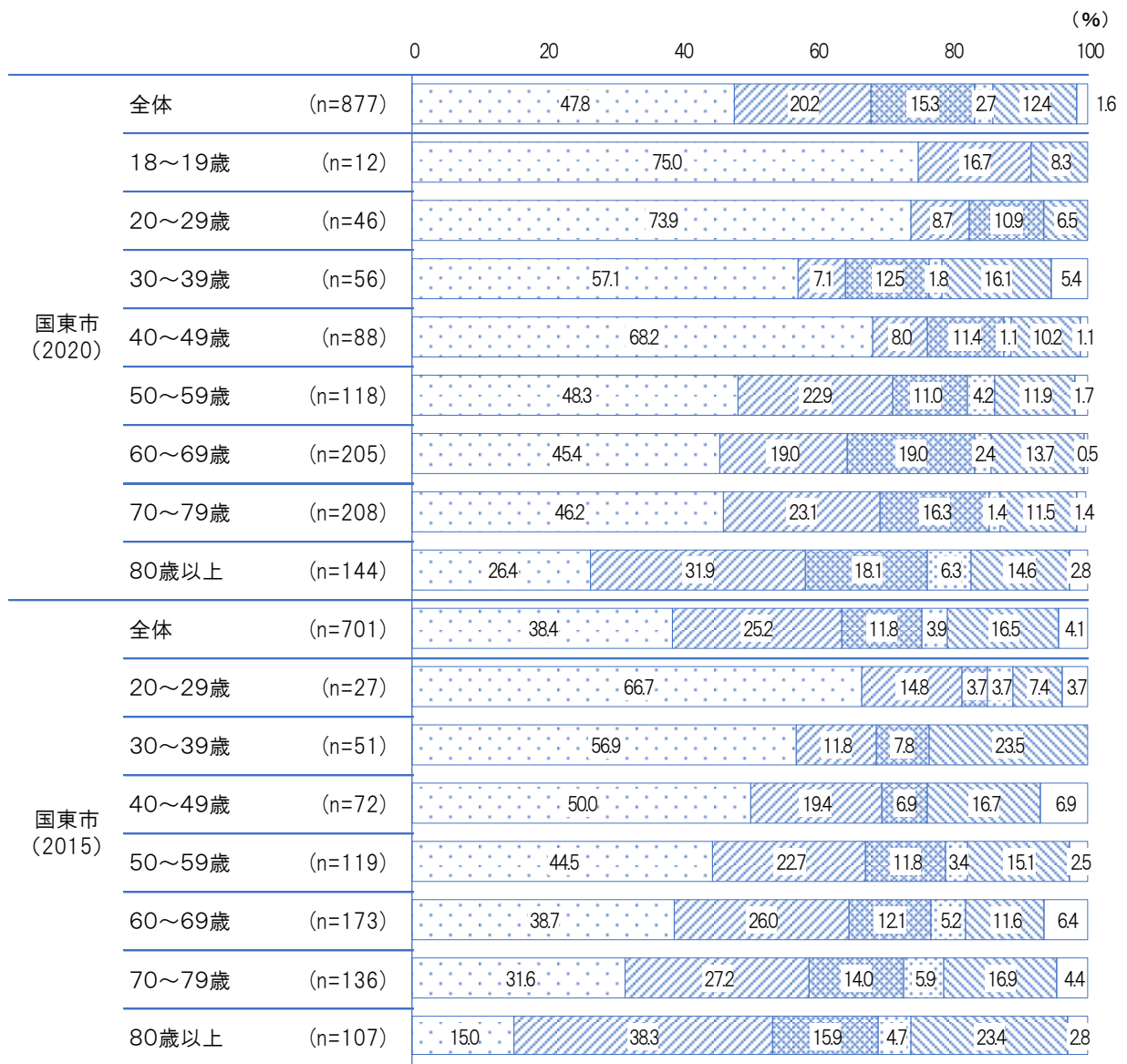
国東市2015調査: 差別意識を持つ人は「2.ほとんどいない」「3.なかにはいる」「4.まだ多い」「5.わからない」答えた人のみ。

国東市2020調査: 回答者全員。

■市全体では、子ども、あるいは孫が被差別部落(同和地区)出身の人と恋愛をし、その人と結婚したいと言ったらどうするかについて「反対はしない(被差別部落の人かどうかで反対はしない)」の割合が47.8%と最も高くなっています。

■2015調査と比較すると市全体では、「反対はしない(被差別部落の人かどうかで反対はしない)」の割合が9.4%増加しています。大分県2018調査との比較では、「反対はしない(被差別部落の人かどうかで反対はしない)」の割合が大分県よりも7.0%増加しています。

【年代別】



被差別部落(同和地区)の人かどうかで反対はしない
 できれば被差別部落(同和地区)の人でない方がよいが、反対はしない
 反対するが、本人の意志が強ければやむをえない
 絶対に反対する
 わからない
 無回答

- ◆年代別では、子ども、あるいは孫が被差別部落(同和地区)出身の人と恋愛をし、その人と結婚したいと言ったらどうするかについて「反対はしない(被差別部落の人かどうかで反対はしない)」の割合が最も高いのは18~19歳で75.0%、次いで20~29歳(73.9%)、40~49歳(68.2%)となっています。
- ◆2015調査と比較すると年代別では、「反対はしない(被差別部落の人かどうかで反対はしない)」の割合が最も増加したのは40~49歳で18.2ポイント、次いで70~79歳(14.6ポイント)、80歳以上(11.4ポイント)となっています。

問25 あなたは、部落差別の問題(同和問題)を解消するためには、今後どうすればよいと思いますか。

MA

上段:人数 下段:割合

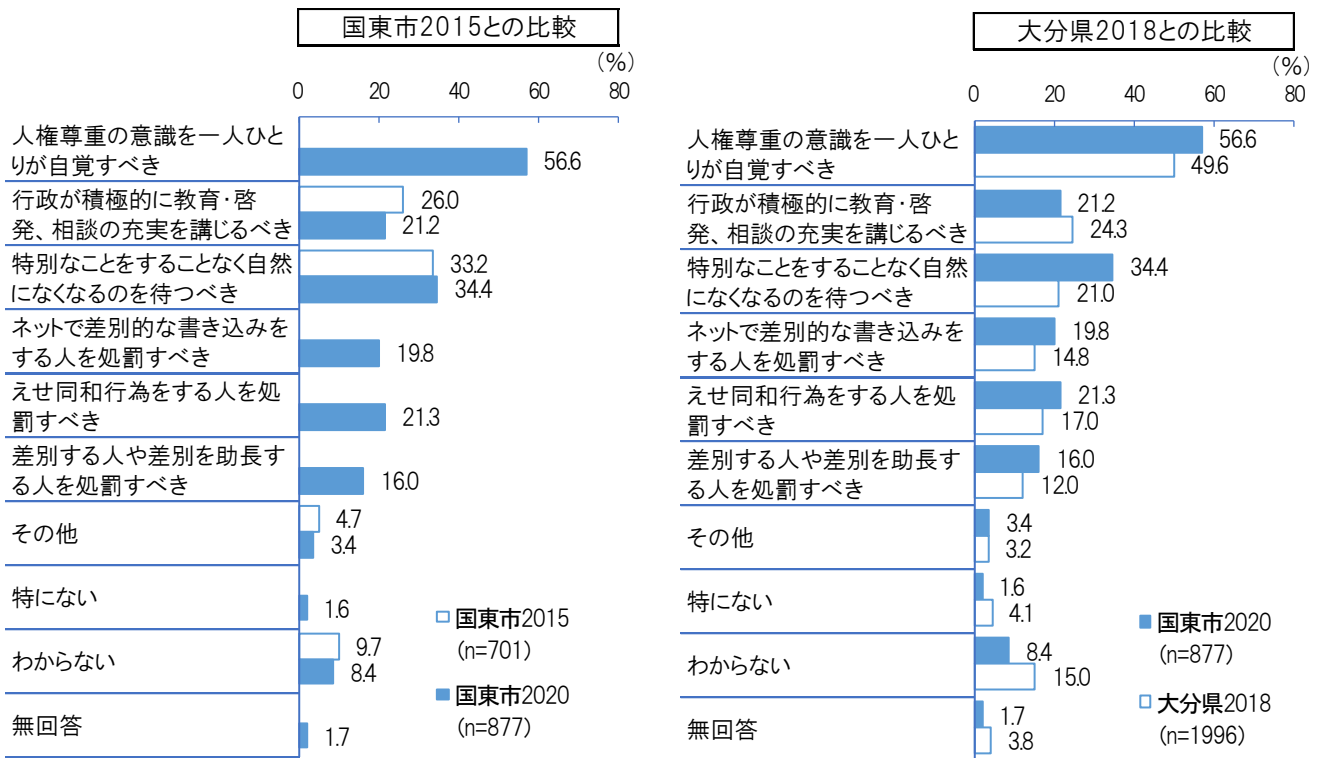
| 2020 調査結果 | 人権尊重の 意識を一人 ひとりがもつ と自覚すべき | 行政がもっと 積極的に教育・啓発、相 談体制の充 実などの施 策を講じるべ き | 特別なことを する必要は なく、自然に なくなってい くの待つべ き | インターネット における差 別的な書き 込みをする 人を処罰す べき | えせ同和行 為をする人を 処罰すべき | 差別する人 や差別を助 長する人を 処罰すべき | その他 |
|--------------|------------------------------------|--------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|---------------------------------------------------|--------------------------|----------------------------------|-----------|
| 18～19歳 | 8 66.7 | 5 41.7 | 1 8.3 | 2 16.7 | 1 8.3 | 3 25.0 | 0 0.0 |
| 20～29歳 | 24 52.2 | 16 34.8 | 9 19.6 | 14 30.4 | 11 23.9 | 10 21.7 | 3 6.5 |
| 30～39歳 | 26 46.4 | 6 10.7 | 16 28.6 | 19 33.9 | 13 23.2 | 16 28.6 | 5 8.9 |
| 40～49歳 | 46 52.3 | 19 21.6 | 19 21.6 | 25 28.4 | 28 31.8 | 21 23.9 | 4 4.5 |
| 50～59歳 | 67 56.8 | 21 17.8 | 42 35.6 | 33 28.0 | 29 24.6 | 21 17.8 | 5 4.2 |
| 60～69歳 | 130 63.4 | 47 22.9 | 67 32.7 | 37 18.0 | 49 23.9 | 36 17.6 | 5 2.4 |
| 70～79歳 | 124 59.6 | 40 19.2 | 87 41.8 | 32 15.4 | 39 18.8 | 24 11.5 | 4 1.9 |
| 80歳以上 | 71 49.3 | 32 22.2 | 61 42.4 | 12 8.3 | 17 11.8 | 9 6.3 | 4 2.8 |
| 無回答 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 0 |
| 全体 | 496 56.6 | 186 21.2 | 302 34.4 | 174 19.8 | 187 21.3 | 140 16.0 | 30 3.4 |

MA

上段:人数 下段:割合

| 2020 調査結果 | 特にない | わからない | 無回答 | 合計 |
|--------------|-----------|------------|-----------|------------|
| 18～19歳 | 1 8.3 | 0 0.0 | 0 0.0 | 12 100 |
| 20～29歳 | 1 2.2 | 2 4.3 | 0 0.0 | 46 100 |
| 30～39歳 | 1 1.8 | 4 7.1 | 2 3.6 | 56 100 |
| 40～49歳 | 1 1.1 | 10 11.4 | 1 1.1 | 88 100 |
| 50～59歳 | 1 0.8 | 10 8.5 | 1 0.8 | 118 100 |
| 60～69歳 | 2 1.0 | 14 6.8 | 2 1.0 | 205 100 |
| 70～79歳 | 4 1.9 | 13 6.3 | 5 2.4 | 208 100 |
| 80歳以上 | 3 2.1 | 21 14.6 | 4 2.8 | 144 100 |
| 無回答 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 100 |
| 全体 | 14 1.6 | 74 8.4 | 15 1.7 | 877 100 |

【全体】



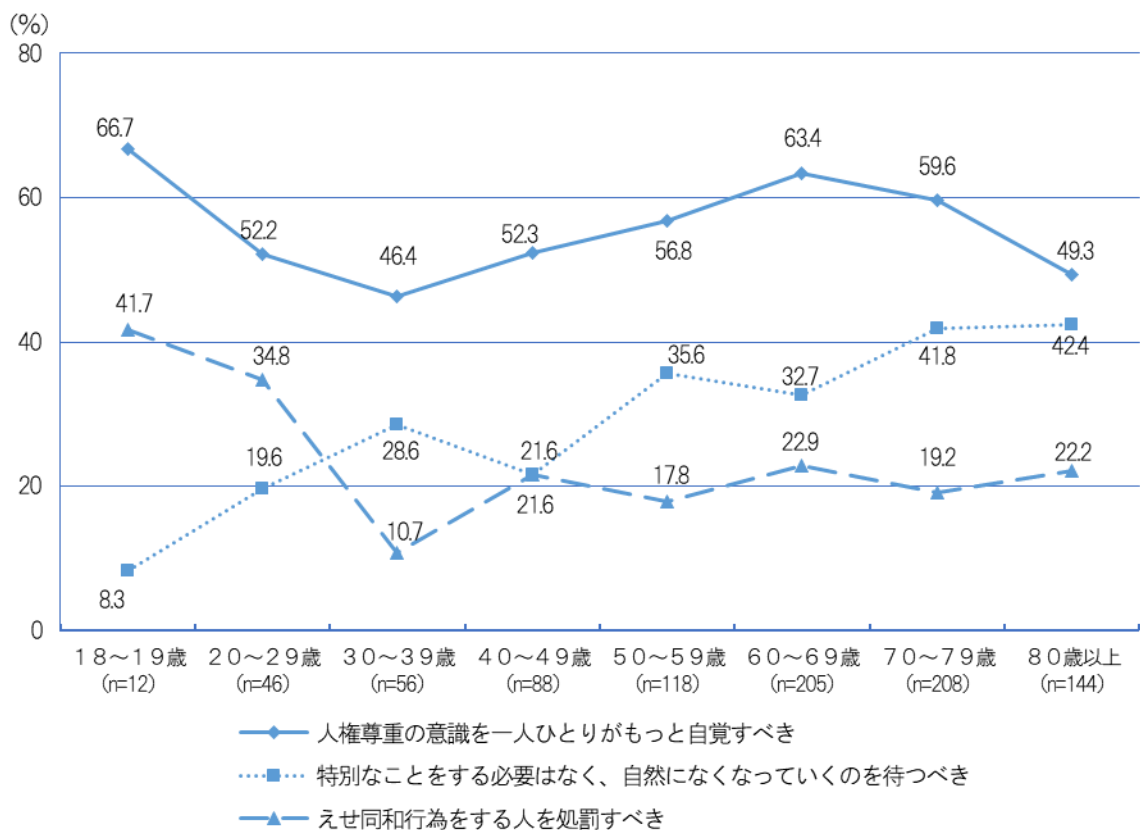
※国東市2015調査時と回答選択肢が全体的に異なるため比較不可。やや同じ選択肢には国東市2015調査の数値を記入。

※大分県2018調査と回答対象者が異なる。

国東市2020調査:問19で「いる」「わからない」と答えた方のみ。

大分県2018調査:回答者全員。

【年代別】<【国東市2020】部落差別の問題を解消するために今後どうすべきかの上位3項目の年代別状況>



- 市全体では、部落差別の問題(同和問題)を解消するためには、今後どうすればよいと思いますかについて「人権尊重の意識を一人ひとりがもっと自覚すべき」の割合が 56.6%と最も高く、次いで「特別なことをする必要はなく、自然になくなっていくのを待つべき」(34.4%)、「えせ同和行為をする人を処罰すべき」(21.3%)となっています。
- 大分県2018調査との比較では、「人権尊重の意識を一人ひとりがもっと自覚すべき」の割合が7.0 ㊦増加しています。

- ◆年代別では、部落差別の問題(同和問題)がなくなる理由の上位3項目について、「人権尊重の意識を一人ひとりがもっと自覚すべき」で最も割合が高い年代は18～19歳(66.7%)、「特別なことをする必要はなく、自然になくなっていくのを待つべき」で最も割合が高い年代は80歳以上(42.4%)、「えせ同和行為をする人を処罰すべき」で最も割合が高い年代は18～19歳(41.7%)となっています。

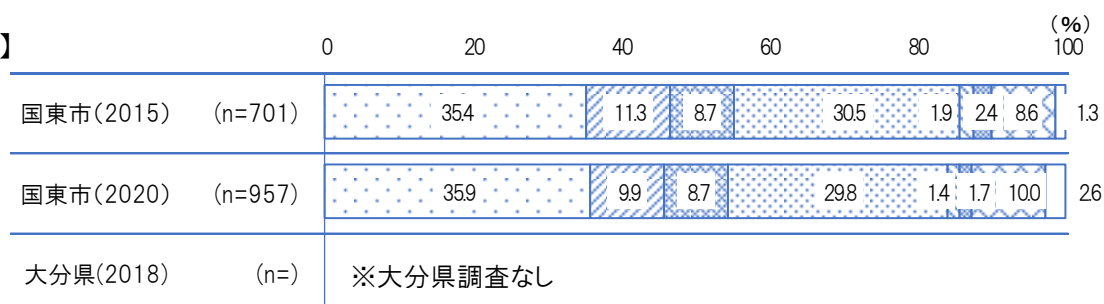
問26 行政や学校・社会などで人権教育・部落差別の解消推進のための教育(同和教育)を進めることをどう思いますか。

SA

上段:人数 下段:割合

| 2020 調査結果 | 市民に正しい ことを知って もらうために 進めるべき | ただ知るだけ でなく、実行 できるまで進 めるべき | だいたいわ かったので、も うやめるべき | 知らない人に まで知らせる ことはないの でやめるべき | 勧めてもむ だだから、や めるべき | その他 | わから ない | 無回答 | 合計 |
|--------------|-------------------------------------|------------------------------------|----------------------------|--------------------------------------|-------------------------|-----------|------------|-----------|------------|
| 18～19歳 | 4 33.3 | 5 41.7 | 0 0.0 | 3 25.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 12 100 |
| 20～29歳 | 23 50.0 | 9 19.6 | 1 2.2 | 8 17.4 | 0 0.0 | 0 0.0 | 5 10.9 | 0 0.0 | 46 100 |
| 30～39歳 | 24 41.4 | 6 10.3 | 1 1.7 | 13 22.4 | 1 1.7 | 3 5.2 | 7 12.1 | 3 5.2 | 58 100 |
| 40～49歳 | 42 46.7 | 11 12.2 | 1 1.1 | 27 30.0 | 0 0.0 | 3 3.3 | 4 4.4 | 2 2.2 | 90 100 |
| 50～59歳 | 48 39.3 | 9 7.4 | 4 3.3 | 38 31.1 | 5 4.1 | 2 1.6 | 15 12.3 | 1 0.8 | 122 100 |
| 60～69歳 | 81 36.3 | 22 9.9 | 25 11.2 | 65 29.1 | 3 1.3 | 2 0.9 | 21 9.4 | 4 1.8 | 223 100 |
| 70～79歳 | 77 32.6 | 15 6.4 | 32 13.6 | 76 32.2 | 3 1.3 | 4 1.7 | 22 9.3 | 7 3.0 | 236 100 |
| 80歳以上 | 45 26.8 | 17 10.1 | 19 11.3 | 54 32.1 | 1 0.6 | 2 1.2 | 22 13.1 | 8 4.8 | 168 100 |
| 無回答 | 0 0.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 100 |
| 全体 | 344 35.9 | 95 9.9 | 83 8.7 | 285 29.8 | 13 1.4 | 16 1.7 | 96 10.0 | 25 2.6 | 957 100 |

【全体】



市民に正しいことを知ってもらうために進めるべき
 ただ知るだけでなく、実行できるまで進めるべき
 だいたいわかったので、もうやめるべき
 知らない人にまで知らせることはないのでやめるべき
 勧めてもむだだから、やめるべき
 その他
 わからない
 無回答

※国東市2015調査と対象者が異なる。

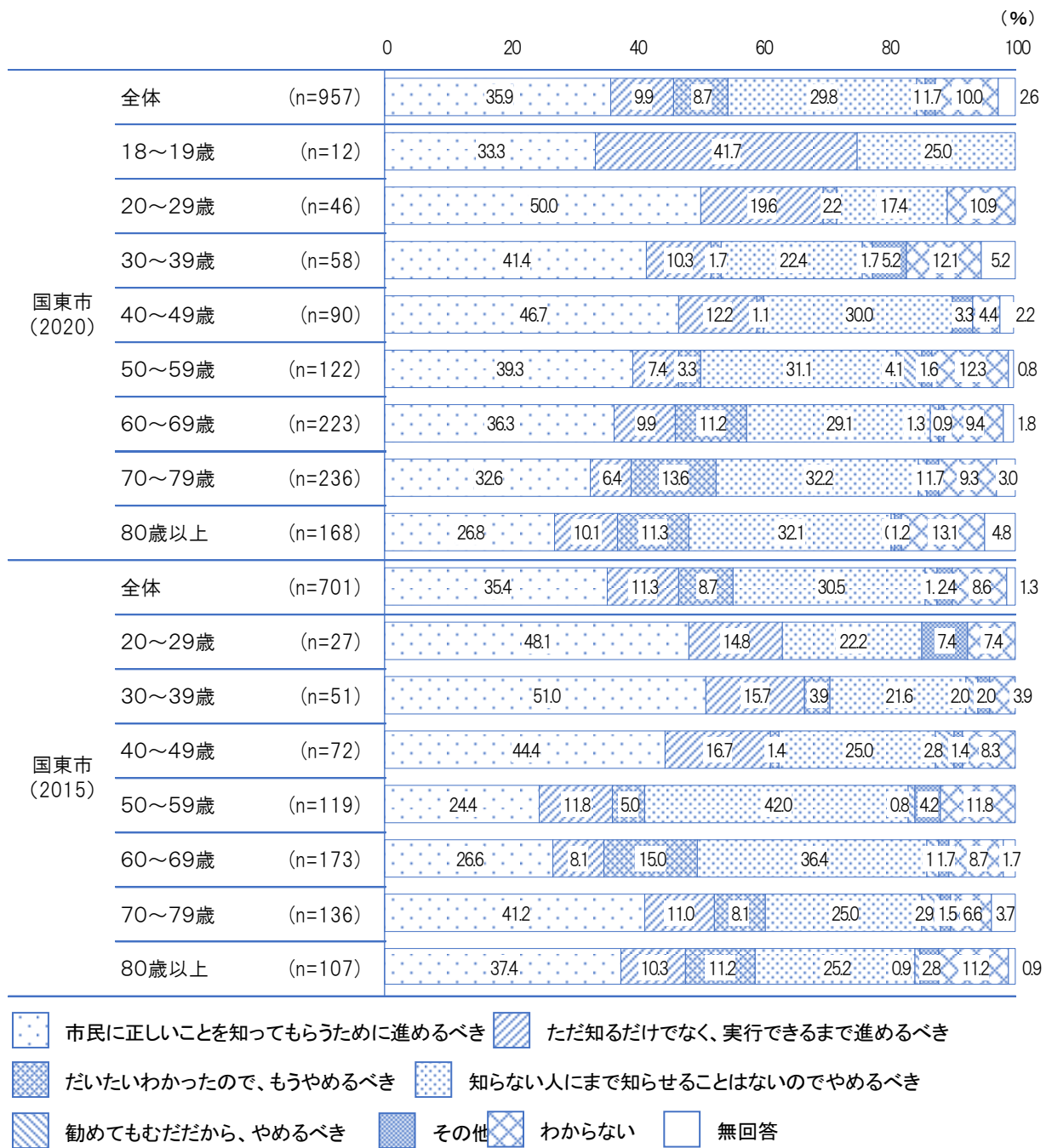
国東市2015調査:差別意識を持つ人は「2. ほとんどいない」「3. なかにはいる」「4. まだ多い」「5. わからない」と答えた方のみ。

国東市2020調査:回答者全員。

■市全体では、行政や学校・社会などで人権教育・部落差別の解消推進のための教育(同和教育)を進めることについて「進めるべき(市民に正しいことを知ってもらうために進めるべき+ただ知るだけでなく、実行できるまで進めるべき)」の割合が45.8%と最も高くなっています。

■2015調査と比較すると市全体では、「進めるべき(市民に正しいことを知ってもらうために進めるべき+ただ知るだけでなく、実行できるまで進めるべき)」の割合が0.9%減少しています。大分県2018調査の調査はありません。

【年代別】



◆年代別では、行政や学校・社会などで人権教育・部落差別の解消推進のための教育(同和教育)を進めることについて「進めるべき(市民に正しいことを知ってもらうために進めるべき+ただ知るだけでなく、実行できるまで進めるべき)」の割合が最も高いのは18～19歳で 75.0%、次いで20～29歳(69.6%)、40～49歳(58.9%)となっています。

◆2015調査と比較すると年代別では、「進めるべき(市民に正しいことを知ってもらうために進めるべき+ただ知るだけでなく、実行できるまで進めるべき)」の割合が最も増加したのは60～69歳で 11.5 ㊦、次いで50～59歳(10.5 ㊦)、20～29歳(6.7 ㊦)となっています。

Ⅶ. 外国人の人権について(問27～問29)

[MA]

問27 あなたは、日本に居住する外国人に関することで、現在どのような人権問題があると思いますか。

MA

上段:人数 下段:割合

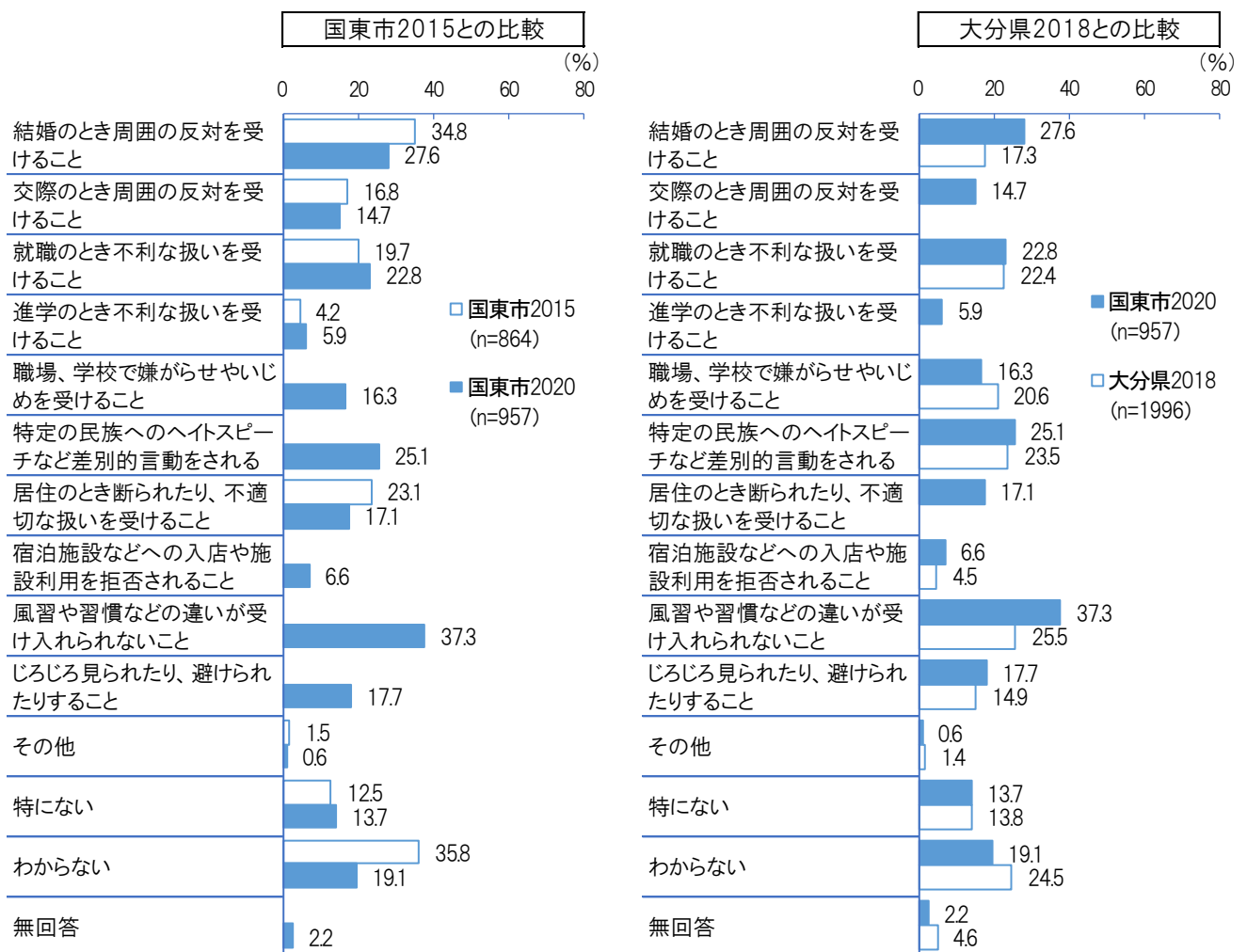
| 2020 調査結果 | 結婚のとき周囲の反対を受けること | 交際のとき周囲の反対を受けること | 就職のとき不利な扱いを受けること | 進学するとき不利な扱いを受けること | 職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること | 特定の民族に対するヘイトスピーチなど、差別的な言動をされること | 居住のとき断られたり、不適切な扱いを受けること | 宿泊施設、店舗などへの入店や施設利用を拒否されること |
|--------------|------------------|------------------|------------------|-------------------|------------------------|---------------------------------|-------------------------|----------------------------|
| 18～19歳 | 2 16.7 | 0 0.0 | 5 41.7 | 0 0.0 | 2 16.7 | 3 25.0 | 3 25.0 | 3 25.0 |
| 20～29歳 | 15 32.6 | 10 21.7 | 21 45.7 | 4 8.7 | 13 28.3 | 14 30.4 | 11 23.9 | 5 10.9 |
| 30～39歳 | 18 31.0 | 11 19.0 | 17 29.3 | 5 8.6 | 14 24.1 | 16 27.6 | 18 31.0 | 6 10.3 |
| 40～49歳 | 31 34.4 | 19 21.1 | 30 33.3 | 11 12.2 | 23 25.6 | 35 38.9 | 23 25.6 | 10 11.1 |
| 50～59歳 | 30 24.6 | 18 14.8 | 26 21.3 | 4 3.3 | 24 19.7 | 39 32.0 | 17 13.9 | 5 4.1 |
| 60～69歳 | 64 28.7 | 33 14.8 | 54 24.2 | 17 7.6 | 36 16.1 | 71 31.8 | 37 16.6 | 15 6.7 |
| 70～79歳 | 64 27.1 | 32 13.6 | 46 19.5 | 11 4.7 | 25 10.6 | 46 19.5 | 40 16.9 | 15 6.4 |
| 80歳以上 | 40 23.8 | 18 10.7 | 19 11.3 | 4 2.4 | 19 11.3 | 16 9.5 | 15 8.9 | 4 2.4 |
| 無回答 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| 全体 | 264 27.6 | 141 14.7 | 218 22.8 | 56 5.9 | 156 16.3 | 240 25.1 | 164 17.1 | 63 6.6 |

MA

上段:人数 下段:割合

| 2020 調査結果 | 風習や習慣などの違いが受け入れられないこと | じろじろ見られたり、避けられたりすること | その他 | 特になし | わからない | 無回答 | 合計 |
|--------------|-----------------------|----------------------|----------|-------------|-------------|-----------|------------|
| 18～19歳 | 7 58.3 | 5 41.7 | 0 0.0 | 2 16.7 | 1 8.3 | 0 0.0 | 12 100 |
| 20～29歳 | 19 41.3 | 13 28.3 | 0 0.0 | 3 6.5 | 4 8.7 | 0 0.0 | 46 100 |
| 30～39歳 | 26 44.8 | 18 31.0 | 1 1.7 | 7 12.1 | 9 15.5 | 1 1.7 | 58 100 |
| 40～49歳 | 38 42.2 | 19 21.1 | 0 0.0 | 5 5.6 | 13 14.4 | 1 1.1 | 90 100 |
| 50～59歳 | 54 44.3 | 18 14.8 | 2 1.6 | 14 11.5 | 23 18.9 | 1 0.8 | 122 100 |
| 60～69歳 | 97 43.5 | 48 21.5 | 1 0.4 | 28 12.6 | 35 15.7 | 2 0.9 | 223 100 |
| 70～79歳 | 80 33.9 | 28 11.9 | 2 0.8 | 41 17.4 | 44 18.6 | 7 3.0 | 236 100 |
| 80歳以上 | 36 21.4 | 19 11.3 | 0 0.0 | 31 18.5 | 53 31.5 | 9 5.4 | 168 100 |
| 無回答 | 0 0.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 2 100 |
| 全体 | 357 37.3 | 169 17.7 | 6 0.6 | 131 13.7 | 183 19.1 | 21 2.2 | 957 100 |

【全体】



※国東市2015調査結果に無回答割合の記載なし。

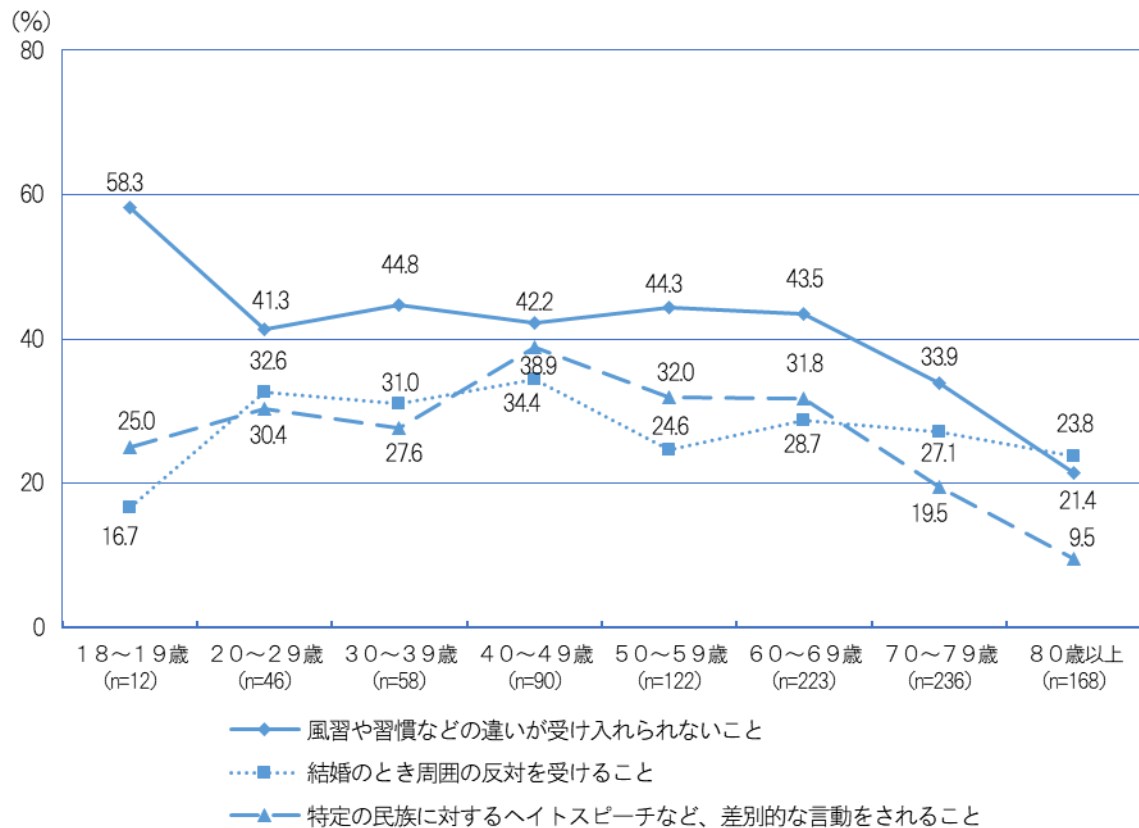
※国東市2015調査の年齢別割合は上位3項目のみ。

※国東市2015調査では「職場、学校で嫌がらせやいじめを受けること」、「特定の民族へのヘイトスピーチなど差別的言動をされる」、「宿泊施設などへの入店や施設利用を拒否されること」、「風習や習慣などの違いが受け入れられないこと」、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」「無回答」の項目なし。

■市全体では、日本に居住する外国人に関することで、現在どのような人権問題があるかについて「風習や習慣などの違いが受け入れられないこと」の割合が 37.3%と最も高く、次いで「結婚のとき周囲の反対を受けること」(27.6%)、「特定の民族に対するヘイトスピーチなど、差別的な言動をされること」(25.1%)となっています。

■2020調査と大分県2018調査との比較では、「風習や習慣などの違いが受け入れられないこと」の割合が大分県よりも 11.8 ポイント増加しています。

【年代別】<【国東市2020】外国人に関する人権問題について上位3項目の年代別状況>



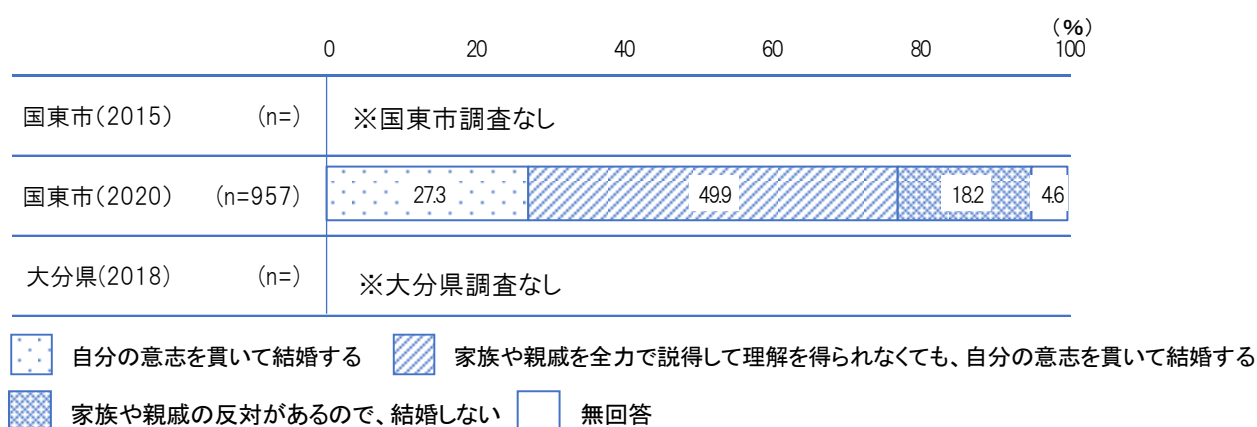
※国東市2015調査時と上位3項目の順位が異なるため比較不可。

- ◆年代別では、日本に居住する外国人に関することで、現在どのような人権問題があるかについての上位3項目では、「風習や習慣などの違いが受け入れられないこと」で最も割合が高い年代は18～19歳(58.3%)、「結婚のとき周囲の反対を受けること」で最も割合が高い年代は40～49歳(34.4%)、「特定の民族に対するヘイトスピーチなど、差別的な言動をされること」で最も割合が高いの年代は40～49歳(38.9%)となっています。
- ◆2015調査と比較すると、上位3項目のうち「結婚のとき周囲の反対を受けること」で最も割合が増加しているのは、40～49歳の4.5ポイントとなっています。他の2項目については2015調査にはありません。

問28 あなたが外国人や外国籍の人と恋愛をし、その人と結婚しようとしたとき、家族や親戚から強い反対を受けたとしたら、あなたはどうされますか(あなたが婚姻しているかどうかに関わらずお答えください)。

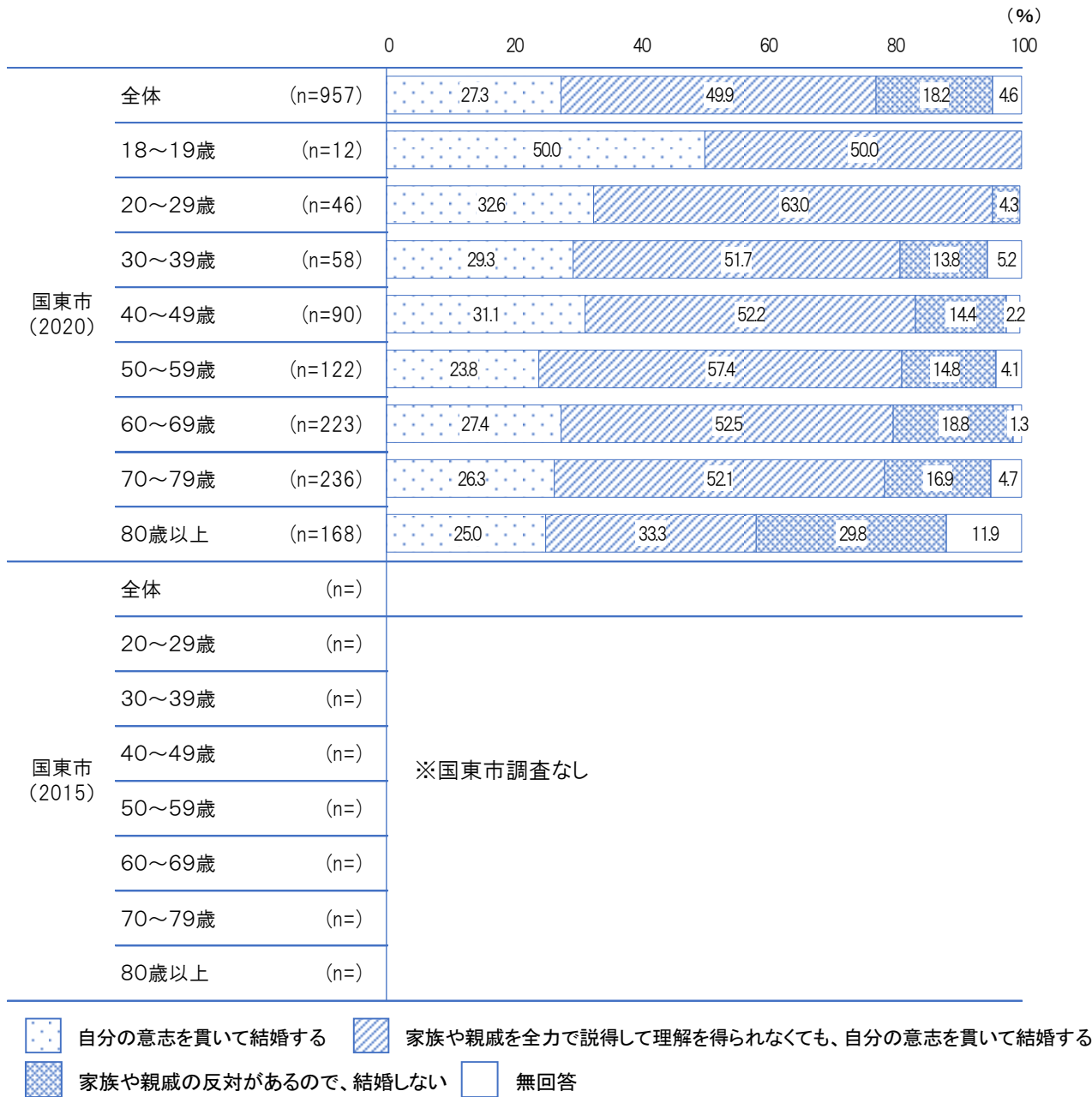
| 2020 調査結果 | SA | | | | 上段:人数 下段:割合 | |
|--------------|---------------|---------------------------------------|---------------------|------------|-------------|--|
| | 自分の意志を貫いて結婚する | 家族や親戚を全力で説得して理解を得られなくても、自分の意志を貫いて結婚する | 家族や親戚の反対があるので、結婚しない | 無回答 | 合計 | |
| 18～19歳 | 6 50.0 | 6 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 12 100 | |
| 20～29歳 | 15 32.6 | 29 63.0 | 2 4.3 | 0 0.0 | 46 100 | |
| 30～39歳 | 17 29.3 | 30 51.7 | 8 13.8 | 3 5.2 | 58 100 | |
| 40～49歳 | 28 31.1 | 47 52.2 | 13 14.4 | 2 2.2 | 90 100 | |
| 50～59歳 | 29 23.8 | 70 57.4 | 18 14.8 | 5 4.1 | 122 100 | |
| 60～69歳 | 61 27.4 | 117 52.5 | 42 18.8 | 3 1.3 | 223 100 | |
| 70～79歳 | 62 26.3 | 123 52.1 | 40 16.9 | 11 4.7 | 236 100 | |
| 80歳以上 | 42 25.0 | 56 33.3 | 50 29.8 | 20 11.9 | 168 100 | |
| 無回答 | 1 50.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 2 100 | |
| 全体 | 261 27.3 | 478 49.9 | 174 18.2 | 44 4.6 | 957 100 | |

【全体】



■市全体では、外国人や外国籍の人と恋愛をし、その人と結婚しようとしたとき、家族や親戚から強い反対を受けたとしたら、どうするかについて「結婚する(自分の意志を貫いて結婚する+家族や親戚を全力で説得して理解を得られなくても、自分の意志を貫いて結婚する)」の割合が77.2%と最も高くなっています。2015調査はありません。

【年代別】



◆年代別では、「結婚する(自分の意志を貫いて結婚する+家族や親戚を全力で説得して理解を得られなくても、自分の意志を貫いて結婚する)」の割合が最も高いのは18～19歳で 100.0%、次いで20～29歳 (95.6%)、40～49歳(83.3%)となっています。年代別の2015調査はありません。

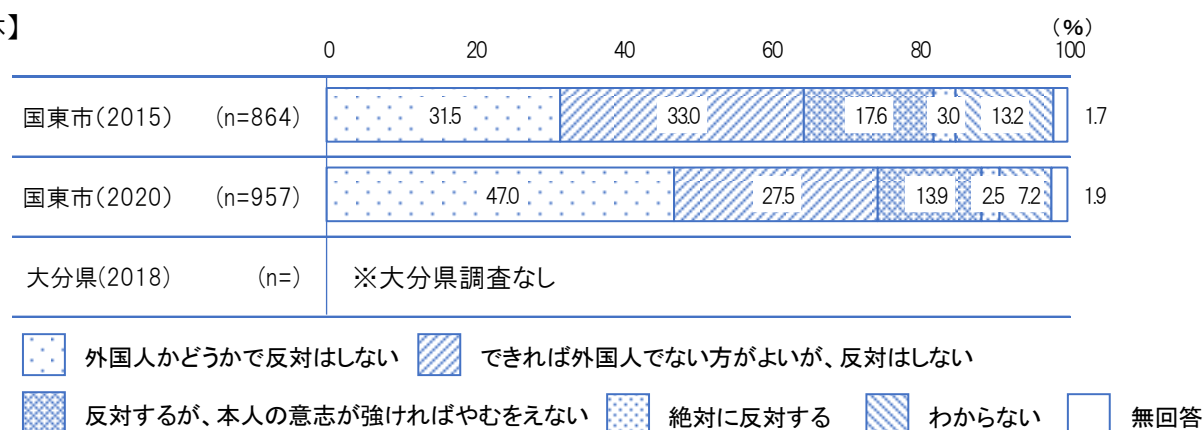
問29 あなたの子ども、あるいは孫が、外国人と恋愛をし、その人と結婚したいと言ったらあなたはどのようにされますか。

SA

上段:人数 下段:割合

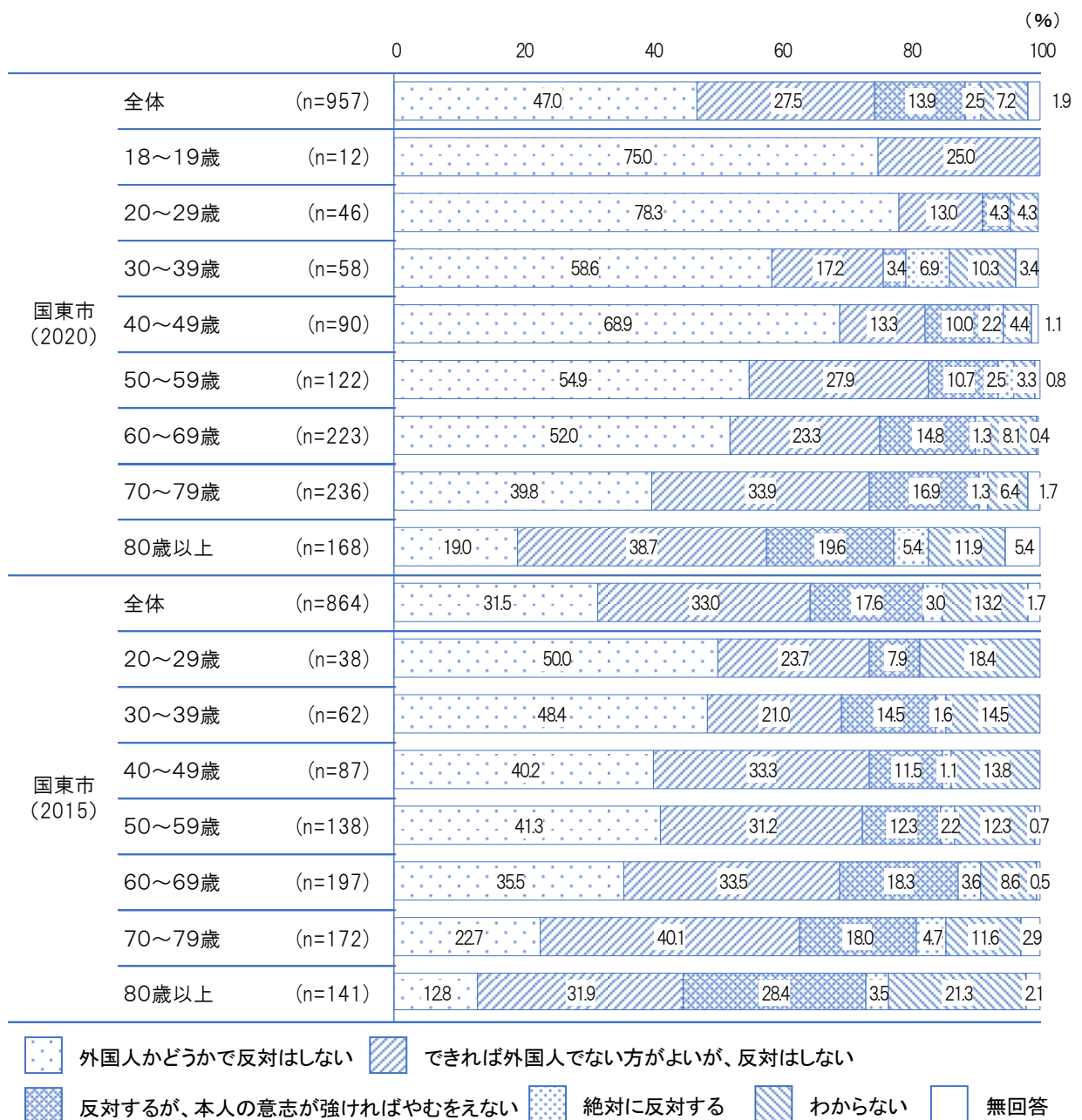
| 2020 調査結果 | 外国人かどう かで反対は しない | できれば外 国人でない 方がよいが、 反対はしない | 反対するが、 本人の意志 が強ければ やむをえない | 絶対に反対 する | わからない | 無回答 | 合計 |
|--------------|------------------------|------------------------------------|------------------------------------|-------------|------------|-----------|------------|
| 18～19歳 | 9 75.0 | 3 25.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 12 100 |
| 20～29歳 | 36 78.3 | 6 13.0 | 2 4.3 | 0 0.0 | 2 4.3 | 0 0.0 | 46 100 |
| 30～39歳 | 34 58.6 | 10 17.2 | 2 3.4 | 4 6.9 | 6 10.3 | 2 3.4 | 58 100 |
| 40～49歳 | 62 68.9 | 12 13.3 | 9 10.0 | 2 2.2 | 4 4.4 | 1 1.1 | 90 100 |
| 50～59歳 | 67 54.9 | 34 27.9 | 13 10.7 | 3 2.5 | 4 3.3 | 1 0.8 | 122 100 |
| 60～69歳 | 116 52.0 | 52 23.3 | 33 14.8 | 3 1.3 | 18 8.1 | 1 0.4 | 223 100 |
| 70～79歳 | 94 39.8 | 80 33.9 | 40 16.9 | 3 1.3 | 15 6.4 | 4 1.7 | 236 100 |
| 80歳以上 | 32 19.0 | 65 38.7 | 33 19.6 | 9 5.4 | 20 11.9 | 9 5.4 | 168 100 |
| 無回答 | 0 0.0 | 1 50.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 100 |
| 全体 | 450 47.0 | 263 27.5 | 133 13.9 | 24 2.5 | 69 7.2 | 18 1.9 | 957 100 |

【全体】



- 市全体では、子ども、あるいは孫が外国人と恋愛をし、その人と結婚したいと言ったらどうするかについて、「外国人かどうかで反対はしない」の割合が47.0%と最も高く、次いで「できれば外国人でない方がよいが、反対はしない」(27.5%)、「反対するが、本人の意志が強ければやむをえない」(13.9%)となっています。
- 2015調査と比較すると市全体では、「外国人かどうかで反対はしない」の割合が15.5%増加しています。大分県2018調査との比較はありません。

【年代別】



- ◆年代別では、子ども、あるいは孫が外国人と恋愛をし、その人と結婚したいと言ったらどうするかについて、「外国人かどうかで反対はしない」の割合が最も高いのは20～29歳で 78.3%、次いで18～19歳(75.0%)、40～49歳(68.9%)となっています。
- ◆2015調査と比較すると年代別では、「外国人かどうかで反対はしない」の割合が最も増加したのは20～29歳で 28.3 ポイント、次いで40～49歳(28.7 ポイント)、70～79歳(17.1 ポイント)となっています。

VIII. 医療その他の人権について(問30～問35)

[MA]

問30 あなたは、HIV(エイズウイルス)に感染した人やエイズ患者、その家族に関する事で、現在どのような人権問題があると思いますか。

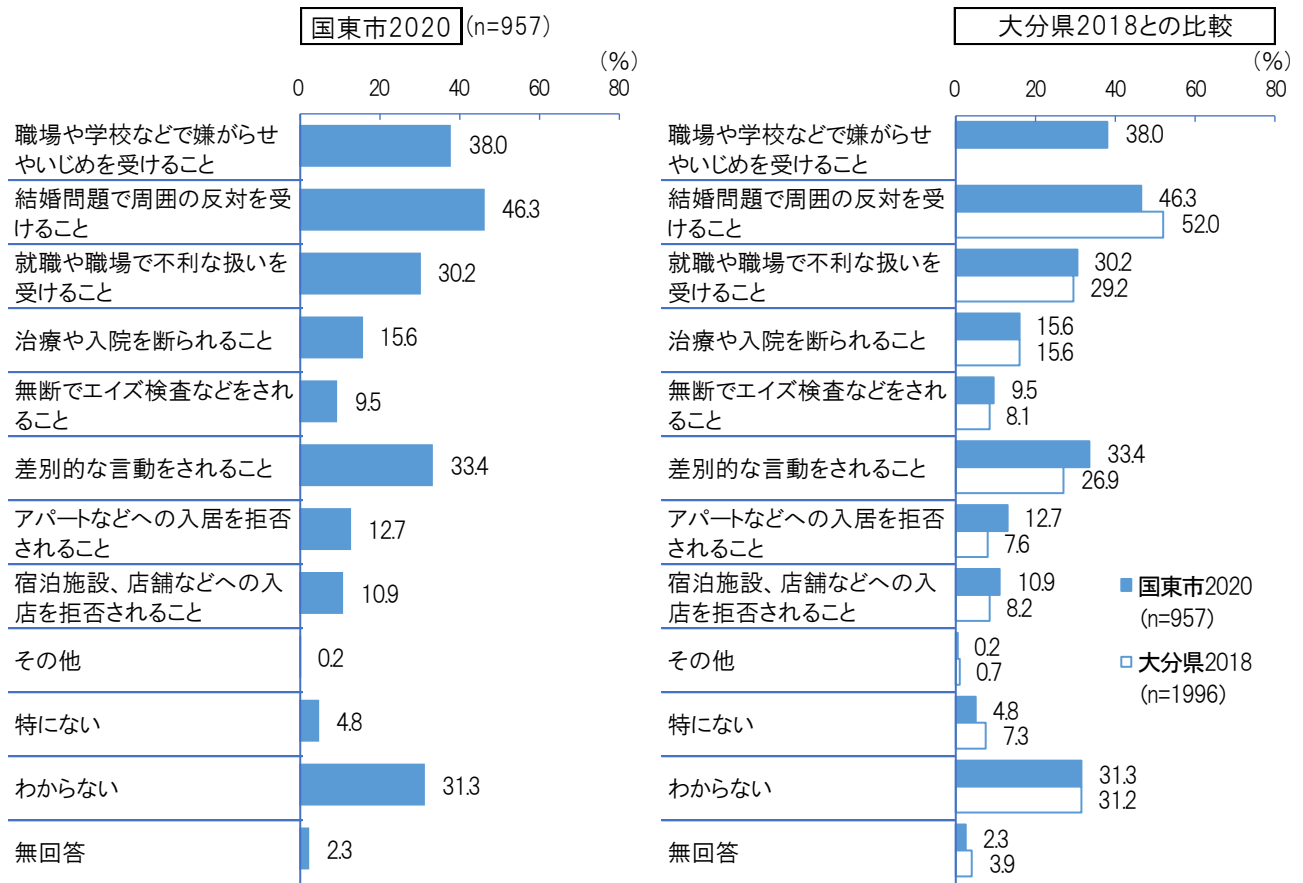
MA 上段:人数 下段:割合

| 2020 調査結果 | 職場や学校 などで嫌がら せやいじめを 受けること | 結婚問題で 周囲の反対 を受けること | 就職や職場で 不利な扱いを 受けること | 治療や入院を 断られること | 無断でエイ ズ検査など をされること | 差別的な言動 をされること | アパートなど への入居を拒 否されること | 宿泊施設、 店舗などへ の入店を拒 否されること |
|--------------|------------------------------------|--------------------------|---------------------------|------------------|--------------------------|------------------|----------------------------|-----------------------------------|
| 18～19歳 | 7 58.3 | 4 33.3 | 3 25.0 | 2 16.7 | 1 8.3 | 4 33.3 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| 20～29歳 | 23 50.0 | 23 50.0 | 14 30.4 | 10 21.7 | 5 10.9 | 20 43.5 | 5 10.9 | 6 13.0 |
| 30～39歳 | 27 46.6 | 28 48.3 | 16 27.6 | 11 19.0 | 10 17.2 | 30 51.7 | 12 20.7 | 10 17.2 |
| 40～49歳 | 44 48.9 | 44 48.9 | 32 35.6 | 16 17.8 | 9 10.0 | 40 44.4 | 15 16.7 | 13 14.4 |
| 50～59歳 | 53 43.4 | 65 53.3 | 48 39.3 | 26 21.3 | 13 10.7 | 48 39.3 | 17 13.9 | 16 13.1 |
| 60～69歳 | 93 41.7 | 113 50.7 | 79 35.4 | 38 17.0 | 18 8.1 | 81 36.3 | 29 13.0 | 19 8.5 |
| 70～79歳 | 75 31.8 | 107 45.3 | 65 27.5 | 29 12.3 | 21 8.9 | 60 25.4 | 29 12.3 | 20 8.5 |
| 80歳以上 | 42 25.0 | 58 34.5 | 32 19.0 | 17 10.1 | 14 8.3 | 37 22.0 | 15 8.9 | 20 11.9 |
| 無回答 | 0 0.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| 全体 | 364 38.0 | 443 46.3 | 289 30.2 | 149 15.6 | 91 9.5 | 320 33.4 | 122 12.7 | 104 10.9 |

MA 上段:人数 下段:割合

| 2020 調査結果 | その他 | 特にない | わからない | 無回答 | 合計 |
|--------------|----------|-----------|-------------|-----------|------------|
| 18～19歳 | 0 0.0 | 0 0.0 | 4 33.3 | 0 0.0 | 12 100 |
| 20～29歳 | 0 0.0 | 2 4.3 | 12 26.1 | 0 0.0 | 46 100 |
| 30～39歳 | 0 0.0 | 2 3.4 | 17 29.3 | 1 1.7 | 58 100 |
| 40～49歳 | 0 0.0 | 4 4.4 | 25 27.8 | 1 1.1 | 90 100 |
| 50～59歳 | 0 0.0 | 3 2.5 | 31 25.4 | 2 1.6 | 122 100 |
| 60～69歳 | 0 0.0 | 8 3.6 | 65 29.1 | 1 0.4 | 223 100 |
| 70～79歳 | 1 0.4 | 13 5.5 | 73 30.9 | 8 3.4 | 236 100 |
| 80歳以上 | 1 0.6 | 13 7.7 | 73 43.5 | 9 5.4 | 168 100 |
| 無回答 | 0 0.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 100 |
| 全体 | 2 0.2 | 46 4.8 | 300 31.3 | 22 2.3 | 957 100 |

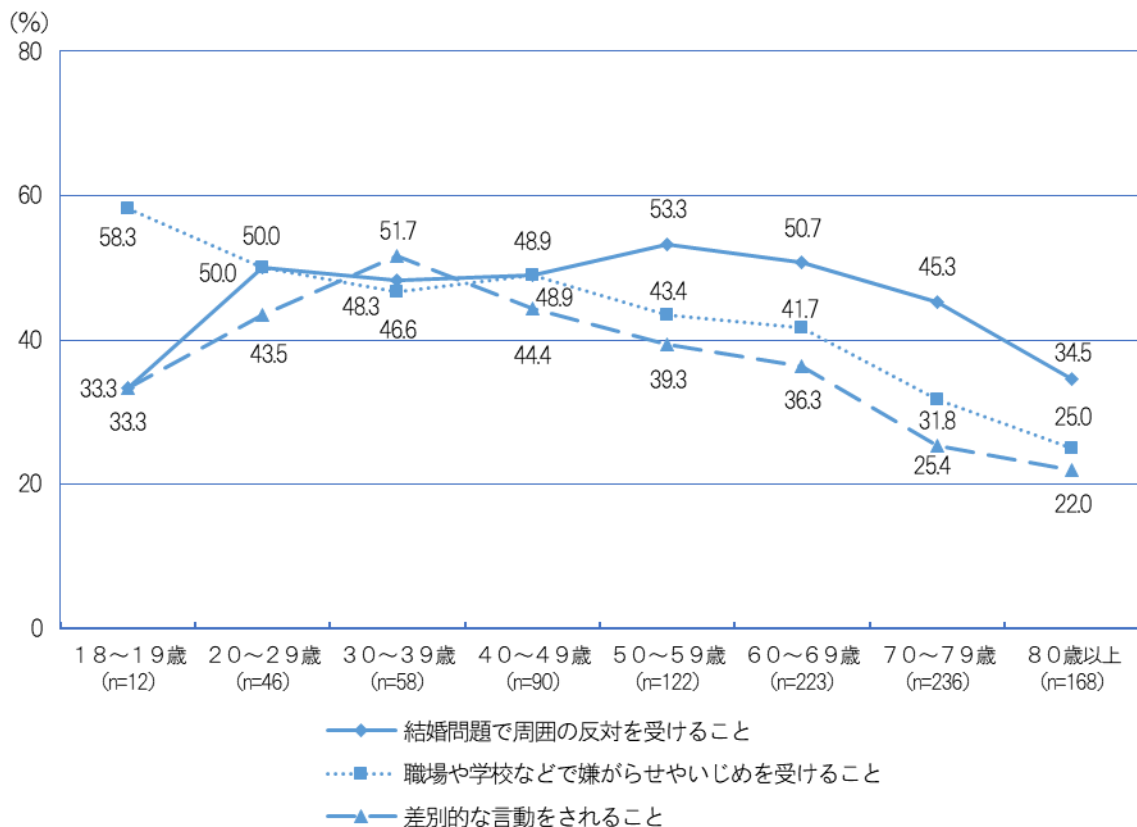
【全体】



※国東市2015調査なし。

※大分県2018調査では「職場や学校などで嫌がらせやいじめを受けること」の項目なし。

【年代別】＜【国東市2020】HIVに感染した人やエイズ患者やその家族の人権問題上位3項目の年代別状況＞



- 市全体では、HIV(エイズウイルス)に感染した人やエイズ患者、その家族に関する事で、現在どのような人権問題があると思いますかについて「結婚問題で周囲の反対を受けること」の割合が 46.3%と最も高く、次いで「職場や学校などで嫌がらせやいじめを受けること」(38.0%)、「差別的な言動をされること」(33.4%)となっています。
- 2015調査はありません。大分県2018調査との比較では、「差別的な言動をされること」の割合が大分県よりも 6.5 ㊦、次いで「アパートなどへの入居を拒否されること」(5.1 ㊦)、「宿泊施設、店舗などへの入店を拒否されること」(2.7 ㊦)などがそれぞれ増加しています。
- ◆年代別では、HIV(エイズウイルス)に感染した人やエイズ患者、その家族に関する事で、現在どのような人権問題があると思いますかの上位3項目について、「結婚問題で周囲の反対を受けること」で最も割合が高い年代は50～59歳(53.3%)、「職場や学校などで嫌がらせやいじめを受けること」で最も割合が高い年代は18～19歳(58.3%)、「差別的な言動をされること」で最も割合が高いの年代は30～39歳(51.7%)となっています。
- ◆年代別の2015調査はありません。

問31 あなたは、ハンセン病元患者やその家族に関することで、現在どのような人権問題があると思いますか。

MA

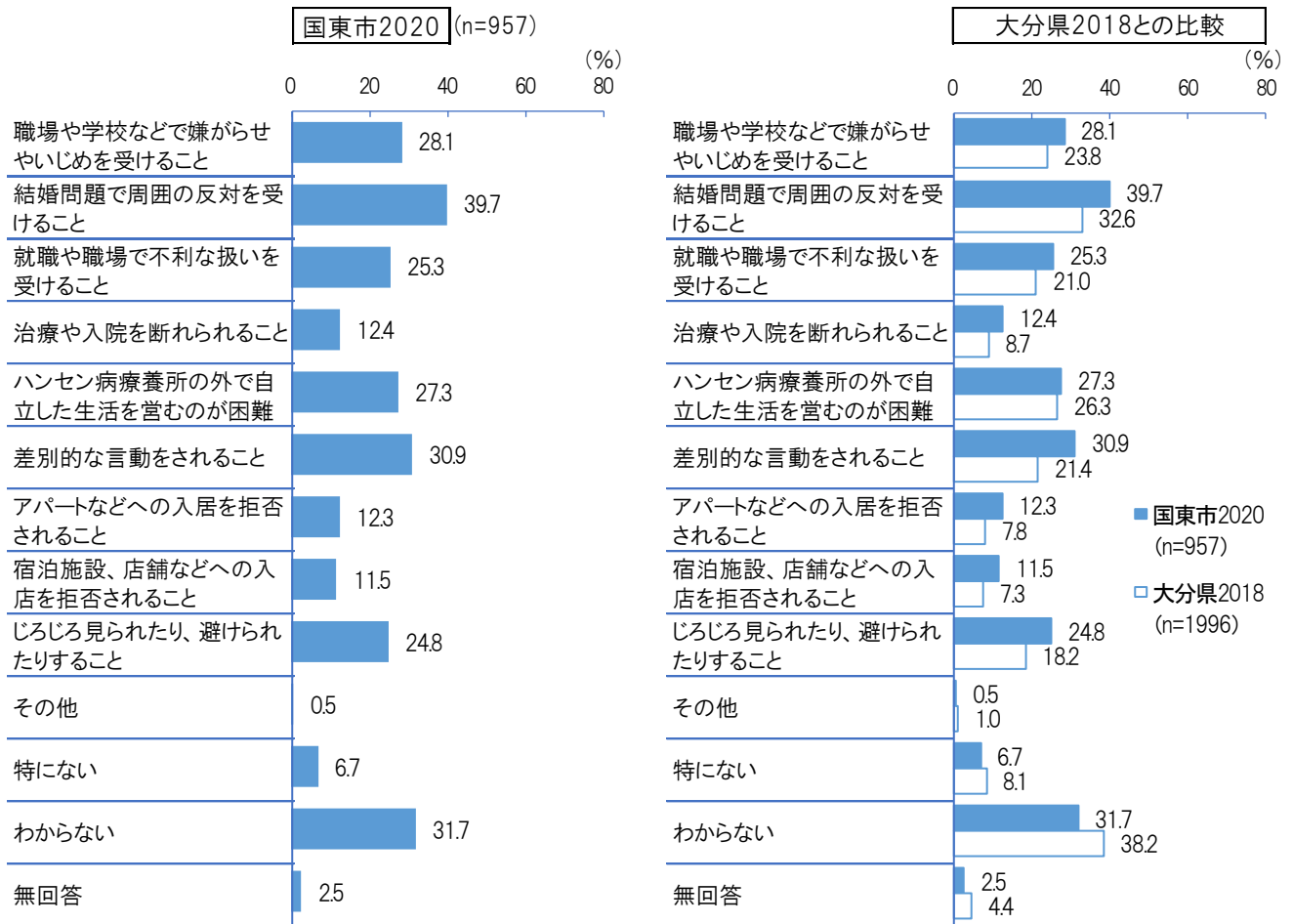
| 2020 調査結果 | 職場や学校 などで嫌がら せやいじめを 受けること | 結婚問題で 周囲の反対 を受けること | 就職や職場で 不利な扱いを 受けること | 治療や入院 を断られる こと | ハンセン病療 養所の外で 自立した生 活を営むの が困難なこと | 差別的な言動 をされること | アパートなど への入居を拒 否されること | 宿泊施設、 店舗などへ の入店を拒 否されること |
|--------------|------------------------------------|--------------------------|---------------------------|----------------------|---------------------------------------------|------------------|----------------------------|-----------------------------------|
| 18～19歳 | 5 41.7 | 5 41.7 | 2 16.7 | 2 16.7 | 1 8.3 | 3 25.0 | 1 8.3 | 1 8.3 |
| 20～29歳 | 19 41.3 | 16 34.8 | 15 32.6 | 5 10.9 | 10 21.7 | 21 45.7 | 5 10.9 | 5 10.9 |
| 30～39歳 | 19 32.8 | 19 32.8 | 13 22.4 | 11 19.0 | 17 29.3 | 22 37.9 | 9 15.5 | 5 8.6 |
| 40～49歳 | 36 40.0 | 34 37.8 | 29 32.2 | 13 14.4 | 31 34.4 | 43 47.8 | 16 17.8 | 16 17.8 |
| 50～59歳 | 39 32.0 | 51 41.8 | 33 27.0 | 24 19.7 | 40 32.8 | 46 37.7 | 20 16.4 | 21 17.2 |
| 60～69歳 | 64 28.7 | 100 44.8 | 67 30.0 | 30 13.5 | 68 30.5 | 79 35.4 | 31 13.9 | 27 12.1 |
| 70～79歳 | 55 23.3 | 94 39.8 | 50 21.2 | 20 8.5 | 60 25.4 | 50 21.2 | 21 8.9 | 20 8.5 |
| 80歳以上 | 32 19.0 | 60 35.7 | 33 19.6 | 14 8.3 | 34 20.2 | 31 18.5 | 15 8.9 | 15 8.9 |
| 無回答 | 0 0.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| 全体 | 269 28.1 | 380 39.7 | 242 25.3 | 119 12.4 | 261 27.3 | 296 30.9 | 118 12.3 | 110 11.5 |

MA

上段:人数 下段:割合

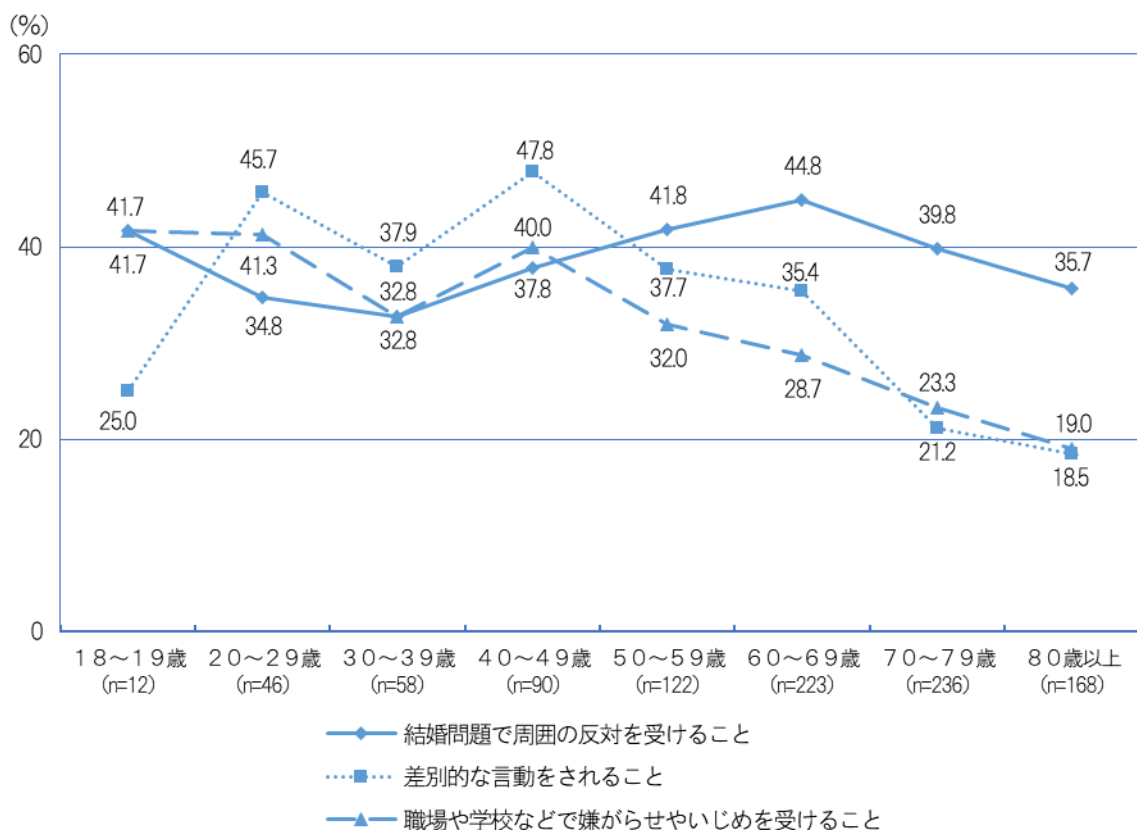
| 2020 調査結果 | じろじろ見ら れたり、避け られたりする こと | その他 | 特にない | わからない | 無回答 | 合計 |
|--------------|----------------------------------|----------|------------|-------------|-----------|------------|
| 18～19歳 | 2 16.7 | 0 0.0 | 1 8.3 | 4 33.3 | 0 0.0 | 12 100 |
| 20～29歳 | 12 26.1 | 0 0.0 | 1 2.2 | 14 30.4 | 0 0.0 | 46 100 |
| 30～39歳 | 15 25.9 | 0 0.0 | 1 1.7 | 26 44.8 | 1 1.7 | 58 100 |
| 40～49歳 | 29 32.2 | 0 0.0 | 2 2.2 | 26 28.9 | 2 2.2 | 90 100 |
| 50～59歳 | 38 31.1 | 0 0.0 | 2 1.6 | 37 30.3 | 1 0.8 | 122 100 |
| 60～69歳 | 65 29.1 | 2 0.9 | 12 5.4 | 66 29.6 | 1 0.4 | 223 100 |
| 70～79歳 | 54 22.9 | 1 0.4 | 27 11.4 | 69 29.2 | 7 3.0 | 236 100 |
| 80歳以上 | 21 12.5 | 2 1.2 | 17 10.1 | 61 36.3 | 12 7.1 | 168 100 |
| 無回答 | 1 50.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 100 |
| 全体 | 237 24.8 | 5 0.5 | 64 6.7 | 303 31.7 | 24 2.5 | 957 100 |

【全体】



※国東市2015調査なし。

【年代別】<【国東市2020】ハンセン病元患者やその家族に関することで人権問題上位3項目の年代別状況>



■市全体では、ハンセン病元患者やその家族に関する事で、現在どのような人権問題があると思いますかについて「結婚問題で周囲の反対を受けること」の割合が39.7%と最も高く、次いで「差別的な言動をされること」(30.9%)、「職場や学校などで嫌がらせやいじめを受けること」(28.1%)となっています。

※「わからない」は除く

■2015調査はありません。大分県2018調査との比較では、「差別的な言動をされること」の割合が大分県よりも9.5ポイント、次いで「結婚問題で周囲の反対を受けること」(7.1ポイント)、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」(6.6ポイント)がそれぞれ増加しています。

◆年代別では、ハンセン病元患者やその家族に関する事で、現在どのような人権問題があると思いますかの上位3項目について、「結婚問題で周囲の反対を受けること」で最も割合が高い年代は60～69歳(44.8%)、「差別的な言動をされること」で最も割合が高い年代は40～49歳(47.8%)、「職場や学校などで嫌がらせやいじめを受けること」で最も割合が高い年代は18～19歳(41.7%)となっています。

◆年代別の2015調査はありません。

問32 あなたは、犯罪被害者やその家族などに関することで、現在どのような人権問題があると思いますか。

MA

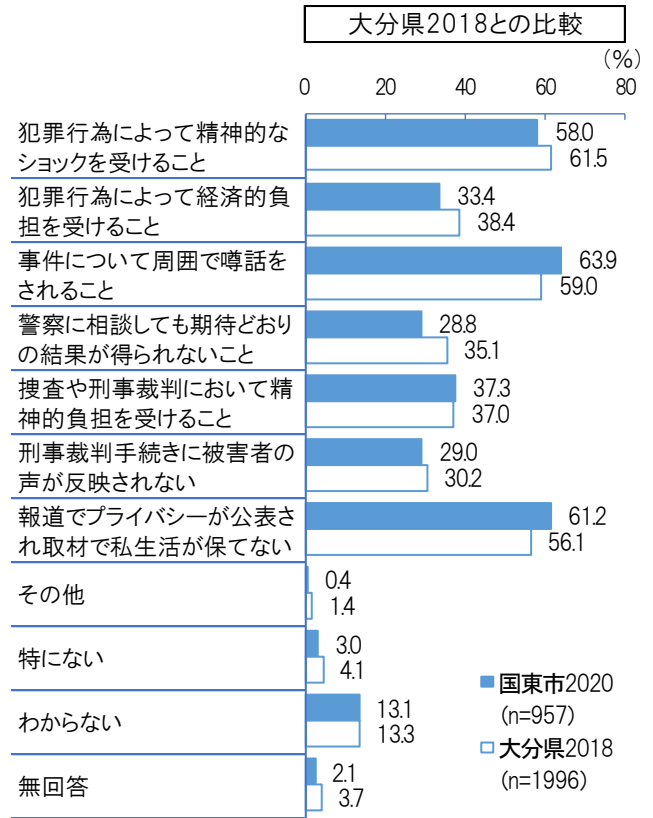
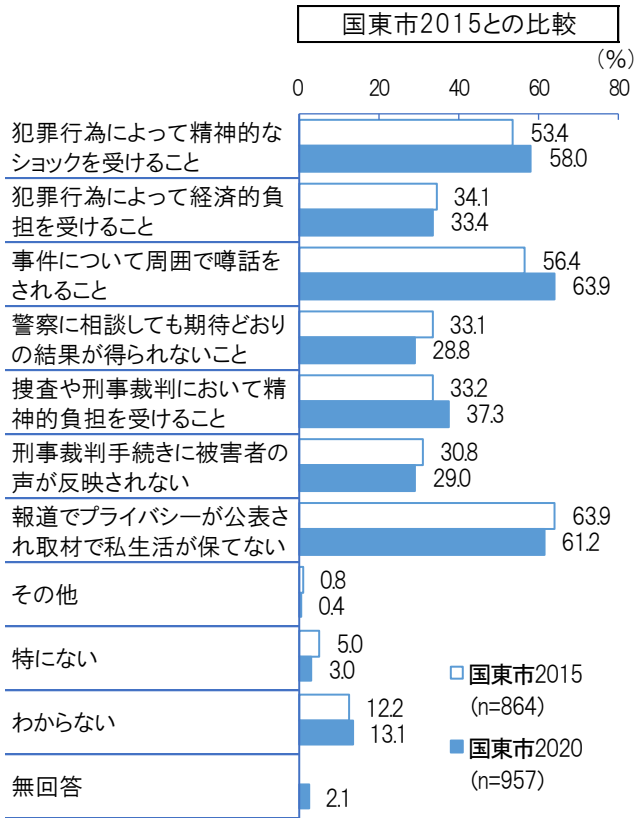
| 2020 調査結果 | 犯罪行為によって精神的なショックを受けること | 犯罪行為によって経済的負担を受けること | 事件について周囲で噂話されること | 警察に相談しても期待どおりの結果が得られないこと | 捜査や刑事裁判において精神的負担を受けること | 刑事裁判手続きに必ずしも被害者の声が十分反映されるわけではないこと | 報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなること | その他 |
|--------------|------------------------|---------------------|------------------|--------------------------|------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------------------|----------|
| 18～19歳 | 11 91.7 | 4 33.3 | 11 91.7 | 6 50.0 | 4 33.3 | 4 33.3 | 7 58.3 | 0 0.0 |
| 20～29歳 | 30 65.2 | 19 41.3 | 35 76.1 | 23 50.0 | 20 43.5 | 18 39.1 | 36 78.3 | 0 0.0 |
| 30～39歳 | 40 69.0 | 26 44.8 | 44 75.9 | 20 34.5 | 26 44.8 | 23 39.7 | 35 60.3 | 0 0.0 |
| 40～49歳 | 70 77.8 | 42 46.7 | 65 72.2 | 37 41.1 | 44 48.9 | 36 40.0 | 68 75.6 | 0 0.0 |
| 50～59歳 | 86 70.5 | 56 45.9 | 98 80.3 | 44 36.1 | 63 51.6 | 50 41.0 | 95 77.9 | 0 0.0 |
| 60～69歳 | 134 60.1 | 70 31.4 | 155 69.5 | 68 30.5 | 95 42.6 | 66 29.6 | 153 68.6 | 0 0.0 |
| 70～79歳 | 123 52.1 | 67 28.4 | 128 54.2 | 56 23.7 | 71 30.1 | 54 22.9 | 128 54.2 | 2 0.8 |
| 80歳以上 | 61 36.3 | 36 21.4 | 74 44.0 | 22 13.1 | 34 20.2 | 27 16.1 | 64 38.1 | 2 1.2 |
| 無回答 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| 全体 | 555 58.0 | 320 33.4 | 612 63.9 | 276 28.8 | 357 37.3 | 278 29.0 | 586 61.2 | 4 0.4 |

MA

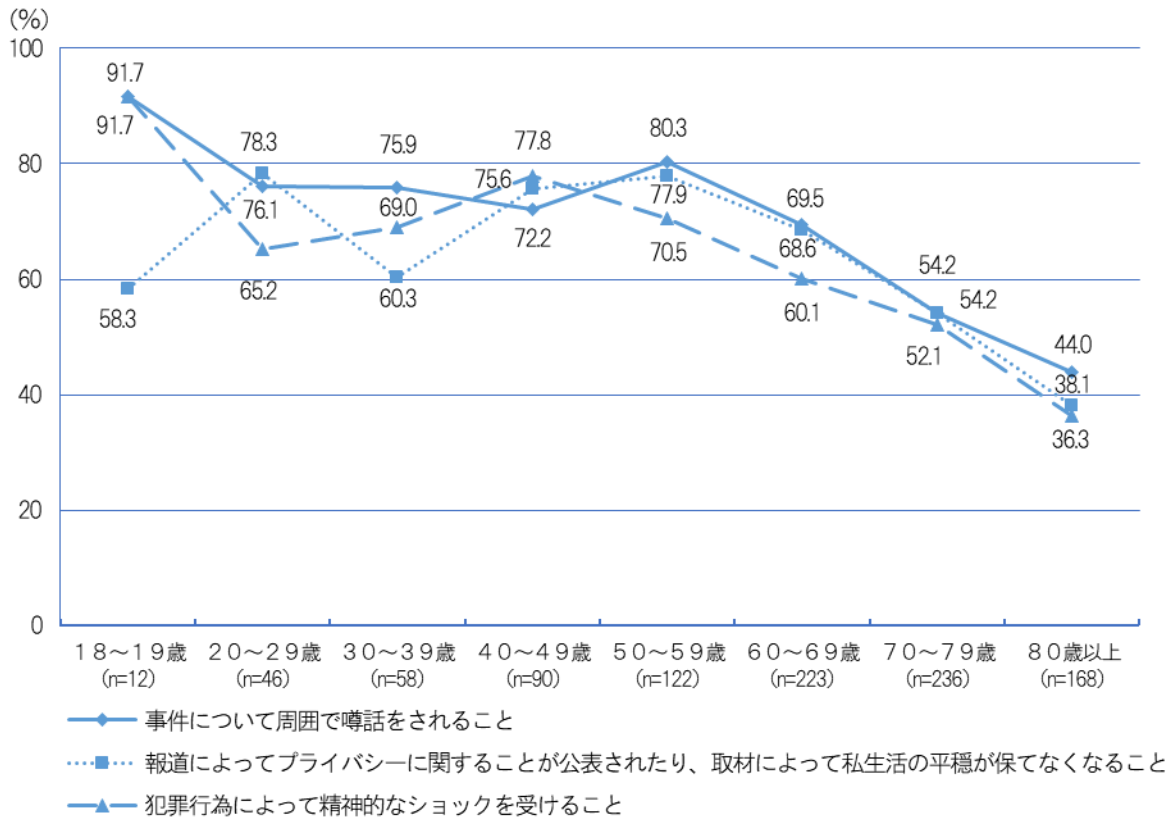
上段:人数 下段:割合

| 2020 調査結果 | 特にない | わからない | 無回答 | 合計 |
|--------------|-----------|-------------|-----------|------------|
| 18～19歳 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 12 100 |
| 20～29歳 | 0 0.0 | 2 4.3 | 0 0.0 | 46 100 |
| 30～39歳 | 0 0.0 | 10 17.2 | 1 1.7 | 58 100 |
| 40～49歳 | 0 0.0 | 8 8.9 | 1 1.1 | 90 100 |
| 50～59歳 | 2 1.6 | 9 7.4 | 1 0.8 | 122 100 |
| 60～69歳 | 3 1.3 | 22 9.9 | 4 1.8 | 223 100 |
| 70～79歳 | 11 4.7 | 31 13.1 | 6 2.5 | 236 100 |
| 80歳以上 | 13 7.7 | 43 25.6 | 7 4.2 | 168 100 |
| 無回答 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 100 |
| 全体 | 29 3.0 | 125 13.1 | 20 2.1 | 957 100 |

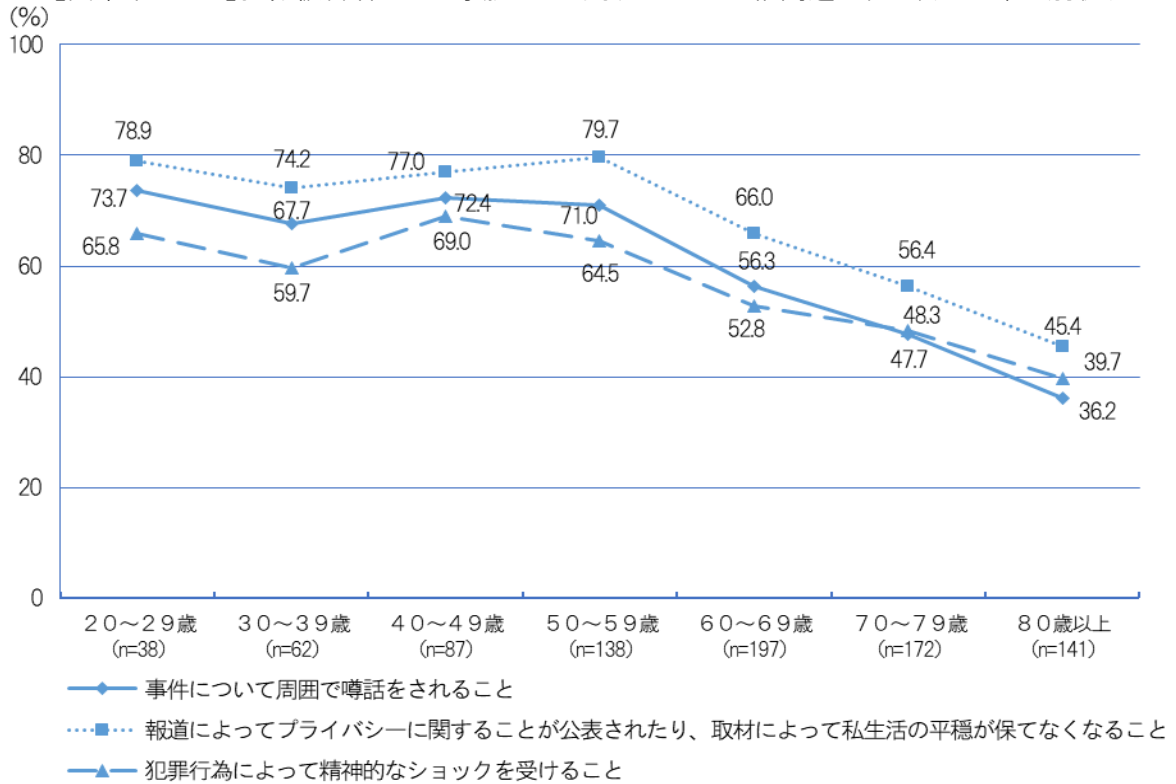
【全体】



【年代別】<【国東市2020】犯罪被害者やその家族などに関する事で人権問題上位3項目の年代別状況>



<【国東市2015】犯罪被害者やその家族などに関することで人権問題上位3項目の年代別状況>



■市全体では、犯罪被害者やその家族などに関することで、現在どのような人権問題があると思いますかについて「事件について周囲で噂話をされること」の割合が63.9%と最も高く、次いで「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなること」(61.2%)、「犯罪行為によって精神的なショックを受けること」(58.0%)となっています。

■2015調査と比較すると市全体では、「事件について周囲で噂話をされること」の割合が7.5㊦、次いで「犯罪行為によって精神的なショックを受けること」(4.6㊦)、「捜査や刑事裁判において精神的負担を受けること」(4.1㊦)がそれぞれ増加しています。大分県2018調査との比較では、「報道でプライバシーが公表され取材で私生活が保てない」の割合が5.1㊦、「事件について周囲で噂話をされること」(4.9㊦)がそれぞれ増加しています。

◆年代別では、部落差別の問題(同和問題)がなくなる理由の上位3項目について、「事件について周囲で噂話をされること」で最も割合が高い年代は18～19歳(91.7%)、「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなること」で最も割合が高い年代は20～29歳(78.3%)、「犯罪行為によって精神的なショックを受けること」で最も割合が高い年代は18～19歳(91.7%)となっています。

◆2015調査と比較すると、「事件について周囲で噂話をされること」で最も割合が増加してるのは、60～69歳の13.2㊦、次いで50～59歳(9.3㊦)。「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなること」で最も割合が増加してるのは、60～69歳の2.6㊦となっています。

問33 あなたは、インターネットに関することで、現在どのような人権問題があると思いますか。

MA

上段:人数 下段:割合

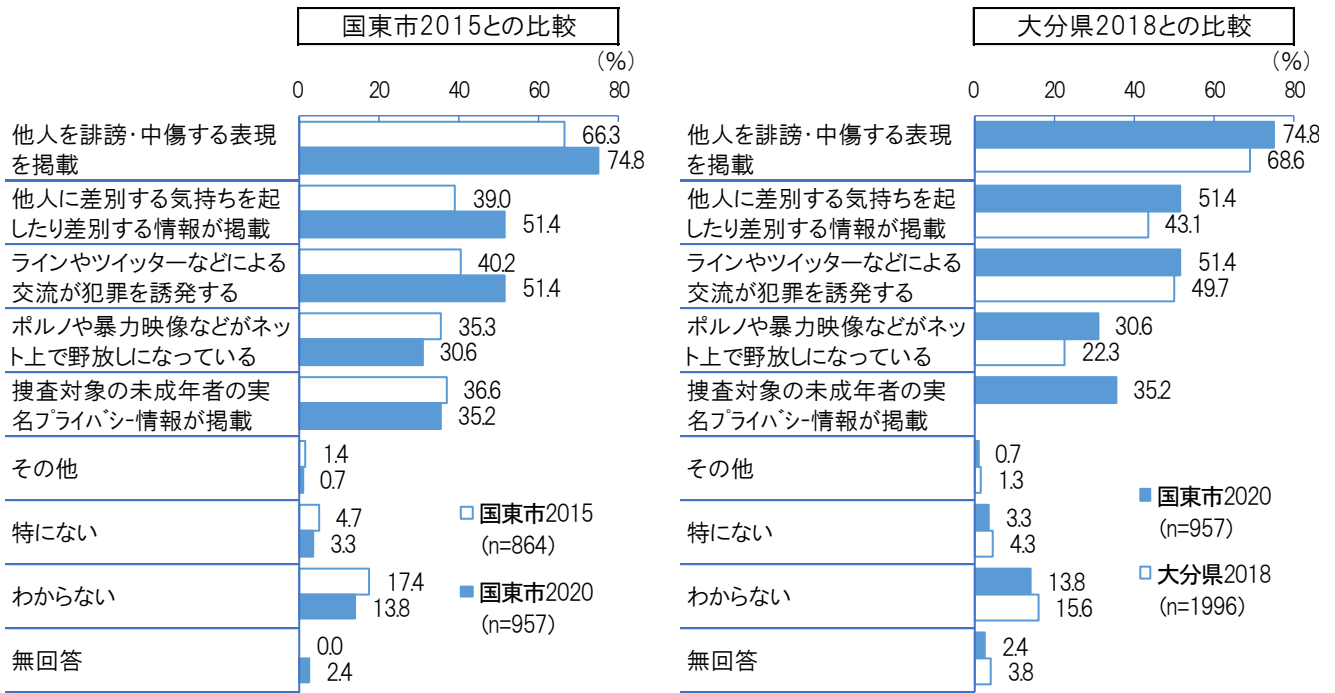
| 2020 調査結果 | 他人を誹謗・ 中傷する表 現を掲載され ること | 他人に差別 しようとする 気持ちを起こ させたり、差 別を助長す る情報が掲 載されること | ラインやツ イッターなど による交流が 犯罪を誘発 する場となっ ていること | ポルノや暴力 映像などが ネット上で野 放しになって いること | 捜査の対象 となっている 未成年者の 実名や顔写 真など、プラ イバシーに 関する情報 が掲載される こと | その他 | 特にない | わからない |
|--------------|----------------------------------|-----------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|---------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|----------|-----------|-------------|
| 18～19歳 | 12 100.0 | 10 83.3 | 7 58.3 | 6 50.0 | 5 41.7 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| 20～29歳 | 42 91.3 | 31 67.4 | 27 58.7 | 13 28.3 | 21 45.7 | 1 2.2 | 1 2.2 | 0 0.0 |
| 30～39歳 | 49 84.5 | 37 63.8 | 37 63.8 | 23 39.7 | 25 43.1 | 1 1.7 | 2 3.4 | 4 6.9 |
| 40～49歳 | 83 92.2 | 64 71.1 | 59 65.6 | 42 46.7 | 49 54.4 | 0 0.0 | 0 0.0 | 3 3.3 |
| 50～59歳 | 113 92.6 | 79 64.8 | 79 64.8 | 50 41.0 | 66 54.1 | 0 0.0 | 0 0.0 | 4 3.3 |
| 60～69歳 | 183 82.1 | 122 54.7 | 124 55.6 | 67 30.0 | 79 35.4 | 1 0.4 | 7 3.1 | 20 9.0 |
| 70～79歳 | 161 68.2 | 103 43.6 | 109 46.2 | 61 25.8 | 55 23.3 | 4 1.7 | 7 3.0 | 42 17.8 |
| 80歳以上 | 73 43.5 | 46 27.4 | 50 29.8 | 31 18.5 | 36 21.4 | 0 0.0 | 15 8.9 | 58 34.5 |
| 無回答 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 |
| 全体 | 716 74.8 | 492 51.4 | 492 51.4 | 293 30.6 | 337 35.2 | 7 0.7 | 32 3.3 | 132 13.8 |

MA

上段:人数 下段:割合

| 2020 調査結果 | 無回答 | 合計 |
|--------------|-----------|------------|
| 18～19歳 | 0 0.0 | 12 100 |
| 20～29歳 | 0 0.0 | 46 100 |
| 30～39歳 | 1 1.7 | 58 100 |
| 40～49歳 | 1 1.1 | 90 100 |
| 50～59歳 | 1 0.8 | 122 100 |
| 60～69歳 | 2 0.9 | 223 100 |
| 70～79歳 | 8 3.4 | 236 100 |
| 80歳以上 | 10 6.0 | 168 100 |
| 無回答 | 0 0.0 | 2 100 |
| 全体 | 23 2.4 | 957 100 |

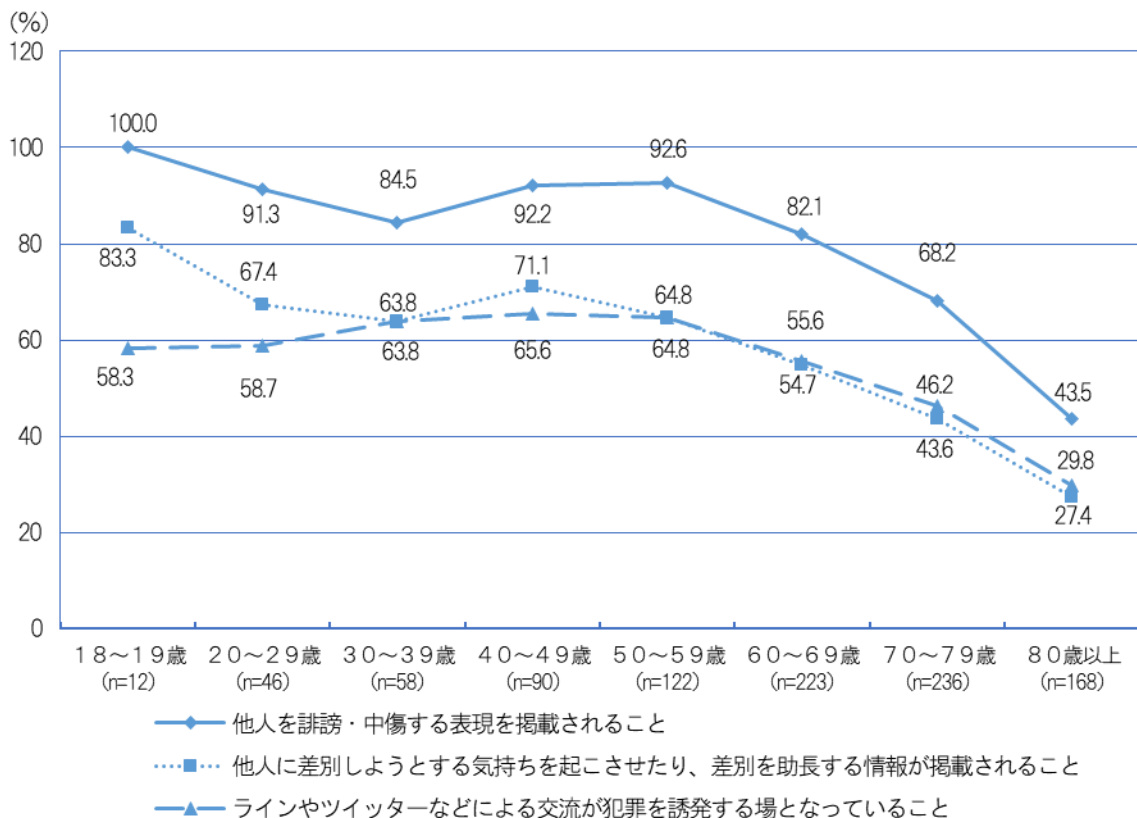
【全体】



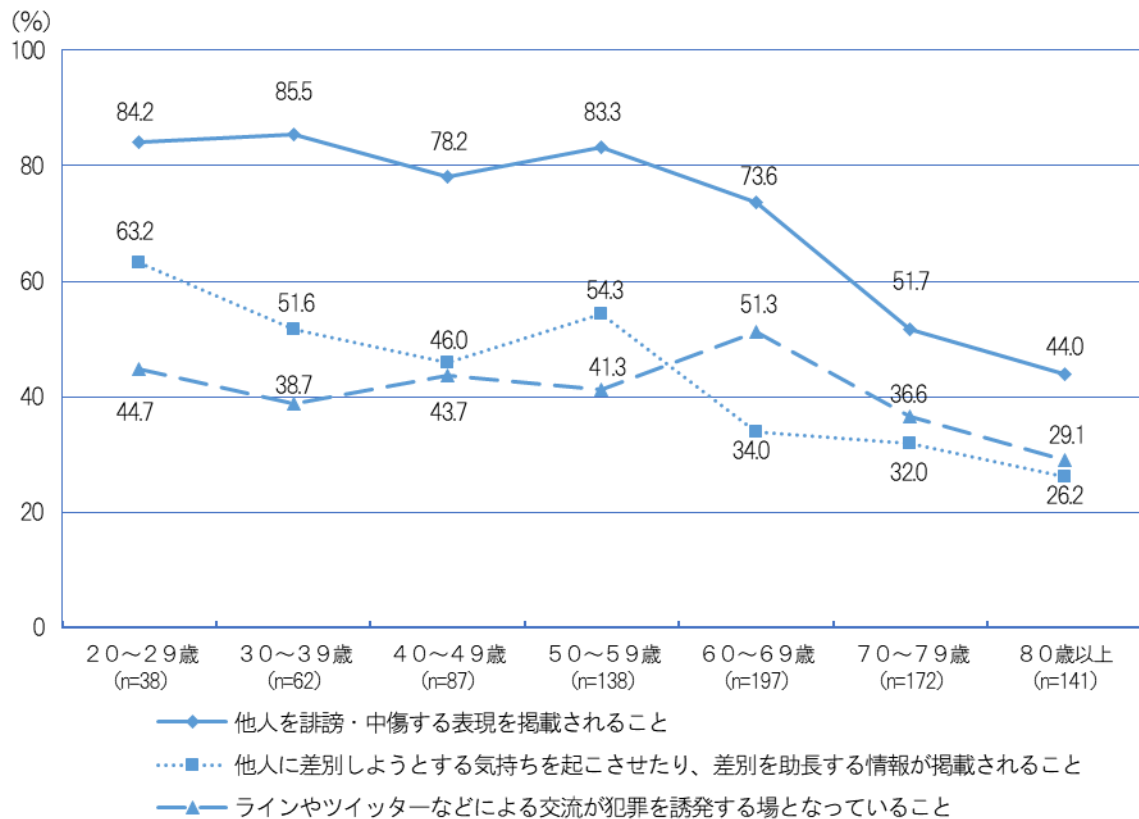
※国東市2015調査時と言い回しがやや異なる。

- ①国東市2020調査:「他人に差別しようとする気持ちを起こさせたり、差別を助長する情報が掲載されること」
- ①国東市2015調査:「差別を助長する表現を掲載すること」
- ②国東市2020調査:「ラインやツイッターなどによる交流が犯罪を誘発する場となっていること」
- ②国東市2015調査:「出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること」

【年代別】<【国東市2020】インターネットに関することで人権問題について上位3項目の年代別状況>



<【国東市2015】インターネットに関することで人権問題について上位3項目の年代別状況>



■市全体では、インターネットに関することで、現在どのような人権問題があるかについて「他人を誹謗・中傷する表現を掲載されること」の割合が 74.8%と最も高く、次いで「他人に差別しようとする気持ちを起こさせたり、差別を助長する情報が掲載されること」(51.4%)、「ラインやツイッターなどによる交流が犯罪を誘発する場となっていること」(51.4%)となっています。

■2015調査と比較すると市全体では、「他人に差別しようとする気持ちを起こさせたり、差別を助長する情報が掲載されること」の割合が 12.4 ㊦、次いで「ラインやツイッターなどによる交流が犯罪を誘発する場となっていること」(11.2 ㊦)、「他人を誹謗・中傷する表現を掲載されること」(8.5 ㊦)が増加しています。大分県2018調査との比較では、「他人に差別しようとする気持ちを起こさせたり、差別を助長する情報が掲載されること」の割合が 8.3 ㊦、次いで「ポルノや暴力映像などがネット上で野放しになっていること」(8.3 ㊦)、「他人を誹謗・中傷する表現を掲載されること」(6.2 ㊦)となっています。

◆年代別では、インターネットに関することで、現在どのような人権問題があるかの理由の上位3項目について、「他人を誹謗・中傷する表現を掲載されること」で最も割合が高い年代は18～19歳(100.0%)、「他人に差別しようとする気持ちを起こさせたり、差別を助長する情報が掲載されること」で最も割合が高い年代は18～19歳(83.3%)、「ラインやツイッターなどによる交流が犯罪を誘発する場となっていること」で最も割合が高い年代は40～49歳(65.6%)となっています。

◆2015調査と比較すると、「他人を誹謗・中傷する表現が掲載されること」で最も割合が増加しているのは、70～79歳の16.5%、次いで40～49歳(14.0%)。「他人に差別しようとする気持ちを起こさせたり、差別を助長する情報が掲載されること」で最も割合が増加しているのは、40～49歳の25.1%、次いで60～69歳(20.7%)。「ラインやツイッターなどによる交流が犯罪を誘発する場となっていること」で最も割合が増加しているのは、30～39歳の25.1%、次いで50～59歳(23.5%)となっています。

問34 あなたは、性的指向(異性愛、同性愛、両性愛など)や性別違和(生物学的な性と心の性が一致しないこと)などに関することで、現在どのような人権問題があると思いますか。

MA

上段:人数 下段:割合

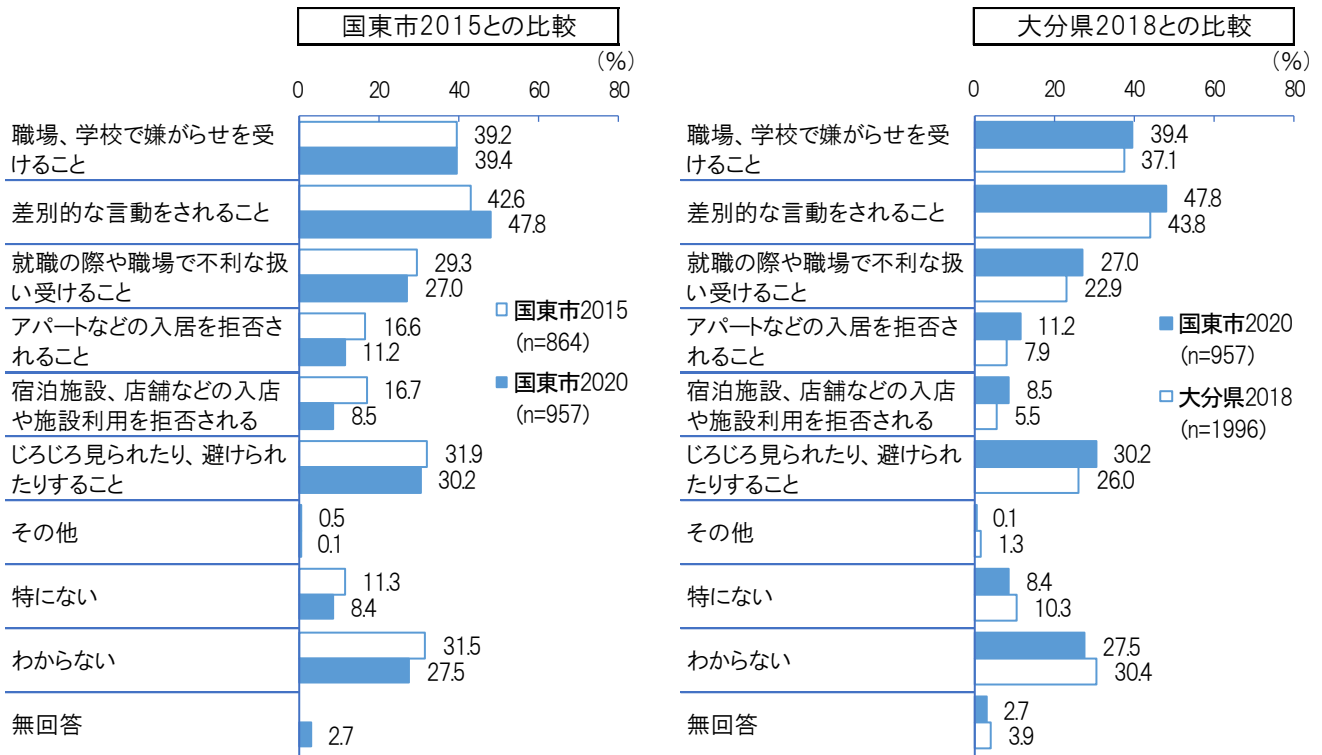
| 2020 調査結果 | 職場、学校で 嫌がらせを 受けること | 差別的な言 動をされるこ と | 就職の際や 職場で不利 な扱い受ける こと | アパートなど の入居を拒 否されること | 宿泊施設、 店舗などへ の入店や施 設利用を拒 否されること | じろじろ見ら れたり、避け られたりする こと | その他 | 特にな い |
|--------------|--------------------------|----------------------|--------------------------------|---------------------------|--------------------------------------------|----------------------------------|----------|------------|
| 18～19歳 | 7 58.3 | 9 75.0 | 3 25.0 | 2 16.7 | 1 8.3 | 7 58.3 | 0 0.0 | 1 8.3 |
| 20～29歳 | 28 60.9 | 34 73.9 | 11 23.9 | 5 10.9 | 5 10.9 | 18 39.1 | 1 2.2 | 2 4.3 |
| 30～39歳 | 30 51.7 | 37 63.8 | 14 24.1 | 7 12.1 | 9 15.5 | 25 43.1 | 0 0.0 | 2 3.4 |
| 40～49歳 | 40 44.4 | 57 63.3 | 26 28.9 | 14 15.6 | 11 12.2 | 36 40.0 | 0 0.0 | 5 5.6 |
| 50～59歳 | 57 46.7 | 68 55.7 | 31 25.4 | 13 10.7 | 10 8.2 | 35 28.7 | 0 0.0 | 4 3.3 |
| 60～69歳 | 101 45.3 | 117 52.5 | 72 32.3 | 25 11.2 | 17 7.6 | 78 35.0 | 0 0.0 | 18 8.1 |
| 70～79歳 | 75 31.8 | 89 37.7 | 64 27.1 | 23 9.7 | 14 5.9 | 59 25.0 | 0 0.0 | 25 10.6 |
| 80歳以上 | 39 23.2 | 46 27.4 | 37 22.0 | 18 10.7 | 14 8.3 | 31 18.5 | 0 0.0 | 22 13.1 |
| 無回答 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 |
| 全体 | 377 39.4 | 457 47.8 | 258 27.0 | 107 11.2 | 81 8.5 | 289 30.2 | 1 0.1 | 80 8.4 |

MA

上段:人数 下段:割合

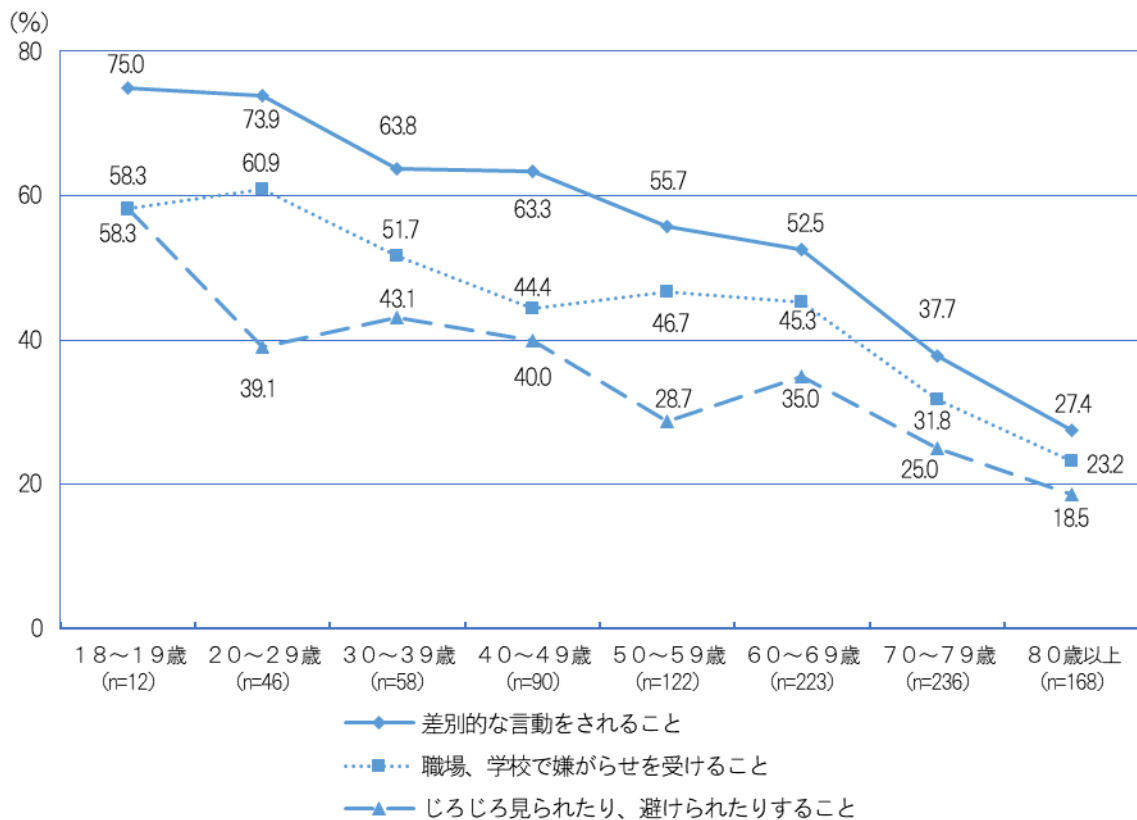
| 2020 調査結果 | わからない | 無回答 | 合計 |
|--------------|-------------|-----------|------------|
| 18～19歳 | 0 0.0 | 0 0.0 | 12 100 |
| 20～29歳 | 4 8.7 | 0 0.0 | 46 100 |
| 30～39歳 | 10 17.2 | 1 1.7 | 58 100 |
| 40～49歳 | 15 16.7 | 1 1.1 | 90 100 |
| 50～59歳 | 32 26.2 | 1 0.8 | 122 100 |
| 60～69歳 | 52 23.3 | 3 1.3 | 223 100 |
| 70～79歳 | 80 33.9 | 9 3.8 | 236 100 |
| 80歳以上 | 69 41.1 | 11 6.5 | 168 100 |
| 無回答 | 1 50.0 | 0 0.0 | 2 100 |
| 全体 | 263 27.5 | 26 2.7 | 957 100 |

【全体】

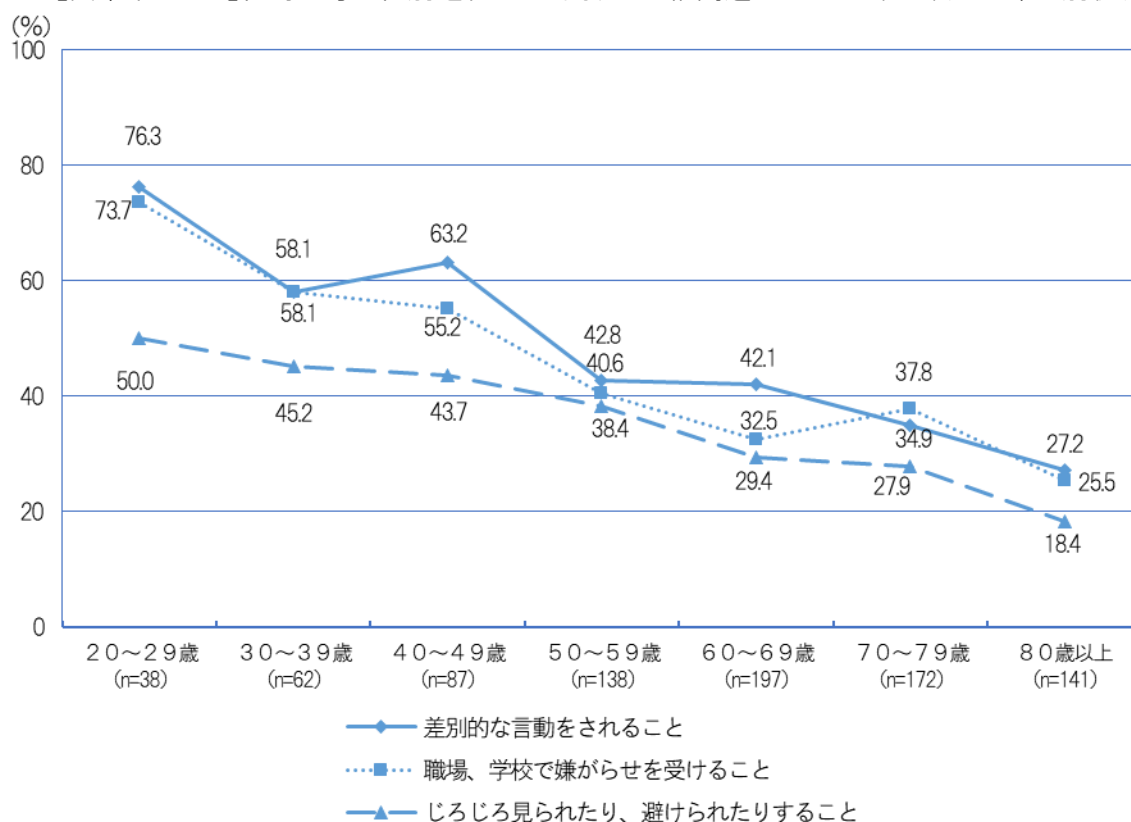


※国東市2015調査の無回答データなし。

【年代別】<【国東市2020】性的思考や性別違和などに関する人権問題について上位3項目の年代別状況>



<【国東市2015】性的思考や性別違和などに関する人権問題について上位3項目の年代別状況>



■市全体では、性的指向(異性愛、同性愛、両性愛など)や性別違和(生物学的な性と心の性が一致しないこと)などに関する事で、現在どのような人権問題があると思いますかについて「差別的な言動をされること」の割合が 47.8%と最も高く、次いで「職場、学校で嫌がらせを受けること」(39.4%)、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」(30.2%)となっています。

■2015調査と比較すると市全体では、「差別的な言動をされること」の割合が 5.2 ㊦、次いで「職場、学校で嫌がらせを受けること」(0.2 ㊦)が増加しています。大分県2018調査との比較では、「差別的な言動をされること」の割合が大分県よりも 4.0 ㊦、次いで「職場、学校で嫌がらせを受けること」(2.3 ㊦)、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」(4.2 ㊦)がそれぞれ増加しています。

◆年代別では、性的指向(異性愛、同性愛、両性愛など)や性別違和(生物学的な性と心の性が一致しないこと)などに関する事の上位3項目について、「差別的な言動をされること」で最も割合が高い年代は18~19歳(75.0%)、「職場、学校で嫌がらせを受けること」で最も割合が高い年代は20~29歳(60.9%)、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」で最も割合が高いの年代は18~19歳(58.3%)となっています。

◆2015調査と比較すると、「差別的な言動をされること」で最も割合が増加してるのは、50~59歳の12.9 ㊦、次いで60~69歳(10.4 ㊦)。「職場、学校で嫌がらせを受けること」で最も割合が増加してるのは、60~69歳の12.8 ㊦、次いで50~59歳(6.1 ㊦)。「じろじろ見られたり、避けられたりすること」で最も割合が増加してるのは、60~69歳の5.6 ㊦、次いで80歳以上(0.1 ㊦)となっています。

問35 あなたは、東日本大震災やそれともなう福島第一原子力発電所の事故の発生により、現在、被災者にどのような人権問題があると思いますか。

MA

上段:人数 下段:割合

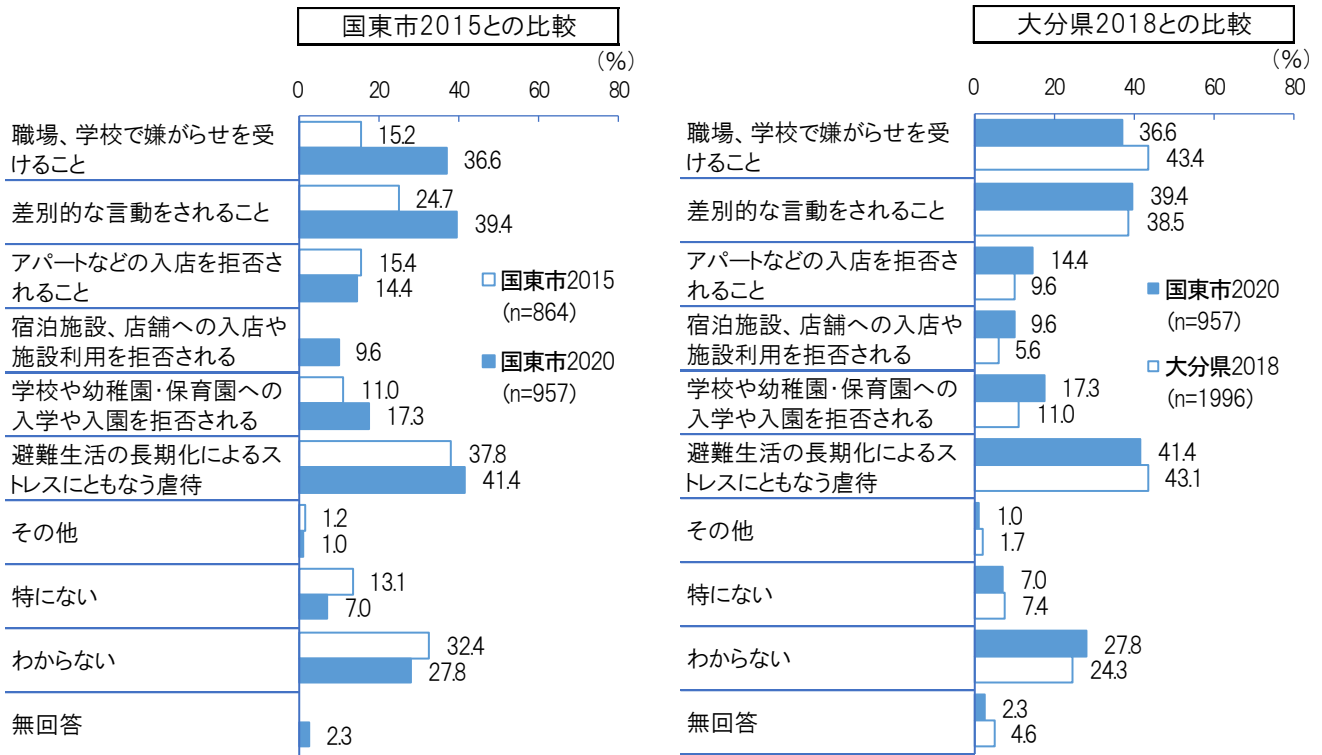
| 2020 調査結果 | 職場、学校で 嫌がらせを 受けること | 差別的な言動 をされること | アパートなど の入店を拒 否されること | 宿泊施設、 店舗などへ の入店や施 設利用を拒 否されること | 学校や幼稚 園・保育園な どへの入学 や入園を拒 否されること | 避難生活の 長期化による ストレスにと もなういさか いや虐待 | その他 | 特にない |
|--------------|--------------------------|------------------|---------------------------|--------------------------------------------|---------------------------------------------|---------------------------------------------|-----------|------------|
| 18～19歳 | 4 33.3 | 7 58.3 | 2 16.7 | 1 8.3 | 4 33.3 | 5 41.7 | 0 0.0 | 1 8.3 |
| 20～29歳 | 18 39.1 | 23 50.0 | 10 21.7 | 7 15.2 | 14 30.4 | 23 50.0 | 2 4.3 | 0 0.0 |
| 30～39歳 | 22 37.9 | 25 43.1 | 9 15.5 | 7 12.1 | 12 20.7 | 29 50.0 | 0 0.0 | 2 3.4 |
| 40～49歳 | 41 45.6 | 50 55.6 | 19 21.1 | 7 7.8 | 17 18.9 | 38 42.2 | 2 2.2 | 5 5.6 |
| 50～59歳 | 48 39.3 | 52 42.6 | 20 16.4 | 10 8.2 | 26 21.3 | 55 45.1 | 2 1.6 | 3 2.5 |
| 60～69歳 | 97 43.5 | 106 47.5 | 30 13.5 | 20 9.0 | 38 17.0 | 104 46.6 | 0 0.0 | 17 7.6 |
| 70～79歳 | 77 32.6 | 72 30.5 | 31 13.1 | 24 10.2 | 31 13.1 | 95 40.3 | 2 0.8 | 21 8.9 |
| 80歳以上 | 43 25.6 | 42 25.0 | 17 10.1 | 16 9.5 | 24 14.3 | 47 28.0 | 2 1.2 | 16 9.5 |
| 無回答 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 100.0 |
| 全体 | 350 36.6 | 377 39.4 | 138 14.4 | 92 9.6 | 166 17.3 | 396 41.4 | 10 1.0 | 67 7.0 |

MA

上段:人数 下段:割合

| 2020 調査結果 | わからない | 無回答 | 合計 |
|--------------|-------------|-----------|------------|
| 18～19歳 | 2 16.7 | 1 8.3 | 12 100 |
| 20～29歳 | 12 26.1 | 0 0.0 | 46 100 |
| 30～39歳 | 18 31.0 | 1 1.7 | 58 100 |
| 40～49歳 | 23 25.6 | 0 0.0 | 90 100 |
| 50～59歳 | 33 27.0 | 2 1.6 | 122 100 |
| 60～69歳 | 50 22.4 | 1 0.4 | 223 100 |
| 70～79歳 | 65 27.5 | 6 2.5 | 236 100 |
| 80歳以上 | 63 37.5 | 11 6.5 | 168 100 |
| 無回答 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 100 |
| 全体 | 266 27.8 | 22 2.3 | 957 100 |

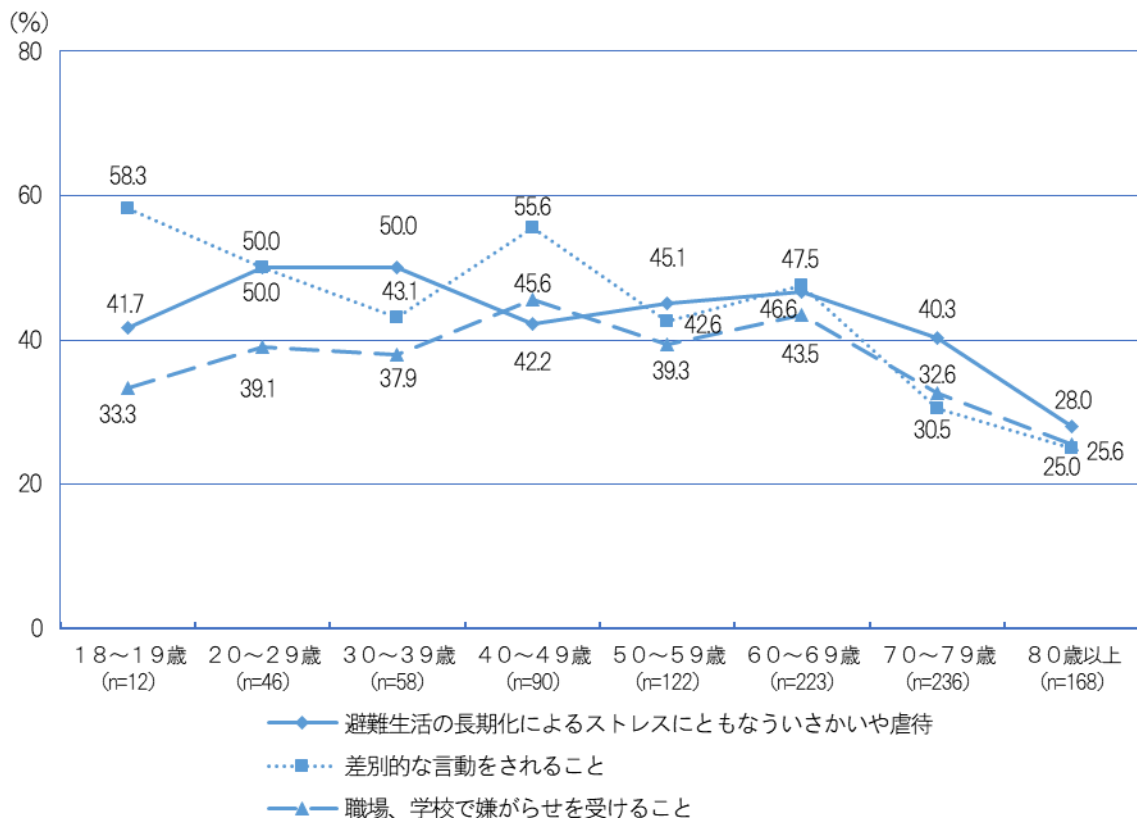
【全体】



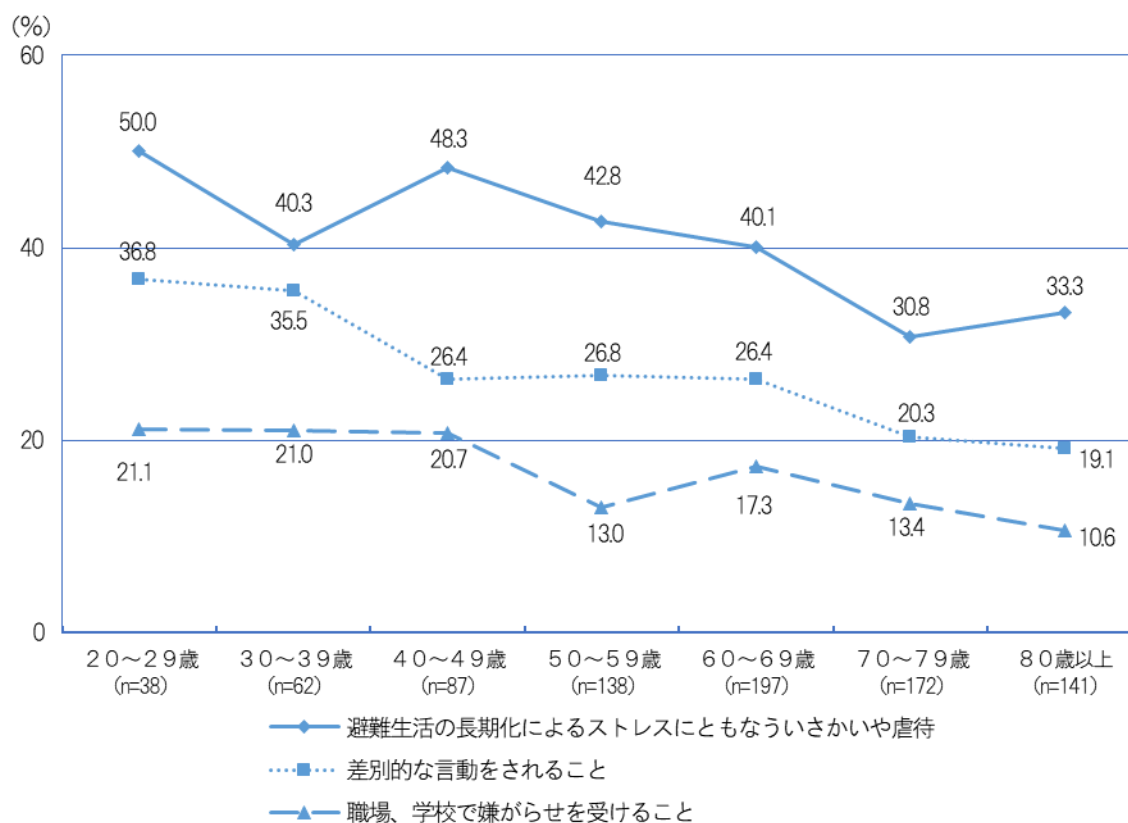
※回答項目「宿泊施設、店舗などへの入店や施設利用を拒否されること」について、2015調査時は「宿泊を拒否されること」「店舗などへの入店や施設利用を拒否されること」の2つに分かれていた。

※国東市2015調査の無回答データなし。

【年代別】<【国東市2020】東日本大震災や福島第一原子力発電所の事故の発生により、被災者への人権問題上位3項目の年代別状況>



<【国東市2015】東日本大震災や福島第一原子力発電所の事故の発生により、被災者への人権問題
上位3項目の年代別状況>



■市全体では、東日本大震災やそれにとまなう福島第一原子力発電所の事故の発生により、現在、被災者にどのような人権問題があると思いますかについて「避難生活の長期化によるストレスにとまなういさかいや虐待」の割合が41.4%と最も高く、次いで「差別的な言動をされること」(39.4%)、「職場、学校で嫌がらせを受けること」(36.6%)となっています。

■2015調査と比較すると市全体では、「職場、学校で嫌がらせを受けること」の割合が21.4%、次いで「差別的な言動をされること」(14.7%)、「学校や幼稚園・保育園への入学や入園を拒否される」(6.3%)、「避難生活の長期化によるストレスにとまなう虐待」(3.6%)がそれぞれ増加しています。大分県2018調査との比較では、「職場、学校で嫌がらせを受けること」の割合が6.8%、「避難生活の長期化によるストレスにとまなう虐待」(1.7%)がそれぞれ大分県よりも減少しています。

◆年代別では、東日本大震災や福島第一原子力発電所の事故の発生により、被災者への人権問題上位3項目について、「避難生活の長期化によるストレスにとまなういさかいや虐待」で最も割合が高い年代は20～29歳と30～39歳(50.0%)、「差別的な言動をされること」で最も割合が高い年代は18～19歳(58.3%)、「職場、学校で嫌がらせを受けること」で最も割合が高い年代は40～49歳(45.6%)となっています。

◆2015調査と比較すると、「避難生活の長期化によるストレスにとまなういさかいや虐待」で最も割合が増加しているのは、30～39歳の9.7%、次いで70～79歳(9.5%)。「差別的な言動をされること」で最も割合が増加しているのは、40～49歳の29.2%、次いで60～69歳(21.1%)。「職場、学校で嫌がらせを受けること」で最も割合が増加しているのは、50～59歳の26.3%、次いで60～69歳(26.2%)となっています。

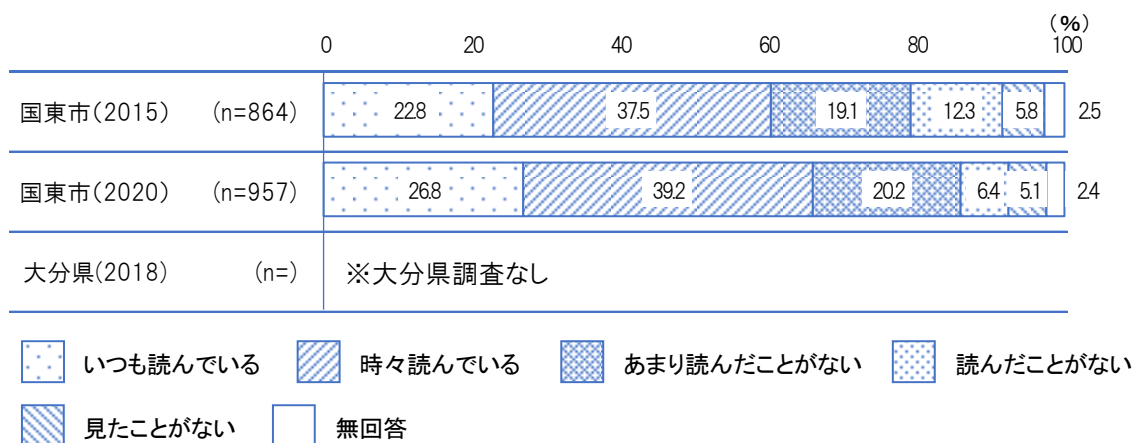
IX. 啓発活動について(問36～問39)

[SA]

問36 あなたは市の広報誌(市報くにさき)に掲載されている啓発記事(「ところをつなぐまちづくり」)や、人権についてのチラシや冊子などを読んだことがありますか。

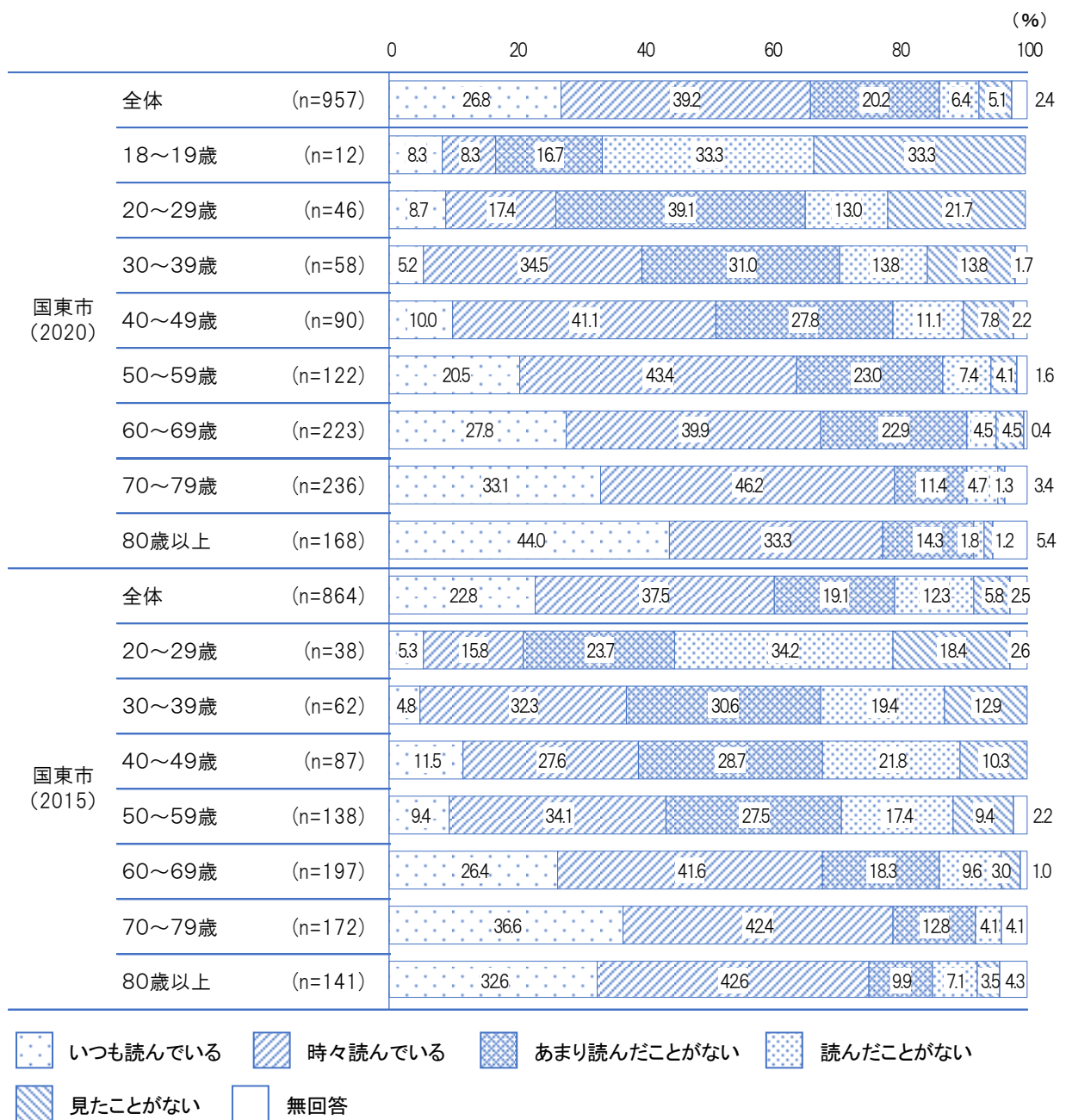
| 2020 調査結果 | 上段:人数 下段:割合 | | | | | | 合計 |
|--------------|--------------|-------------|---------------|--------------|------------|-----------|------------|
| | いつも読んで いる | 時々読んで いる | あまり読んで いない | 読んだことが ない | 見たことがない | 無回答 | |
| 18～19歳 | 1 8.3 | 1 8.3 | 2 16.7 | 4 33.3 | 4 33.3 | 0 0.0 | 12 100 |
| 20～29歳 | 4 8.7 | 8 17.4 | 18 39.1 | 6 13.0 | 10 21.7 | 0 0.0 | 46 100 |
| 30～39歳 | 3 5.2 | 20 34.5 | 18 31.0 | 8 13.8 | 8 13.8 | 1 1.7 | 58 100 |
| 40～49歳 | 9 10.0 | 37 41.1 | 25 27.8 | 10 11.1 | 7 7.8 | 2 2.2 | 90 100 |
| 50～59歳 | 25 20.5 | 53 43.4 | 28 23.0 | 9 7.4 | 5 4.1 | 2 1.6 | 122 100 |
| 60～69歳 | 62 27.8 | 89 39.9 | 51 22.9 | 10 4.5 | 10 4.5 | 1 0.4 | 223 100 |
| 70～79歳 | 78 33.1 | 109 46.2 | 27 11.4 | 11 4.7 | 3 1.3 | 8 3.4 | 236 100 |
| 80歳以上 | 74 44.0 | 56 33.3 | 24 14.3 | 3 1.8 | 2 1.2 | 9 5.4 | 168 100 |
| 無回答 | 0 0.0 | 2 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 100 |
| 全体 | 256 26.8 | 375 39.2 | 193 20.2 | 61 6.4 | 49 5.1 | 23 2.4 | 957 100 |

【全体】



- 市全体では、市の広報誌(市報くにさき)に掲載されている啓発記事(「ところをつなぐまちづくり」)や、人権についてのチラシや冊子などを読んだことがあるかについて「読んだことがある(いつも読んでいる+時々読んでいる)」の割合が66.0%と最も高く、次いで「読んだことがない(あまり読んでいない+読んだことがない)」(26.6%)、「見たことがない」(5.1%)となっています。
- 2015調査と比較すると市全体では、「読んだことがある(いつも読んでいる+時々読んでいる)」の割合が5.7%増加しています。大分県2018調査との比較はありません。

【年代別】



- ◆年代別では、「読んだことがある(いつも読んでいる+時々読んでいる)」の割合が最も高いのは70～79歳で79.3%、次いで80歳以上(77.3%)、60～69歳(67.7%)となっています。
- ◆2015調査と比較すると年代別では、「読んだことがある(いつも読んでいる+時々読んでいる)」の割合が最も増加したのは50～59歳で20.4ポイント、次いで40～49歳(12.0ポイント)、20～29歳(5.0ポイント)となっています。

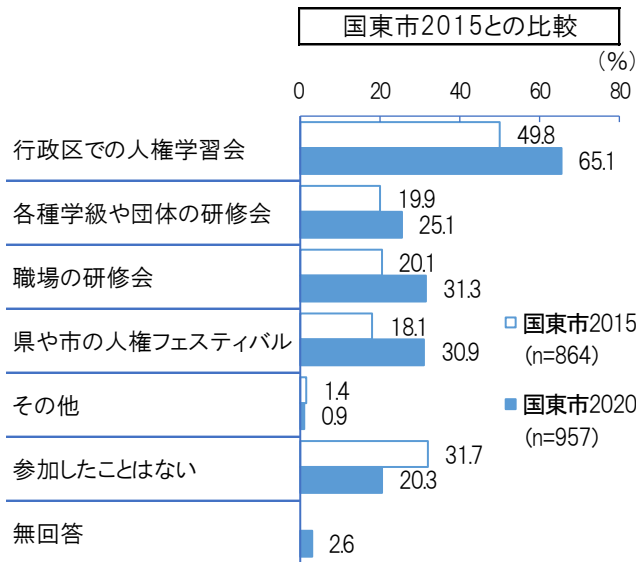
問37 人権に関する研修会について、あなたがこれまでに参加したことがあるものを選んでください。

MA

上段:人数 下段:割合

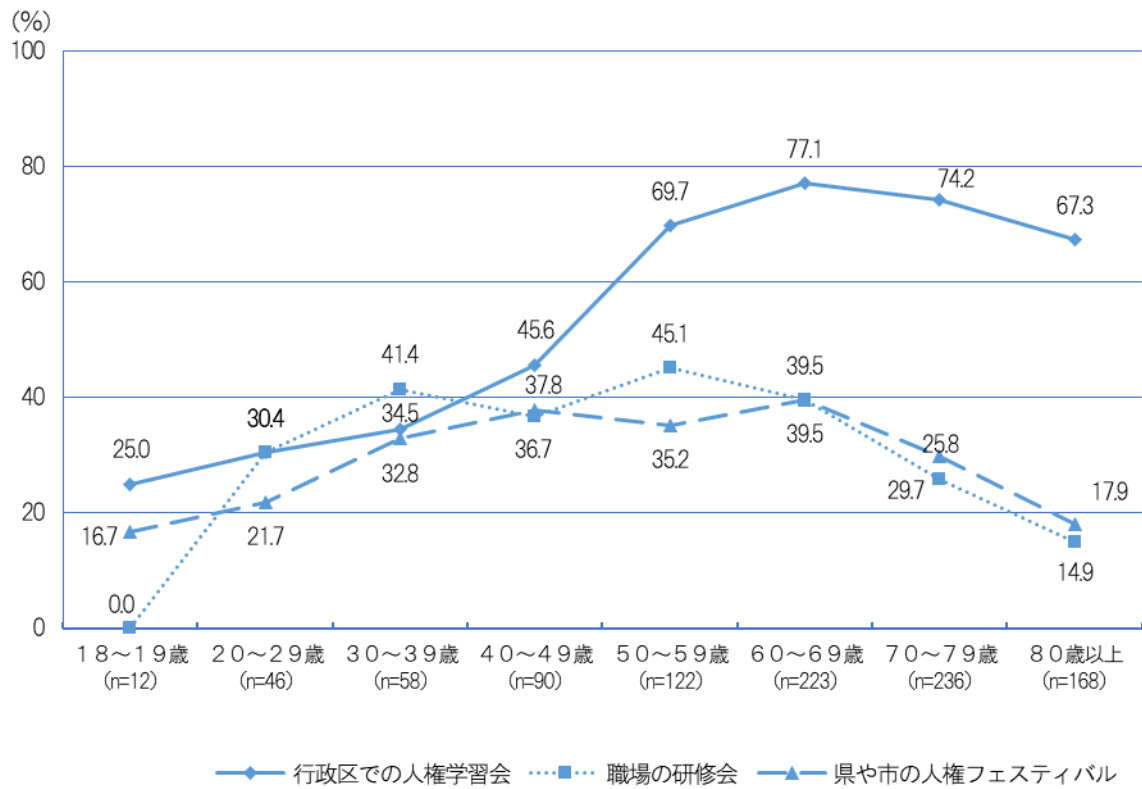
| 2020 調査結果 | 行政区での 人権学習会 (地区人権学 習会) | 各種学級や 団体の研修 会 | 職場の研修 会 | 県や市の人 権フェスティ バル | その他 | 参加したこ とはない | 無回答 | 合計 |
|--------------|---------------------------------|---------------------|-------------|-----------------------|----------|---------------|-----------|------------|
| 18～19歳 | 3 25.0 | 1 8.3 | 0 0.0 | 2 16.7 | 0 0.0 | 8 66.7 | 0 0.0 | 12 100 |
| 20～29歳 | 14 30.4 | 7 15.2 | 14 30.4 | 10 21.7 | 1 2.2 | 21 45.7 | 0 0.0 | 46 100 |
| 30～39歳 | 20 34.5 | 15 25.9 | 24 41.4 | 19 32.8 | 1 1.7 | 25 43.1 | 1 1.7 | 58 100 |
| 40～49歳 | 41 45.6 | 31 34.4 | 33 36.7 | 34 37.8 | 1 1.1 | 17 18.9 | 1 1.1 | 90 100 |
| 50～59歳 | 85 69.7 | 39 32.0 | 55 45.1 | 43 35.2 | 0 0.0 | 18 14.8 | 2 1.6 | 122 100 |
| 60～69歳 | 172 77.1 | 67 30.0 | 88 39.5 | 88 39.5 | 0 0.0 | 33 14.8 | 1 0.4 | 223 100 |
| 70～79歳 | 175 74.2 | 53 22.5 | 61 25.8 | 70 29.7 | 4 1.7 | 36 15.3 | 10 4.2 | 236 100 |
| 80歳以上 | 113 67.3 | 27 16.1 | 25 14.9 | 30 17.9 | 2 1.2 | 34 20.2 | 10 6.0 | 168 100 |
| 無回答 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 100.0 | 0 0.0 | 2 100 |
| 全体 | 623 65.1 | 240 25.1 | 300 31.3 | 296 30.9 | 9 0.9 | 194 20.3 | 25 2.6 | 957 100 |

【全体】

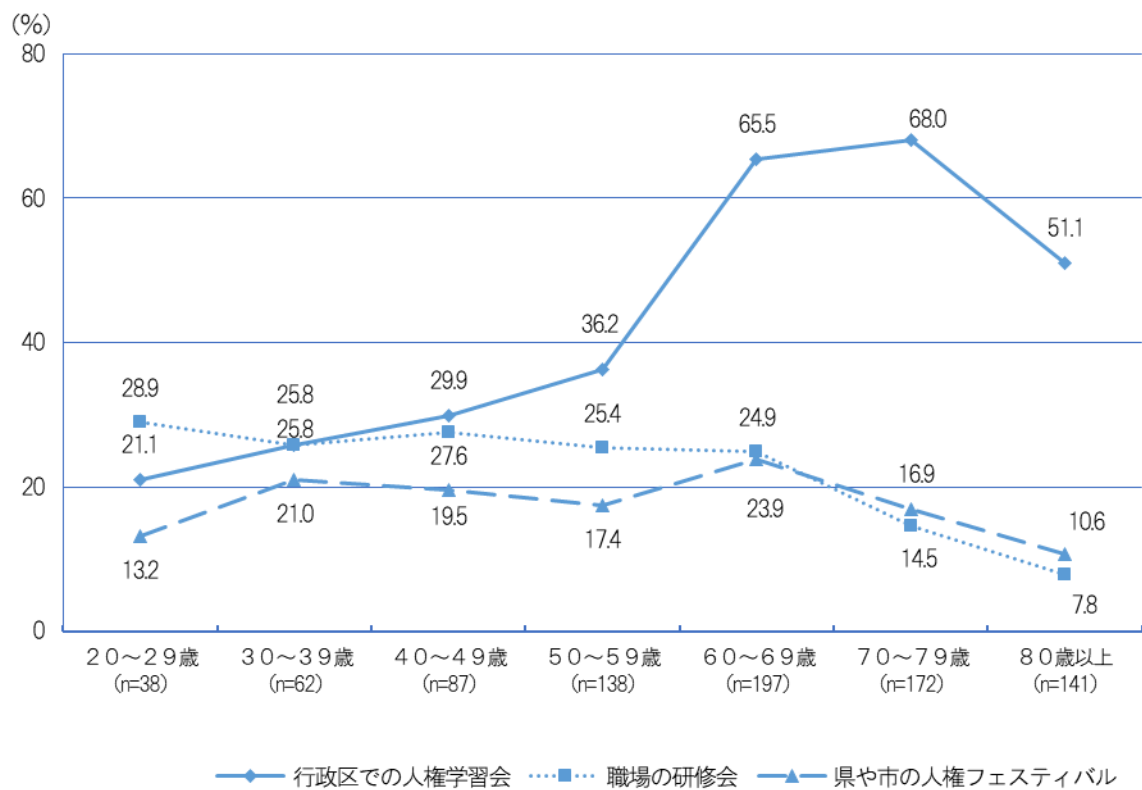


※大分県2018調査なし。

【年代別】<【国東市2020】人権に関する研修会について参加したことがある上位3項目の年代別状況>



<【国東市2015】人権に関する研修会について参加したことがある上位3項目の年代別状況>



- 市全体では、人権に関する研修会について、これまでに参加したことがあるものについて「行政区での人権学習会」の割合が 65.1%と最も高く、次いで「職場の研修会」(31.3%)、「県や市の人権フェスティバル」(30.9%)となっています。
- 2015調査と比較すると市全体では、「行政区での人権学習会」の割合が 15.3 ㊦、「県や市の人権フェスティバル」(12.8 ㊦)、「職場の研修会」(11.2 ㊦)等がそれぞれ増加しています。大分県2018調査との比較はありません。

- ◆年代別では、人権に関する研修会について、これまでに参加したことがある上位3項目について、「行政区での人権学習会」で最も割合が高い年代は60～69歳(77.1%)、「職場の研修会」で最も割合が高い年代は50～59歳(45.1%)、「県や市の人権フェスティバル」で最も割合が高い年代は60～69歳(39.5%)となっています。
- ◆2015調査と比較すると、「行政区での人権学習会」で最も割合が増加してるのは、50～59歳の 33.5 ㊦、次いで80歳以上(16.2 ㊦)。「職場の研修会」で最も割合が増加してるのは、50～59歳の 19.7 ㊦、次いで30～39歳(15.6 ㊦)。「県や市の人権フェスティバル」で最も割合が増加してるのは、40～49歳の 18.3 ㊦、次いで50～59歳(17.8 ㊦)となっています。

問38 人権の大切さを多くの人に知ってもらうには、どんな方法が効果的だと思いますか(または、あなたならどれが良いですか)。

MA

上段:人数 下段:割合

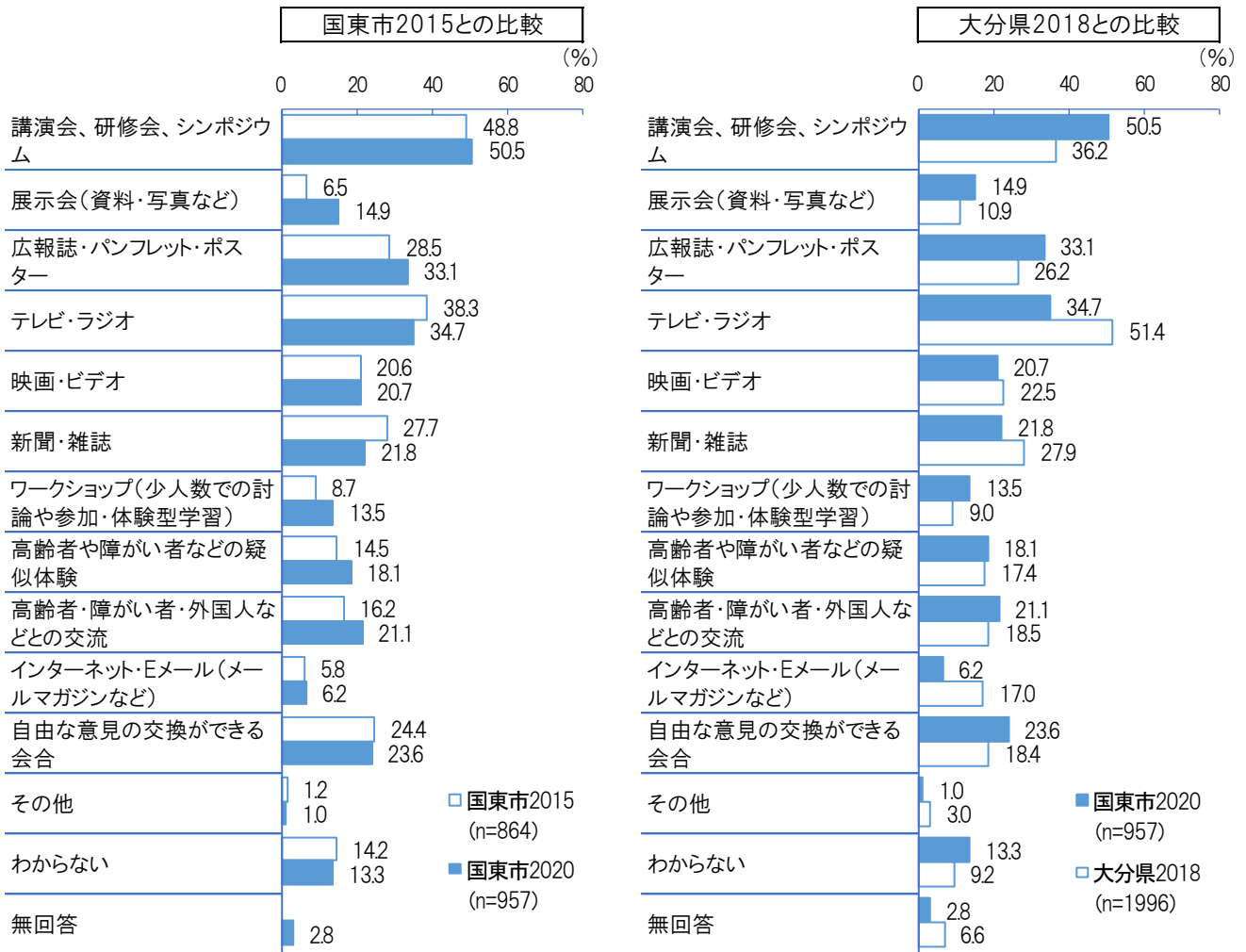
| 2020 調査結果 | 講演会、研 修会、シンポ ジウム | 展示会(資 料・写真な ど) | 広報誌・パンフ レット・ポスター | テレビ・ラジオ | 映画・ビデオ | 新聞・雑誌 | ワークショップ (少人数での 討論や参加・ 体験型学習) | 高齢者や障 がい者など の疑似体験 |
|--------------|------------------------|----------------------|---------------------|-------------|-------------|-------------|---------------------------------------|-------------------------|
| 18～19歳 | 2 16.7 | 2 16.7 | 3 25.0 | 7 58.3 | 6 50.0 | 4 33.3 | 2 16.7 | 3 25.0 |
| 20～29歳 | 16 34.8 | 4 8.7 | 13 28.3 | 17 37.0 | 16 34.8 | 10 21.7 | 4 8.7 | 8 17.4 |
| 30～39歳 | 25 43.1 | 10 17.2 | 15 25.9 | 27 46.6 | 19 32.8 | 13 22.4 | 11 19.0 | 14 24.1 |
| 40～49歳 | 42 46.7 | 12 13.3 | 28 31.1 | 38 42.2 | 21 23.3 | 15 16.7 | 14 15.6 | 19 21.1 |
| 50～59歳 | 65 53.3 | 26 21.3 | 33 27.0 | 49 40.2 | 25 20.5 | 26 21.3 | 16 13.1 | 27 22.1 |
| 60～69歳 | 127 57.0 | 40 17.9 | 82 36.8 | 81 36.3 | 47 21.1 | 50 22.4 | 37 16.6 | 41 18.4 |
| 70～79歳 | 124 52.5 | 33 14.0 | 88 37.3 | 61 25.8 | 45 19.1 | 50 21.2 | 37 15.7 | 45 19.1 |
| 80歳以上 | 81 48.2 | 16 9.5 | 54 32.1 | 51 30.4 | 19 11.3 | 41 24.4 | 8 4.8 | 16 9.5 |
| 無回答 | 1 50.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| 全体 | 483 50.5 | 143 14.9 | 317 33.1 | 332 34.7 | 198 20.7 | 209 21.8 | 129 13.5 | 173 18.1 |

MA

上段:人数 下段:割合

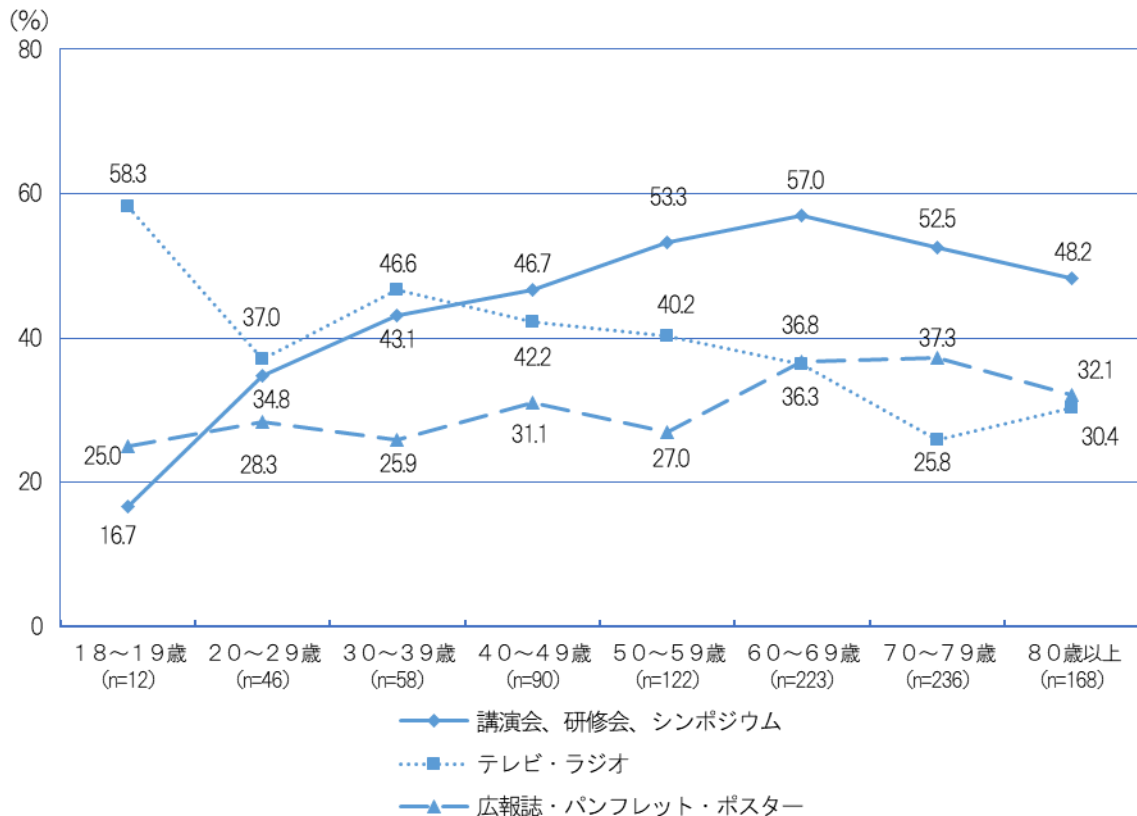
| 2020 調査結果 | 高齢者・障が い者・外国人 などとの交流 | インターネット・Eメール (メールマガ ジンなど) | 自由な意見 の交換がで きる会合 | その他 | わからない | 無回答 | 合計 |
|--------------|----------------------------|---------------------------------|------------------------|-----------|-------------|-----------|------------|
| 18～19歳 | 3 25.0 | 1 8.3 | 3 25.0 | 0 0.0 | 1 8.3 | 0 0.0 | 12 100 |
| 20～29歳 | 16 34.8 | 8 17.4 | 5 10.9 | 0 0.0 | 7 15.2 | 1 2.2 | 46 100 |
| 30～39歳 | 12 20.7 | 8 13.8 | 12 20.7 | 1 1.7 | 6 10.3 | 1 1.7 | 58 100 |
| 40～49歳 | 25 27.8 | 13 14.4 | 8 8.9 | 0 0.0 | 12 13.3 | 1 1.1 | 90 100 |
| 50～59歳 | 33 27.0 | 10 8.2 | 32 26.2 | 2 1.6 | 13 10.7 | 2 1.6 | 122 100 |
| 60～69歳 | 55 24.7 | 13 5.8 | 57 25.6 | 4 1.8 | 31 13.9 | 0 0.0 | 223 100 |
| 70～79歳 | 35 14.8 | 3 1.3 | 65 27.5 | 1 0.4 | 34 14.4 | 11 4.7 | 236 100 |
| 80歳以上 | 23 13.7 | 3 1.8 | 44 26.2 | 2 1.2 | 23 13.7 | 11 6.5 | 168 100 |
| 無回答 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 100 |
| 全体 | 202 21.1 | 59 6.2 | 226 23.6 | 10 1.0 | 127 13.3 | 27 2.8 | 957 100 |

【全体】

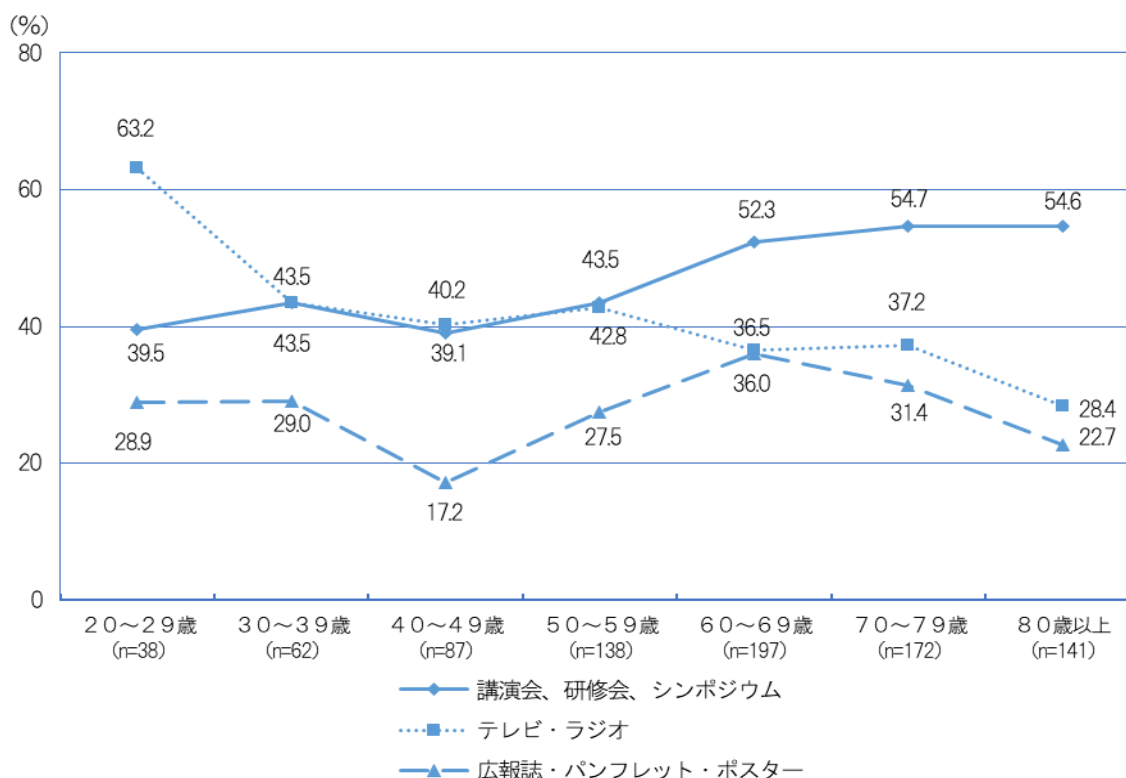


※大分県2018調査調査では「交通広告」「特になし」の項目あり。

【年代別】＜【国東市2020】人権の大切さを多くの人に知ってもらう効果的な方法上位3項目の年代別状況＞



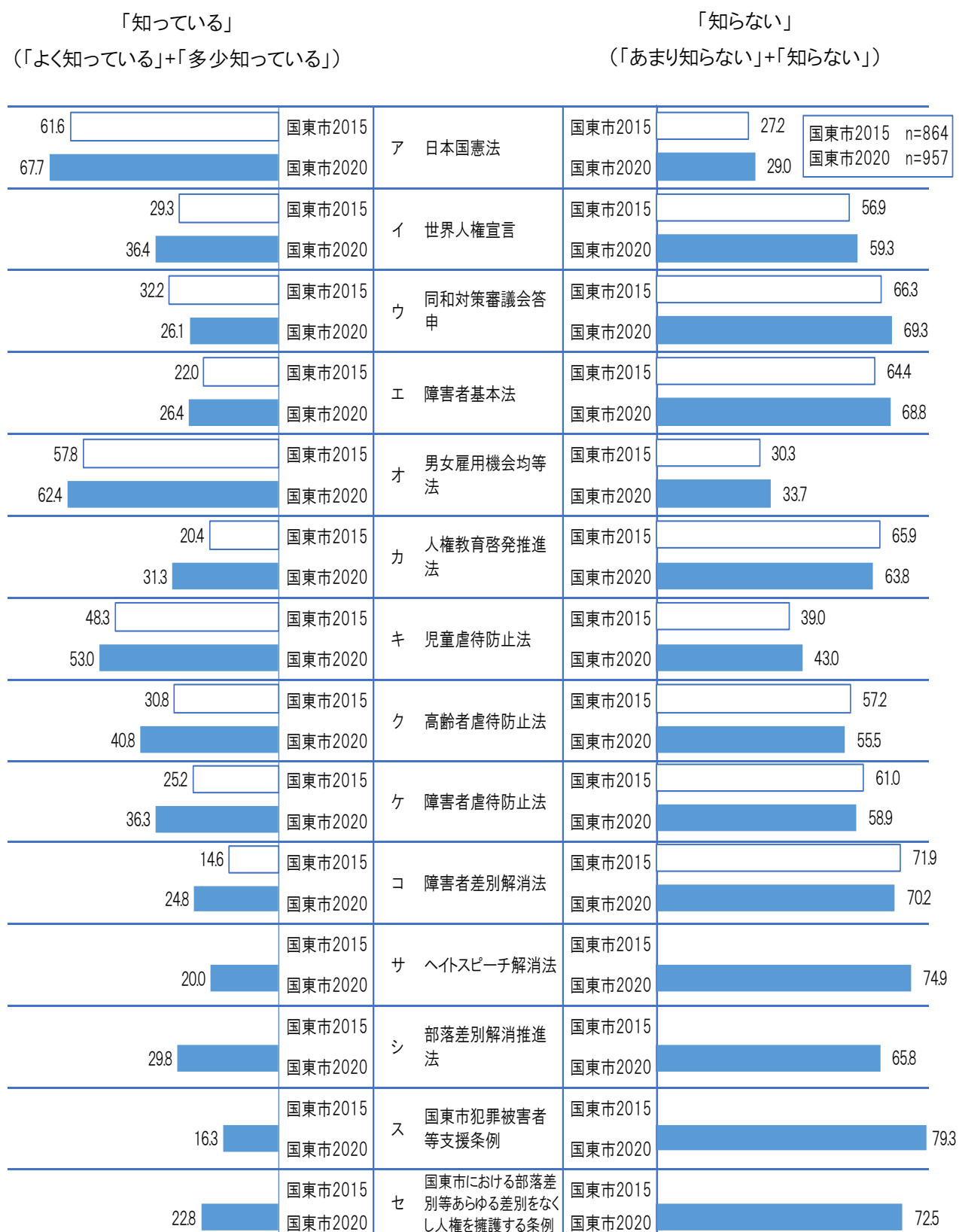
<【国東市2015】人権の大切さを多くの人に知ってもらうには効果的な方法上位3項目の年代別状況>



- 市全体では、人権の大切さを多くの人に知ってもらう効果的な方法について「講演会、研修会、シンポジウム」の割合が 50.5%と最も高く、次いで「テレビ・ラジオ」(34.7%)、「広報誌・パンフレット・ポスター」(33.1%)となっています。
- 2015調査と比較すると市全体では、「展示会(資料・写真など)」の割合が 8.4 ㊦、「高齢者・障がい者・外国人などとの交流」(4.9 ㊦)、「ワークショップ(少人数での討論や参加・体験型学習)」(4.8 ㊦)等がそれぞれ増加しています。大分県2018調査との比較では、「講演会、研修会、シンポジウム」の割合が 14.3 ㊦と最も増加しています。
- ◆年代別では、人権の大切さを多くの人に知ってもらう効果的な方法の上位3項目について、「講演会、研修会、シンポジウム」で最も割合が高い年代は60～69歳(57.0%)、「テレビ・ラジオ」で最も割合が高い年代は18～19歳(58.3%)、「広報誌・パンフレット・ポスター」で最も割合が高い年代は70～79歳(37.3%)となっています。
- ◆2015調査と比較すると、「講演会、研修会、シンポジウム」で最も割合が増加してるのは、50～59歳の 9.8 ㊦、次いで40～49歳(7.6 ㊦)。「テレビ・ラジオ」で最も割合が増加してるのは、30～39歳の 3.1 ㊦、次いで40～49歳(2.0 ㊦)。「広報誌・パンフレット・ポスター」で最も割合が増加してるのは、40～49歳の 13.9 ㊦、次いで80歳以上(9.4 ㊦)となっています。

問39 あなたは、次にあげる憲法や法律などを、どの程度ご存知ですか。

【問 39 ア～セ 全体まとめ】



※国東市2015調査ではサ～セの項目なし。

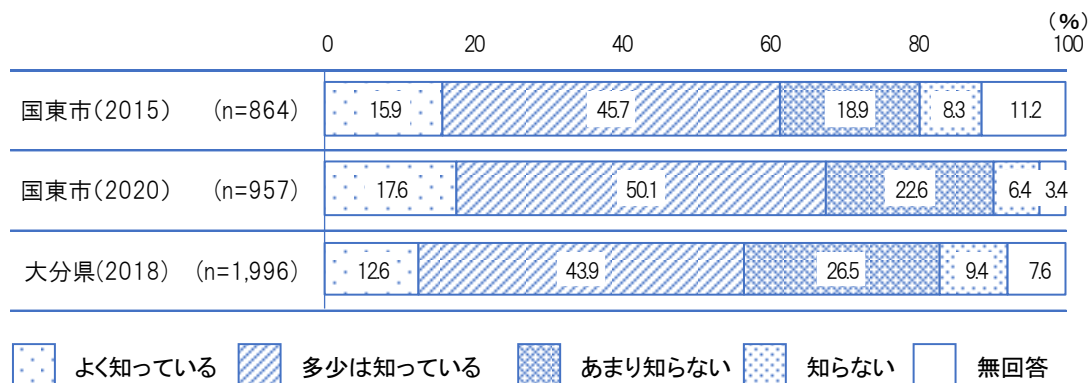
(単位):%

【問39-ア. 日本国憲法(昭和22年)】

SA 上段:人数 下段:割合

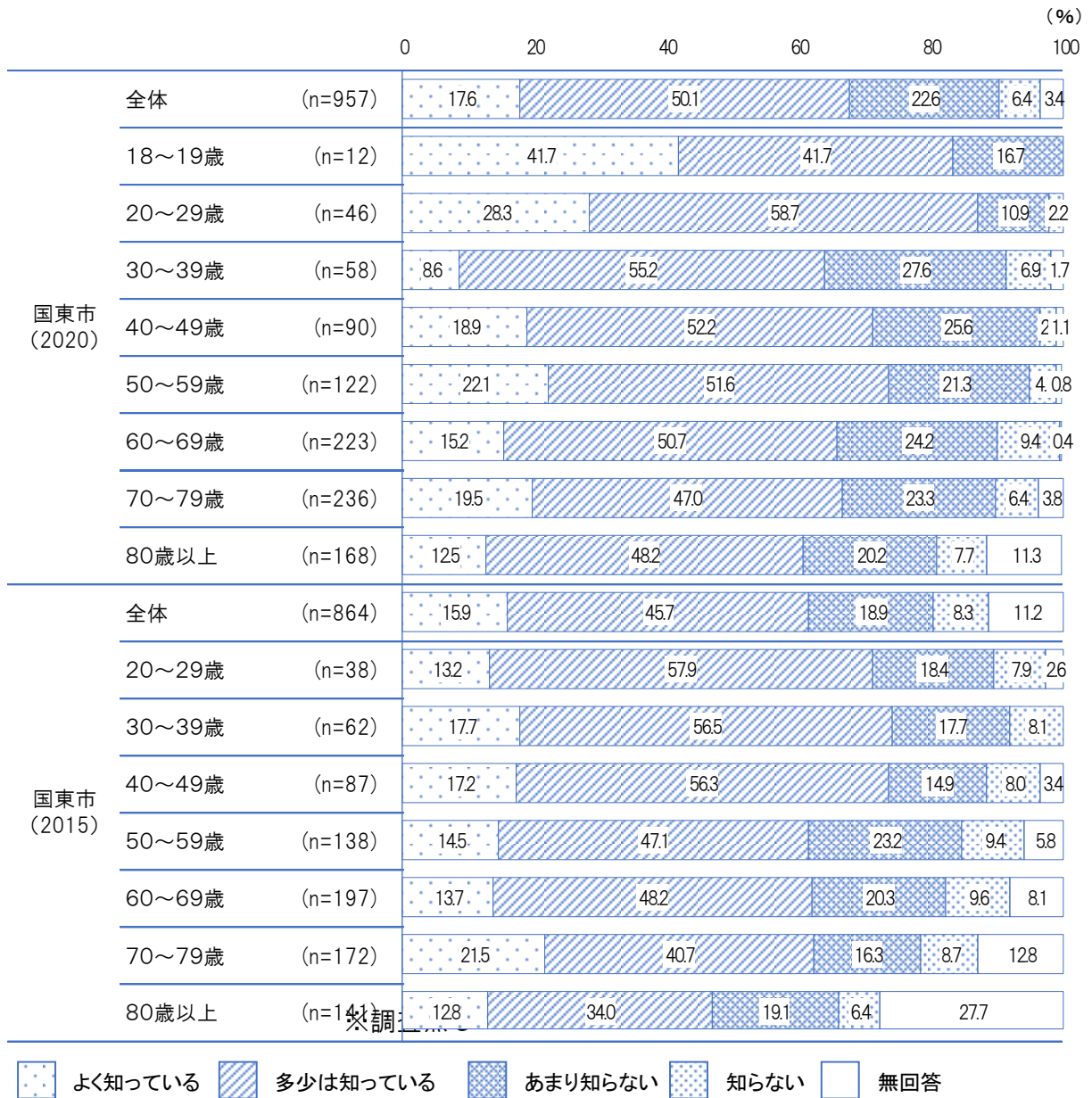
| 2020 調査結果 | よく知っている | 多少は知っ ている | あまり知らない | 知らない | 無回答 | 合計 |
|--------------|-------------|--------------|-------------|-----------|------------|------------|
| 18～19歳 | 5 41.7 | 5 41.7 | 2 16.7 | 0 0.0 | 0 0.0 | 12 100 |
| 20～29歳 | 13 28.3 | 27 58.7 | 5 10.9 | 1 2.2 | 0 0.0 | 46 100 |
| 30～39歳 | 5 8.6 | 32 55.2 | 16 27.6 | 4 6.9 | 1 1.7 | 58 100 |
| 40～49歳 | 17 18.9 | 47 52.2 | 23 25.6 | 2 2.2 | 1 1.1 | 90 100 |
| 50～59歳 | 27 22.1 | 63 51.6 | 26 21.3 | 5 4.1 | 1 0.8 | 122 100 |
| 60～69歳 | 34 15.2 | 113 50.7 | 54 24.2 | 21 9.4 | 1 0.4 | 223 100 |
| 70～79歳 | 46 19.5 | 111 47.0 | 55 23.3 | 15 6.4 | 9 3.8 | 236 100 |
| 80歳以上 | 21 12.5 | 81 48.2 | 34 20.2 | 13 7.7 | 19 11.3 | 168 100 |
| 無回答 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 2 100 |
| 全体 | 168 17.6 | 479 50.1 | 216 22.6 | 61 6.4 | 33 3.4 | 957 100 |

【全体】



- 市全体では、日本国憲法(昭和22年)について「知っている(よく知っている+多少は知っている)」の割合が67.7%と最も高くなっています。
- 2015調査と比較すると市全体では、「知っている(よく知っている+多少は知っている)」の割合が6.1%増加しています。大分県2018調査との比較では、「知っている(よく知っている+多少は知っている)」の割合が大分県より11.2%増加しています。

【年代別】



◆年代別では、「知っている(よく知っている+多少は知っている)」の割合が最も高いのは20～29歳で 87.0%、次いで18～19歳(83.4%)、50～59歳(73.7%)となっています。

◆2015調査と比較すると年代別では、「知っている(よく知っている+多少は知っている)」の割合が最も増加したのは20～29歳で 15.9 ㊦、次いで80歳以上(13.9 ㊦)、50～59歳(12.1 ㊦)となっています。

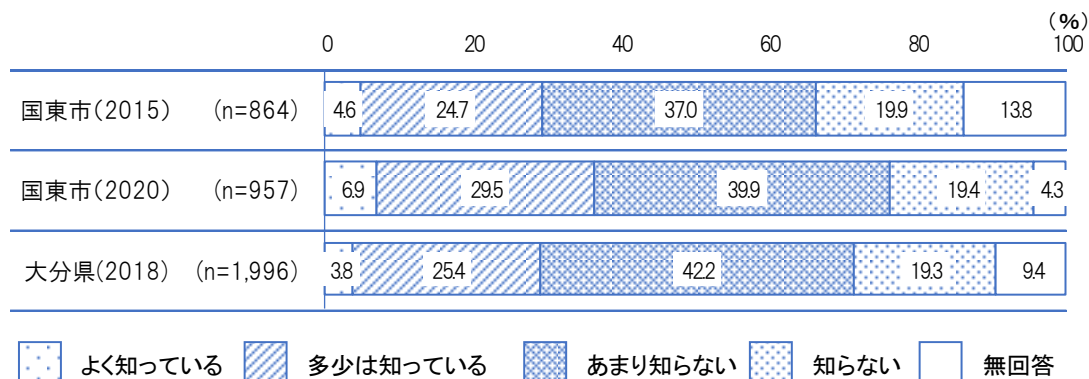
【問39-イ. 世界人権宣言(昭和23年)】

SA

上段:人数 下段:割合

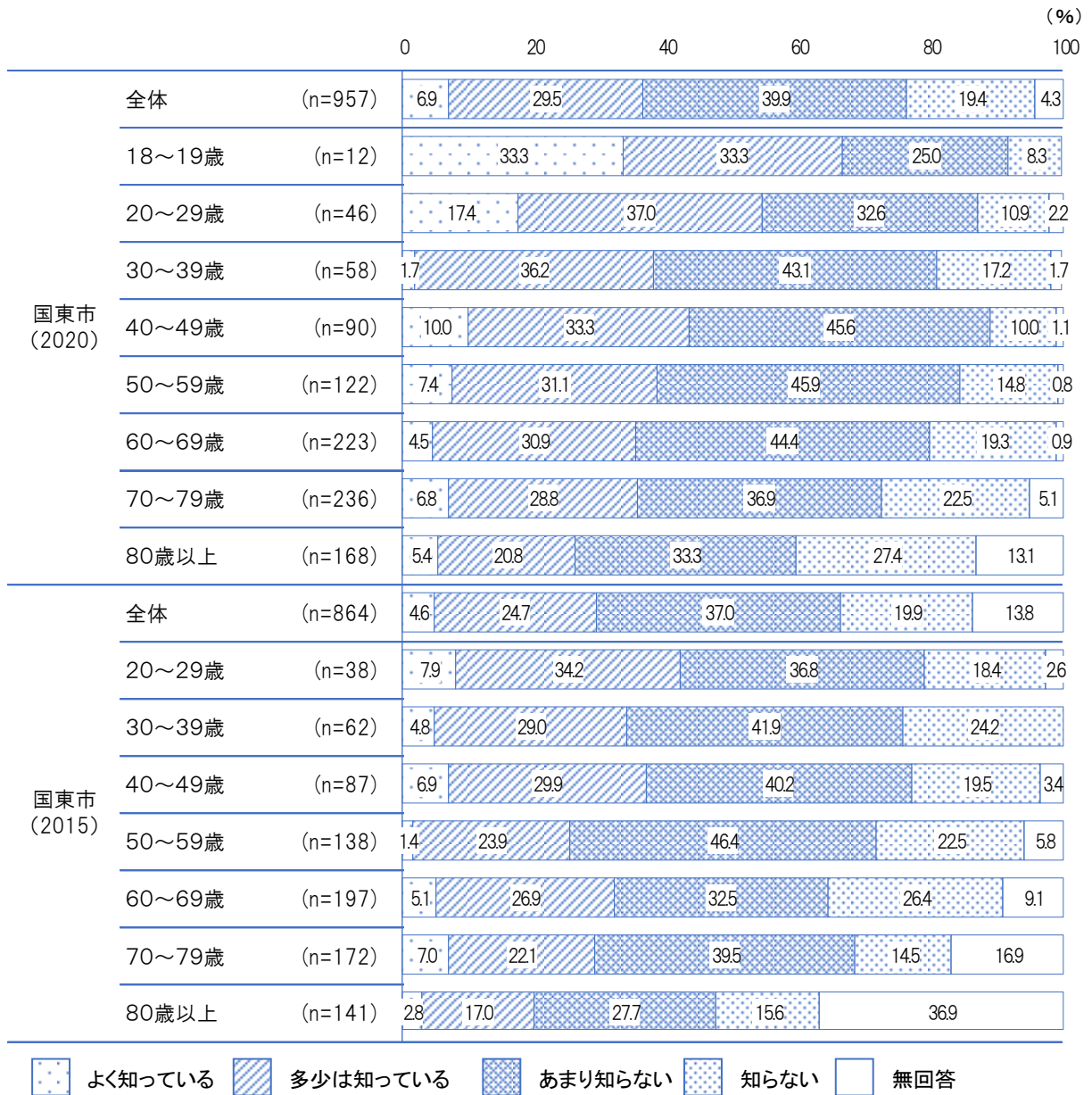
| 2020 調査結果 | よく知っている | 多少は知っ ている | あまり知らない | 知らない | 無回答 | 合計 |
|--------------|-----------|--------------|-------------|-------------|------------|------------|
| 18～19歳 | 4 33.3 | 4 33.3 | 3 25.0 | 1 8.3 | 0 0.0 | 12 100 |
| 20～29歳 | 8 17.4 | 17 37.0 | 15 32.6 | 5 10.9 | 1 2.2 | 46 100 |
| 30～39歳 | 1 1.7 | 21 36.2 | 25 43.1 | 10 17.2 | 1 1.7 | 58 100 |
| 40～49歳 | 9 10.0 | 30 33.3 | 41 45.6 | 9 10.0 | 1 1.1 | 90 100 |
| 50～59歳 | 9 7.4 | 38 31.1 | 56 45.9 | 18 14.8 | 1 0.8 | 122 100 |
| 60～69歳 | 10 4.5 | 69 30.9 | 99 44.4 | 43 19.3 | 2 0.9 | 223 100 |
| 70～79歳 | 16 6.8 | 68 28.8 | 87 36.9 | 53 22.5 | 12 5.1 | 236 100 |
| 80歳以上 | 9 5.4 | 35 20.8 | 56 33.3 | 46 27.4 | 22 13.1 | 168 100 |
| 無回答 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 1 50.0 | 2 100 |
| 全体 | 66 6.9 | 282 29.5 | 382 39.9 | 186 19.4 | 41 4.3 | 957 100 |

【全体】



- 市全体では、世界人権宣言(昭和23年)について「知らない(あまり知らない+知らない)」の割合が59.3%と最も高くなっています。
- 2015調査と比較すると市全体では、「知らない(あまり知らない+知らない)」の割合が2.4%増加しています。大分県2018調査との比較では、「知らない(あまり知らない+知らない)」の割合が大分県より2.2%減少しています。

【年代別】



◆年代別では、「知らない(あまり知らない+知らない)」の割合が最も高いのは60~69歳で63.7%、次いで50~59歳(60.7%)、80歳以上(60.7%)となっています。

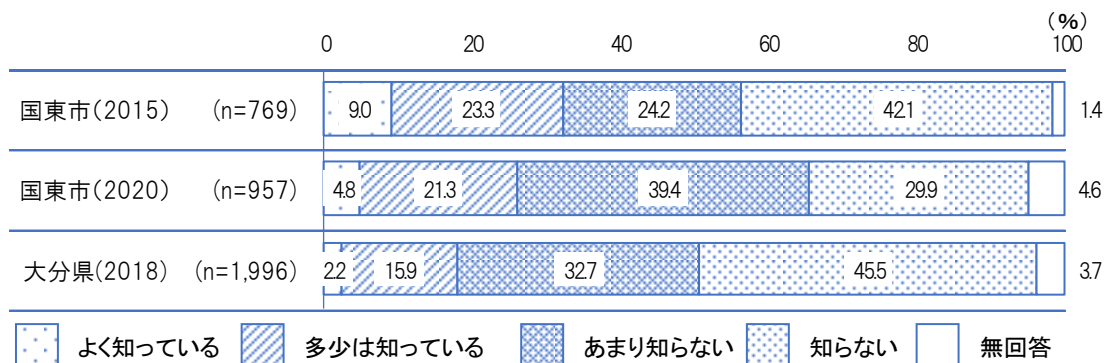
◆2015調査と比較すると年代別では、「知らない(あまり知らない+知らない)」の割合が最も増加したのは80歳以上で17.4ポイント、次いで70~79歳(5.4ポイント)、60~69歳(4.8ポイント)となっています。

【問39-ウ. 同和対策審議会答申(昭和40年)】

SA 上段:人数 下段:割合

| 2020 調査結果 | よく知っている | 多少は知っ ている | あまり知らない | 知らない | 無回答 | 合計 |
|--------------|---------|--------------|---------|------|------|-----|
| 18～19歳 | 0 | 1 | 4 | 7 | 0 | 12 |
| | 0.0 | 8.3 | 33.3 | 58.3 | 0.0 | 100 |
| 20～29歳 | 0 | 6 | 20 | 20 | 0 | 46 |
| | 0.0 | 13.0 | 43.5 | 43.5 | 0.0 | 100 |
| 30～39歳 | 1 | 9 | 24 | 23 | 1 | 58 |
| | 1.7 | 15.5 | 41.4 | 39.7 | 1.7 | 100 |
| 40～49歳 | 1 | 15 | 42 | 31 | 1 | 90 |
| | 1.1 | 16.7 | 46.7 | 34.4 | 1.1 | 100 |
| 50～59歳 | 7 | 16 | 57 | 41 | 1 | 122 |
| | 5.7 | 13.1 | 46.7 | 33.6 | 0.8 | 100 |
| 60～69歳 | 10 | 55 | 86 | 67 | 5 | 223 |
| | 4.5 | 24.7 | 38.6 | 30.0 | 2.2 | 100 |
| 70～79歳 | 15 | 63 | 95 | 51 | 12 | 236 |
| | 6.4 | 26.7 | 40.3 | 21.6 | 5.1 | 100 |
| 80歳以上 | 12 | 39 | 48 | 46 | 23 | 168 |
| | 7.1 | 23.2 | 28.6 | 27.4 | 13.7 | 100 |
| 無回答 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 2 |
| | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 50.0 | 100 |
| 全体 | 46 | 204 | 377 | 286 | 44 | 957 |
| | 4.8 | 21.3 | 39.4 | 29.9 | 4.6 | 100 |

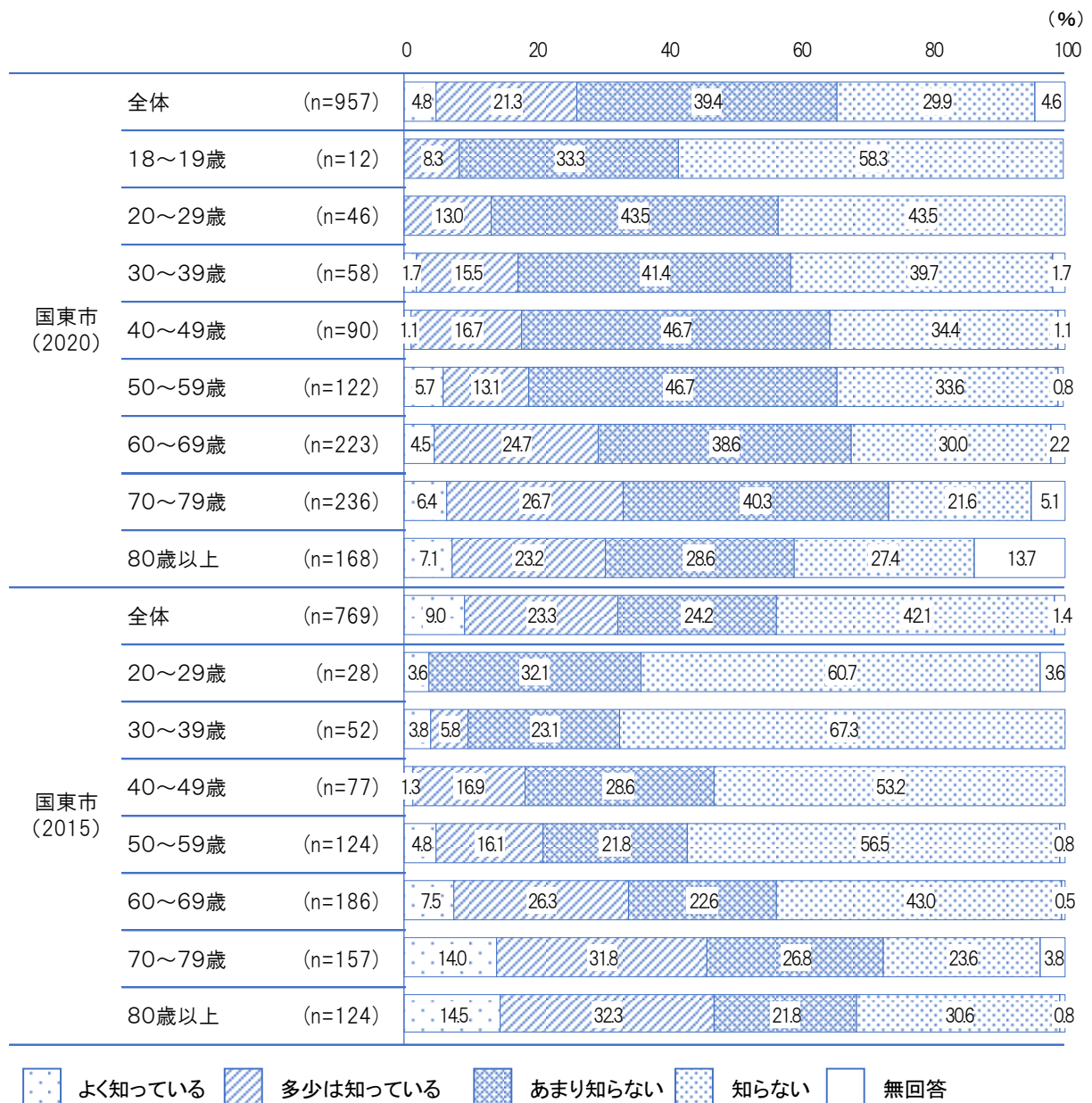
【全体】



■市全体では、同和対策審議会答申(昭和40年)について「知らない(あまり知らない+知らない)」の割合が69.3%と最も高くなっています。

■2015調査と比較すると市全体では、「知らない(あまり知らない+知らない)」の割合が3.0%増加しています。大分県2018調査との比較では、「知らない(あまり知らない+知らない)」の割合が大分県より8.9%減少しています。

【年代別】



◆年代別では、「知らない(あまり知らない+知らない)」の割合が最も高いのは18～19歳で 91.6%、次いで20～29歳(87.0%)、30～39歳(81.1%)となっています。

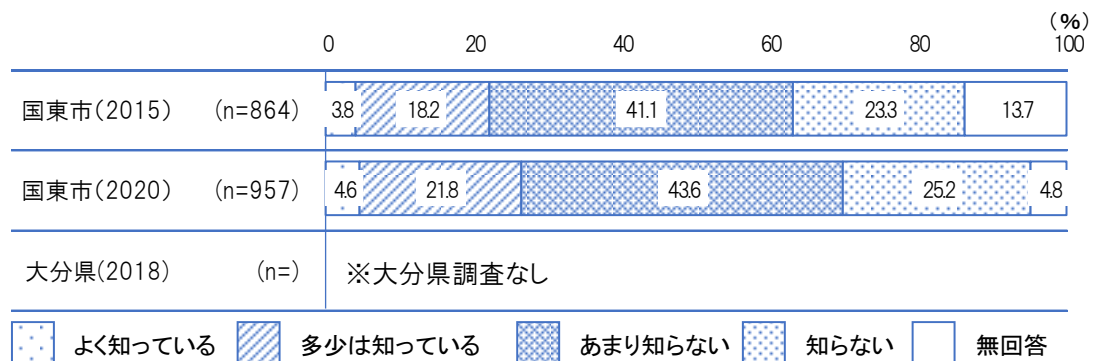
◆2015調査と比較すると年代別では、「知らない(あまり知らない+知らない)」の割合が最も増加したのは70～79歳で 11.5 ㊦、次いで80歳以上(3.6 ㊦)、60～69歳(3.0 ㊦)となっています。

【問39-エ. 障害者基本法(昭和45年)】

SA 上段:人数 下段:割合

| 2020 調査結果 | よく知っている | 多少は知っ ている | あまり知らない | 知らない | 無回答 | 合計 |
|--------------|-----------|--------------|-------------|-------------|------------|------------|
| 18～19歳 | 4 33.3 | 3 25.0 | 3 25.0 | 2 16.7 | 0 0.0 | 12 100 |
| 20～29歳 | 1 2.2 | 14 30.4 | 18 39.1 | 13 28.3 | 0 0.0 | 46 100 |
| 30～39歳 | 1 1.7 | 13 22.4 | 24 41.4 | 19 32.8 | 1 1.7 | 58 100 |
| 40～49歳 | 4 4.4 | 20 22.2 | 47 52.2 | 18 20.0 | 1 1.1 | 90 100 |
| 50～59歳 | 8 6.6 | 23 18.9 | 60 49.2 | 30 24.6 | 1 0.8 | 122 100 |
| 60～69歳 | 7 3.1 | 51 22.9 | 99 44.4 | 62 27.8 | 4 1.8 | 223 100 |
| 70～79歳 | 13 5.5 | 51 21.6 | 111 47.0 | 48 20.3 | 13 5.5 | 236 100 |
| 80歳以上 | 6 3.6 | 34 20.2 | 54 32.1 | 49 29.2 | 25 14.9 | 168 100 |
| 無回答 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 2 100 |
| 全体 | 44 4.6 | 209 21.8 | 417 43.6 | 241 25.2 | 46 4.8 | 957 100 |

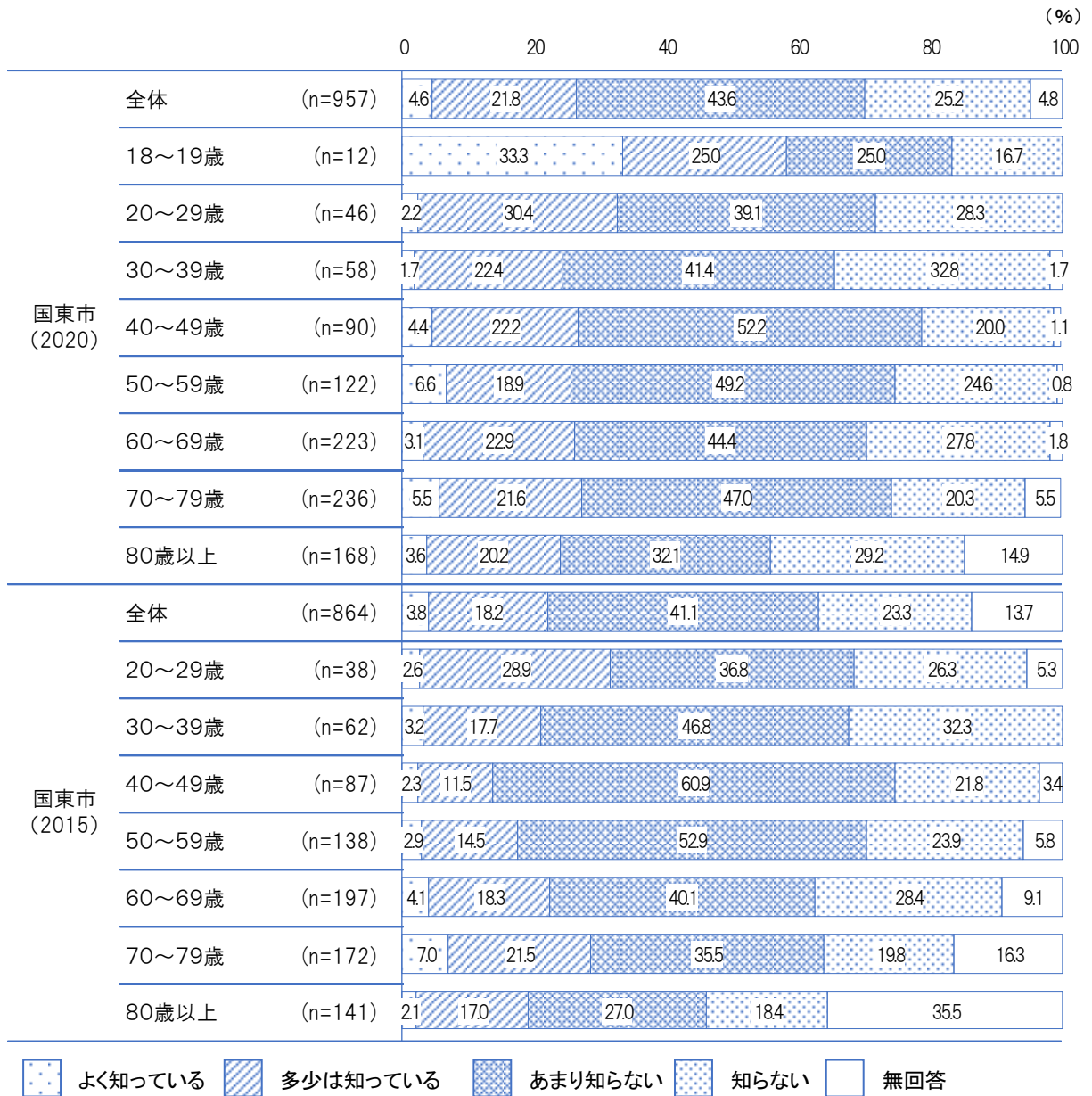
【全体】



■市全体では、障害者基本法(昭和45年)について「知らない(あまり知らない+知らない)」の割合が68.8%と最も高くなっています。

■2015調査と比較すると市全体では、「知らない(あまり知らない+知らない)」の割合が4.4%増加しています。大分県2018調査との比較はありません。

【年代別】



◆年代別では、「知らない(あまり知らない+知らない)」の割合が最も高いのは30～39歳で 74.2%、次いで50～59歳(73.8%)、40～49歳(72.2%)となっています。

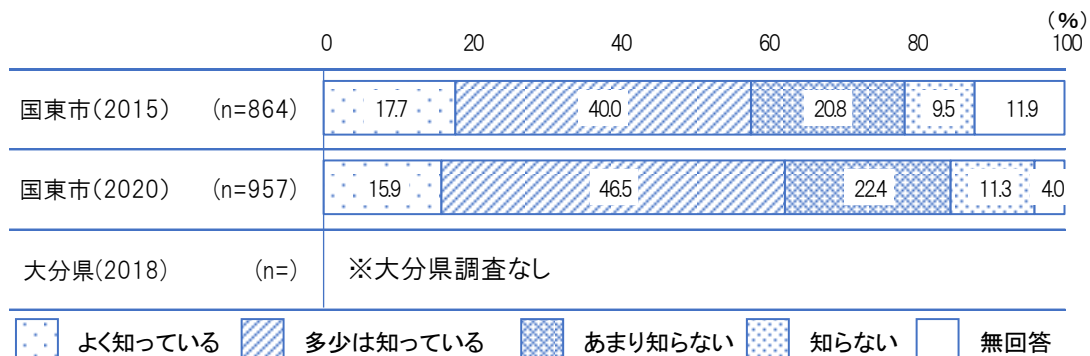
◆2015調査と比較すると年代別では、「知らない(あまり知らない+知らない)」の割合が最も増加したのは80歳以上で 15.9 ㊦、次いで70～79歳(12.0 ㊦)、20～29歳(4.3 ㊦)となっています。

【問39-オ. 男女雇用機会均等法(昭和61年)】

SA 上段:人数 下段:割合

| 2020 調査結果 | よく知っている | 多少は知っ ている | あまり知らない | 知らない | 無回答 | 合計 |
|--------------|-------------|--------------|-------------|-------------|------------|------------|
| 18～19歳 | 4 33.3 | 6 50.0 | 1 8.3 | 1 8.3 | 0 0.0 | 12 100 |
| 20～29歳 | 10 21.7 | 28 60.9 | 5 10.9 | 3 6.5 | 0 0.0 | 46 100 |
| 30～39歳 | 10 17.2 | 24 41.4 | 14 24.1 | 9 15.5 | 1 1.7 | 58 100 |
| 40～49歳 | 14 15.6 | 50 55.6 | 20 22.2 | 5 5.6 | 1 1.1 | 90 100 |
| 50～59歳 | 20 16.4 | 68 55.7 | 23 18.9 | 10 8.2 | 1 0.8 | 122 100 |
| 60～69歳 | 34 15.2 | 106 47.5 | 51 22.9 | 31 13.9 | 1 0.4 | 223 100 |
| 70～79歳 | 42 17.8 | 108 45.8 | 56 23.7 | 20 8.5 | 10 4.2 | 236 100 |
| 80歳以上 | 18 10.7 | 55 32.7 | 44 26.2 | 29 17.3 | 22 13.1 | 168 100 |
| 無回答 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 100.0 | 2 100 |
| 全体 | 152 15.9 | 445 46.5 | 214 22.4 | 108 11.3 | 38 4.0 | 957 100 |

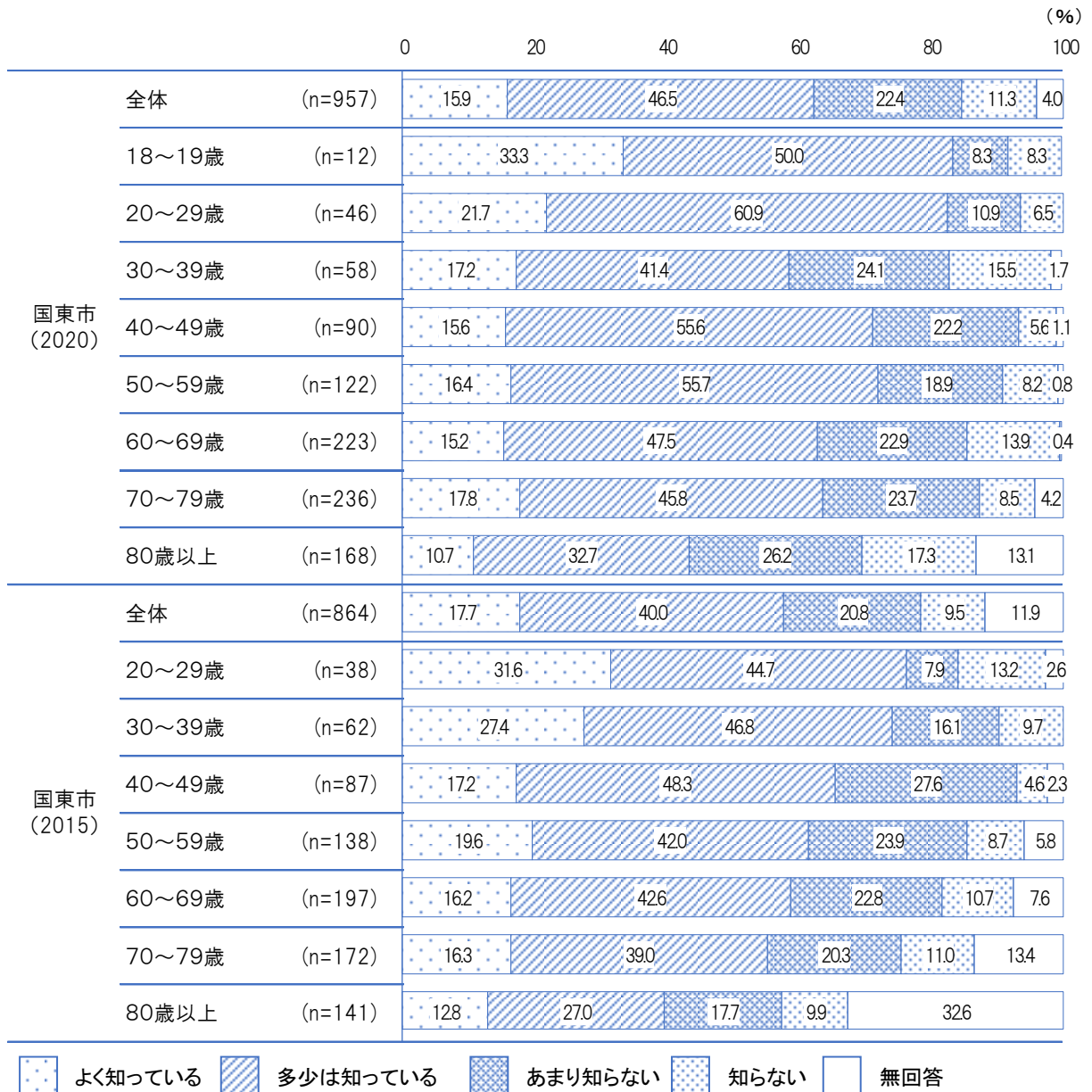
【全体】



■市全体では、男女雇用機会均等法(昭和61年)について「知っている(よく知っている+多少は知っている)」の割合が62.4%と最も高くなっています。

■2015調査と比較すると市全体では、「知っている(よく知っている+多少は知っている)」の割合が4.6ポイント増加しています。大分県2018調査との比較はありません。

【年代別】



◆年代別では、「知っている(よく知っている+多少は知っている)」の割合が最も高いのは18~19歳で 83.3%、次いで20~29歳(82.6%)、50~59歳(72.1%)となっています。

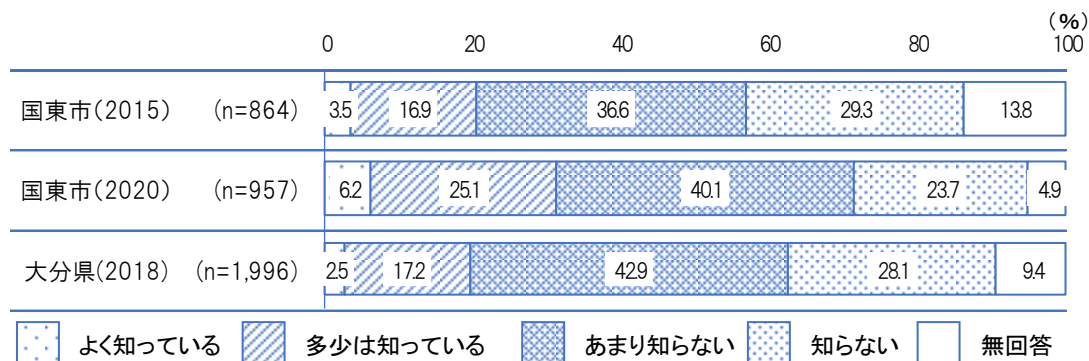
◆2015調査と比較すると年代別では、「知っている(よく知っている+多少は知っている)」の割合が最も増加したのは50~59歳で 10.5 ㊦、次いで70~79歳(8.3 ㊦)、20~29歳(6.3 ㊦)となっています。

【問39-カ. 人権教育啓発推進法(平成12年)】

SA 上段:人数 下段:割合

| 2020 調査結果 | よく知っている | 多少は知っ ている | あまり知らない | 知らない | 無回答 | 合計 |
|--------------|-----------|--------------|-------------|-------------|------------|------------|
| 18～19歳 | 1 8.3 | 4 33.3 | 2 16.7 | 5 41.7 | 0 0.0 | 12 100 |
| 20～29歳 | 1 2.2 | 10 21.7 | 21 45.7 | 13 28.3 | 1 2.2 | 46 100 |
| 30～39歳 | 3 5.2 | 12 20.7 | 22 37.9 | 20 34.5 | 1 1.7 | 58 100 |
| 40～49歳 | 5 5.6 | 18 20.0 | 44 48.9 | 22 24.4 | 1 1.1 | 90 100 |
| 50～59歳 | 7 5.7 | 29 23.8 | 61 50.0 | 23 18.9 | 2 1.6 | 122 100 |
| 60～69歳 | 16 7.2 | 60 26.9 | 91 40.8 | 52 23.3 | 4 1.8 | 223 100 |
| 70～79歳 | 16 6.8 | 77 32.6 | 84 35.6 | 47 19.9 | 12 5.1 | 236 100 |
| 80歳以上 | 10 6.0 | 30 17.9 | 58 34.5 | 45 26.8 | 25 14.9 | 168 100 |
| 無回答 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 2 100 |
| 全体 | 59 6.2 | 240 25.1 | 384 40.1 | 227 23.7 | 47 4.9 | 957 100 |

【全体】

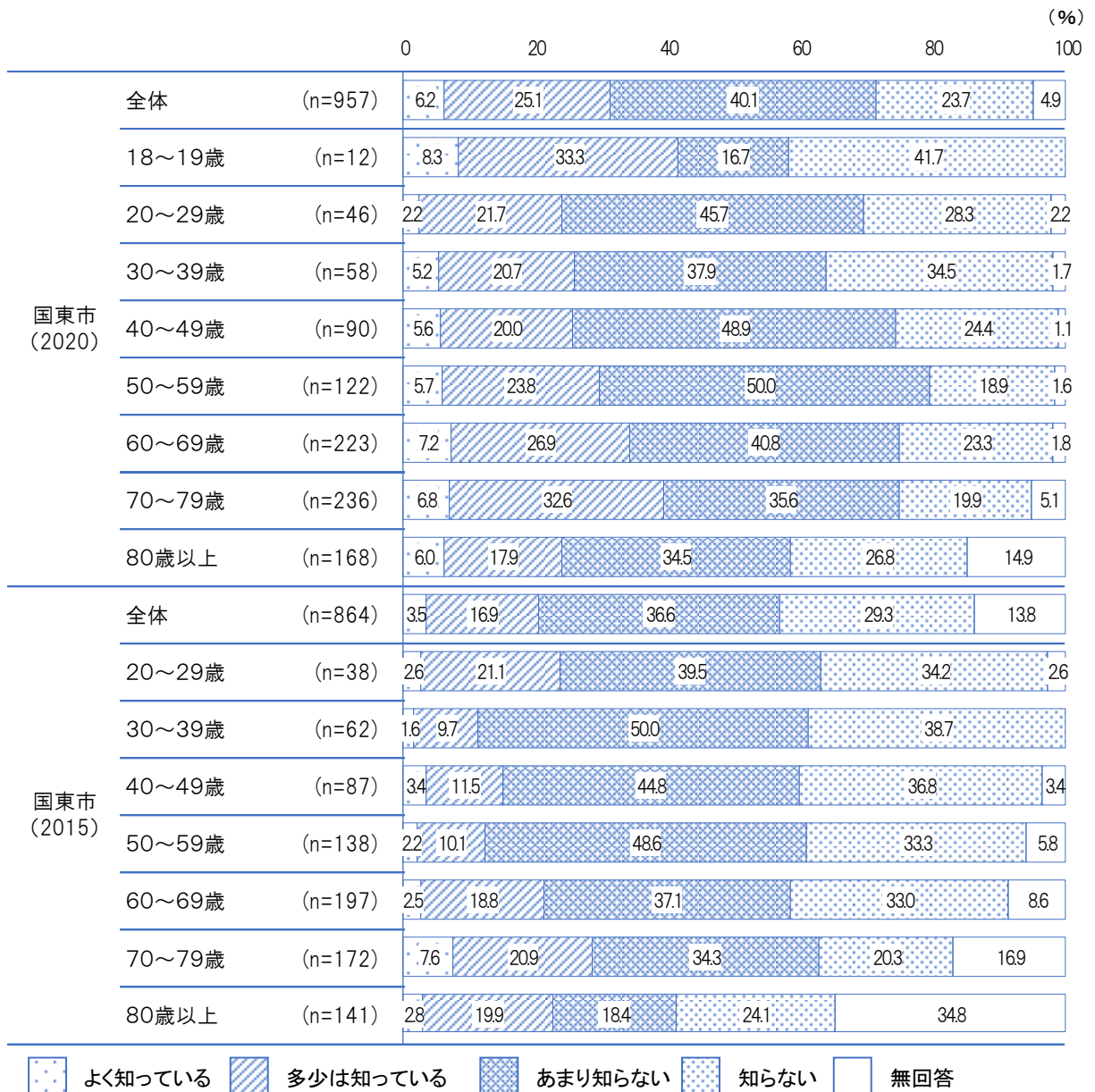


※大分県調査では「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」となっている。

■市全体では、人権教育啓発推進法(平成12年)について「知らない(あまり知らない+知らない)」の割合が63.8%と最も高くなっています。

■2015調査と比較すると市全体では、「知らない(あまり知らない+知らない)」の割合が2.1%減少しています。大分県2018調査との比較では、「知らない(あまり知らない+知らない)」の割合が大分県より7.2%減少しています。

【年代別】



◆年代別では、「知らない(あまり知らない+知らない)」の割合が最も高いのは20～29歳で 74.0%、次いで40～49歳(73.3%)、30～39歳(72.4%)となっています。

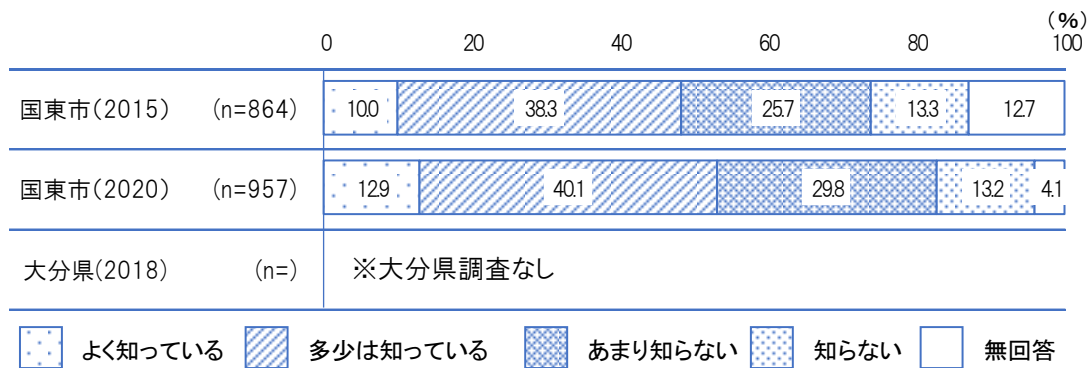
◆2015調査と比較すると年代別では、「知らない(あまり知らない+知らない)」の割合が最も増加したのは80歳以上で 18.8 ㊦、次いで70～79歳(0.9 ㊦)、20～29歳(0.3 ㊦)となっています。

【問39-キ. 児童虐待防止法(平成12年)】

SA 上段:人数 下段:割合

| 2020 調査結果 | よく知っている | 多少は知っ ている | あまり知らない | 知らない | 無回答 | 合計 |
|--------------|-------------|--------------|-------------|-------------|------------|------------|
| 18～19歳 | 3 25.0 | 4 33.3 | 3 25.0 | 2 16.7 | 0 0.0 | 12 100 |
| 20～29歳 | 7 15.2 | 19 41.3 | 16 34.8 | 4 8.7 | 0 0.0 | 46 100 |
| 30～39歳 | 5 8.6 | 29 50.0 | 13 22.4 | 10 17.2 | 1 1.7 | 58 100 |
| 40～49歳 | 16 17.8 | 43 47.8 | 22 24.4 | 8 8.9 | 1 1.1 | 90 100 |
| 50～59歳 | 14 11.5 | 52 42.6 | 45 36.9 | 10 8.2 | 1 0.8 | 122 100 |
| 60～69歳 | 25 11.2 | 89 39.9 | 72 32.3 | 34 15.2 | 3 1.3 | 223 100 |
| 70～79歳 | 38 16.1 | 93 39.4 | 70 29.7 | 24 10.2 | 11 4.7 | 236 100 |
| 80歳以上 | 15 8.9 | 55 32.7 | 43 25.6 | 34 20.2 | 21 12.5 | 168 100 |
| 無回答 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 2 100 |
| 全体 | 123 12.9 | 384 40.1 | 285 29.8 | 126 13.2 | 39 4.1 | 957 100 |

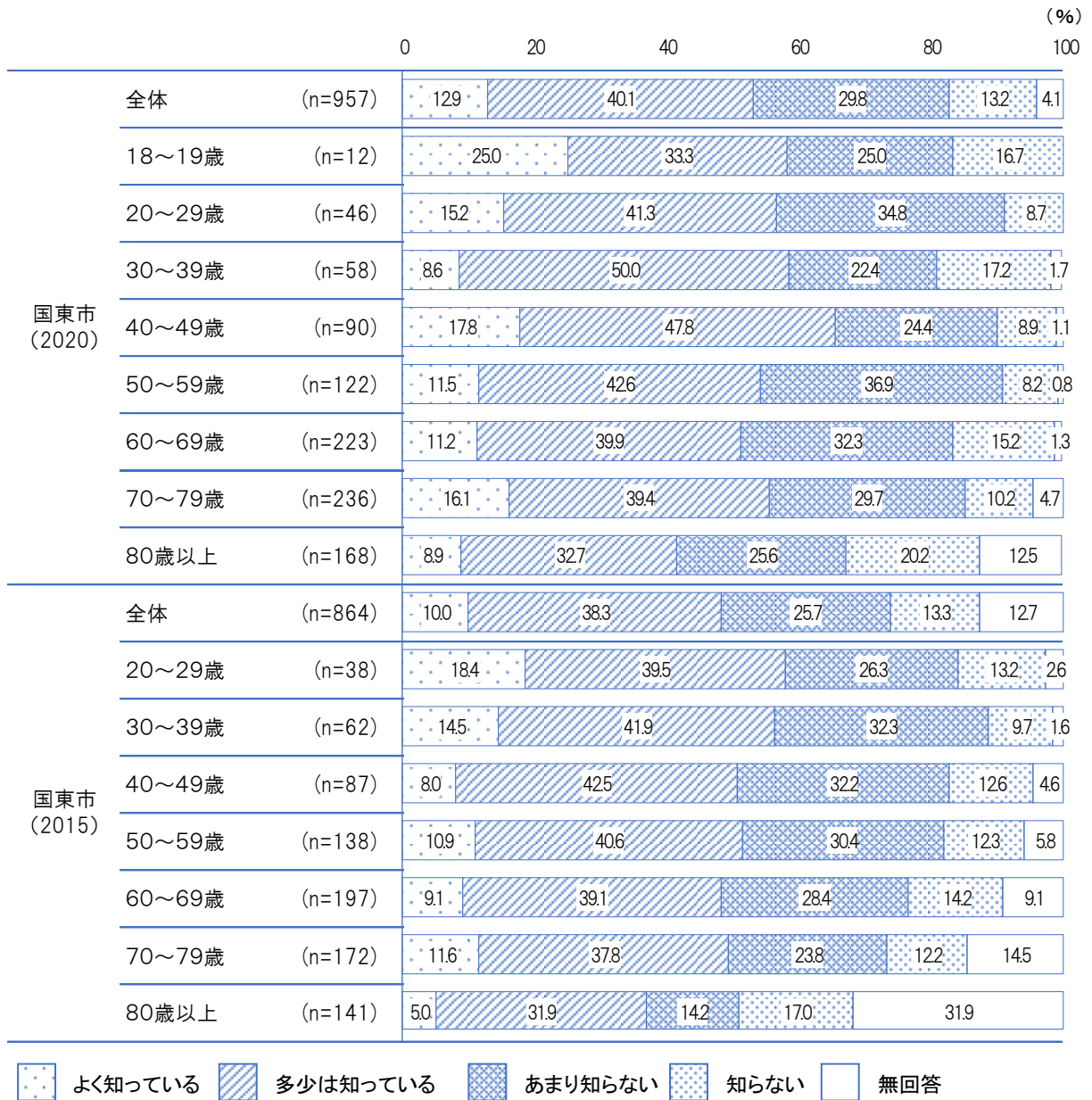
【全体】



■市全体では、児童虐待防止法(平成12年)について「知っている(よく知っている+多少は知っている)」の割合が53.0%と最も高くなっています。

■2015調査と比較すると市全体では、「知っている(よく知っている+多少は知っている)」の割合が4.7ポイント増加しています。大分県2018調査との比較はありません。

【年代別】



◆年代別では、「知っている(よく知っている+多少は知っている)」の割合が最も高いのは40~49歳で 65.6%、次いで30~39歳(58.6%)、18~19歳(58.3%)となっています。

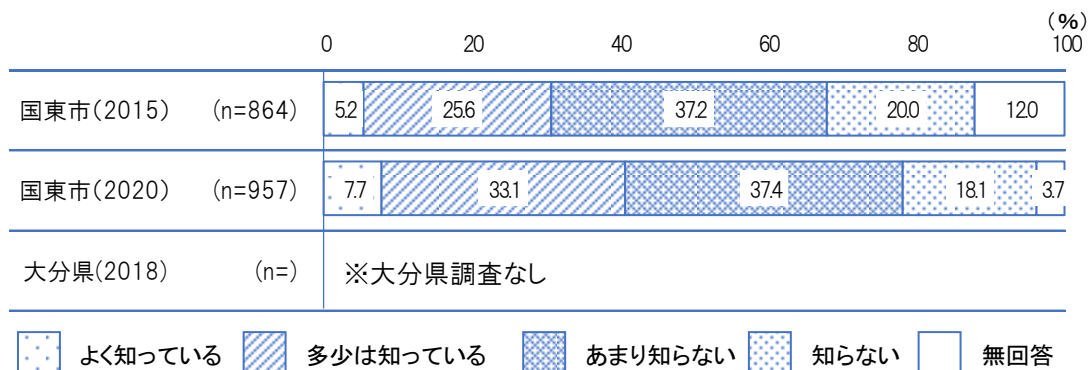
◆2015調査と比較すると年代別では、「知っている(よく知っている+多少は知っている)」の割合が最も増加したのは40~49歳で 15.1 ㊦、次いで70~79歳(6.1 ㊦)、80歳以上(4.7 ㊦)となっています。

【問39-ク. 高齢者虐待防止法(平成18年)】

SA 上段:人数 下段:割合

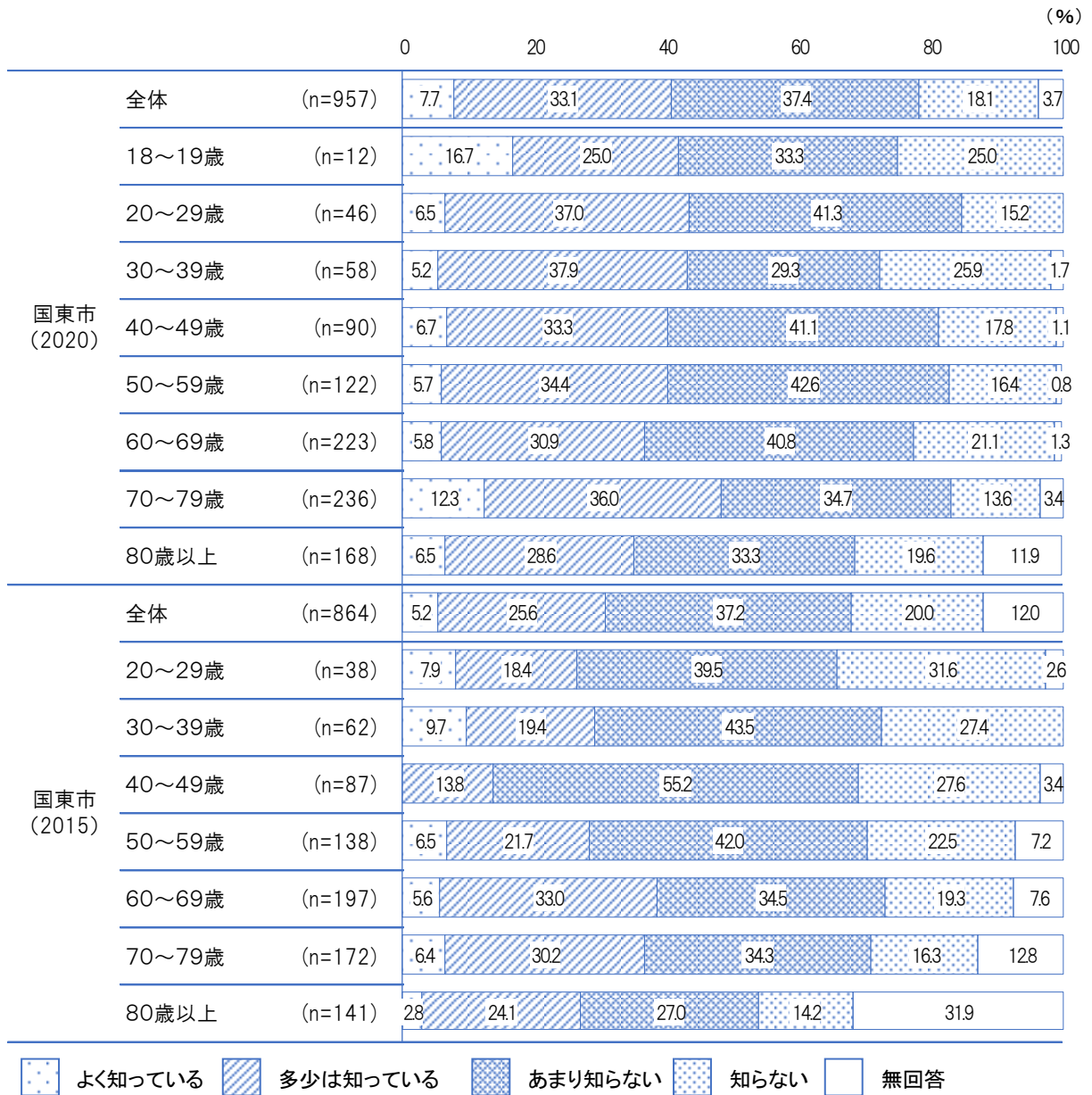
| 2020 調査結果 | よく知っている | 多少は知っ ている | あまり知らない | 知らない | 無回答 | 合計 |
|--------------|------------|--------------|-------------|-------------|------------|------------|
| 18～19歳 | 2 16.7 | 3 25.0 | 4 33.3 | 3 25.0 | 0 0.0 | 12 100 |
| 20～29歳 | 3 6.5 | 17 37.0 | 19 41.3 | 7 15.2 | 0 0.0 | 46 100 |
| 30～39歳 | 3 5.2 | 22 37.9 | 17 29.3 | 15 25.9 | 1 1.7 | 58 100 |
| 40～49歳 | 6 6.7 | 30 33.3 | 37 41.1 | 16 17.8 | 1 1.1 | 90 100 |
| 50～59歳 | 7 5.7 | 42 34.4 | 52 42.6 | 20 16.4 | 1 0.8 | 122 100 |
| 60～69歳 | 13 5.8 | 69 30.9 | 91 40.8 | 47 21.1 | 3 1.3 | 223 100 |
| 70～79歳 | 29 12.3 | 85 36.0 | 82 34.7 | 32 13.6 | 8 3.4 | 236 100 |
| 80歳以上 | 11 6.5 | 48 28.6 | 56 33.3 | 33 19.6 | 20 11.9 | 168 100 |
| 無回答 | 0 0.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 2 100 |
| 全体 | 74 7.7 | 317 33.1 | 358 37.4 | 173 18.1 | 35 3.7 | 957 100 |

【全体】



- 市全体では、高齢者虐待防止法(平成18年)について「知らない(あまり知らない+知らない)」の割合が55.5%と最も高くなっています。
- 2015調査と比較すると市全体では、「知らない(あまり知らない+知らない)」の割合が1.7%減少しています。大分県2018調査との比較はありません。

【年代別】



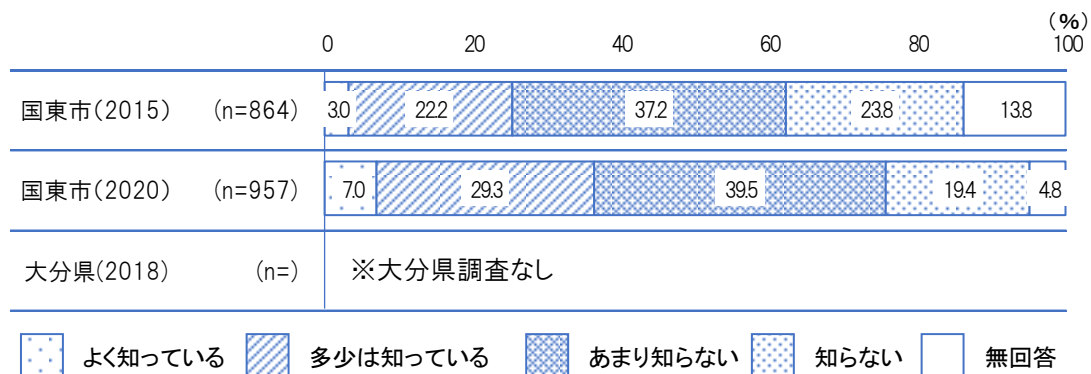
◆年代別では、「知らない(あまり知らない+知らない)」の割合が最も高いのは60～69歳で 61.9%、次いで50～59歳(59.0%)、40～49歳(58.9%)となっています。

◆2015調査と比較すると年代別では、「知らない(あまり知らない+知らない)」の割合が最も増加したのは80歳以上で11.7ポイント、次いで60～69歳(8.1ポイント)となっています。

【問39-ケ. 障害者虐待防止法(平成24年)】

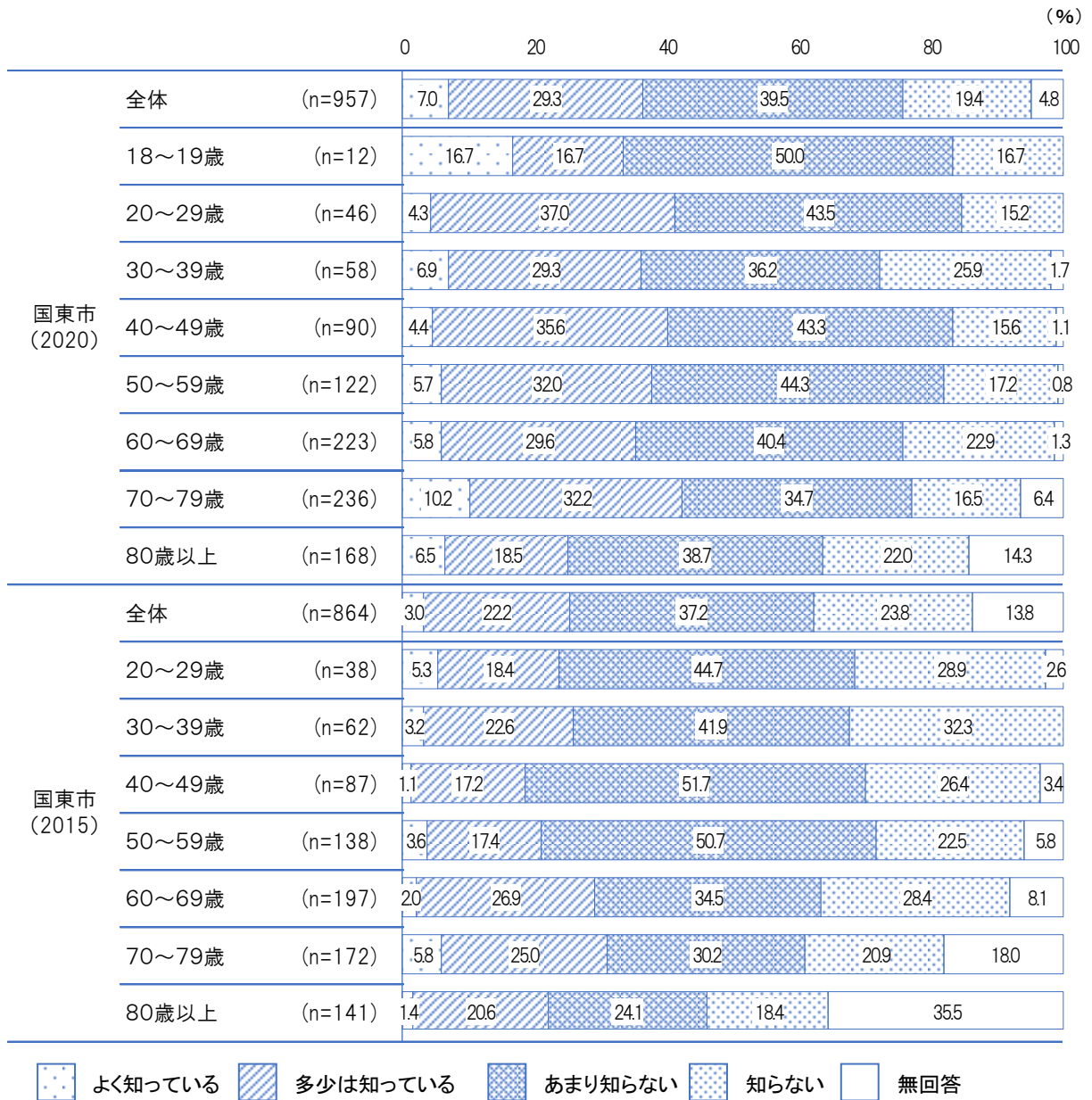
| 2020 調査結果 | 上段:人数 下段:割合 | | | | | 合計 |
|--------------|-------------|--------------|-------------|-------------|------------|------------|
| | よく知っている | 多少は知っ ている | あまり知らない | 知らない | 無回答 | |
| 18～19歳 | 2 16.7 | 2 16.7 | 6 50.0 | 2 16.7 | 0 0.0 | 12 100 |
| 20～29歳 | 2 4.3 | 17 37.0 | 20 43.5 | 7 15.2 | 0 0.0 | 46 100 |
| 30～39歳 | 4 6.9 | 17 29.3 | 21 36.2 | 15 25.9 | 1 1.7 | 58 100 |
| 40～49歳 | 4 4.4 | 32 35.6 | 39 43.3 | 14 15.6 | 1 1.1 | 90 100 |
| 50～59歳 | 7 5.7 | 39 32.0 | 54 44.3 | 21 17.2 | 1 0.8 | 122 100 |
| 60～69歳 | 13 5.8 | 66 29.6 | 90 40.4 | 51 22.9 | 3 1.3 | 223 100 |
| 70～79歳 | 24 10.2 | 76 32.2 | 82 34.7 | 39 16.5 | 15 6.4 | 236 100 |
| 80歳以上 | 11 6.5 | 31 18.5 | 65 38.7 | 37 22.0 | 24 14.3 | 168 100 |
| 無回答 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 2 100 |
| 全体 | 67 7.0 | 280 29.3 | 378 39.5 | 186 19.4 | 46 4.8 | 957 100 |

【全体】



- 市全体では、障害者虐待防止法(平成24年)について「知らない(あまり知らない+知らない)」の割合が58.9%と最も高くなっています。
- 2015調査と比較すると市全体では、「知らない(あまり知らない+知らない)」の割合が 2.1 ㊦減少しています。大分県2018調査との比較はありません。

【年代別】



◆年代別では、「知らない(あまり知らない+知らない)」の割合が最も高いのは18～19歳で66.7%、次いで60～69歳(63.3%)、30～39歳(62.1%)となっています。

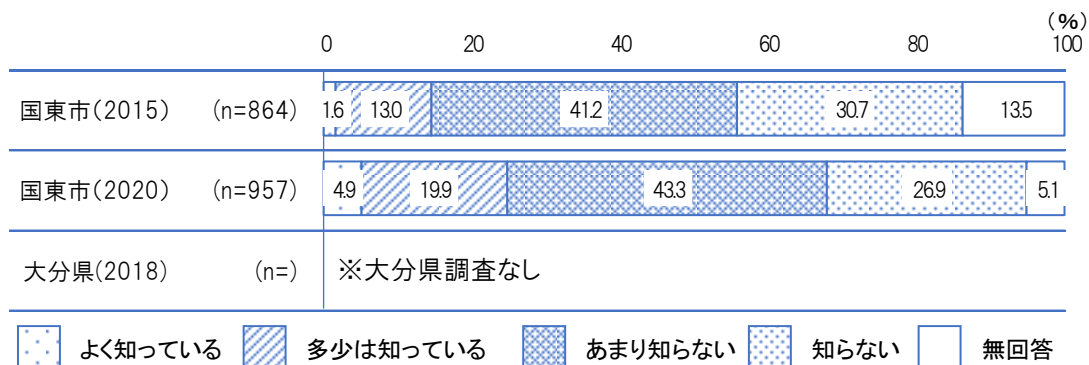
◆2015調査と比較すると年代別では、「知らない(あまり知らない+知らない)」の割合が最も増加したのは80歳以上で18.2ポイント、次いで60～69歳(0.4ポイント)となっています。

【問39-コ. 障害者差別解消法(平成28年)】

SA 上段:人数 下段:割合

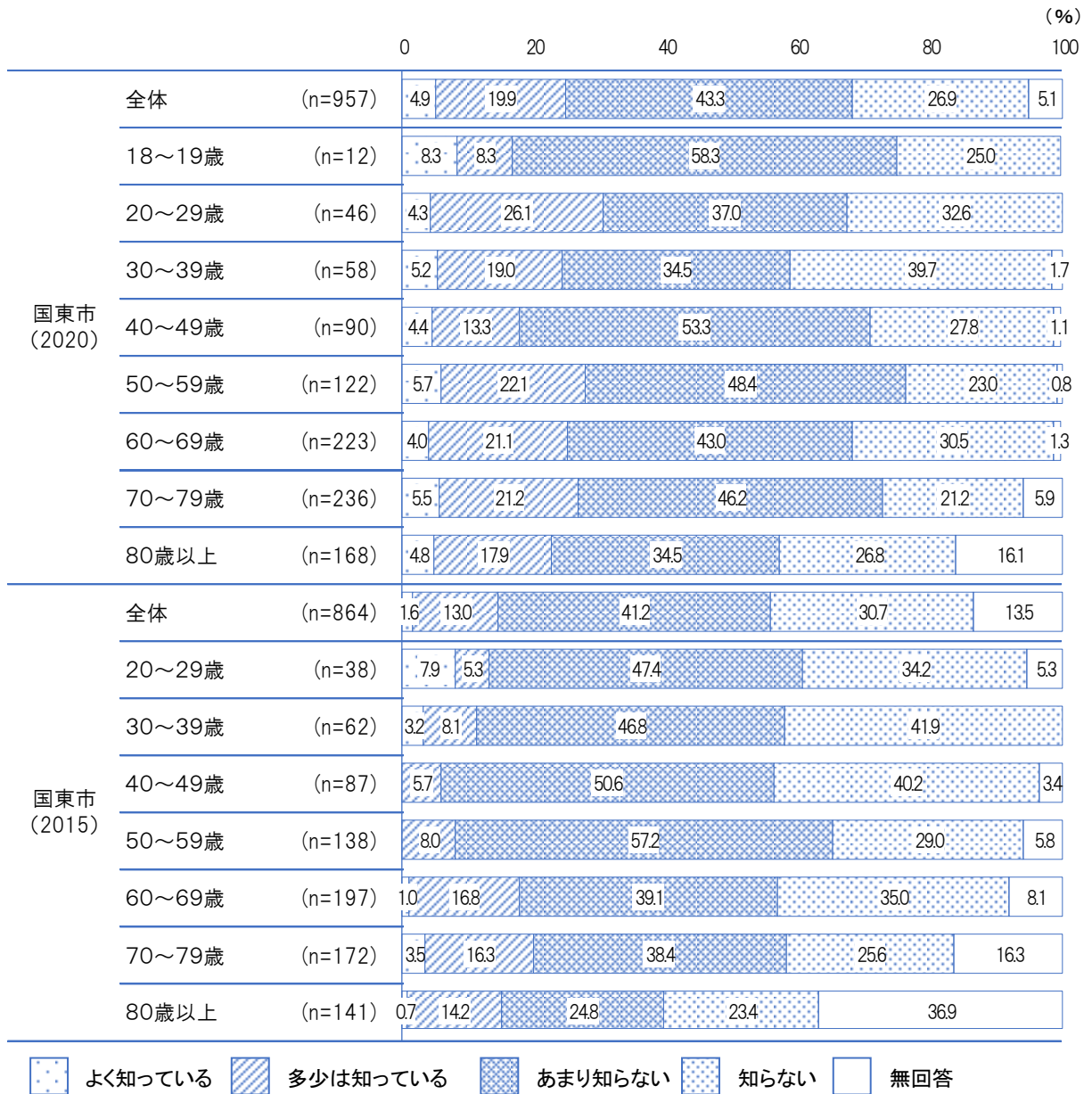
| 2020 調査結果 | よく知っている | 多少は知っ ている | あまり知らない | 知らない | 無回答 | 合計 |
|--------------|---------|--------------|---------|------|-------|-----|
| 18～19歳 | 1 | 1 | 7 | 3 | 0 | 12 |
| | 8.3 | 8.3 | 58.3 | 25.0 | 0.0 | 100 |
| 20～29歳 | 2 | 12 | 17 | 15 | 0 | 46 |
| | 4.3 | 26.1 | 37.0 | 32.6 | 0.0 | 100 |
| 30～39歳 | 3 | 11 | 20 | 23 | 1 | 58 |
| | 5.2 | 19.0 | 34.5 | 39.7 | 1.7 | 100 |
| 40～49歳 | 4 | 12 | 48 | 25 | 1 | 90 |
| | 4.4 | 13.3 | 53.3 | 27.8 | 1.1 | 100 |
| 50～59歳 | 7 | 27 | 59 | 28 | 1 | 122 |
| | 5.7 | 22.1 | 48.4 | 23.0 | 0.8 | 100 |
| 60～69歳 | 9 | 47 | 96 | 68 | 3 | 223 |
| | 4.0 | 21.1 | 43.0 | 30.5 | 1.3 | 100 |
| 70～79歳 | 13 | 50 | 109 | 50 | 14 | 236 |
| | 5.5 | 21.2 | 46.2 | 21.2 | 5.9 | 100 |
| 80歳以上 | 8 | 30 | 58 | 45 | 27 | 168 |
| | 4.8 | 17.9 | 34.5 | 26.8 | 16.1 | 100 |
| 無回答 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 |
| | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 100 |
| 全体 | 47 | 190 | 414 | 257 | 49 | 957 |
| | 4.9 | 19.9 | 43.3 | 26.9 | 5.1 | 100 |

【全体】



- 市全体では、障害者差別解消法(平成28年)について「知らない(あまり知らない+知らない)」の割合が70.2%と最も高くなっています。
- 2015調査と比較すると市全体では、「知らない(あまり知らない+知らない)」の割合が1.7%減少しています。大分県2018調査との比較はありません。

【年代別】



◆年代別では、「知らない(あまり知らない+知らない)」の割合が最も高いのは18～19歳で 83.3%、次いで40～49歳(81.1%)、30～39歳(74.2%)となっています。

◆2015調査と比較すると年代別では、「知らない(あまり知らない+知らない)」の割合が最も増加したのは80歳以上で 13.1 ㊦、次いで70～79歳(3.4 ㊦)となっています。

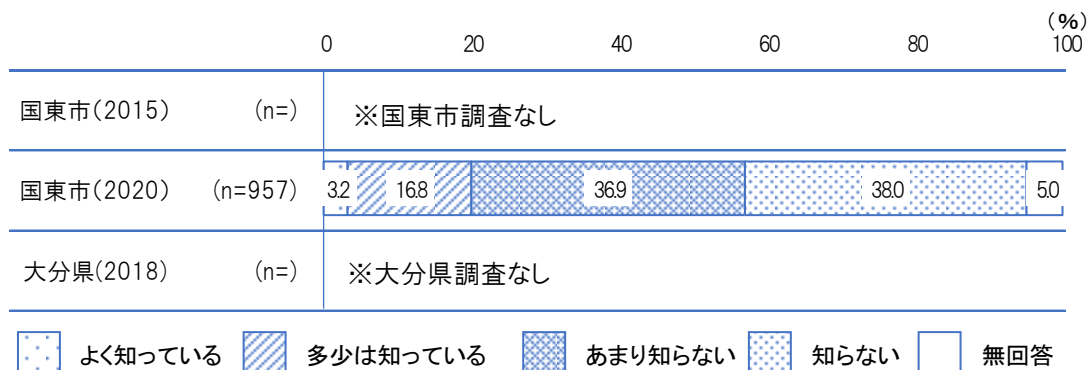
【問39-サ. ヘイトスピーチ解消法(平成28年)】

SA

上段:人数 下段:割合

| 2020 調査結果 | よく知っている | 多少は知っ ている | あまり知らない | 知らない | 無回答 | 合計 |
|--------------|-----------|--------------|-------------|-------------|------------|------------|
| 18～19歳 | 1 8.3 | 2 16.7 | 5 41.7 | 4 33.3 | 0 0.0 | 12 100 |
| 20～29歳 | 2 4.3 | 11 23.9 | 14 30.4 | 19 41.3 | 0 0.0 | 46 100 |
| 30～39歳 | 1 1.7 | 13 22.4 | 16 27.6 | 27 46.6 | 1 1.7 | 58 100 |
| 40～49歳 | 4 4.4 | 16 17.8 | 36 40.0 | 33 36.7 | 1 1.1 | 90 100 |
| 50～59歳 | 6 4.9 | 25 20.5 | 48 39.3 | 42 34.4 | 1 0.8 | 122 100 |
| 60～69歳 | 5 2.2 | 44 19.7 | 90 40.4 | 82 36.8 | 2 0.9 | 223 100 |
| 70～79歳 | 12 5.1 | 30 12.7 | 84 35.6 | 94 39.8 | 16 6.8 | 236 100 |
| 80歳以上 | 0 0.0 | 20 11.9 | 60 35.7 | 62 36.9 | 26 15.5 | 168 100 |
| 無回答 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 1 50.0 | 2 100 |
| 全体 | 31 3.2 | 161 16.8 | 353 36.9 | 364 38.0 | 48 5.0 | 957 100 |

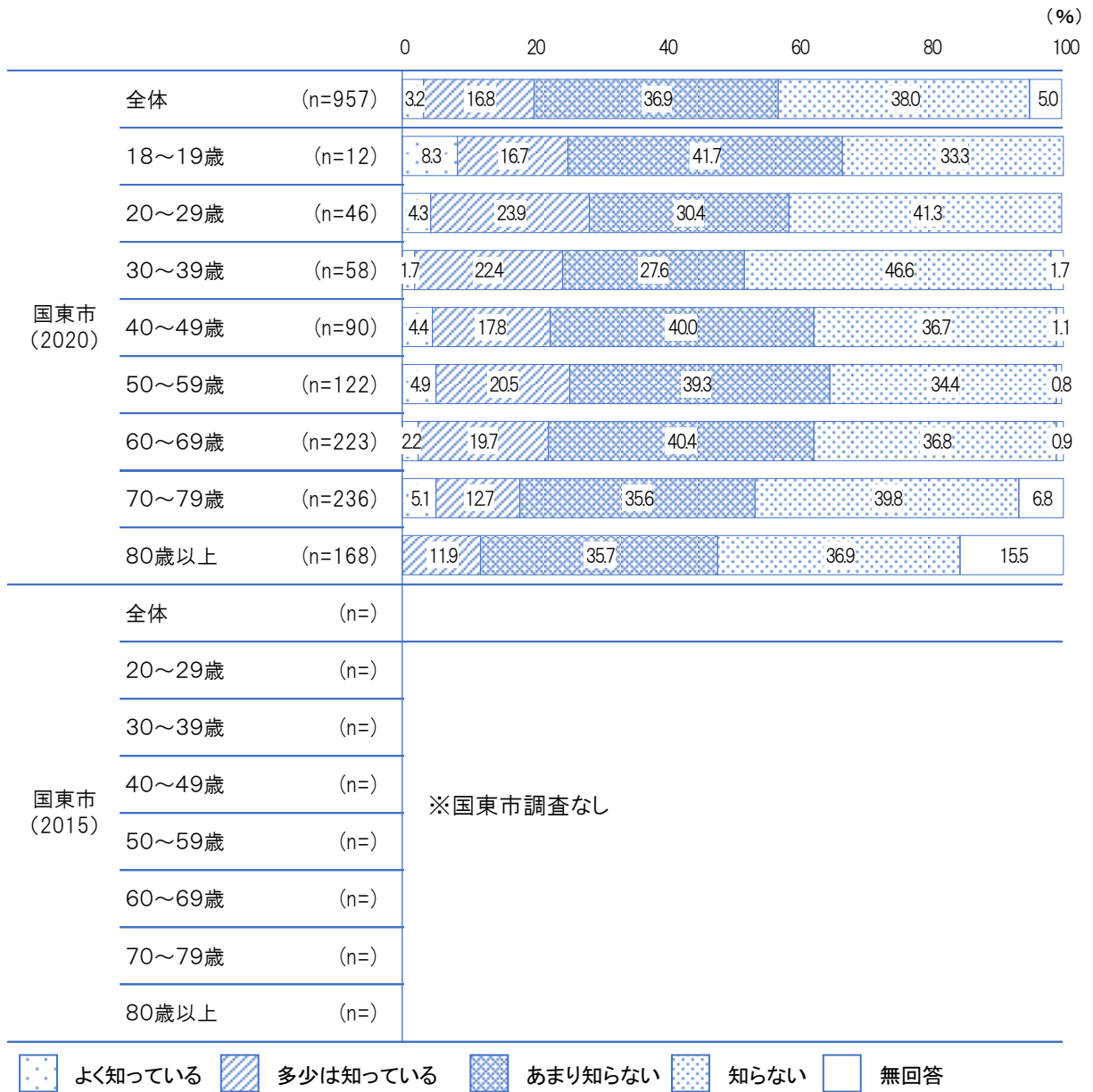
【全体】



■市全体では、ヘイトスピーチ解消法(平成28年)について「知らない(あまり知らない+知らない)」の割合が74.9%と最も高くなっています。

■2015調査はありません。大分県2018調査との比較もありません。

【年代別】



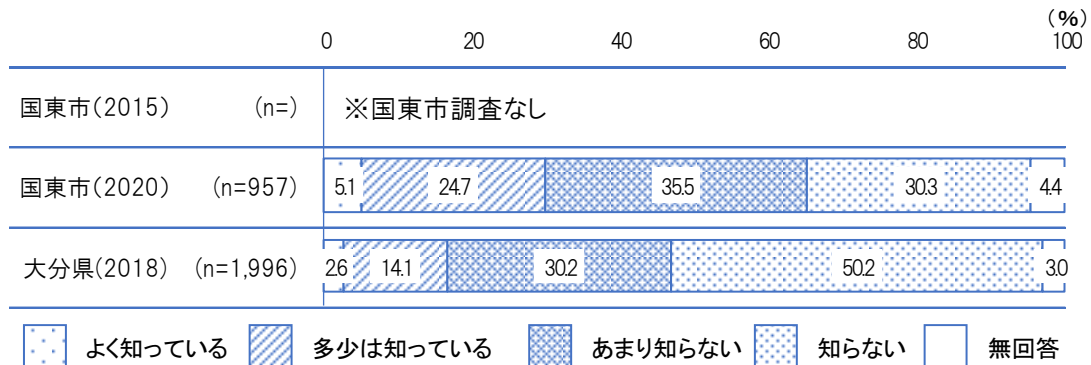
◆年代別では、「知らない(あまり知らない+知らない)」の割合が最も高いのは60～69歳で 77.2%、次いで40～49歳(76.7%)、70～79歳(75.4%)となっています。

◆年代別の2015調査との比較はありません。

【問39-シ. 部落差別解消推進法(平成28年)】

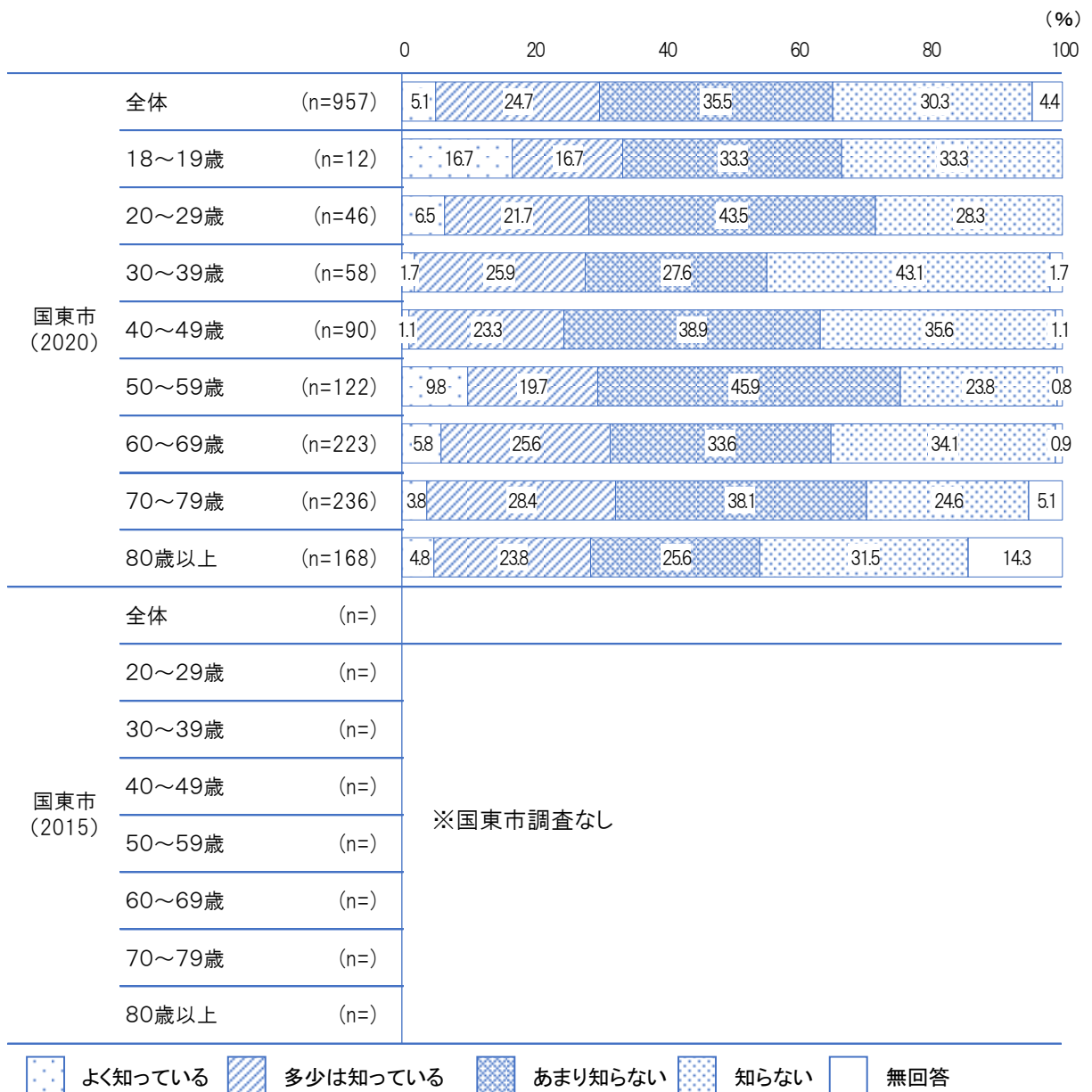
| 2020 調査結果 | 上段:人数 下段:割合 | | | | | 合計 |
|--------------|-------------|--------------|-------------|-------------|------------|------------|
| | よく知っている | 多少は知っ ている | あまり知らない | 知らない | 無回答 | |
| 18～19歳 | 2 16.7 | 2 16.7 | 4 33.3 | 4 33.3 | 0 0.0 | 12 100 |
| 20～29歳 | 3 6.5 | 10 21.7 | 20 43.5 | 13 28.3 | 0 0.0 | 46 100 |
| 30～39歳 | 1 1.7 | 15 25.9 | 16 27.6 | 25 43.1 | 1 1.7 | 58 100 |
| 40～49歳 | 1 1.1 | 21 23.3 | 35 38.9 | 32 35.6 | 1 1.1 | 90 100 |
| 50～59歳 | 12 9.8 | 24 19.7 | 56 45.9 | 29 23.8 | 1 0.8 | 122 100 |
| 60～69歳 | 13 5.8 | 57 25.6 | 75 33.6 | 76 34.1 | 2 0.9 | 223 100 |
| 70～79歳 | 9 3.8 | 67 28.4 | 90 38.1 | 58 24.6 | 12 5.1 | 236 100 |
| 80歳以上 | 8 4.8 | 40 23.8 | 43 25.6 | 53 31.5 | 24 14.3 | 168 100 |
| 無回答 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 2 100 |
| 全体 | 49 5.1 | 236 24.7 | 340 35.5 | 290 30.3 | 42 4.4 | 957 100 |

【全体】



- 市全体では、部落差別解消推進法(平成28年)について「知らない(あまり知らない+知らない)」の割合が65.8%と最も高くなっています。
- 2015調査はありません。大分県2018調査との比較もありません。

【年代別】



◆年代別では、「知らない(あまり知らない+知らない)」の割合が最も高いのは40～49歳で 74.5%、次いで20～29歳(71.8%)、30～39歳(70.7%)となっています。

◆年代別の2015調査との比較はありません。

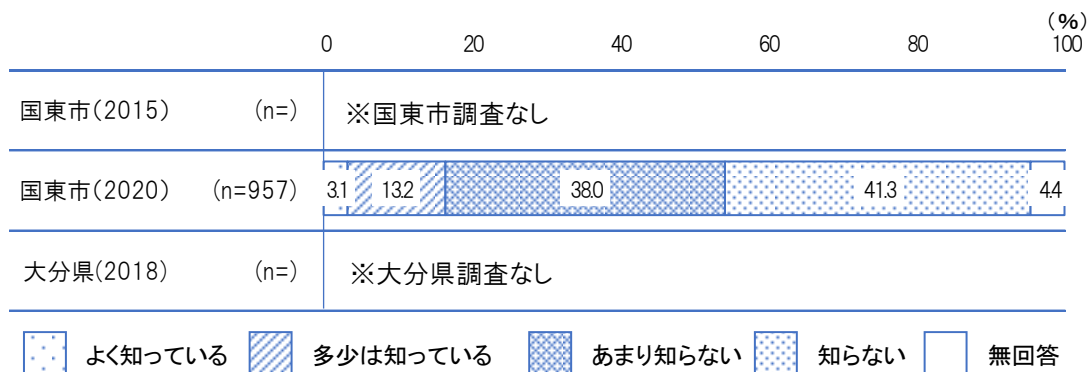
【問39-ス. 国東市犯罪被害者等支援条例(平成30年)】

SA

上段:人数 下段:割合

| 2020 調査結果 | よく知っている | 多少は知っ ている | あまり知らない | 知らない | 無回答 | 合計 |
|--------------|-----------|--------------|-------------|-------------|------------|------------|
| 18～19歳 | 0 0.0 | 1 8.3 | 5 41.7 | 6 50.0 | 0 0.0 | 12 100 |
| 20～29歳 | 2 4.3 | 1 2.2 | 16 34.8 | 27 58.7 | 0 0.0 | 46 100 |
| 30～39歳 | 0 0.0 | 7 12.1 | 14 24.1 | 36 62.1 | 1 1.7 | 58 100 |
| 40～49歳 | 1 1.1 | 10 11.1 | 32 35.6 | 46 51.1 | 1 1.1 | 90 100 |
| 50～59歳 | 1 0.8 | 14 11.5 | 49 40.2 | 57 46.7 | 1 0.8 | 122 100 |
| 60～69歳 | 7 3.1 | 35 15.7 | 86 38.6 | 93 41.7 | 2 0.9 | 223 100 |
| 70～79歳 | 13 5.5 | 30 12.7 | 104 44.1 | 77 32.6 | 12 5.1 | 236 100 |
| 80歳以上 | 6 3.6 | 28 16.7 | 58 34.5 | 53 31.5 | 23 13.7 | 168 100 |
| 無回答 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 100.0 | 2 100 |
| 全体 | 30 3.1 | 126 13.2 | 364 38.0 | 395 41.3 | 42 4.4 | 957 100 |

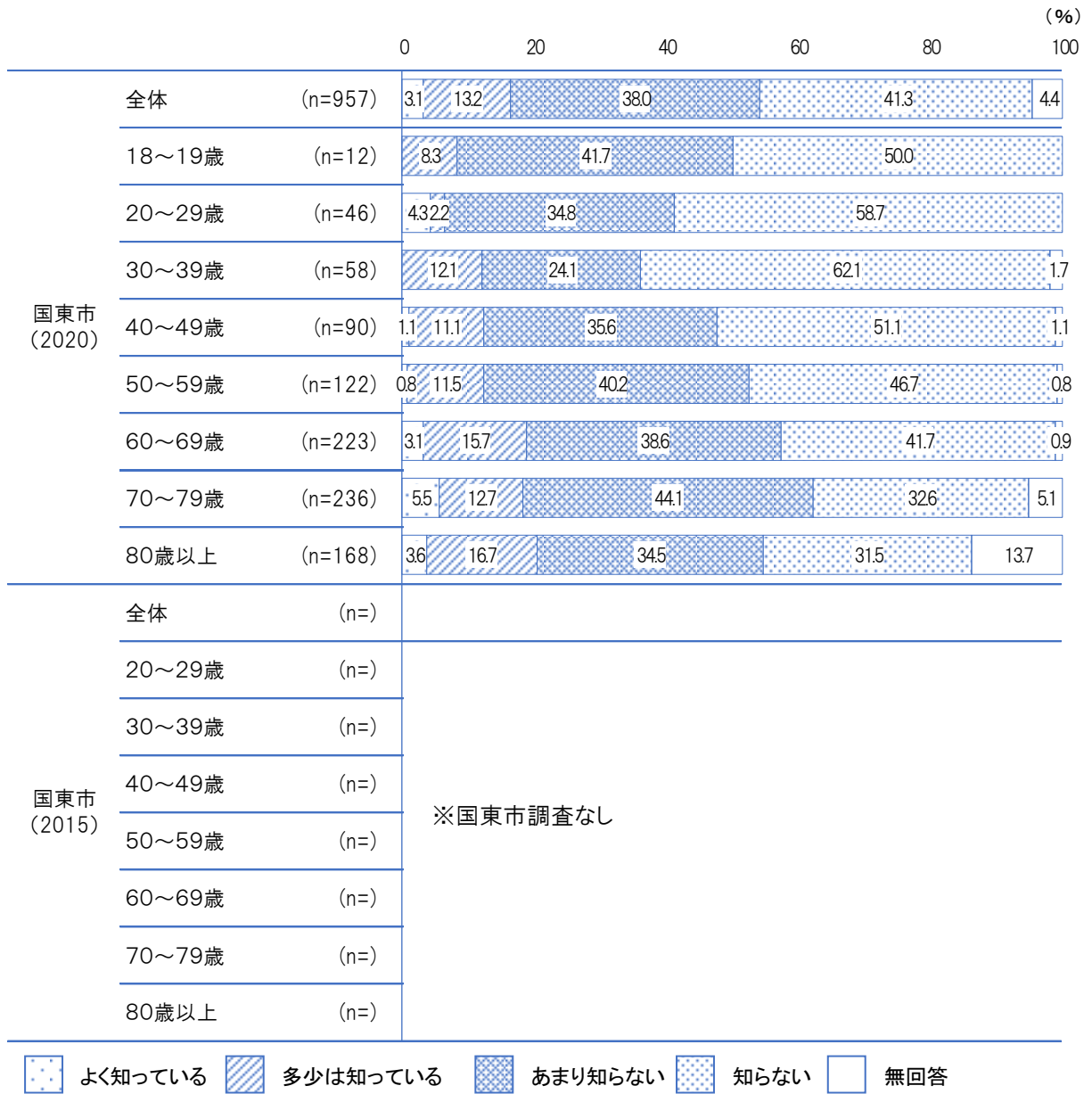
【全体】



■市全体では、国東市犯罪被害者等支援条例(平成30年)について「知らない(あまり知らない+知らない)」の割合が79.3%と最も高くなっています。

■2015調査はありません。大分県2018調査との比較もありません。

【年代別】



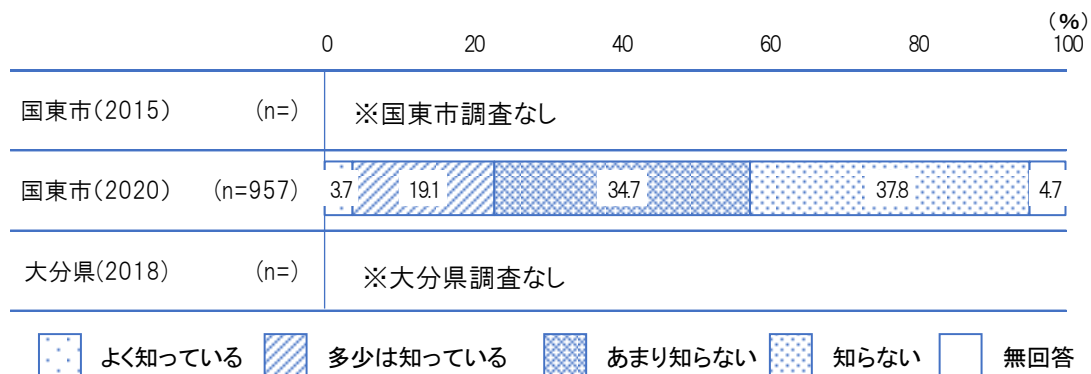
◆年代別では、「知らない(あまり知らない+知らない)」の割合が最も高いのは20～29歳で 93.5%、次いで18～19歳(91.7%)、50～59歳(86.9%)となっています。

◆年代別の2015調査2018調査との比較はありません。

【問39-セ. 国東市における部落差別等あらゆる差別をなくし人権を擁護する条例(平成31年)】

| 2020 調査結果 | 上段:人数 下段:割合 | | | | | 合計 |
|--------------|-------------|--------------|-------------|-------------|------------|------------|
| | よく知っている | 多少は知っ ている | あまり知らない | 知らない | 無回答 | |
| 18～19歳 | 0 0.0 | 1 8.3 | 5 41.7 | 6 50.0 | 0 0.0 | 12 100 |
| 20～29歳 | 1 2.2 | 5 10.9 | 17 37.0 | 23 50.0 | 0 0.0 | 46 100 |
| 30～39歳 | 0 0.0 | 10 17.2 | 12 20.7 | 35 60.3 | 1 1.7 | 58 100 |
| 40～49歳 | 1 1.1 | 10 11.1 | 32 35.6 | 46 51.1 | 1 1.1 | 90 100 |
| 50～59歳 | 4 3.3 | 16 13.1 | 50 41.0 | 51 41.8 | 1 0.8 | 122 100 |
| 60～69歳 | 7 3.1 | 48 21.5 | 76 34.1 | 88 39.5 | 4 1.8 | 223 100 |
| 70～79歳 | 11 4.7 | 58 24.6 | 90 38.1 | 62 26.3 | 15 6.4 | 236 100 |
| 80歳以上 | 11 6.5 | 34 20.2 | 50 29.8 | 51 30.4 | 22 13.1 | 168 100 |
| 無回答 | 0 0.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 2 100 |
| 全体 | 35 3.7 | 183 19.1 | 332 34.7 | 362 37.8 | 45 4.7 | 957 100 |

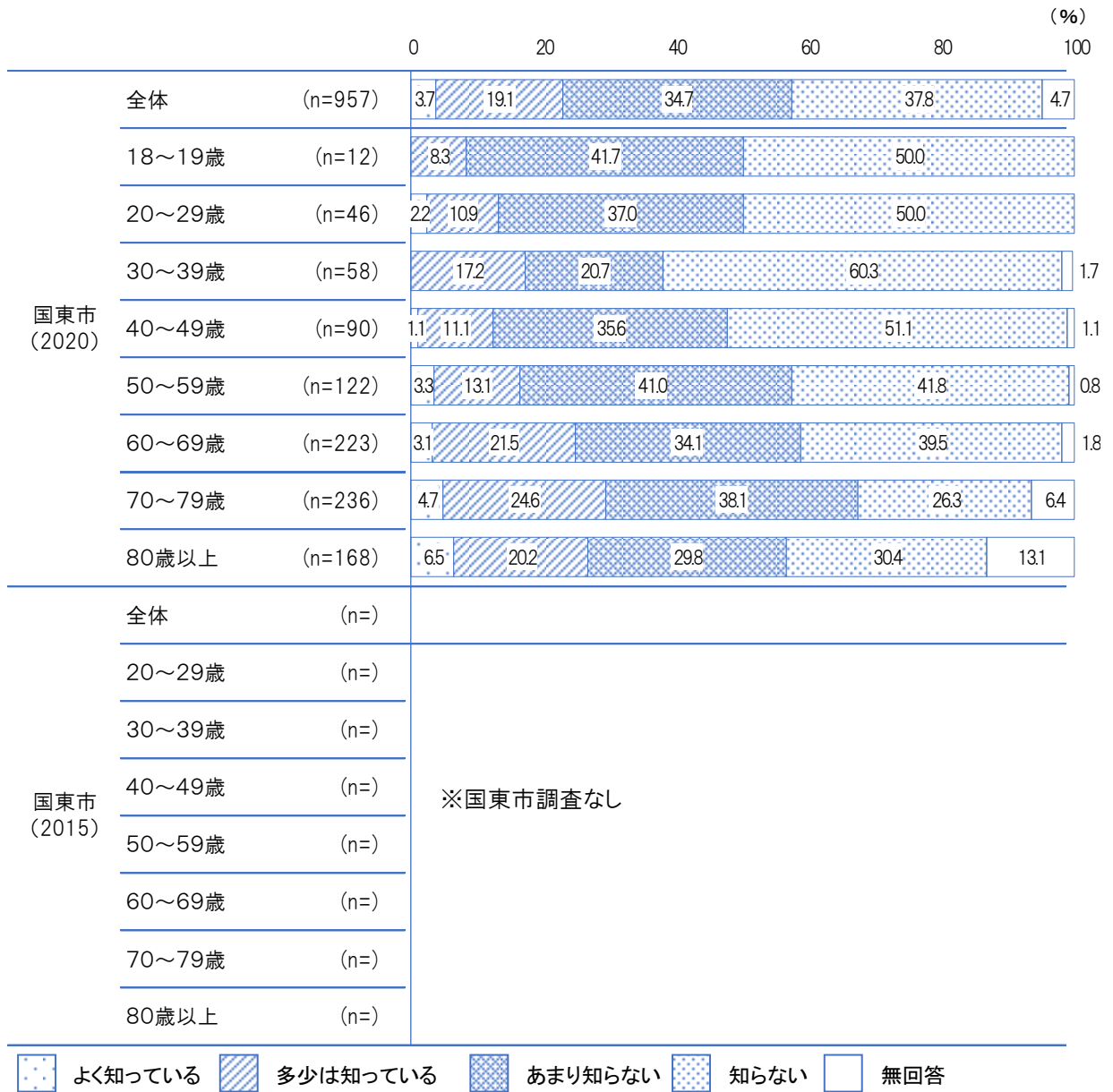
【全体】



■市全体では、国東市における部落差別等あらゆる差別をなくし人権を擁護する条例(平成31年)について「知らない(あまり知らない+知らない)」の割合が72.5%と最も高くなっています。

■2015調査はありません。大分県2018調査との比較もありません。

【年代別】



◆年代別では、「知らない(あまり知らない+知らない)」の割合が最も高いのは18～19歳で 91.7%、次いで20～29歳(87.0%)、40～49歳(86.7%)となっています。

◆年代別の2015調査との比較はありません。

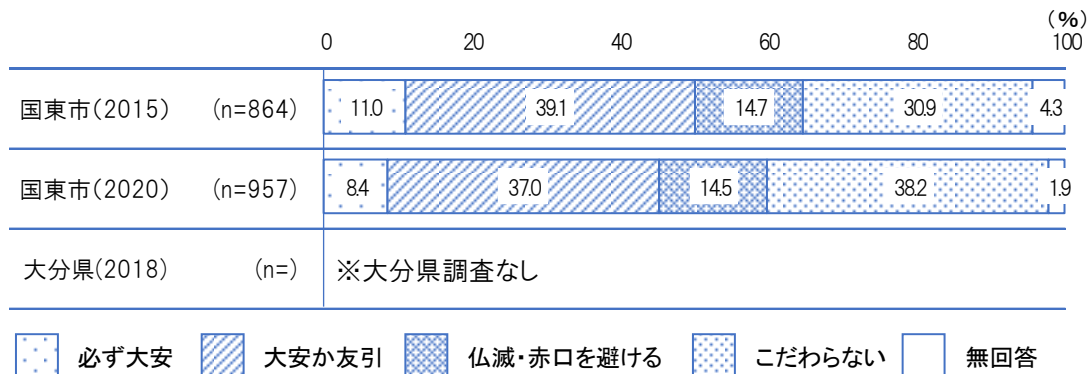
X. その他について(問40～問43)

[SA]

問40 あなたや身内の結婚式の日取りは、次のどれによって決めたいと思いますか。

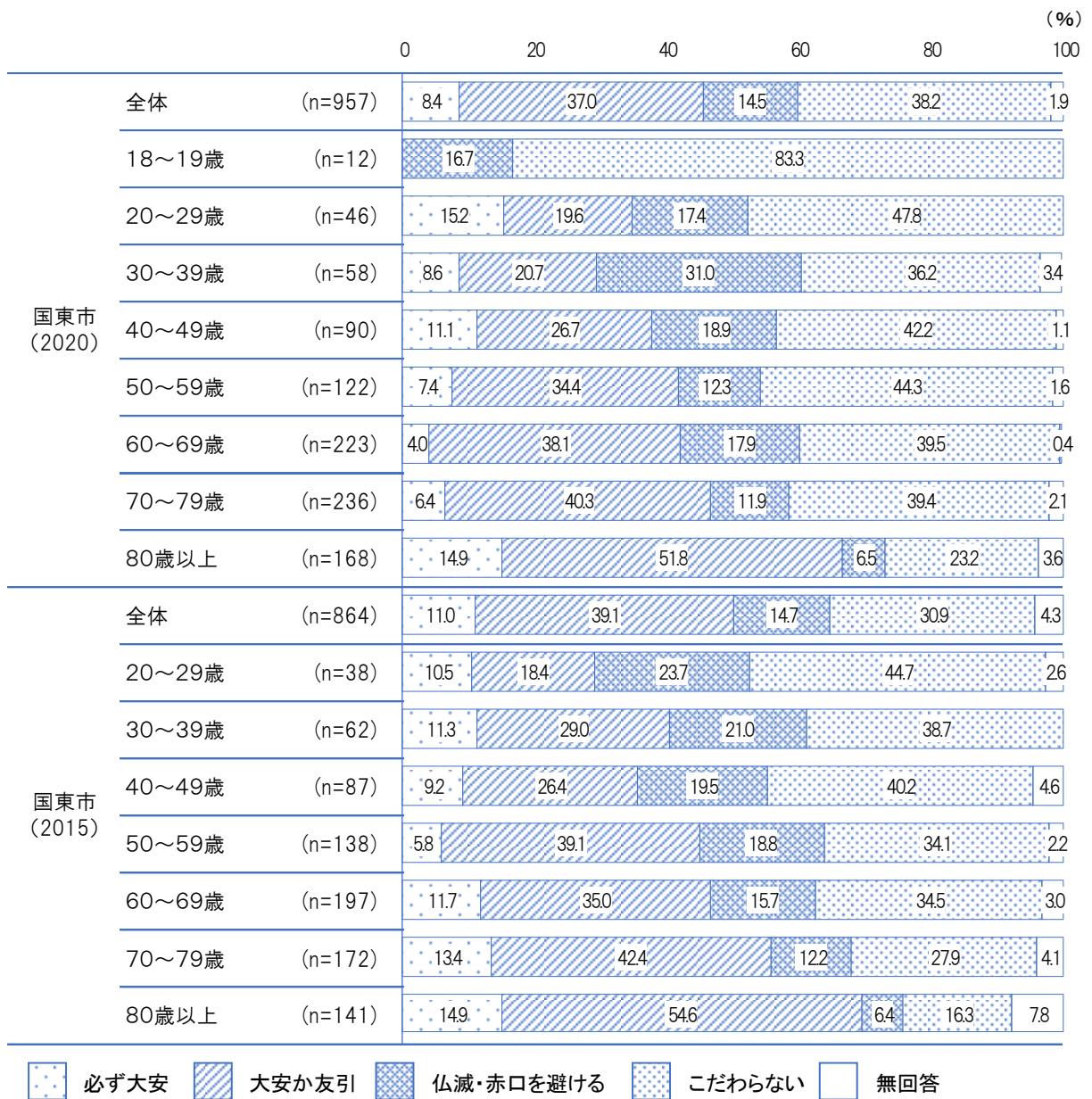
| 2020 調査結果 | 上段:人数 下段:割合 | | | | | 合計 |
|--------------|-------------|-------------|---------------|-------------|-----------|------------|
| | 必ず大安 | 大安か友引 | 仏滅・赤口を 避ける | こだわらない | 無回答 | |
| 18～19歳 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 16.7 | 10 83.3 | 0 0.0 | 12 100 |
| 20～29歳 | 7 15.2 | 9 19.6 | 8 17.4 | 22 47.8 | 0 0.0 | 46 100 |
| 30～39歳 | 5 8.6 | 12 20.7 | 18 31.0 | 21 36.2 | 2 3.4 | 58 100 |
| 40～49歳 | 10 11.1 | 24 26.7 | 17 18.9 | 38 42.2 | 1 1.1 | 90 100 |
| 50～59歳 | 9 7.4 | 42 34.4 | 15 12.3 | 54 44.3 | 2 1.6 | 122 100 |
| 60～69歳 | 9 4.0 | 85 38.1 | 40 17.9 | 88 39.5 | 1 0.4 | 223 100 |
| 70～79歳 | 15 6.4 | 95 40.3 | 28 11.9 | 93 39.4 | 5 2.1 | 236 100 |
| 80歳以上 | 25 14.9 | 87 51.8 | 11 6.5 | 39 23.2 | 6 3.6 | 168 100 |
| 無回答 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 1 50.0 | 2 100 |
| 全体 | 80 8.4 | 354 37.0 | 139 14.5 | 366 38.2 | 18 1.9 | 957 100 |

【全体】



- 市全体では、身内の結婚式の日取りについて「こだわらない」の割合が 38.2%と最も高く、次いで「大安か友引」(37.0%)、「仏滅・赤口を避ける」(14.5%)となっています。
- 2015調査と比較すると市全体では、「こだわらない」の割合が 7.3 ㊦増加し、他の項目はすべて減少しています。大分県2018調査との比較はありません。

【年代別】

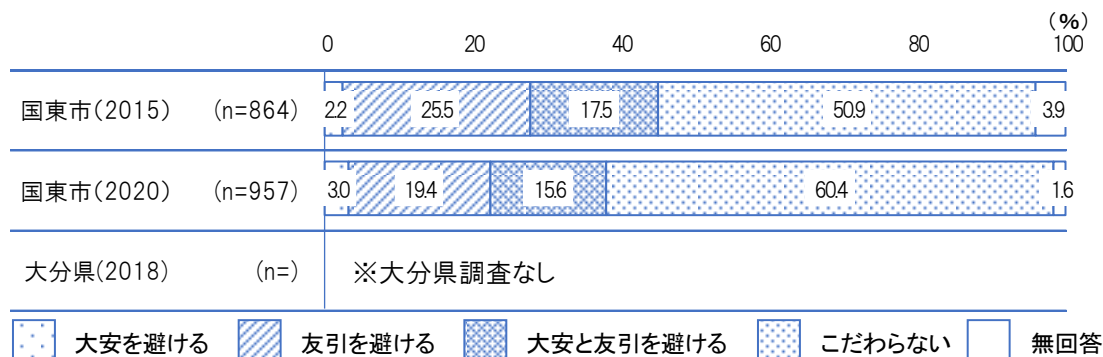


- ◆年代別では、「こだわらない」の割合が最も高いのは18~19歳で 83.3%、次いで20~29歳(47.8%)、50~59歳(44.3%)となっています。
- ◆2015調査と比較すると年代別では、「こだわらない」の割合が最も増加したのは70~79歳で 11.5 ㊦、次いで50~59歳(10.2 ㊦)、80歳以上(6.9 ㊦)となっています。

問41 もし、あなたやあなたのご家族が亡くなった場合、お葬式の日程はどうしたいと思いますか。

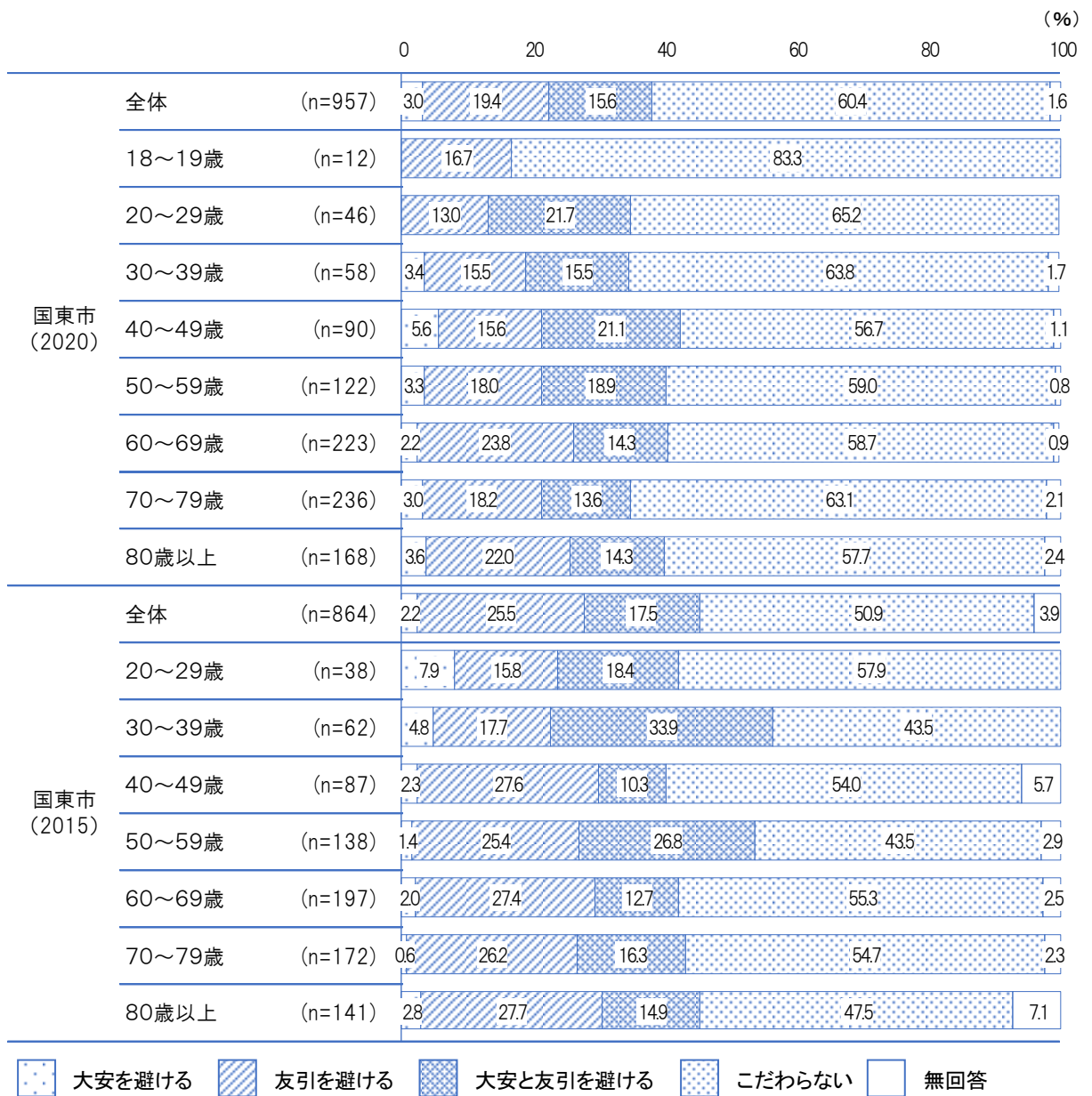
| 2020 調査結果 | 上段:人数 下段:割合 | | | | | 合計 |
|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-----------|------------|
| | 大安を避ける | 友引を避ける | 大安と友引を避ける | こだわらない | 無回答 | |
| 18～19歳 | 0 0.0 | 2 16.7 | 0 0.0 | 10 83.3 | 0 0.0 | 12 100 |
| 20～29歳 | 0 0.0 | 6 13.0 | 10 21.7 | 30 65.2 | 0 0.0 | 46 100 |
| 30～39歳 | 2 3.4 | 9 15.5 | 9 15.5 | 37 63.8 | 1 1.7 | 58 100 |
| 40～49歳 | 5 5.6 | 14 15.6 | 19 21.1 | 51 56.7 | 1 1.1 | 90 100 |
| 50～59歳 | 4 3.3 | 22 18.0 | 23 18.9 | 72 59.0 | 1 0.8 | 122 100 |
| 60～69歳 | 5 2.2 | 53 23.8 | 32 14.3 | 131 58.7 | 2 0.9 | 223 100 |
| 70～79歳 | 7 3.0 | 43 18.2 | 32 13.6 | 149 63.1 | 5 2.1 | 236 100 |
| 80歳以上 | 6 3.6 | 37 22.0 | 24 14.3 | 97 57.7 | 4 2.4 | 168 100 |
| 無回答 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 1 50.0 | 2 100 |
| 全体 | 29 3.0 | 186 19.4 | 149 15.6 | 578 60.4 | 15 1.6 | 957 100 |

【全体】



- 市全体では、家族が亡くなった場合、お葬式の日程について「こだわらない」の割合が60.4%と最も高く、次いで「友引を避ける」(19.4%)、「大安と友引を避ける」(15.6%)となっています。
- 2015調査と比較すると市全体では、「こだわらない」の割合が9.5ポイント、「大安を避ける」(0.8ポイント)が増加し、他の項目はすべて減少しています。大分県2018調査との比較はありません。

【年代別】

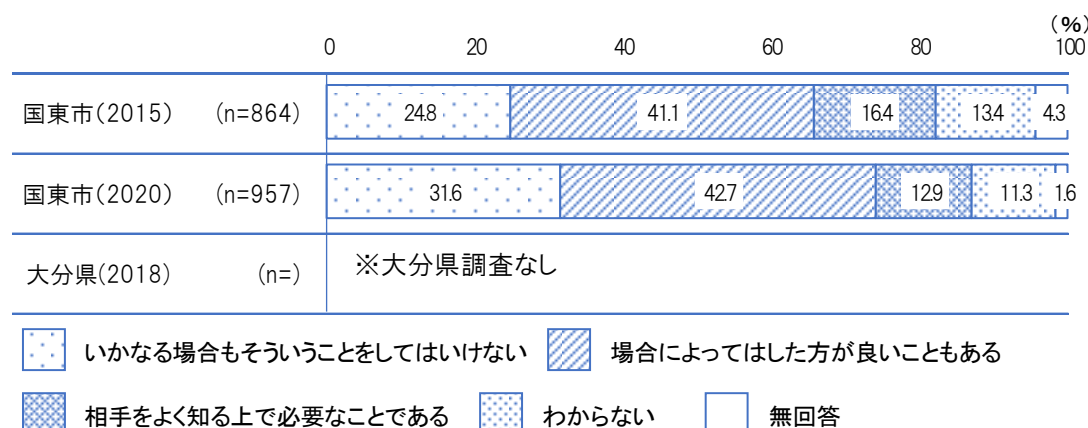


- ◆年代別では、「こだわらない」の割合が最も高いのは18~19歳で 83.3%、次いで20~29歳(65.2%)、30~39歳(63.8%)となっています。
- ◆2015調査と比較すると年代別では、「こだわらない」の割合が最も増加したのは30~39歳で 20.3 ㊦、次いで50~59歳(15.5 ㊦)、80歳以上(10.2 ㊦)となっています。

問42 結婚・就職についての身元調査をどう考えますか。

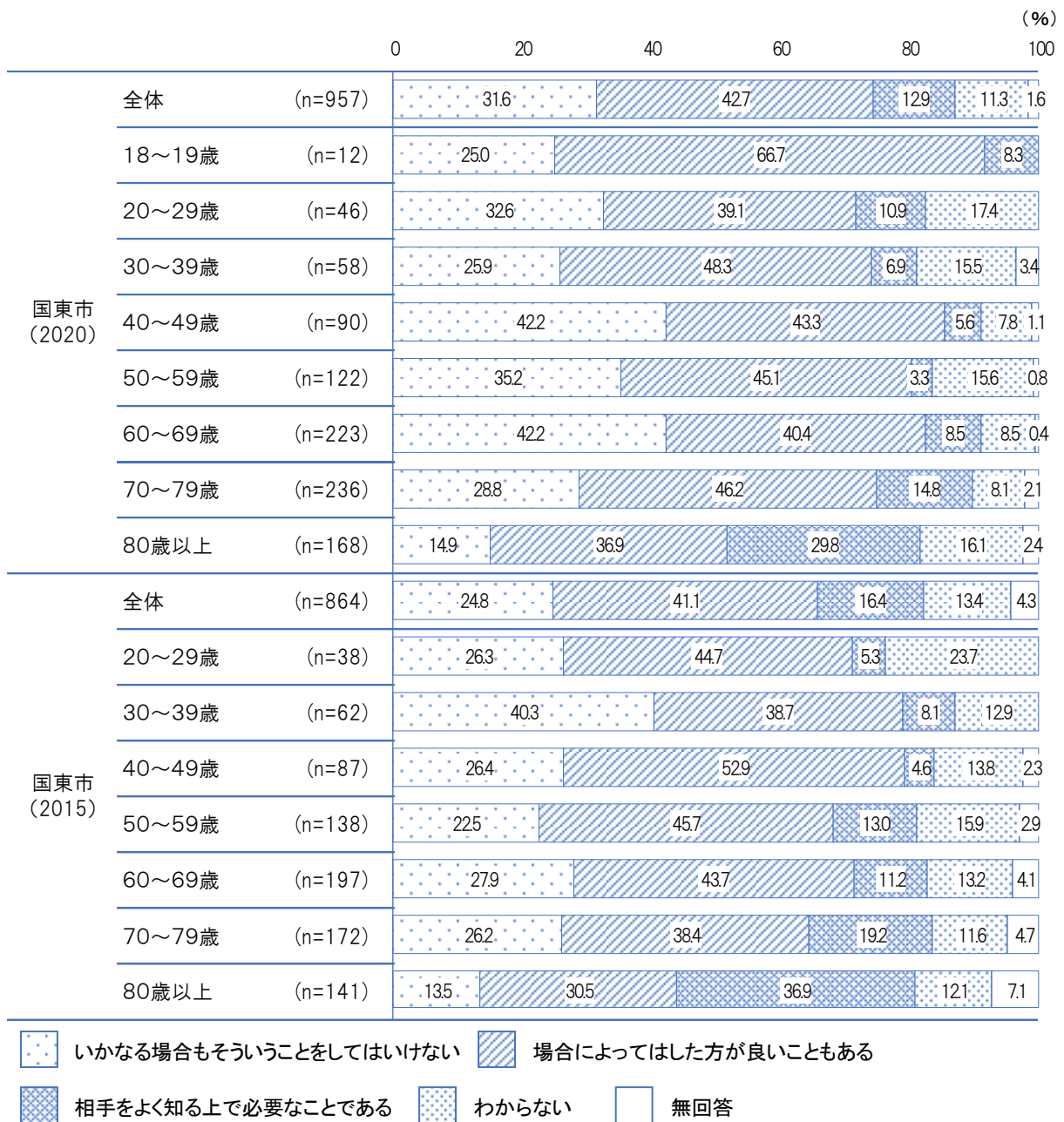
| 2020 調査結果 | 上段:人数 下段:割合 | | | | | |
|--------------|-----------------------|--------------------|-------------------|-------------|-----------|------------|
| | いかなる場合もそういうことをしてはいけない | 場合によってはした方が良いこともある | 相手をよく知る上で必要なことである | わからない | 無回答 | 合計 |
| 18～19歳 | 3 25.0 | 8 66.7 | 1 8.3 | 0 0.0 | 0 0.0 | 12 100 |
| 20～29歳 | 15 32.6 | 18 39.1 | 5 10.9 | 8 17.4 | 0 0.0 | 46 100 |
| 30～39歳 | 15 25.9 | 28 48.3 | 4 6.9 | 9 15.5 | 2 3.4 | 58 100 |
| 40～49歳 | 38 42.2 | 39 43.3 | 5 5.6 | 7 7.8 | 1 1.1 | 90 100 |
| 50～59歳 | 43 35.2 | 55 45.1 | 4 3.3 | 19 15.6 | 1 0.8 | 122 100 |
| 60～69歳 | 94 42.2 | 90 40.4 | 19 8.5 | 19 8.5 | 1 0.4 | 223 100 |
| 70～79歳 | 68 28.8 | 109 46.2 | 35 14.8 | 19 8.1 | 5 2.1 | 236 100 |
| 80歳以上 | 25 14.9 | 62 36.9 | 50 29.8 | 27 16.1 | 4 2.4 | 168 100 |
| 無回答 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 2 100 |
| 全体 | 302 31.6 | 409 42.7 | 123 12.9 | 108 11.3 | 15 1.6 | 957 100 |

【全体】



- 市全体では、結婚・就職についての身元調査について「場合によってはした方が良いこともある」の割合が42.7%と最も高く、次いで「いかなる場合もそういうことをしてはいけない」(31.6%)、「相手をよく知る上で必要なことである」(12.9%)となっています。
- 2015調査と比較すると市全体では、「いかなる場合もそういうことをしてはいけない」の割合が6.8ポイント、「場合によってはした方が良いこともある」(1.6ポイント)が増加し、他の項目はすべて減少しています。大分県2018調査との比較はありません。

【年代別】



- ◆年代別では、「場合によってはした方が良くもある」の割合が最も高いのは18～19歳で 66.7%、次いで30～39歳(48.3%)、70～79歳(46.2%)となっています。
- ◆2015調査と比較すると年代別では、「場合によってはした方が良くもある」の割合が最も増加したのは30～39歳で9.6ポイント、次いで70～79歳(7.8ポイント)、80歳以上(6.4ポイント)となっています。

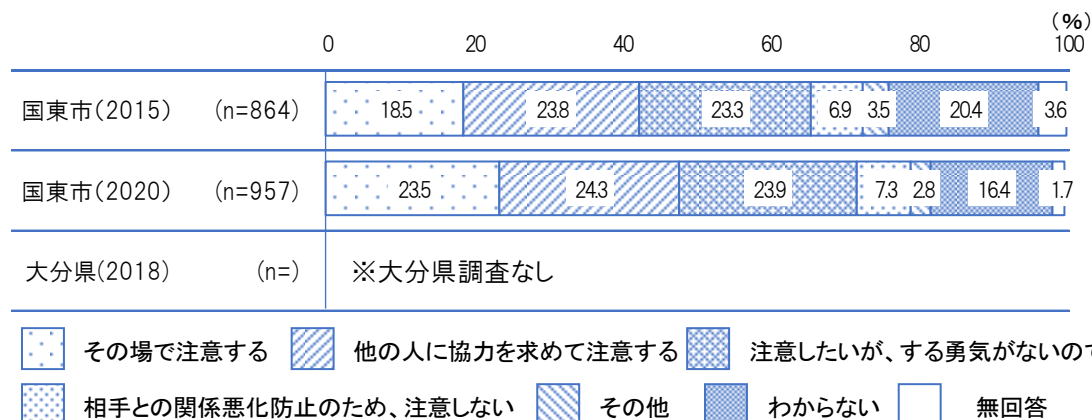
問43 差別的態度をされたり、見たりしたとき、あなたはどうしますか。

SA

上段:人数 下段:割合

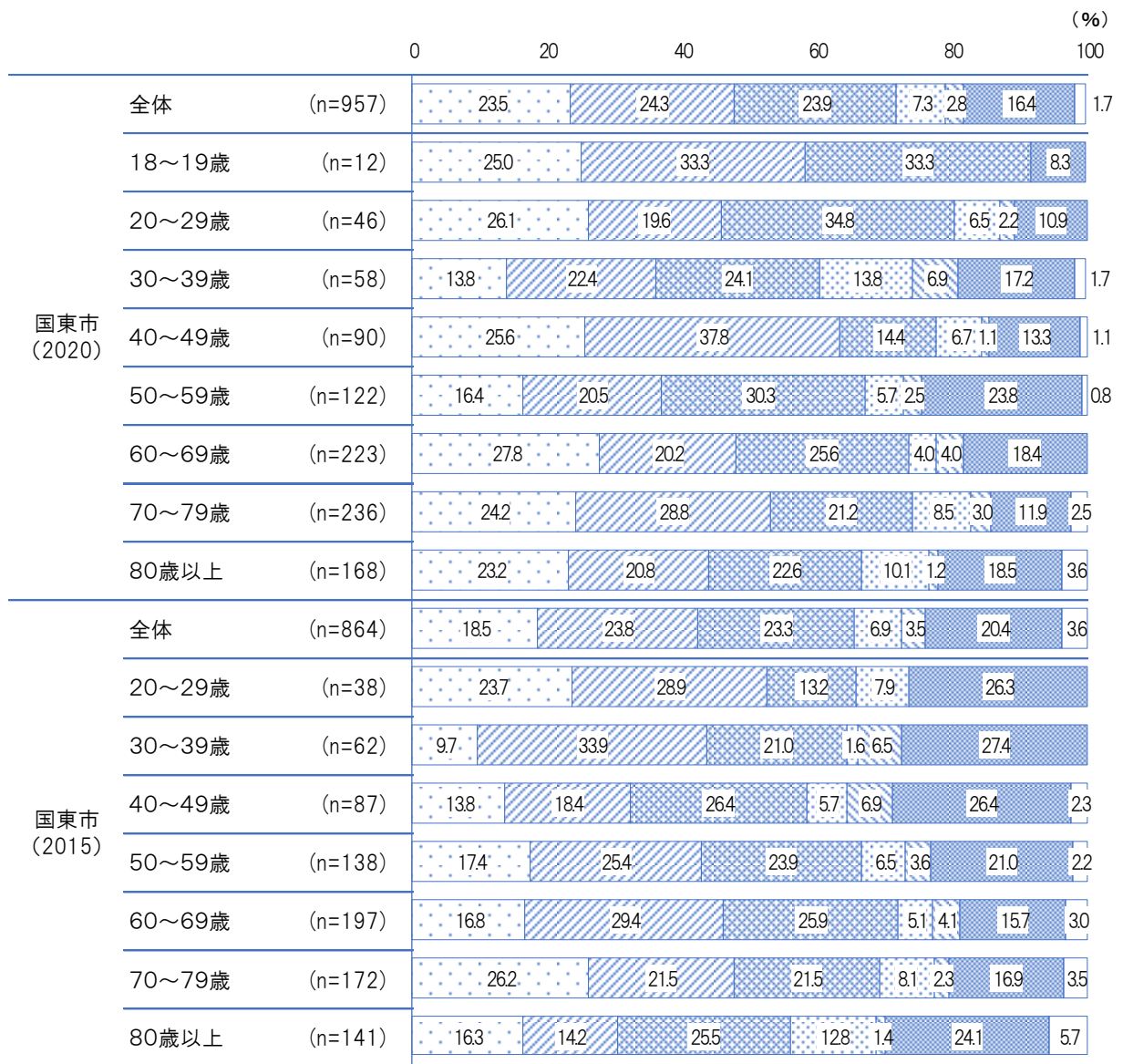
| 2020 調査結果 | その場で注 意する | 他の人に協 力を求めて 注意する | 注意した いが、する勇 気がないので 黙っている | 相手との関 係悪化防止 のため、注意 しない | その他 | わからない | 無回答 | 合計 |
|--------------|--------------|------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|-----------|-------------|-----------|------------|
| 18～19歳 | 3 25.0 | 4 33.3 | 4 33.3 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 8.3 | 0 0.0 | 12 100 |
| 20～29歳 | 12 26.1 | 9 19.6 | 16 34.8 | 3 6.5 | 1 2.2 | 5 10.9 | 0 0.0 | 46 100 |
| 30～39歳 | 8 13.8 | 13 22.4 | 14 24.1 | 8 13.8 | 4 6.9 | 10 17.2 | 1 1.7 | 58 100 |
| 40～49歳 | 23 25.6 | 34 37.8 | 13 14.4 | 6 6.7 | 1 1.1 | 12 13.3 | 1 1.1 | 90 100 |
| 50～59歳 | 20 16.4 | 25 20.5 | 37 30.3 | 7 5.7 | 3 2.5 | 29 23.8 | 1 0.8 | 122 100 |
| 60～69歳 | 62 27.8 | 45 20.2 | 57 25.6 | 9 4.0 | 9 4.0 | 41 18.4 | 0 0.0 | 223 100 |
| 70～79歳 | 57 24.2 | 68 28.8 | 50 21.2 | 20 8.5 | 7 3.0 | 28 11.9 | 6 2.5 | 236 100 |
| 80歳以上 | 39 23.2 | 35 20.8 | 38 22.6 | 17 10.1 | 2 1.2 | 31 18.5 | 6 3.6 | 168 100 |
| 無回答 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 2 100 |
| 全体 | 225 23.5 | 233 24.3 | 229 23.9 | 70 7.3 | 27 2.8 | 157 16.4 | 16 1.7 | 957 100 |

【全体】



- 市全体では、差別的態度をされたり、見たりしたとき、どうしますかについて「注意する(その場で注意する+他の人に協力を求めて注意する)」の割合が 47.8%と最も高く、次いで「注意しない(注意したいが、する勇気がないので黙っている+相手との関係悪化防止のため、注意しない)」(31.2%)となっています。
- 2015調査と比較すると市全体では、「注意する(その場で注意する+他の人に協力を求めて注意する)」の割合が 5.5 ㊦、「注意しない(注意したいが、する勇気がないので黙っている+相手との関係悪化防止のため、注意しない)」が 1.0 ㊦増加しています。大分県2018調査との比較はありません

【年代別】



その場で注意する
 他の人に協力を求めて注意する
 注意したいが、する勇気がないので黙っている
 相手との関係悪化防止のため、注意しない
 その他
 わからない
 無回答

- ◆年代別では、「注意する(その場で注意する+他の人に協力を求めて注意する)」の割合が最も高いのは40～49歳で63.4%、次いで18～19歳(58.3%)、70～79歳(53.0%)となっています。
- ◆2015調査と比較すると年代別では、「注意する(その場で注意する+他の人に協力を求めて注意する)」の割合が最も増加したの40～49歳で31.2ポイント、次いで80歳以上(13.5ポイント)、70～79歳(5.3ポイント)となっています。

<自由意見集>

人権が守られる社会を作るためにあなたが考えられていることや、国や大分県、国東市の人権行政に対するご意見やご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

いただいた自由意見は全体で162件。

【18歳～19歳】1件

人権が守られる社会を作るためには、まず人権というものがどういうものなのか知識をつける必要があると思います。今の時代は学校での道徳での授業で子供たちはその知識をつけています。しかし、大人たちは、その知識をつける機会が少ないと思います。最近のニュースでも子供の虐待や高齢者への暴力など常識のない人権以前の問題の大人が多すぎます。子供の人権の教育も大事ですが、それと同じくらい大人の人たちも知識をつける場を作るべきです。

【20歳～29歳】12件

学生時代の人権学習と言えば、いじめの問題や戦争の悲劇を二度と繰り返さないように忘れないようにしようという事を学習した記憶があります。私の学生生活は、ほとんどいじめられていた記憶がしめています。担任に相談しても、一度や二度は助けてくれましたが、そこから先は見捨てられました。「いじめられる君にも責任がある。」と言われ、私はそこから自分も周りの人もあまり信じられなくなりました。人権が守られる社会にする為にはまず周りの人が気づいてあげる事が大切だと思います。先生側からはみえないものが、生徒側からよく見えます。いじめの問題もそうですが、何をかかえて何を不安がっているのかなど、でも見方をかえれば先生たちからも見えたはずです。助けを求めているのに助けがないなんて人でなしか生徒を色眼鏡で見ていたのでしょうか。私も内ばかり考えてしまいますが、きっと私のいじめられていた問題なんて周りに目をむければゴロゴロあったのでしょうか。でも助けて欲しかった。いじめアンケートってありますけど、あれって何の意味があるんですか？何度書いても救われなかったの、あれは形だけの物なのでしょうか？改善した方が良くと思います。それとスクールカウンセラーも、もっと来る曜日を増やし、生徒と話す時間を多くとれるような形にして欲しいと思います。人権調査が私に来て良かったです。いじめはなくなるとは思いますが、なくなることを願っています。

人権や差別等の法律で知らないものが多々ありました。勉強する良い機会だと思いますので、少しずつ学んでいこうと思います。日本は平和な国という印象が強いです。内部では差別や嫌がらせ等の人権に関わる問題がたくさんあります。本当の平和な国になる為には、人権問題にもしっかりと向き合って解決していかないとけないと思いました。

父子家庭や母子家庭だからといって差別をなくしてほしい。人権ならばその人たちの気持ちも尊重すべきだと思う。

私は現在、教育学部で人権について学ぶ機会がよくあります。しかし、今回のアンケートであまり知らなかった差別も出てきました。まず、差別を無くすためには知ることが大切だと思います。これは、年齢は問わず、誰もが教育を受けるべきものです。小学校低学年の子に難しい内容のものを教えずとも、私たちの身の回りには人権に関わる事。差別につながる事がたくさんあります。小さなことから知っていくことで自分も自分の回りも変わっていくと思います。私は将来教師として児童に人権について少しでも多く知る機会を与えたらいいです。自分ももっと勉強していきます。

特に大きな人権問題は起きてないので、今のままで推進してゆけばよいと思います。

人権について学習する際、どうしても暗く重苦しい感じになってしまうが、「人権を学ぶのは楽しい」「人権を守るのは嬉しい」と明るい感じになるように進めてみたらどうかと思いました。

| |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 差別の中の差別。これを私が知ったのはASD(自閉症スペクトラム)かもという診断を受けてしばらくしてからです。その当時、私は障がい者雇用の事について調べていました。障がい者雇用では、どんな障がいであっても手帳があれば面接を受け、よければそこで働くことができると思っていました。しかし、実態は身体、知的、精神、これらによってバラバラである。身体障がい者の割合は高くても、知的や精神は低い。そんなことがあるケースもある。働きたい人が、きちんと働ける社会であってほしい。差別なんて受けたくて受ける人はいない。 |
| 現代社会のなかでネットによる誹謗中傷が問題視されています。匿名だからこそ何でも許される世の中は違うと思うので、人の権利がより良くなることを願っています。 |
| 個人情報を守ってほしい。 |
| 日頃、あまり人権について考えることがなかったので、考える良い機会になりました。自分が知らない人権問題もたくさんあると思うので、機会があれば人権学習会にも参加していきたいと思います。 |
| 1人1人がしっかりと人権の事を理解する事が大切だし、学生の際は人権を勉強する機会があったけど、社会人になると勉強する場所や機会が増えるといいです。そして、国東市や大分県から差別が少しでも減るといいです。 |
| 差別をしない意識も大切だが、世間一般を考えて、日本人が受けている差別も知るべきだと思う。加害者にならない意識も大切だが、被害にあうこともあっていることもっとするべきだと思う。 |

【30歳～39歳】 11件

| |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 消防団で人権侵害にあった。区内でも。消防団でも啓発活動(研修会)。学歴で差別される。皆と同じでないとダメ、個性の否定。 |
| 学校以外にも職場でもセミナーなど行ってもいいんじゃないかと思います。 |
| 人権は守るものではありませんが、何よりも最優先で守らなければならないものではないと思います。そのあたりの塩梅の難しさにみんな悩んでいることと思うので学ぶ機会があればいいのかなと思います。 |
| 問39で最近の法律(特に市の条例)については、学校や職場等での周知の機会がないため知りませんでした。広報や紙面等は全世帯(特に単身アパート住まいの方)に届くわけではないため、いかに周知の機会を設けるかが重要です。これからも魅力的な市政となるようにご尽力お願いします。 |
| 市民全員へ意識調査、啓発活動を行うべきだと思う。 |
| 部落差別の教育を学生のみにしても効果は薄い。地元の高齢者が地域や家族で昔の事を自らが正しいかのように伝えるから。学校で「差別はよくない」と学んでも、家族の年配者の考え方が変わらなければ、差別は一生なくなる。私は国東市外から来たので国東の部落については知らなかったが、地元の年寄りが「あそこは部落だからダメなんや」と何かあるたびに言うので、あの地区が国東の部落なのだと知った。 |
| 差別は嫌いですが。しかし、差別、差別と言う事自体が差別のような気がする時があります。ただのけんかで終わるはずだった出来事が、それは差別だと言った一言で、大きな差別問題になったり、偏見の眼差しで見られるようになったりするのはと思う事があります。むずかしい問題ですね。 |
| 田舎の年寄りがいろいろ言われる事がありますが、私は自分自身に正直に生きたと思う。こういった風習はいつまでも田舎に残っているイメージです。 |
| 毎年、地区や職場での人権勉強会に参加しています。そこで聞く話は、自分の為になっているし、参考にもなっています。でも、似たような事をただただ繰り返すだけでいいのかなとも思います。 |
| 私は、部落差別は知りませんでした。逆に講演会等で知りました。ねた子を起こすようなものです。知らないままで良かったのに講演や部落でわざわざ知りました。班や区ごとにするので知りました。各地域ごとに、町、市、県、国で部落差別の講習講演。どうなのでしょう。 |
| 市民の意識が高まって全員が住みやすい国東市になるように努力したいと思います。 |

【40歳～49歳】 15件

| |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 啓発を継続することが大切だと思います。警察機関と協力して、人権犯罪にしっかり対処していくことも必要だと思います。 |
| 回答しているなかで「え？こんなことも人権なの？」と思うこともありました。私の中で、人権＝同和問題ととらえていました。それは学生時代の教育にもあると思います。人権問題はこんなに幅広いものだという事の周知も必要だと思います。 |

| |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 市民が安心出来る町づくり国づくりをして下さい。 |
| 自分から知ろうとする努力も必要だけれど、もう少し色々な情報が目に入ったりするような広告をしてたくさんの方が関心を持てるようになると良いと思う。 |
| 国東市の条例をよく知らないのでも子供やPTAで教えてほしいと思いました。 |
| 人と接する時は先入観を持たずに、心を込めて接することができれば良いと思う。 |
| 頭ではわかっている自分でも周囲もそれを許さない風潮があり、とても根深い問題であると思います。インターネットなど老若男女問わず周知、改善できる方法で変えていくしかないと思う。 |
| 発達障害など、グレーゾーンの人たちへの理解を深める支援もあって良いのではないかと思います。「変な奴」でくられるのがあまりにもかわいそうすぎる。社会人になってもイジメの対象になる。(福祉の仕事かもしれないですが)。結局は、人の心に「違うもの、認めたくないものを排除しよう」とするものが原因ではなかるか。皆ちがう、ちがうものを責める心、なくしていきたい。 |
| 人権の大切さを知るために、研修会などを開催は良いと思いますが、強制的や人数集めのためにイヤイヤ参加する人も一部いる気がします。この人権問題は一人一人の意識が個人に向いているので問題になっているのだと思います。自分が人よりも優れていると思いたい。その方が安心できるといった優越感からきています。問題の解決策はズバリ一人一人が謙遜を身につけ、思いやる心を培う事だと思います。それを培うために何が出来るかを考えていけば良いと思います。 |
| 研修や会合など長々しても身にならないので、するなら短時間にしてほしい。仕事で疲れきっているのにその後の研修など頭に入りづらいと思う。毎年同じような内容ばかり。 |
| いろいろな人権があり、いろいろな考え方がありますが、個人の考え方や命が大切にさせる世の中であってほしいと思います。子供たちが夢を語り、その夢に向かって羽ばたいていく子供たちの羽を大人が折ったりしないでほしいと思います。自分の望む未来に向かって1人1人が積み重ねていく努力が報われる世界であってほしいです。 |
| ネットやSNSは特に注意が必要。国東市内の個人に対する誹謗、中傷を見つけ報告した事があります。 |
| 無作為に送っているかもしれないが、部落と言われると地区に送ってきて傷つけているのがわからない市役所の人への怒りしかありません。これこそが差別です。調査という名の差別です。 |
| 高齢者の日常生活が不自由である。買い物や娯楽を楽しむなど、したい事があっても交通の便もない為単調な日々を過ごしてしまう。生き生きとしてほしいと、今後自分もそうありたい。高齢者の方々はどんなことを望んでおられるのか。手伝いが出来る部分は応援したい。行政にはそういうケアに資金、税金を使ってもらいたいと切に思います。 |
| 移住者ですが、人権に対する学習などがたくさんありますが、毎年なんらかの人権学習を受けている国東市だと思いますが、それだけ学習しているわりには、あまりにもひどい方が多いと感じています。移住する前は人権の学習を受けた事がなかったのですが、そこまで嫌な思いなども感じた事はなかったのですが、国東市では学習をしているのと思う事がたくさんありました。他意見ありますが。 |

【50歳～59歳】 15件

| |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 子どもの時からの教育が大切だと思っています。 |
| 寝た子を起こすような教育、研修は辞めるべきでは。児童、学生は知らなくていい事まで知ってしまう。同和問題を口実として利益を得ようとする者を厳しく罰すること。 |
| お世話になります。情報提供していただき、ありがたく思っております。学習させていただく場としては短時間であると参加しやすいのではと思っています。 |
| 今回の調査が無作為に選んで行われているとのことですが、国東市の人口の何%くらいのものなのか疑問に思いました。果して、この調査で本当に人権施策の向上につながるのか、加えてこの調査の為に立派な用紙等まで使って、正直税金の無駄遣いではないかとも感じました。ともあれ、市がよりよい行政の推進を目指している気持ちは理解できました。 |
| 人権について、色々な人権や差別があることを改めて知り考えさせられた。知らないふりをして見過ごしてきたが、それでよかったのか。いろんな差別についてこれからどう向き合っていくといいのか。若い人たちに伝えていくべきなのか。どうしたら差別がなくなるのか。 |

| |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学校教育の中で人権について教えていく必要があると感じる。法による義務化も必要（ジェンダーギャップの解消等）。 |
| この調査は本当に必要か！行政の担当や窓口が人権に関して意識があるのか。こんな調査でいつまでも人権問題を残していると思う。 |
| 問8、こういう質問をすることが差別をかんじる。無職の私にとって職場では？の質問はきつい！！ |
| 被差別者を守り過ぎて他の立場の者が差別されることも避けなければならない。そういった二次的被害が増えている気がする。本質がわかっていない。差別意識自体を自分に有利に利用する人がいるため。 |
| 職場でも特定の人へのいじめがあります。大人がいじめをする限り、子供の中でいじめはなくなりません。大人の人格が問われる時代かと。いじめる人は楽しんでます。いじめる人は工作中、無駄話をする。まじめに仕事する人に嫌がらせをする。 |
| 人権は大切だと思いますが、言いすぎるくらいも感じます。特に犯罪者に対してなど（家族は別）。もし、何か自分自身が差別を受けたりすることがあったとして、行政には相談に行かないと思います。個人情報漏らさないのは大前提ですが、この小さな町で顔見知りも多い状態では無理があると感じるからです。 |
| このアンケートは税金の無駄遣いを感じる。このアンケートの内容もいろんな差別に分けているが、実際、市が実施している主なものは部落差別にのみの様で、悪意を感じる。この分の税金をコロナ対策及び支援に使うべき。タイミングも内容も最悪だと思います。もっと税金の使い道、今しなければならぬ事は何なのかを真剣に考え、実施の程よろしくお願い致します。 |
| 男女差別を問う事が差別ではないですか。 |
| 人が生まれて死んでいくまで色々な差別があると思います。その中で人権啓発活動を行ない1人でも理解してもらう事が大切だと思います。 |
| 小さい頃から大人が子供に伝えていくべきことだと思う。また虐待の多い世の中になったように思うので、人間として対人間の心のありようが気になるこの頃です。言葉や態度、掲載等が表に出ないようにすることを祈願する。 |

【60歳～69歳】 38件

| |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 未だ私は、仏滅、大安等を信じ選んで日々過ごして行きたいです。 |
| 調査内容の開示をお願いします。 |
| 思いやりのある人になりましょう。 |
| 5年に1度の調査なんで、正確なデータを得るためには回収率をアップさせる必要があります。アンケート期間の終盤に対象者全員にハガキで「回答のお願い」を送付した方がいいと思います。 |
| 現在、人権学習を地域で行っていますが、各種団体毎に分けて別の日にでも行っても良いのではないのでしょうか。 |
| 地区人権学習会に出席する人が少人数で限定されている。時期、時間など各区長と相談のうえ、開催してみてもは(例、老人会総会時、各地区のボランティア総会時)。 |
| 子ども、女性、高齢者、障害者の人権教育はやるべき。部落差別教育はやらされ感がある。外国人はついでに啓発活動をよくやっている。 |
| 地区の人権学習会に参加していますが、出席する人数も少なく、やり方もマンネリ化し市民が参加してみようかなと思うような学習会でないような気がします。難しいと思いますが、もっと関心を持つようなやり方があればいいのでは。 |
| 国東市の人権行政は同和問題だけに取り組んでいると思っていましたが、色々な人権に対して頑張っておられる様に今後も宜しくお願いします。 |
| 子供の教育であり、年に1度の地域での人権教育、施策は必要ないと考えています。差別、区別は人間生きて行く中で避けて通れない道であり、悔しい思いをしたりして人の優しさに触れて生きて行くのではないのでしょうか。 |
| 差別のない国東市を目指して日々ご尽力されておられることに敬意を表します。国東市に来て6～7年になりますが、知り合った人々の話で離婚の多いことに驚いています(DVが多そう)。差別の根源を減らすことがそういうことの改善にもつながるかもしれません。あらゆる差別の根をなくすための啓蒙活動に期待しています。国東ガンバレ！ |

| |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>地区人権学習会の内容がそろそろマンネリ化して来ているのではないのでしょうか。私は以前当事者の方（被差別部落の男性と結婚した女性）のお話を聞いた事がありますが、ショッキングな内容でした。「差別はした方もされた方も辛い」ということがわかるような内容の研修会がよいと思います。具体的にはどんな研修会がよいのか分かりませんが、少なくとも今のようなオブラートでくるんだような研修内容では人々の胸には響かないと思います。</p> |
| <p>近年になって「新平民」という言葉の本当の意味がわかってきたり、歴史に埋もれていた真実が表に現れたりしている。常に真実をもとめ学習して行く事が大事。御用学者の言っていることを鵜呑みにしない事も大事。</p> |
| <p>要望。市職員をこまめに増やしたらどうですか。</p> |
| <p>人権＝命の大切さだと思う。幼い頃より自分と違う人を認め合う教育をしてほしい。</p> |
| <p>再三、各地区や職場において研修等を行うようにすれば、各自自覚が身に付き差別等少なくなるのではないのでしょうか。</p> |
| <p>女性は仕事ではなく家庭を守り子供を守り育ててもらいたい。今の子供は物を与えられるが愛情が不足していると思います。</p> |
| <p>問9、言葉全部知っているが内容は知らない。</p> |
| <p>被差別部落の方がその事を利用し援助策を受けているとか聞いた事がある。同和地区の人を差別してはならないというのは昔から言われているが地区の人がその立場を利用するというのは、いかがなものか？と思う。</p> |
| <p>いろいろな人権はあると思いますが、部落差別（同和問題）は取り上げない方がいいと思います。少しずつ消滅しかけていた問題も5年毎に取り上げることにより、知らない者までが知るようになり、これでは永久に消える事はないと思います。同和教育の問題の集会に参加させてもらった時にもそう思いました。</p> |
| <p>地区人権学習会は形骸化していると思います。参加者は毎回決まった方のみ。意見もない。やり方を変えるか中止にすべきです。</p> |
| <p>部落差別がそんなに問題視すべき事かびっくりしております。自分が世の中を見る目がない事を実感しました。</p> |
| <p>設問の数が多すぎる。もっと簡略にすべき。回答するのが大変であった。</p> |
| <p>日本はますます寛容ではない社会になっていると思う。今はいろんな人権問題が見られるが、この不寛容社会に起因する部分が多いと思う。日本のトップが国会の場で平気で嘘をつき、考えの違う相手を攻撃する。このことが不寛容社会を増長させている。それで、人権を守る社会を作ろうなどと無理な話だ。</p> |
| <p>今の時代にこのような調査は必要ないと思う。今後やめてほしい。</p> |
| <p>他人の誹謗中傷は絶対にしない。自分よりも弱者（高齢者、子ども、障がい者等）には自分にできることは、労を惜しまず、手をさしのべるなど、心がけながら過ごしていきたいと考えています。</p> |
| <p>役所の「人権啓発・部落差別解消推進課」がこうも多くの種類の人権に関わるお仕事をされていることを初めて知りました。お疲れ様です。昨年12月、違う地域から越してきたばかりの為、国東市の実状はまだ把握していませんが、実際そんなに「人権、部落」のことでの相談や不利益を被った方が多くいるのかな。と疑問もあります（相談件数など不明の為）。今の時代は研修を受けてきた人も多いと思うから、過敏にならない程度の課であってもいいのでは。課として仕事する様なことなのかな。率直な感想です。</p> |
| <p>この様な調査があるということはまだ何らかの差別があるということでしょうか、何度もいう様ですが、「寝た子は起こさない」はもう古いことでしょうか。</p> |
| <p>調査項目が多すぎる。</p> |
| <p>私の地区に生活保護を受けている人がいますが、体は丈夫でまだ若いのにどうしてもらえるのか良くわかりません。私ももらいたいけど、どうしてもらおうのか良くわからないので、一生懸命働いています。これも差別の一つだと思います。</p> |
| <p>昔から人権には興味があります。自分も大切ですが、他人も大切という教育を保育園の時から教育で教えていく方法があります。小さい時ほどよいと考えます。ぜひ行動して下さい。</p> |
| <p>部落差別とか、みんな分からない事を語り継ぐのは良くない。人類は皆兄弟。語り継がれて知ったとはいかないが、ほんとうにあったのか。</p> |
| <p>人権に関する取り組みは継続的な努力が必要だと思います。</p> |

| |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 昔も今も、目に見えない差別は変わらずにあり続けていると思う。当事者は黙って耐えているので周囲の人は気付けない。悩んでいる人が気軽に立ち寄ってホッとできる空間がどこかにあれば。 |
| ほかの地区の人権学習会に行ったことがあるが人数が少なかった。地区の役員がいつも来るだけと言っていた。あまり学習にはならないなと思って帰った。 |
| 行政が継続して地道な啓発をするしか方法はないと思います。 |
| 方言が大事にされるのは同感するが、方言の中に差別が脈々と息づいている。今はあまり口には差別を出さないが、住民の間には差別そのものがしっかり根付いている地である。解消は難しい。どうやっても。 |
| 私方の困っている事は屋敷、畑、田に小石、大石、砂、藁でくわがささらないぐらい、野菜が出来なくする為、米が出来なくする為、毎年入れられています。田んぼはあぜの石まで投げ込まれています。トラクタガタガタで悪くなります。稲も出来ません。色々な事をされた事を警察に言っても見た証拠がありますか、で終わりです。しいたけを取ったり、夫婦で見張りをして、物を取りに来ます。いつも家の様子を見て、物を取ったりされて困っています。役場の相談にも行きましたが、解決が付かずじまいで今日に至っています。夜にもやんと光っているので、庭石も切ったり、白壁をはいだり、汚したり、悪い事ばかりして、人が困るのを喜ぶ人です。私方の田、あぜには草の種をまき、私方が困っているのを喜ぶ年よりの人です。87歳くらいの男性です。ストレスが溜まります。心のゆるむ時はありません。毎日、12時まで起きて警戒しています。玄関の戸を叩いたりします。主人も弱り、天にまかせる他ないと言って、病院通いをして、困ったもんや言って情けなく思っています。いい人が悪い事をした時は人が見ない。「①天知る②地知る③人が知る」で人間③番に悪い事、良い事がわかります。天にまかせます。乱文、乱筆にて失礼させていただきます。 |

【70歳～79歳】42件

| |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 結婚差別をなくすことが第一。皆がまず自分や身の囲い(身内)から、何のこだわりもなく縁組を平等にすすめるべき。自分は常日頃から、このことを心がけて実践している。今、何の屈託もなく楽である。今気づいている人が、まず率先して実践していけば差別はだんだん薄まっていく。理想論だけでは、人心は変わってゆかない。 |
| 公的な立場にいる人に、さげすまれること無知だと言わんばかりに対応されること。 |
| 私は79才。思う事は、令和になってよく意味も分らない子供たちに文章として部落の事を言わなくても自分たちの子供の頃は、大人の人よりよく聞かされました。友達でも、だんだん遠くなる時もあった。又、この事を問題にしてさわぐ時間は終わりでよいと思います。自分が若い時、親・先生いろいろの人に相談すると、みんな説明も違うと思います。私がこの土地に来たころは、よく老人の人々が言っていた事を思い出します。(気持ちはよくない)人間えらんで、よい土地、又よい身分になるとはきまっていない。言う事と文章にした事のちがいがわからない。人間として、みんな仲良くという。今からこの子供を育ててもらいたいと思います。 |
| 問題が多すぎる。大変でした。 |
| 人権については部落差別だけでなく貧困、職業差別等、他にも多々あると思います。それらに遭遇した時に人々はどう感じるか、又、メールやネットで顔が見えない誹謗中傷があった時どうすれば良いか等問題は沢山ある様に思われます。 |
| 空家→後継者なし 空田畑(何も作物無し)→家主は誰も住んでいない。地域による田んぼの継持。管理料(そうじ、池がかり、片づけ等)不要日当が計5・6個ある。区費年間2分の1料。これは仕方のないことなんでしょうか。区の人にたずねると、建物がある限り、所有の田畑がある限りとの事。 |
| 田舎では高齢者の交通手段がない為、通院や買物が不自由である。差別と考えている。 |
| 近隣の長老の話の中に入り「知らないの」と言われると知りたがる自分がある。区費を払わない人が区にいると冷たい目で見る自分がある。生活困窮者の人が自分勝手なふるまいをしていると許せない気持ちの自分がある。身体に障がいのある老人が多くの人集まりに出たがり二、三人迎えに行ったり送って行ったりするのを見ると、静かに家にいる方が迷惑を掛けないのにと冷たく思ってしまう。差別の心は自分で培っていることに気づきます。 |

| |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>男性中心の世の中である。男性も女性も双方に原因がある。女性は男性に任せておけばいいという意識があり、男性は「女のくせに」という意識が根強く残っている。男性の良いところ、得意なところ、女性の良い所、得意なところをお互い活かし合い補い合う社会を目指さなければならない。市議や区長など、圧倒的に男性が多い。これでは男女共生社会とは言えない。女性が生き生きと活躍できる（男性も同じであるが）社会を実現することがまず、部落差別をなくするための第一歩である。障がい者が活躍できる場が、まだまだ不十分である。私の地区の車いす生活の方は家に閉じこもっている生活で、地域に出てこようとしない。それはまわりの働きかけや支え合いがまだできていないからに他ならない。事実を確かめず、噂が先行して真実を覆い隠すことがあまりにも多すぎる（コロナも部落差別も同じ）。</p> |
| <p>国東市では該当者がいないし、人権問題にこれだけ人件費をかける必要はない。行政は同和問題にこれだけ費用をかけるとは同和におどされる内容があるのだろう。けしからん。それなら税金を減らすべきだとみんなが言っている。</p> |
| <p>多様性や差別、立場をかえて言動する習慣を子供のころから身につけるしつけや教育が必要だと思います。</p> |
| <p>人権の件で出席した事は多くありますが、中身が無いように思われます。会場を出たあと人数多く集める事だけではと思います。</p> |
| <p>世代交代によって今の子供たちの間では部落差別の意識はないと思うし、自然になくなっていく事を願っています。それよりも、子供の貧困や障がい者差別、性差別、犯罪被害者家族への心ない対応等々、心を痛めます。どうか孫世代が穏やかに暮らせる社会が開けることを切に望んでおります。よろしく願いいたします。</p> |
| <p>この年になって恥ずかしい限りですが、これを機会にもう少し深く考えてみたいと思います。</p> |
| <p>知らない事が多くありました。</p> |
| <p>HIV、ハンセン病元患者さん方に会った事がないのではっきりとわかりません。</p> |
| <p>今まで生きてきた中で自己反省する事が多々ありますが、個人攻撃を他者から度々聞くと、とても悲しくなります。その為、自分を責めて今生きているのですが、辛くなるようです。人の口に戸は立てられないが、それも反省の1つだと思います。が、死ぬまで何とか年齢的に解決できないものか。家族の者から言われたのは、言い返すことが出来るか。他人からの言葉（本人は私の年に入っている事を知らないのか、知っているのか）。</p> |
| <p>人権に関する標語等の看板が立てられているが、定期的に整備をしないと見えづらくなっている。(例)某武蔵の会社入口の看板(2枚)の設置場所 女竹を広範囲に伐採しないと、南からや北から車で通るときに目立たない。標語を出した家族は残念に思っていますよ。お役所仕事にならないように。</p> |
| <p>沢山の法律があることを恥ずかしながら知りませんでした。法によって取り締まる事は大事であり必要だと思いますが差別は人の心の問題であり、とても難しいと思いました。よくわかりませんが子供の時から家庭や学校で色々な事件や問題について話し合ったり考え合ったり、(大人も教えこむことはできにくいので)共に語り合うことが大事なのだと思います。自分の心の中にある差別意識について、大人も子供も共に向き合う時間があればと思います。また、個々人だけのことではなく、国全体の価値観としての問題として、浸透できることを望みます。国に人権についての価値観があるなら、それは地方自治体にも及ぶと思います。</p> |
| <p>国東市のために頑張ってください。</p> |
| <p>法的には守られている(市民よりも)それに対する考え方、思いが皆同じではない。分かっている、その人の本質が出るか出ないか人間性の問題だと思う。何にしても差別と意識しないで言ったり聞いたりしている人も多し、必要以上に言ったり聞いたりしている人も多し。裁く人も、その人格を疑うこともあるのと同じ。ただ人権に関しては同和同和と声を出し過ぎると思う。(市民よりも本人が強く声を出す場合も)今の人たちは忘れている人が多かったのに。根本的にはなくならないと思う。こちらの方が差別されているかも知れない。</p> |
| <p>差別する人や差別を助長する人たちを徹底的に(全国的に)処罰することを継続すればかなりなくなります(特に部落差別は完全に消失するはずです)。</p> |
| <p>国東市でも人権擁護委員の方がいらっしゃると思うのですが、活動が見えません。何年も一人の方が続けているのでしょうか。活動が活かされているのかもわからないので、しっかり市民に見える様にしていただきたいと思います。有意義なものになるのであれば、相談も増すことだろうと思います。</p> |

| |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>私は10年間地区の区長、民生員等から特別に注意を受けました。自分では現状が分かりません。誰かの一言の悪口で広まったことでしょう。今は地区の事全て出席できず、パニック障害で自宅が一番安心です。老後は国東を離れて自由に生活したいので、大分市にマンションを買いました。田舎の人は恐いと思います。主人が冷静で立派な人格なので今は保護してもらっているけど、国東は仏の里とはかけ離れています。私の周囲の人も皆悲しんでいます。</p> |
| <p>現在親、保護者による子供に対しての育児ほうき虐待がよくニュースで聞くようになりましたが、悔しくてなりません。行政としてよりよい対処の方向性をしめしてほしいです。</p> |
| <p>アンケート、1つ1つ重要な課題です。</p> |
| <p>部落差別（同和教育）。今は知らない子供が多い（同和教育をして、知らない子供たちにおしえる事はないと思う）。</p> |
| <p>性的指向や性的違和の一部について、生理的に受け入れがたいものがある（特に同性愛）。質問項目を見て、このようなものが人権に関係しているのかと、改めて勉強させられた。</p> |
| <p>人権に関する市民意識調査は適宜実施するのが望ましい。充実した調査項目である。関係者の努力に感謝します。</p> |
| <p>この問題は難しいと思います。その場に直面しないと解らない事が多いと思います。</p> |
| <p>区集会。県外からの移住者の意見に対して「よそ者は黙っちょけ」と強く叱責をします。それに対して誰も注意することもなく。意見を言った本人はもう区集会に行かないと話した。女性の活動に対して、無視する。区長、協力をしない。気に入らない人に非協力、気に入る人には協力。</p> |
| <p>部落差別の問題に全く取り組んでいない県があると聞いた事があるが今でもそうなのか。全国の状況を知りたい。</p> |
| <p>人権の尊重は、社会生活を営む上で一番大切な事であり、子供から大人までを対象に常に啓発することが必要だと思います。</p> |
| <p>人間は動物ではないので教育をすればどうにでも変わる。人権の問題は、人間としての知識と教養によって解決できる学校教育の見直しを行い、学力よりも大切な事を今の教育は行っていない。早く人間としての心の教育を取り入れて行かねば、人間は動物以下の生き物として我が子、親、兄弟を簡単に死なす世の中になってしまう。今こそ、大切な事を国がすべきだ。そのためには家庭教育、学校教育が必要。学校教育は先生にある程度の権限を与えなければ教育はできない。生徒に対してあたらず、触らずにして本当の教育（人間としての心の教育）はできない。</p> |
| <p>私は77歳の女性です。今年5月に主人を亡くし、1人で生きています。でも地域や近所の方々の温かい思いやり、心遣いに、ああ私も人権が守られ生かされているんだなあとうれしく思い、感謝しています。今朝も、近所の小学1年生が「おばあちゃんおはよう」と学校へ行きました。</p> |
| <p>人権にはいろいろあるが特に同和については正しい歴史教育が必要であり、小、中、高において学校で学べば差別のない社会が生まれると思います。</p> |
| <p>23歳の時、姉の相手の調査を父に言われて調査した。4人家族で姉と小生対父と母での2:2の結果母が姉に負けて3:1となり、父が許さなかったので姉と相手は駆け落ちしてしまった。アメリカ生活であった為、孫が出来て初めて父は許してくれた。晩年、父も心がとけたが、内心は許していなかったように思えた。家の中がぐちゃぐちゃになったのは、一時期であった。小生自身は「人間」としてとらえていると思っています。どんな方たちであれ、「人」として接すれば何ともないし、何とも思わない。</p> |
| <p>アンケートして、知らないことが多かった。今後は色々な面で学習が必要と思った。</p> |
| <p>現在では人権差別などあまり云わず友達としてすごしているのであまりこだわらないほうが良いと思います。同和の人などいばるからね。</p> |
| <p>この度の人権に関する市民の意識を問うことはよいことだと思いました。この調査を元に、人権の意識の実態がわかると存じます。これからの日々、差別のない意識を持っているように、それぞれ努力していきたいと思って居ります。皆様のご努力に感謝致しております。</p> |
| <p>国東市では、毎年、各地域等での人権学習会が行われているが、毎回、参加者の少ないのが気がかりである。学習会の実施方法等は難しい事とは思えるが、考える時が来ていると思う。</p> |
| <p>自己啓発の場が少ない。人の事を誉めず、妬みが多い事に驚いた。特に女性。私見が低いと思います。地元の間人ではないので、例え出来ても控えた方がいいと言われた時、ショックでした。男性でも位（役）が上がった時、誉めず威張っているのではないかと人もいたとか。この地の独特なんでしょうか。</p> |

【80歳以上】28件

| |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| アンケートの数が多すぎる。 |
| 年齢80歳過ぎていますのであまりよく分かりません。 |
| 人権教育は小学生から一般(国東市の)成人まで徹底されている様に思われますが、今一步核心にふれられてない様に思われます。逆差別と思われる節も見受けられる様に思います。 |
| 私はおじいさんから人権問題について聞いた事があるが寝た子を起こす様なことはあまりしない方が良くと思います。 |
| 地域や社会で自分とは異なる価値観を持った人と出会い戸惑った経験がある人は多いと思います。その際「ちょっとこの人は合わないな」と、避けてしまうこともあります。「違いがあるからこそこの世界は多様性に富んだ百花繚乱の花園なんです。だから差異の本来認めることはもとより尊敬し学び合うべきものだ」と、思います。平和の根元は人間である。人間同士の信頼である確かな信頼関係を築くには、互いに一個の人間として人格としての相手への尊敬がなければならないような権威や駆け引きだけでは、信頼を掴むことは不可能である人間としての裸の自分を立派に建設していくことが平和の基本となっていく。 |
| 80歳を超えている少し頭が弱いです。 |
| 問10は近所に子供がいないのでわからない。 |
| 差別は日本古来の古い歴史に培われた朝廷時代からの問題で、一朝一夕では済まされない。法整備するか、罰則規定を作るかによる事が必要。多民族国家でもある米国に於いて現状では差別が広がっている状況を見ると、欧州にもこれからアフリカ大陸より難民が押し寄せ差別が広がる状態。国連に提案して全世界で解決しなければならない問題。趣旨は違いますが、環境問題と同じ。 |
| 身近に部落差別等ないので、あまり気にしない。学習はどうかと思う。 |
| 高齢なうえ、解答するのにとても迷ったりして困りました。考えたつもりです。 |
| 人権問題は立場立場でその都度学習しましたが、いろいろな事がからんで完全に解決するのは難しいと思います。80年の間にはいろんな矛盾ごと、屈辱的なことも言われたり出会ったり、ありましたが、家族や子供たちに支えられて乗り越えて来ましたので、今があります。これからのいろいろな事がありましようが、健康に気を付け、食事バランスのとれた物を経済的に許す限り努力して生きながらえてと思っています。100歳に向けて頑張ります。担当の方、お世話になります。 |
| 日本における差別問題は、わが国古来からの「犠牲のシステム」が存在するかぎり、容易に解決しないと思う。沖縄米軍基地や原発問題も全て含めてが、「犠牲システム」に根っこがある。 |
| 皆さん個人個人がお互いを尊重し平和に過ごす事でしょうと思います。 |
| 親が弱い子供を虐待しているニュースに心が痛みます。情報に対して、児童相談所や地域が真剣に取り組む必要があります。 |
| 児童、生徒相互の「いじめ」が後を絶たないようです。教師は常に情報を共有して共に力を合わせて指導してほしいです。 |
| 部落差別はなくなっていますが、結婚差別は残っていると思います。 |
| インターネットによる中傷などについて強い規制が必要です。 |
| 男女雇用機会均等法の成立、本当にうれしく感じました。 |
| コロナ禍はたくさんの会合を人の輪を広め、知識も広める事が第一だと思います。 |
| 部落差別に関する学習会は、数年前まで地区公民館で町長、市長をはじめ、課長等も参加してやっていたのですが、ここ数年やっていないようですが(区でやっているのかな)。同和問題について話をする機会が減っていますので、状況を知る機会がなくなって、同和問題は心配がなくなったのかなという感じになっている。本当にそんな世の中になっているのかな。 |
| 人権尊重意識は学習の機会がないと育たない。本や資料、パンフレット等、読み物はめんどくさいし、強制力もないので、これも良いが、やはり耳で聴く方法での啓発の方がはるかに有効である。そのためには行政が地区やアストなどでの講演会、映写、パネルディスカッションを視聴させるのがよい。同和に関する印刷物や講演は一方的になりがちで聞き手からは上から目線になることもある。そこで、質問や討論会を交え、「こう言えば差別視されるから質問も自己の考えも口外できない」と思わせない工夫で、双方向性の考えを交える相互発表形式の会合も必要ではないか。講師など謙虚で科学的姿勢を表す工夫が必要である。言っている事は正しくとも、啓発者の人格と努力の方に大衆は傾聴する(元高校同和教育推進委員)。 |
| 現在の国東市は災害もなく幸せです。高齢者なので、民生委員さんが頼りです。 |

| |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>今はアンケートを考える中で、人権に関して、日頃余り考えていないことに気付かされた。職を離れて20数年、毎月市報を拝見して行政に人権問題をよく取り上げているし、その時、改めて人権問題を考える。誠実に地域は高齢化が年々進行し、色々な面で手が行き届かず諦めかけている高齢者が多い。行政も柔軟的な対応も時には必要ではないか。</p> |
| <p>私も国東に来て64年になります。良い事、嫌な事、結婚の半分35年はいじめにあいましたが、じっとこらえていました。その人たちは死にました。少しは楽になったと思ったけど、やっぱりやられっぱなし知る人はわかるし、わからない人はそれで良いと思って生きて来ました。今は主人と二人暮らしのんびりしています。二人の人生もあとわずかですので、ゆっくり生きています。つまらない事を書いてごめんね。</p> |
| <p>差別解消には即効薬はありません。市民意識高揚の為、ご尽力下さい。</p> |
| <p>85歳になるといじめられ事もあるけど、どんな事でも思い出せません。もう何をしても思い出せません。皆と仲良くしてぼちぼち終わりが来ます。</p> |
| <p>問25で「3に〇をしました」。実際現在の若い人たちには部落差別自体を知らない人が多く、今80歳以上の方が亡くなっていけば、この差別の問題は自然に消失すると思います。あえて学校で教えない方が良いと思います。私は学校で小学生にこの部落の人たちの事を教えているのを見学しましたが、教え方も難しいと思いました。</p> |
| <p>成果の発表と役所での改善した事の発表施行。</p> |

調査で使用した調査票です。

じんけん かん しみんいしきちょうさ きょうりよく ねが
人権に関する市民意識調査ご協力のお願い

くにさきし じんけんぎょうせい すいしん ひごろ りかい きょうりよく まこと
国東市の人権行政の推進につきましては、日頃からご理解とご協力をいただき、誠に
ありがとうございます。

くにさきし さべつ あか す くにさきし しさく じっし
国東市では、差別のない、明るく住みやすい国東市となるよう、さまざまな施策を実施し
ていますが、その一つとして、市の人権施策をより効果的なものとするために、5年に1
ど じんけん かん ちょうさ じっし ちょうさ ねん けいか
度、人権に関するアンケート調査を実施しています。前回の調査から5年が経過したこと
から、本年度改めて調査を実施し、その結果をより効果的な人権施策につなげていきたい
かんが
と考えています。

ちょうさ しない す さいいじょう かた なか むさくい えら みなさま とど
この調査は、市内にお住まいの18歳以上の方の中から無作為に選んだ皆様にお届けして
います。調査の内容は、皆様が日頃人権についてどのように考えているかをご回答いただ
くものです。

かいとう むきめい こた ないよう こうひょう ごうけい
また、回答は無記名で、お答えいただいた内容もそのまま公表することはなく、合計し
わりあい だ とうけいてき しより そっちよく いけん かんが き
て割合を出すなど統計的に処理しますので、どうか率直なご意見・お考えをお聞かせくだ
さい。

いそが まこと きょうしゆく ねが いた
お忙しいところ誠に恐縮ですが、ご協力くださいますようお願い致します。

れいわ ねん がつ くにさきし
令和2年7月 国東市

きにゅうじょう ねが
記入上 のお願い

1. ふうとう な ほんにん かいとう (ほんにん きにゅう むすか ばあい、
かぞく かた ほんにん き と だいひつ
ご家族の方などがご本人から聞き取って代筆してください。)
2. しょう ひっきょうぐ なん けっこう くろいろ
使用する筆記用具は何でも結構ですが、黒色のボールペンなど、なるべく色の
こ
濃い、はっきりと記入できるものをご使用ください。
3. かいとう べっし かいとうようし かくせつもん おう せんたくし ばんごう
回答は、別紙の回答用紙に、各設問に^{かす}応じて、^{せんたくし}選択肢のうちあてはまるものの番号に○
をつけてください。○をつける数はそれぞれの設問に^{したが}従ってください。
4. せんたくし なか た くたいてき えら ばあい
選択肢の中で「その他（具体的に：__）」とあるものを選んだ場合は、それぞれ
くたいてき ないよう きにゅう きにゅうらん せま ばあい けっこう
具体的な内容を記入してください。記入欄が狭い場合ははみだしても結構です。
5. まちが きにゅう じるし け あらた ただ ばんごう
もし間違えて記入したときは、はっきりと×印で消して改めて正しい番号に○
をつけてください。
6. きにゅう お かいとう ようし み おり よ おり へんそうようふうとう い
記入が終わりましたら、回答用紙を三つ折または四つ折にし、返送用封筒に入れ
ふう きって は がつ にち ちか ゆうびんきょく た
て封をし、切手を貼らずに8月25日までにお近くのポストまたは郵便局へお出し
ください。
7. ちょうさ かわらないうちやききたいことありましたら、かき と あ
この調査についてわからないことや聞きたいことがありましたら、下記の問
せき きがる れんらく
合わせ先まで、お気軽にご連絡ください。

| |
|-------------------------------------------------------------------|
| と あ さき くにしきしじんけんけいはつ ぶらくさべつかいしょうすいしんか 問い合わせ先：国東市人権啓発・部落差別解消推進課 |
| でん わ 電 話： 0978-72-0354 |
| ファックス： 0978-72-0357 |
| E メール： jinken@city.kunisaki.lg.jp |

※はじめに、統計・分析のために、あなた自身についておたずねします。

F1. あなたの年齢について、1つ選んでください。(令和2年4月1日現在の満年齢)

1. 18 ~ 19歳
2. 20 ~ 29歳
3. 30 ~ 39歳
4. 40 ~ 49歳
5. 50 ~ 59歳
6. 60 ~ 69歳
7. 70 ~ 79歳
8. 80歳以上

F2. あなたの職業について、1つ選んでください。

1. 自営業(農業・林業・漁業・商工サービス業など)または、その家族従業員
2. 会社・団体の正社員・正規職員
3. 会社・団体の契約社員(職員)または派遣社員(職員)
4. 公務員(教職員を除く国・県・市町村の機関の職員)
5. 教職員
6. パート、アルバイト(職種は問いません)
7. 家事専業(外で働いておらず、専ら家事に従事している方)
8. 学生
9. その他(①~⑧のいずれにも該当しない方)

※これより、あなた自身の人権に関する考えや意見などについておたずねします。

I. 人権全般(問1 ~ 問5)

問1. あなたは、人権問題に関心を持っていますか。次の中から、1つ選んでください。

1. 非常に関心がある
2. 少しは関心がある
3. あまり関心がない
4. 関心がない

とい 問2. あなたが、国内の人権課題で、特に関心があるのはどの課題ですか。

つき なか えら
次の中から、いくつか選んでください。

1. 女性の人権
2. 高齢者の人権
3. 子どもの人権
4. 障がい者の人権
5. 部落差別の問題（同和問題）
6. アイヌの人々など少数民族の人権
7. HIV（エイズウイルス）感染者・エイズ患者の人権
8. ハンセン病元患者やその家族の人権
9. 外国人・外国人労働者の人権
10. 在日韓国・朝鮮人の人権
11. 犯罪被害者やその家族などの人権
12. 刑を終えて出所した人の人権
13. インターネットなどによる人権侵害（プライバシー侵害や誹謗・中傷など）
14. 北朝鮮当局によって拉致された被害者やその家族など
15. ホームレスの人権
16. 性的指向（異性愛、同性愛、両性愛など）
17. 性別違和（生物学的な性と心の性が一致しない）
18. 人身取引（性的搾取や強制労働等を目的とした人身取引）
19. 東日本大震災にともなう人権問題
20. 上記のような条件が重なった人に対する重層的差別（例えば女性でありかつ高齢者でもあることで受ける差別など）
21. その他（具体的に： _____ ）
22. 特にない

とい 問3. あなたは、国東市では人権が尊重されていると思いますか。

つき なか えら
次の中から、1つ選んでください。

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 尊重されている | 2. まあまあ尊重されている |
| 3. あまり尊重されていない | 4. 尊重されていない |

とい
問4. あなたは、^{いま}今までに自分が^{じぶん}差別されたり、^{じぶん}自分の人権が^{しんがい}侵害されたと
^{おも}思ったことはありますか。

1. ある → 【 問4-ア、問4-イにご回答後、問5へ 】 2. ない → 【 問5へ 】

とい
問4-ア. (問4で「①ある」と答えた方にお伺いします)

それはどのような^{せいしつ}性質のものですか。次の中にあてはまるものがあつたら、
いくつでも^{えら}選んでください。

1. ^{ひぼう}誹謗・^{ちゆうしやう}中傷
2. ^{せいかつぼうがい}生活妨害
3. ^{さべつたいぐう}差別待遇 (^{じんしゆ}人種・^{しんじやう}信条・^{せいべつ}性別や^{しゃかいてきみぶん}社会的身分などにより ^{ふびやうどう}不平等または^{ふりえき}不利益な ^{あつか}扱
いをされること)
4. ^{ぼうりよく}暴力や^{きやうやう}強要・^{きやうせい}強制
5. ^{ふとうたいぐう}不当待遇 (^{かいしや}会社などでの、^{しやうしや}使用者による ^{じかんがいろどう}時間外労働などの ^{ふとう}不当な ^{ろうどうきやうせい}労働強制や ^{ちん}賃
^{ぎん}金
^{かくさ}格差など)
6. ^{しんがい}プライバシーの侵害
7. ^{さべつ}なんとなく差別されているような ^{かん}感じ
8. ^たその他 (^{ぐたいてき}具体的に： _____)
9. ^{こた}答えたくない

とい
問4-イ. (前問と同様に、問4で「①ある」と答えた方にお伺いします)

そのときどのように^{たいおう}対応しましたか。次の中から、1つ^{えら}選んでください。

1. ^{あいて}相手に^{こうぎ}抗議など、^{じぶん}自分で^{こうどう}行動した
2. ^{ゆうじん}友人や^{どうりやう}同僚・^{じやうし}上司に^{そうだん}相談した
3. ^{かぞく}家族や^{しんせき}親戚に^{そうだん}相談した
4. ^{みんかんだんたい}NPOなどの民間団体に^{そうだん}相談した
5. ^{ほうむ}法務局に^{そうだん}相談した
6. ^{けいさつ}警察に^{そうだん}相談した
7. ^{べんごし}弁護士に^{そうだん}相談した
8. ^{なに}何もしなかった、^{がまん}我慢した
9. ^たその他 (^{ぐたいてき}具体的に： _____)

問5. あなたは、差別や人権侵害を受けた場合に相談できる機関（場所）があることを知っていますか。知っているものを、次の中から、いくつでも選んでください。

1. 法務局
2. 県や市町村の担当課
3. NPOなどの民間団体
4. 警察署
5. 弁護士（または弁護士会）
6. その他（具体的に： _____ ）
7. 知らない

Ⅱ. 女性の人権（問6～問8）

問6. あなたは、女性に関することで、現在どのような人権問題があると思いますか。次の中から、いくつでも選んでください。

1. 男女の固定的な役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」など）
2. 職場における差別待遇（採用・昇任・賃金などの男女差、マタニティ・ハラスメントなどの妊娠・出産・育児などを理由として不利益な扱いをされることなど）
3. ドメスティック・バイオレンス（夫や恋人からの暴力）
4. セクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）
5. 強制性交罪、強制わいせつなどの性犯罪や売春・買春（いわゆる「援助交際」を含む）
6. 広告の内容に関係ない女性の水着姿、裸体や媚びたポーズなどを使用した広告
7. 女性のヌード写真などを掲載した雑誌、新聞やアダルトビデオ、ポルノ雑誌
8. 女性の働く風俗営業
9. 「令夫人」、「婦人」、「未亡人」などのように女性だけに用いられる言葉
10. その他（具体的に： _____ ）
11. 特にない
12. わからない

問7.

あなたは、男女平等が
実現していると思います
か。
ア～ウについて、
1～7の中から、それぞれ、
1つずつ選んでください。

| | 実現していると思う | ほぼ実現していると思う | やや女性に不利益だと思う | 女性に不利益だと思う | やや男性に不利益だと思う | 男性に不利益だと思う | わからない |
|-----------|-----------|-------------|--------------|------------|--------------|------------|-------|
| ア. 家庭では | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| イ. 職場では | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| ウ. 地域生活では | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |

問8.

結婚、家庭、出産、子育てについての考え方で、
あなたのご意見に最も近いものはどれでしょうか。
ア～クについて、
1～5の中から、それぞれ、1つずつ選んでください。

| | 賛成 | どちらかといえば賛成 | どちらかといえば反対 | 反対 | わからない |
|---------------------------------------|----|------------|------------|----|-------|
| ア. 女性の幸福は結婚にある。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| イ. 結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ウ. 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| エ. 女性は結婚したら、夫や子どもなど家庭を中心に考えて生活した方がよい。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| オ. 結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| カ. 女性は仕事を持つのはよいが、家事・育児はきちんとすべきである。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| キ. 男性は育児・介護休暇などを積極的にとるべきである。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ク. 男性は、家事や育児の時間をもっと増やすべきである。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

Ⅲ. 子どもの人権（問9～問10）

問9. あなたは、子どもに関することで現在どのような人権問題があると思いますか。
 次の中から、いくつでも選んでください。

1. いじめ
2. いじめを見て見ぬふりをする事
3. 教師や指導者による体罰
4. 親など保護者による虐待（子どもへの暴言・暴行やわいせつ行為、育児放棄など）
5. 進学先や就職先の選択など、子ども本人の希望（意見）を大人が無視すること
6. 学力による評価が優先し、多様な能力が評価されないこと
7. 家庭の経済状況が理由で、子どもの進路が狭まること
8. 児童買春・児童売春・児童ポルノなど
9. 性的行為や暴力シーンを子どもに見せること
10. インターネット上の掲示板や電子メールでの悪質な書き込みや嫌がらせ
11. その他（具体的に： _____ ）
12. 特にない
13. わからない

問10.

あなたは、あなたの周りにいる
 子どもが幸せに過ごしているよう
 に思いますか。
 ア～ウについて、1～5の中から、
 それぞれ、1つずつ選んでくださ
 い。

| | 幸せに過 ぎしている ように思 う | 幸 せなよう に思 う | ど ちらか とい えば | 幸 せで はな いよ うに 思 う | 幸 せで はな いよ うに 思 う | わ か ら な い |
|------------------|----------------------------|----------------------|----------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-----------------------|
| ア. 家庭では | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| イ. 学校では | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ウ. 地域（家庭や学校以外）では | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |

Ⅳ. 高齢者の人権（問11～問12）

問11. あなたは、高齢者に関することで、現在どのような人権問題があると思いますか。

次の中から、いくつでも選んでください。

1. 経済的な自立が難しいこと
2. 働く能力があるのに発揮する機会が少ないこと
3. 特殊詐欺（振り込め詐欺など）の被害者が多いこと
4. 家庭内での看病や介護において、劣悪な扱いや虐待があること
5. 病院での看護や介護施設において、劣悪な扱いや虐待があること
6. 邪魔者扱いにされ、つまはじきにされること
7. 一人暮らし、閉じこもり、寝たきりなどへの不安やそれらによる不便があること
8. 転居や施設入所などによる生活環境の変化に対する不安があること
9. その他（具体的に： _____ ）
10. 特にない
11. わからない

問12.

あなたは、高齢者は大切にされていると思いますか。

ア.イ.について、

1～5の中から、それぞれ、

1つずつ選んでください。

| | 大切にされていると思う | どちらかといえば大切にされていると思う | どちらかといえば大切にされていないと思う | 大切にされていないと思う | わからない |
|-------------|-------------|---------------------|----------------------|--------------|-------|
| ア. 家庭の中では | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| イ. 社会全体の中では | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

V. 障がい者の人権（問13～問14）

問13. あなたは、障がい者に関することで、現在どのような人権問題があると思いますか。次の中から、いくつでも選んでください。

1. 結婚に反対されること
2. 就職の際や職場で不利な扱いをされること
(就職の機会がない、職場での合理的配慮に欠けるなど)
3. 差別的な扱いや言動をされること
4. 悪徳商法の被害に遭いやすいこと
5. アパートなどの住宅への入居が難しいこと
6. 宿泊施設や公共交通機関の利用、店舗などへの入店を拒否されること
7. スポーツ・文化活動・地域活動に自由に参加できないこと
8. じろじろ見られたり、避けられたりすること
9. 必要な社会的支援(医療など)を受けられないこと
10. その他(具体的に： _____)
11. 特にない
12. わからない

問14.

あなたは、障がい者の人権は保障されていると思いますか。
 A.I.について、1～5の中から、それぞれ1つずつ選んでください。

| | 保障されていると思う | どちらかといえば保障されていると思う | どちらかといえば保障されていないと思う | 保障されていないと思う | わからない |
|--------------|------------|--------------------|---------------------|-------------|-------|
| ア. 法律や制度のうえで | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| イ. 日常生活で | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

VI. 部落差別の問題（同和問題）（問15～問26）

問15. あなたは部落差別の問題（同和問題）※を知っていますか。

1. 知っている → 【問16へ】 2. 知らない → 【問18へ】

※部落差別の問題（同和問題）

日本には、特定の地域出身であることや、そこに住んでいることを理由に結婚に反対されたり、就職で不当な扱いを受けたり、インターネット上に心ない誹謗中傷が書き込まれるなどの差別を受けている人たちがいます。これが部落差別であり、これを原因とする社会問題を「部落差別の問題（同和問題）」といいます。これまでの長年の取り組みによって、生活環境や産業基盤の整備などの面で較差は大きく改善し、社会のさまざまな分野で人権尊重の意識が醸成されてきましたが、未だに解決には至っていません。

このような中、平成28年12月に「部落差別の解消の推進に関する法律」が、平成31年3月には「国東市における部落差別等あらゆる差別をなくし人権を擁護する条例」が施行され、国や県、国東市では部落差別の無い社会の実現を目指して、さまざまな取り組みを行っています。

問16. あなたは、学校や職場、地域で、部落差別の問題（同和問題）について、

学習したことがありますか。次の中から、いくつでも〇をつけてください。

1. 小学校で学習した
2. 中学校で学習した
3. 高校で学習した
4. 短大、大学及び大学院もしくは各種専門学校などで学習した
5. 住民対象の講座や研修会などで学習した
6. 職場の研修で学習した
7. 上記以外のところで学習した
8. はっきり覚えていない
9. 受けたことはない

とい ぶらくさべつ もんだい どうわもんだい し
問17. 部落差別の問題（同和問題）について、あなたがはじめて知ったのはどんな
きっかけですか。次の中から、1つ選んでください。

1. 家族や親戚から聞いた
2. 近所の人から聞いた
3. 友だちや知り合いから聞いた
4. 職場の先輩や同僚から聞いた
5. 学校の授業や先生から教わった
6. テレビ・新聞・雑誌や本またはインターネットなどで見た
7. 職場や地域の人権研修会への参加や啓発チラシなどで見た
8. その他（具体的に： _____）
9. 覚えていない

とい ぶらくさべつ もんだい どうわもんだい かん げんざい
問18. あなたは、部落差別の問題（同和問題）に関する事で、現在どのような
人権問題があると思いますか。次の中から、いくつでも選んでください。

1. 恋愛や結婚に対する反対
2. 就職・職場での不利な扱い
3. 差別的な言動
4. 差別的な落書きや差別ハガキなど
5. 差別的な土地調査
6. 身元調査
7. インターネットなどを利用した差別的な情報掲載
8. その他（具体的に： _____）
9. 特にない
10. わからない

とい ぶらくさべつ いしき も ひと おも つぎ なか えら
問19. 部落差別意識を持つ人はまだいると思いますか。次の中から、1つ選んでください。

1. もういない → 【 問26へ 】
2. ほとんどいない → 【 問20へ 】
3. なかにはいる → 【 問20へ 】
4. まだ多い → 【 問20へ 】
5. わからない → 【 問23へ 】

とい ひさべつぶらく どうわちく ひと たい さべついしき ちか しょうらい ねんごくらい
問20. 被差別部落（同和地区）の人に対する差別意識は、近い将来（5～10年後位に）
なくすことができると思いますか。次の中から、1つ選んでください。

1. 完全かんぜんになくすことができる
2. かなりなくすことができる
3. なくすことは難むずかしい

とい ひさべつぶらく どうわちく ひと たい さべついしき あらわ とき おも
問21. 被差別部落（同和地区）の人に対する差別意識が現れるのはどんな時だと思いますか。
次の中から、いくつでも選んでください。

1. 結婚けっこんのとき（周囲しゅういの反対はんたいを受けることなど）
2. 交際こうさいのとき（周囲しゅういの反対はんたいを受けることなど）
3. 就職しゅうしょくのとき（不利ふりな扱いあつかを受けることなど）
4. 進学しんがくのとき（不利ふりな扱いあつかを受けることなど）
5. 居住きょじゅうのとき（断ことわられたり、不適切ふてきせつな扱いあつかを受けることなど）
6. その他た ぐたいてき（具体的に： _____ ）
7. わからない

とい げんざい ぶらくさべつ もんだい どうわもんだい おも
問22. 現在げんざいもなお部落差別ぶらくさべつの問題もんだい（同和問題どうわもんだい）がなくなるおもないのは、なぜだおもと思いますか。
次の中から、いくつでも選んでください。

1. 部落差別ぶらくさべつの問題もんだい（同和問題どうわもんだい）の知識ちしきがなかったり、無関心むかんしんだったりする人ひとがいるから
2. 差別的な落書きさべつてきやインターネット上らくがなどで差別意識じょうを助長さべついしきする人じょちょうがいるから
3. これまでの教育きょういくや啓発けいはつが十分じゅうぶんでなかったから
4. 行政ぎょうせいや学校がっこう・社会しゃかいなどで教育きょういくや啓発けいはつを進めるから
5. 昔むかしからある偏見へんけんや差別意識さべついしきをそのまま受け入れてしまう人う いがいるから
6. 地域社会ちいきしゃかいや家庭かていにおいて話題わだいとなるから
7. 被差別部落ひさべつぶらく（同和地区どうわちく）の住民じゅうみんが行政ぎょうせいから優遇ゆうぐうされていると思おもう人ひとがいるから
8. えせ同和行為どうわこうい※などにより、「部落差別ぶらくさべつの問題もんだい（同和問題どうわもんだい）は怖い」と思おもうから
9. その他た ぐたいてき（具体的に： _____ ）
10. 特とくにない
11. わからない

どうわこうい
※えせ同和行為

ぶらくさべつ もんだい どうわもんだい こうじつ かいしゃ こじん ぎょうせいきかん ふとう ようきゅう ふほう
部落差別の問題（同和問題）を口実として、会社や個人、行政機関に不当な要求や不法
こうい おこな りえき りけん え はんざいてき こうい
行為などを行い、利益や利権を得ようとする犯罪的な行為です。

ぐたいてき かいしゃ しつよう でんわ き ふきん もと かって こうがく としよ おく
具体的には、会社などに執拗に電話をかけてきて寄付金を求めたり、勝手に高額な図書などを送
こういゆう きょうよう
りつけ、購入を強要するなどがあります。

どうわこうい ぶらくさべつ もんだい どうわもんだい かいしょう あくえいきょう あた げんいん ひと
えせ同和行為は、部落差別の問題（同和問題）の解消に悪影響を与える原因の一つと
なっている、ゆる 許してはならない行為です。

とい
問23. (あなたが婚姻しているかどうかに関わらず、お答えください)

ひさべつぶらく どうわちく しゅっしん ひと れんあい ひと けっこん
あなたが被差別部落（同和地区）出身の人と恋愛をし、その人と結婚しようと
したとき、かぞく しんせき つよ はんたい う
家族や親戚から強い反対を受けたとしたら、あなたはどうされますか。
つぎ なか えら
次の中から、1つ選んでください。

1. じぶん いし つらぬ けっこん
自分の意思を貫いて結婚する
2. かぞく しんせき ぜんりょく せつとく たど りかい え じぶん いし
家族や親戚を全力で説得したのち、例え理解を得られなくても、自分の意思を
つらぬ けっこん
貫いて結婚する
3. かぞく しんせき はんたい けっこん
家族や親戚の反対があるので、結婚しない

とい
問24. あなたの子ども、あるいは孫が被差別部落（同和地区）出身の人と恋愛をし、
ひと けっこん い
その人と結婚したいと言ったらあなたはどうされますか。
つぎ なか えら
次の中から、1つ選んでください。

1. ひさべつぶらく どうわちく ひと はんたい
被差別部落（同和地区）の人かどうかで反対はしない
2. ひさべつぶらく どうわちく ひと ほう はんたい
できれば被差別部落（同和地区）の人でない方がよいが、反対はしない
3. はんたい ほんにん いし つよ
反対するが、本人の意思が強ければやむをえない
4. ぜったい はんたい
絶対に反対する
5. わからない

とい ぶらくさべつ もんだい どうわもんだい かいしょう こんご
問25. あなたは、部落差別の問題（同和问题）を解消するためには、今後どうすればよい
おも つぎ なか えら
と思いますか。次の中から、いくつでも選んでください。

1. 人権尊重の意識を一人ひとりがもっと自覚すべき
2. 行政がもっと積極的に教育・啓発、相談体制の充実などの施策を講じるべき
3. 特別なことをする必要はなく、自然になくなっていくのを待つべき
4. インターネットにおける差別的な書き込みをする人を処罰すべき
5. えせ同和行為をする人を処罰すべき
6. 差別する人や差別を助長する人を処罰すべき
7. その他（具体的に： _____ ）
8. 特にない
9. わからない

とい ぎょうせい がっこう しゃかい じんけんきょういく ぶらくさべつ かいしょうすいしん ぎょういく
問26. 行政や学校・社会などで人権教育・部落差別の解消推進のための教育
どうわきょういく すす おも つぎ なか えら
（同和教育）を進めることをどう思いますか。次の中から、1つ選んでください。

1. 市民に正しいことを知ってもらうために進めるべき
2. ただ知るだけでなく、実行できるまで進めるべき
3. だいたいわかったので、もうやめるべき
4. 知らない人にまで知らせることはないのでやめるべき
5. 進めてもむだだから、やめるべき
6. その他（具体的に： _____ ）
7. わからない

Ⅶ. 外国人の人権 (問27～問29)

問27. あなたは、日本に居住する外国人に関することで、現在どのような人権問題があると思いますか。次の中から、いくつでも選んでください。

1. 結婚のとき周囲の反対を受けること
2. 交際のとき周囲の反対を受けること
3. 就職のとき不利な扱いを受けること
4. 進学のととき不利な扱いを受けること
5. 職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること
6. 特定の民族に対するヘイトスピーチなど、差別的な言動をされること
7. 居住のとき断られたり、不適切な扱いを受けること
8. 宿泊施設、店舗などへの入店や施設利用を拒否されること
9. 風習や習慣などの違いが受け入れられないこと
10. じろじろ見られたり、避けられたりすること
11. その他 (具体的に： _____)
12. 特にない
13. わからない

問28. (あなたが婚姻しているかどうかに関わらず、お答えください)

あなたが外国人や外国籍の人と恋愛をし、その人と結婚しようとしたとき、家族や親戚から強い反対を受けたとしたら、あなたはどうされますか。次の中から、1つ選んでください。

1. 自分の意思を貫いて結婚する
2. 家族や親戚を全力で説得して理解を得られなくても、自分の意思を貫いて結婚する
3. 家族や親戚の反対があるので、結婚しない

問29. あなたの子ども、あるいは孫が、外国人と恋愛をし、その人と結婚したいと言ったら、あなたはどうされますか。次の中から、1つ選んでください。

1. 外国人かどうかで反対はしない
2. できれば外国人でない方がよいが、反対はしない
3. 反対するが、本人の意思が強ければやむをえない
4. 絶対に反対する
5. わからない

Ⅷ. ^{いりよう}医療^たその他の^{じんげん}人権 (問30 ~ 問35)

問30. あなたは、HIV (エイズウイルス) に^{かんせん}感染した^{ひと}人や^{かんじゃ}エイズ患者、^{かぞく}その家族に^{かん}関することで、^{げんざい}現在^{じんげんもんだい}どのような^{おも}人権問題がある^{おも}と思いますか。

^{つぎ} ^{なか}次の中から、^{えら}いくつでも選んでください。

1. ^{しよくば} ^{がっこう}職場や^い学校などで^{いや}嫌がらせや^ういじめを受けること
2. ^{けっこんもんだい} ^{しゅうい}結婚問題で^{ほんたい} ^う周囲の^う反対を受けること
3. ^{しゅうしよく} ^{しよくば} ^{ふり} ^{あつか} ^う就職や職場で^う不利な^う扱いを受けること
4. ^{ちりょう} ^{にゅういん} ^{ことわ}治療や^{ことわ}入院を^{ことわ}断られること
5. ^{むだん} ^{けんさ}無断で^{けんさ}エイズ検査などを^{けんさ}されること
6. ^{さべつてき} ^{げんどう}差別的な^{げんどう}言動を^{げんどう}されること
7. ^{にゅうきよ} ^{きよひ}アパートなどへの^{きよひ}入居を^{きよひ}拒否されること
8. ^{しゆくはくしせつ} ^{てんぽ} ^{にゅうてん} ^{きよひ}宿泊施設、^{にゅうてん} ^{きよひ}店舗などへの^{きよひ}入店を^{きよひ}拒否されること
9. ^た ^{ぐたいてき} その他 (具体的に: _____)
10. ^{とく} 特にない
11. ^{とく} わからない

問31. あなたは、^{びょうもとかんじゃ}ハンセン病^{かぞく}元患者や^{かん}その家族に^{げんざい}関することで、^{じんげんもんだい}現在^{おも}どのような^{おも}人権問題がある^{おも}と思いますか。 ^{つぎ} ^{なか}次の中から、^{えら}いくつでも選んでください。

1. ^{しよくば} ^{がっこう}職場や^い学校などで^{いや}嫌がらせや^ういじめを受けること
2. ^{けっこんもんだい} ^{しゅうい}結婚問題で^{ほんたい} ^う周囲の^う反対を受けること
3. ^{しゅうしよく} ^{しよくば} ^{ふり} ^{あつか} ^う就職や職場で^う不利な^う扱いを受けること
4. ^{ちりょう} ^{にゅういん} ^{ことわ}治療や^{ことわ}入院を^{ことわ}断られること
5. ^{びょうりようようじよ} ^{そと} ^{じりつ} ^{せいかつ} ^{いとな} ^{こんなん}ハンセン病療養所の^{こんなん}外で^{こんなん}自立した^{こんなん}生活を^{こんなん}営むのが^{こんなん}困難なこと
6. ^{さべつてき} ^{げんどう}差別的な^{げんどう}言動を^{げんどう}されること
7. ^{にゅうきよ} ^{きよひ}アパートなどへの^{きよひ}入居を^{きよひ}拒否されること
8. ^{しゆくはくしせつ} ^{てんぽ} ^{にゅうてん} ^{きよひ}宿泊施設、^{にゅうてん} ^{きよひ}店舗などへの^{きよひ}入店を^{きよひ}拒否されること
9. ^み ^さじろじろ見られたり、^さ避けられたりすること
10. ^た ^{ぐたいてき} その他 (具体的に: _____)
11. ^{とく} 特にない
12. ^{とく} わからない

とい はんざいひがいしや かぞく かん げんざい
問32. あなたは、犯罪被害者やその家族などに関する事で、現在どのような
じんけんもんだい おも つぎ なか えら
人権問題があると思いますか。次の中から、いくつでも選んでください。

1. はんざいこうい せいしんてき う
犯罪行為によって精神的なショックを受けること
2. はんざいこうい けいざいてきふたん う
犯罪行為によって経済的負担を受けること
3. じけん しゅうい ばなし
事件について周囲でうわさ話をされること
4. けいさつ そうだん きたい けっか え
警察に相談しても期待どおりの結果が得られないこと
5. そうさ けいじさいばん せいしんてきふたん う
捜査や刑事裁判において精神的負担を受けること
6. けいじさいばんてつづ かなら ひがいしや こえ じゅうぶんほんえい
刑事裁判手続きに必ずしも被害者の声が十分反映されるわけではないこと
7. ほうどう かん こうひょう しゅうざい しせいかつ
報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の
へいおん たも
平穏が保てなくなること
8. その他（具体的に： _____ ）
9. とく
特にない
10. わからない

とい かん げんざい じんけんもんだい
問33. あなたは、インターネットに関する事で、現在どのような人権問題があると
おも つぎ なか えら
思いますか。次の中から、いくつでも選んでください。

1. たにん ひぼう ちゅうしょう ひょうげん けいさい
他人を誹謗・中傷する表現が掲載されること
2. たにん さべつ きも お さべつ じょちょう じょうほう
他人に差別しようとする気持ちを起こさせたり、差別を助長するような情報が
けいさい
掲載されること
3. こうりゅう はんざい ゆうはつ ば
ラインやツイッターなどによる交流が犯罪を誘発する場となっていること
4. ほうりよくえいぞう じょう のぼな
ポルノや暴力映像などがネット上で野放しになっていること
5. そうさ たいしょう みせいねんしゃ じつめい かおじゃん かん
捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真など、プライバシーに関する
じょうほう けいさい
情報が掲載されること
6. その他（具体的に： _____ ）
7. とく
特にない
8. わからない

とい
問34. あなたは、性的指向（異性愛、同性愛、両性愛など）や性別違和（生物学的な性^{せい}と心^{こころ}の性が一致しないこと）などに関する^{せい}ことで、現在^{せい}どのような人権問題^{いっち}があると^{かん}思いますか。次^{げんざい}の中から、いくつでも選んで^{じんげんもんだい}ください。

1. 職場^{しよくば}、学校^{がっこう}で嫌がらせ^{いや}を受ける^うこと
2. 差別的な言動^{さべつてき}をされる^{げんどう}こと
3. 就職^{しゅうしよく}の際^{さい}や職場^{しよくば}で不利^{ふり}な扱^{あつか}いを受ける^うこと
4. アパートなどの入居^{にゅうきよ}を拒否^{きよひ}されること
5. 宿泊施設^{しゆくはくしせつ}、店舗^{てんぽ}などへの入店^{にゅうてん}や施設利用^{しせつりよう}を拒否^{きよひ}されること
6. じろじろ見^みられたり、避^さけられたりすること
7. その他^た（具体的に^{ぐたいてき}：）
8. 特^{とく}にない
9. わからない

とい
問35. あなたは、東日本大震災^{ひがしにほんだいしんさい}やそれ^{ふくしまだいいちげんしりよくはつでんしょ}にともなう福島第一原子力発電所^じの事故^この発生^{はっせい}により、現在^{げんざい}、被災者^{ひさいしゃ}にどのような人権問題^{じんげんもんだい}があると^{おも}思いますか。次^{つぎ}の中から、いくつでも選んで^なください。

1. 職場^{しよくば}、学校^{がっこう}で嫌がらせ^{いや}を受ける^うこと
2. 差別的な言動^{さべつてき}をされる^{げんどう}こと
3. アパートなどの入居^{にゅうきよ}を拒否^{きよひ}されること
4. 宿泊施設^{しゆくはくしせつ}、店舗^{てんぽ}などへの入店^{にゅうてん}や施設利用^{しせつりよう}を拒否^{きよひ}されること
5. 学校^{がっこう}や幼稚園^{ようちえん}・保育園^{ほいくえん}などへの入学^{にゅうがく}や入園^{にゅうえん}を拒否^{きよひ}されること
6. 避難生活^{ひなんせいかつ}の長期化^{ちようきか}によるストレス^{えら}にともなういさか^{ぎやくたい}いや虐待
7. その他^た（具体的に^{ぐたいてき}：）
8. 特^{とく}にない
9. わからない

IX. 啓発活動（問36～問39）

問36. あなたは市の広報誌（市報くにさき）に掲載されている啓発記事（「こころをつなぐまちづくり」）や、人権についてのチラシや冊子などを読んだことがありますか。次の中から、1つ選んでください。

1. いつも読んでいます
2. 時々読んでいます
3. あまり読んだことがない
4. 読んだことがない
5. 見たことがない

問37. 人権に関する研修会について、あなたがこれまでに参加したことがあるものを次の中から、いくつでも選んでください。

1. 行政区での人権学習会（地区人権学習会）
2. 各種学級や団体の研修会
3. 職場の研修会
4. 県や市の人権フェスティバル
5. その他（具体的に： _____ ）
6. 参加したことがない

問38. 人権の大切さを多くの人に知ってもらうには、どんな方法が効果的だと思いますか（または、あなたならどれが良いですか）。次の中から、いくつでも選んでください。

1. 講演会、研修会、シンポジウム
2. 展示会（資料・写真など）
3. 広報誌・パンフレット・ポスター
4. テレビ・ラジオ
5. 映画・ビデオ
6. 新聞・雑誌
7. ワークショップ（少人数での討論や参加・体験型学習）
8. 高齢者や障がい者などの疑似体験
9. 高齢者・障がい者・外国人などとの交流
10. インターネット・Eメール（メールマガジンなど）
11. 自由な意見の交換ができる会合
12. その他（具体的に： _____ ）
13. わからない

とい
問39.

あなたは、次^{つぎ}にあげる憲法^{けんぽう}や法律^{ほうりつ}などを、
どの程度^{ていど}ご存知^{そんじ}ですか。

ア～セについて、1から4の中から、
あてはまる番号^{ばんごう}をそれぞれ1つ^{えら}選んでください。

※法律名等は、一部略称^{いちぶりやくしょう}で記載^{きざい}しています。

| | よく知 ^し っている | 多少 ^{たじょう} は知 ^し っている | あまり知 ^し らない | 知 ^し らない |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|-----------------------------------------|-----------------------|--------------------|
| ア. 日本国憲法 ^{にほんこくけんぽう} (昭和22年 ^{しょうわ ねん}) | 1 | 2 | 3 | 4 |
| イ. 世界人権宣言 ^{せかいじんけんせんげん} (昭和23年 ^{しょうわ ねん}) | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ウ. 同和对策審議会答申 ^{どうわたいさくしんぎかいとうしん} (昭和40年 ^{しょうわ ねん}) | 1 | 2 | 3 | 4 |
| エ. 障害者基本法 ^{しょうがいしやきほんほう} (昭和45年 ^{しょうわ ねん}) | 1 | 2 | 3 | 4 |
| オ. 男女雇用機会均等法 ^{だんじょこようきかいきんとうほう} (昭和61年 ^{しょうわ ねん}) | 1 | 2 | 3 | 4 |
| カ. 人権教育啓発推進法 ^{じんけんきょういくけいはつすいしんほう} (平成12年 ^{へいせい ねん}) | 1 | 2 | 3 | 4 |
| キ. 児童虐待防止法 ^{じどうぎやくたいぼうしほう} (平成12年 ^{へいせい ねん}) | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ク. 高齢者虐待防止法 ^{こうれいしやぎやくたいぼうしほう} (平成18年 ^{へいせい ねん}) | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ケ. 障害者虐待防止法 ^{しょうがいしやぎやくたいぼうしほう} (平成24年 ^{へいせい ねん}) | 1 | 2 | 3 | 4 |
| コ. 障害者差別解消法 ^{しょうがいしやさべつかいしょうほう} (平成28年 ^{へいせい ねん}) | 1 | 2 | 3 | 4 |
| サ. ヘイトスピーチ解消法 ^{かいしょうほう} (平成28年 ^{へいせい ねん}) | 1 | 2 | 3 | 4 |
| シ. 部落差別解消推進法 ^{ぶらくさべつかいしょうすいしんほう} (平成28年 ^{へいせい ねん}) | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ス. 国東市犯罪被害者等支援条例 ^{くにさきしはんざいひがいしやとうしえんじょうれい} (平成30年 ^{へいせい ねん}) | 1 | 2 | 3 | 4 |
| セ. 国東市における部落差別等あらゆる差別をなくし人権を擁護する条例 ^{くにさきし ぶらくさべつとう さべつ じんけん ようご じょうれい} (平成31年 ^{へいせい ねん}) | 1 | 2 | 3 | 4 |

X. その他（問40～問43）

問40. あなたや身内の結婚式の日取りは、次のどれによって決めたいと思いますか。
次の中から、1つ選んでください。

1. 必ず大安
2. 大安か友引
3. 仏滅・赤口を避ける
4. こだわらない

問41. もし、あなたやあなたのご家族が亡くなった場合、お葬式の日程はどうしたい
と思いますか。次の中から、1つ選んでください。

1. 大安を避ける
2. 友引を避ける
3. 大安と友引を避ける
4. こだわらない

問42. 結婚・就職についての身元調査をどう考えますか。
次の中から、1つ選んでください。

1. いかなる場合もそういうことをしてはいけない
2. 場合によってはした方がよいこともある
3. 相手をよく知る上で必要なことである
4. わからない

問43. 差別的態度をされたり、見たりしたとき、あなたはどうしますか。
次の中から、1つ選んでください。

1. その場で注意する
2. 他の人に協力を求めて注意する
3. 注意したいが、する勇気がないので黙っている
4. 相手との関係悪化防止のため、注意しない
5. その他（具体的に： _____ ）
6. わからない

さいご じんけん まも しゃかい つく かんが
■最後に、人権が守られる社会を作るためにあなたが考えられていることや、
くに おおいたけん くにさきし じんけんぎょうせい たい いけん ようぼう
国や大分県、国東市の人権行政に対するご意見やご要望などがありましたら、
かいどうよう しゅうめん じゅう き にゅうらん じゅう か
回答用紙裏面の（自由記入欄）にご自由にお書きください。

いじょう しつもん お
■以上で質問は終わりです。
てすう かいどうようし どうふう へんそうようふうとう い へんそう
お手数ですが、回答用紙を同封の返送用封筒に入れてご返送ください。
きょうりょく
ご協力ありがとうございました。
きちょう いけん こんご じんけん しさく い
あなたの貴重なご意見は、今後の人権施策に活かしてまいります。

令和2年度 国東市人権意識調査報告書

発行日 令和3年3月

発行者 国東市人権啓発・部落差別解消推進課

住 所 〒873-0503 大分県国東市国東町鶴川136-1

TEL:0978-72-0354 FAX:0978-72-0357